

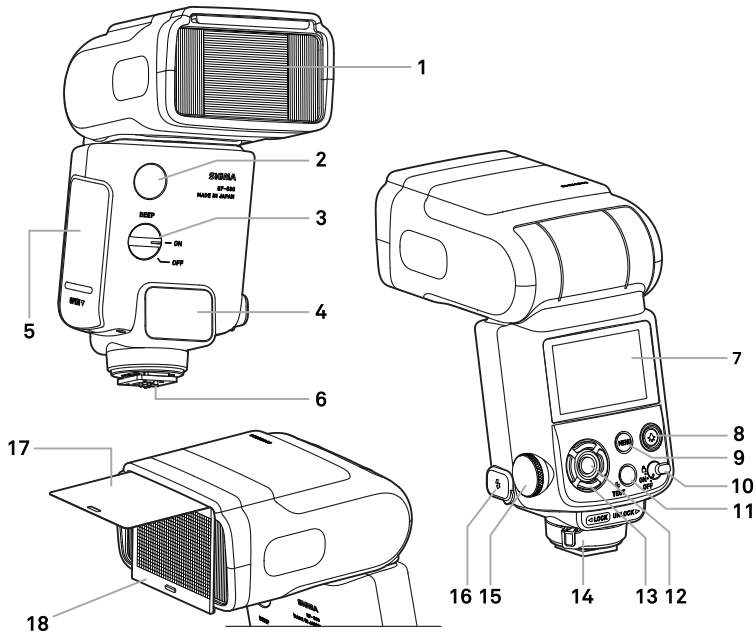
J E D F Es I Dk N Cs Ct K R P  
F50N21904

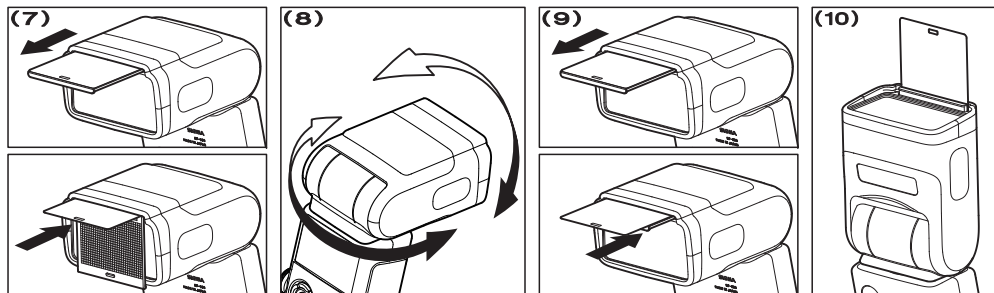
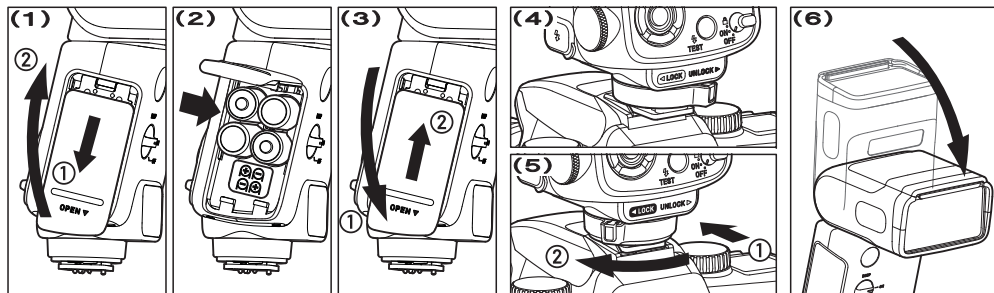
**SIGMA**

**ELECTRONIC FLASH EF-630  
FOR NIKON**

**FW Ver.1.03~**  
使用説明書/**INSTRUCTIONS**

日本語	4~18
ENGLISH	19~33
DEUTSCH	34~49
FRANÇAIS	50~64
ESPAÑOL	65~79
ITALIANO	80~94
DANSK	95~109
NEDERLANDS	110~124
简体中文	125~139
繁體中文	140~154
한국어	155~169
РУССКИЙ	170~183
PORTUGUÊS	184~198





## 日本語

このたびは、シグマエレクトロニクスフラッシュ EF-630 (FOR NIKON) をお買い上げいただきありがとうございます。本説明書をご精読の上、フラッシュの機能、操作、取り扱い上の注意点を正しく理解して、写真撮影をお楽しみください。尚、ご使用のカメラの使用説明書のフラッシュ撮影に関する項目も併せてご覧ください。お読みになった後は、いつでも見られる所に保管してください。

## 安全上のご注意

人的損害や物的損害を未然に防止するため、ご使用前にこの項目の内容を十分ご理解いただくようお願いします。

**警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

各文章の **注意** 記号は注意、もしくは警告を促す内容を告げています。各文章の **禁止** 記号は行為を禁止する内容を告げています。

### **警告**

**禁止** フラッシュ内部には、高電圧回路が組み込まれています。感電や火傷のおそれがありますので、分解、改造等は絶対にしないでください。また、万一落下等で破損した場合には、内部の部品に手を触れぬよう十分注意してください。

**禁止** フラッシュを人の目に近づけて撮影しないでください。目の近くでフラッシュを発光すると視力障害を起こす危険性があります。

ります。特に、乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。

**禁止** カメラのホットシューにフラッシュを接続して使用するときには、カメラのシンクローターミナルに手を触れないでください。高電圧がかかり感電することがあります。

**禁止** 可燃性のガスが大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。火災の原因となります。

**禁止** 発光部を手でおおったり、肌に密着させたまま発光しないでください。火傷の原因となります。

**禁止** 車の運転手などに向けて発光しないでください。事故の原因となります。

### **注意**

**禁止** このフラッシュをニコン製一眼レフ以外のカメラには使用しないでください。誤動作を起こしたり、カメラの電子回路に悪影響を及ぼす可能性があります。

**注意** このフラッシュは防水構造になっていません。雨天や水辺で使用するときは、濡らさないように注意してください。水が内部に入り込みますと故障の原因になります。

**禁止** ホコリの多い場所や、高温、多湿になる場所に放置しないでください。故障や火災の原因となります。

**注意** 急激な温度変化により、フラッシュ内部に結露が生じることがあります。寒い屋外から暖かい室内に入るときなどは、ケースやビニール袋に入れ、周囲の温度になじませてから使用してください。

**禁止** 防虫剤はフラッシュに悪影響を与えます。タンズや押入などに保管しないでください。

**禁止** シンナー、ベンジン等の有機溶剤で拭かないでください。変色、変形等の原因となります。



フラッシュは使用せずに放置すると性能が劣化します。1ヶ月に1度を目安に発光テストを数回行ってください。



発光部を布や衣服などでおおったまま発光しないでください。火災の原因となることがあります。

## 電池について

このフラッシュは、単三形のニッケル水素電池、もしくはアルカリ乾電池を4本使用します。

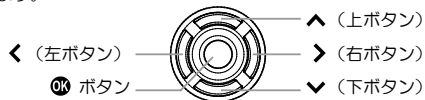
- 電池や電池室カバーの接点は、常にきれいにしてください。
- 交換するときには4本とも同じメーカーの同じ種類のものを使用してください。誤った使い方は、液漏れ、発熱、破裂等のおそれがあります。
- 電池の分解、火中、水中への投下、ショート等は破裂のおそれがありますので絶対にしないでください。また、ニッケル水素電池以外は充電しないでください。
- 長期間使用しない場合、電池を取り出して保管してください。電池を入れたまま長期間放置しますと、液漏れが生じてフラッシュ内部を損傷するおそれがあります。
- 長期間の旅行、寒冷地での撮影、または大量に撮影するときには、予備の電池をご用意ください。
- 単3形リチウム乾電池は使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 電池を処分する場合は、お住まいの自治体の規則に従ってください。

## 各部の名称 (P.2)

- |               |                     |
|---------------|---------------------|
| 1. 発光部        | 10. 電源スイッチ          |
| 2. ワイヤレス信号受光窓 | 11. レディライト/TEST ボタン |
| 3. ピープ音スイッチ   | 12. <b>OK</b> ボタン   |
| 4. AF 補助光発光部  | 13. セレクター           |
| 5. 電池室カバー     | 14. シューロックレバー       |
| 6. 取付けシュー     | 15. ダイヤル            |
| 7. 液晶パネル      | 16. シンクロ端子          |
| 8. バックライトスイッチ | 17. キャッチライトパネル      |
| 9. MENU ボタン   | 18. ワイドパネル          |

## セレクター (13) について

本書ではセレクターの各ポジションを **▲/▼/◀/▶** で表しています。



- 上下で操作する場合は **▲▼**、左右で操作する場合は **◀▶** で表しています。

## 対応するカメラについて

このフラッシュは以下のカメラに対応しています。


ニコンクリエイティブライティングシステム (CLS) 対応のデジタル一眼レフカメラ

- レンズはお使いのカメラに適した AF レンズをご使用ください。

## 電池の入れ方


- 1.電源スイッチを「OFF」にして、電池室カバーをスライドして開きます。P.3-(1)
- 2.電池室内の表示に従い、電池の＋の向きを間違えないように入れます。P.3-(2)
- 3.電池室カバーを閉じます。P.3-(3)
- 4.電源スイッチを「ON」にします。発光可能な状態まで充電されるとレディライトが緑色で点滅、フルに充電されると赤で点灯します。

### ご注意!!

電池容量が少なくなると、液晶パネルに  マークが表示されます。電池容量が完全なくなると、右図のような画面に切り換わり、操作ができなくなります。新しい電池と交換してください。



### エラー警告について

液晶パネルに  マークが表示された場合、フラッシュに何らかの異常が発生した恐れがあります。一旦電源スイッチを入れ直す、もしくは電池をご確認ください。それでも表示が消えない場合は、弊社営業所にご相談ください。

### オートパワーオフについて

約 80 秒間フラッシュが操作されないと、電池の消耗を防ぐため自動的に電源が OFF になります。TEST ボタンを押すか、カメラ本体のシャッターボタンを半押しすると再度電源が ON になります。ただし、「WL RX」「R&FL NORMAL」「R&FL RX」モードではオートパワーオフが働きません。

## カメラへの取り付け方

- 1.電源スイッチを「OFF」にします。
- 2.シューロックレバーが「UNLOCK ▶」の位置にあることを確認します。P.3-(4)
- 3.カメラのホットシューに止まるまで差し込み、シューロックレバーを「◀LOCK」方向にカチッとロックされるまでスライドします。P.3-(5)

取り外しは、シューロックレバーのボタンを押しながら「UNLOCK▶」方向に止まるまでスライドし、フラッシュを引き抜いてください。


### ご注意!!

シューロックレバーが「UNLOCK▶」から外れた位置でフラッシュを引き抜くと、カメラのホットシューとフラッシュの取付けシューを破損する恐れがあります。

## 発光部のセット

通常の撮影では発光部を正面方向にセットします。P.3-(6)

### ご注意!!



電源スイッチを ON にし、ステータスエリアに  マークが表示される、もしくはステータスエリアの距離表示が点滅している場合、発光部が正しく正面方向にセットされていないのでご注意ください。

## 連続撮影時のご注意

連続発光による加熱での劣化を防止するため、以下の表に示す回数以下で止めて 10 分以上休ませてください。

モード	最大連続発光回数
TTL, M(1/1, 1/2)	20 回
M(1/4, 1/8)	25 回
M(1/16~1/32)	40 回
MULTI	10 サイクル


### ご注意!!

液晶パネルに  マークが表示された場合、加熱防止のためにフラッシュの発光が制限されます。 マークが消えるまで休ませてください。

## 設定の基本ステップ

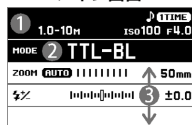
設定の基本を説明します。EF-630 は以下のステップで殆どの設定が簡単に行えます。

### ご注意!!

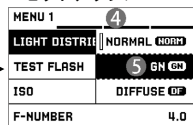
電源スイッチが「」（ロック）のポジションにあると、設定が変更できません。設定の際は必ず「ON」に合わせてください。

MENUボタンでメイン画面とセットアップメニューを切り替えます。（電源を「ON」にした時は、必ずメイン画面からスタートします。）

### メイン画面



### セットアップメニュー



発光モードの変更や、個々の発光モードにおける詳細を設定できます。



フラッシュ撮影のオプション機能の追加や、フラッシュの基本状態を設定できます。

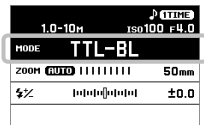
- ① ステータスエリア
- ② 発光モードエリア
- ③ モード詳細エリア

- ④ タブエリア
- ⑤ サブメニュー



### メイン画面での基本操作

#### 発光モードを選ぶ

 ボタンで発光モードエリアを選び、 ボタン、もしくはダイヤルで発光モードを変更します。



#### 発光モードの詳細を設定する

 ボタンでモード詳細エリアを選び、 ボタン、もしくはダイヤルで設定値を変更します。



## セットアップメニューでの 基本操作

ダイヤル回すとページが切り替わります。(タブエリアが選択されているときは、<> ボタンでも切り替えることができます。)

### セットアップメニューでは

◇ ボタンで希望の項目を選び、> ボタンか OK ボタンでサブメニューを開きます。(項目によっては専用画面が開いたり、確認メッセージが表示されるものがあります。)

### サブメニューでは

◇ ボタンで希望のオプションを選び、> ボタンか OK ボタンで確定します。( < ボタンを押すとオプションが変更されずにサブメニューが閉じます。)

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	ON
LCD LIGHT	AUTO
DISPLAY SETTING	...
M / FEET	M

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	ON >
LCD LIGHT	AUTO
DISPLAY SETTING	...
M / FEET	M

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	OFF
LCD LIGHT	ON
DISPLAY SETTING	ONLY
M / FEET	M

## i-TTL 自動調光撮影

プリ発光による反射光をカメラ側で測光し、カメラが最適な発光量を制御します。以下の2つの方式から選択できます。

### i-TTL-BL 調光 (発光モード: 「TTL-BL」)

被写体と背景の露出のバランスを考慮した発光量が制御されます。

- カメラの測光モードがスポット測光にセットされると、i-TTL-BL 調光は選択できません。

## スタンダード i-TTL 調光 (発光モード: 「TTL」)

背景の露出は考慮されず、被写体の露出を基準とした発光量が制御されます。

1. 発光モードを「TTL-BL」もしくは「TTL」にセットします。
2. 被写体が撮影範囲内にあるかをステータスエリアの距離表示で確認します。
3. レディライトで充電を確認し、撮影します。

1.0-10M		iso100 F4.0
MODE	TTL-BL	
ZOOM	AUTO	50mm
%	±0.0	

撮影直後、NG マークが 5 秒間表示されたときは、光量が不足、もしくは過多の可能性があります。条件を変更して撮影し直してください。

## シャッタースピードと絞りについて

カメラの各露出モードにおけるシャッタースピードと絞りの関係は以下のようになります。

	シャッタースピード	絞り
P	自動設定 (1/60 秒※1 ~ フラッシュ)	自動的に設定。
A	ユ同調速度※2)	任意に設定可。
S	フラッシュ同調速度※2 以下で任	自動的に設定。
M	意に設定可。	任意に設定可。

※1 機種によっては低速側のシャッタースピードの制限を任意に設定できます。また、カメラのフラッシュモードを「スローシャッター」に設定すると、低速側のシャッタースピードの制限が無くなります。

※2 カメラ側で FP 発光に設定すると、高速側のシャッタースピードの制限が無くなります。



## ご注意!!

カメラの露出警告が表示されている状態で撮影すると、露出が合わない可能性があります。その際は条件を変更して撮影してください。

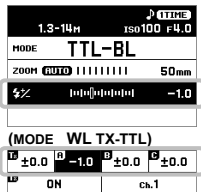
## 調光補正

背景の露出には影響を与えずに、フラッシュの発光量のみ補正することができます。

発光モード:「TTL」「TTL-BL」「GN-M」「WL TX-TTL」で使用できます。

モード詳細エリアで補正量をセットします。(補正量は 1/3 段ステップで、±3 段までできます。)

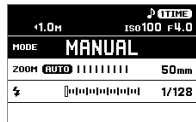
- カメラ側の調光補正機能も使用できます。カメラとフラッシュの双方で調光補正をセットした場合、合算した値で撮影されます。



## マニュアル発光撮影

発光量を任意に設定することができます。

- 1.発光モードを「MANUAL」にセットします。
- 2.モード詳細エリアで、発光量を設定します。(1/128~1/1 の範囲、1/3EV ピッチで設定できます。)
- 3.レディライトで充電を確認し、撮影します。



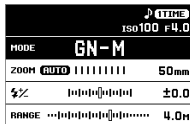
ステータスエリアの距離表示部で、適正露出が得られる距離が計算され表示されます。同じ発光量でも、カメラの ISO 感度や絞り値を変更すると、適正露出が得られる距離が変わります。

マニュアル発光での適正露出は、次の計算式で割り出せます。  
フラッシュの発光量 (GN) / 撮影距離 (m) = 絞り値 (F)

このフラッシュの GN (ガイドナンバー) は巻末の [表 1] を参照してください。

## 距離優先マニュアル発光撮影

被写体までの距離をセットすれば、カメラの設定に合わせ適正な発光量をフラッシュが自動的に設定するマニュアル発光撮影です。



- 1.発光モードを「GN-M」にセットします。
- 2.モード詳細エリアで、被写体までの距離をセットします。(セットしたい距離が設定可能範囲を超えてしまう場合は、カメラの絞り値や ISO 等を調整してください。)
- 3.レディライトで充電を確認し、撮影します。

## マルチ発光撮影

シャッターの開いている間にフラッシュを連続発光して、被写体の動きを 1 コマの画面に連続分解写真のように写し込むことができます。

カメラの露出モードは M で使用してください。

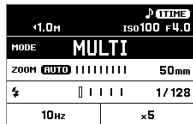
1.発光モードを「MULTI」にセットします。

2.モード詳細エリアで、発光量、発光間隔「Hz」（例: 10Hz = 1 秒間に 10 回の間隔で発光します）、発光回数「x」を設定します。

3.「発光回数」÷「発光間隔」より遅いシャッタースピードをセットします。

4.レディライトで充電を確認し、撮影します。

連続して発光できる回数は発光量と発光間隔の組み合わせで異なります。巻末の [表 2] を参照してください。



## ワイヤレス撮影

フラッシュをカメラから離して設置すると、ライティングによる表現の幅が広がります。EF-630 はフラッシュ光による通信で、離れたフラッシュを制御します。

- カメラに取り付けるフラッシュを「トランスミッター(TX)」、カメラから離して置くフラッシュを「レシーバー(RX)」と表記します。
- 被写体よりフラッシュは約 0.5m~5m、カメラは約 1m~5m の範囲内にセットしてください。
- フラッシュをカメラから離して使用するときは、付属のミニスタンドを取り付けると便利です。ミニスタンドには三脚用のねじ穴もついています。
- カメラの内蔵フラッシュを利用したワイヤレス撮影も可能です（コマンダーモードを備えたカメラに限ります）。カメラ側の設定はカメラの説明書を参照してください。
- EF-610 DG SUPER NA-iTTL との組み合わせでも使用できます。

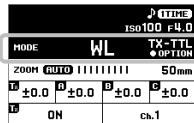
す。その場合は EF-630 を「トランスミッター」にしてください。EF-610 DG SUPER の設定は EF-610 DG SUPER の使用説明書に従ってください。光量比設定時の「発光グループ」は EF-610 DG SUPER の「レシーバーID」に相当します。

EF-630 の発光グループ	A	B	C
EF-610 DG SUPER のレシーバーID	1	2	3

## ワイヤレス撮影の準備（トランスミッターの設定）

### 発光モードの選択

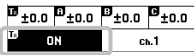
希望のワイヤレス撮影モード「WL TX-TTL」「WL TX-MANUAL」「WL TX-MULTI」のいずれかに設定します。



### トランスミッター発光設定

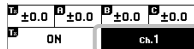
「トランスミッター」をコントロール機能のみにするか、フラッシュとして発光させるかを設定します。

ON	コントロール機能+本発光
OFF	コントロール機能のみ



### チャンネル設定

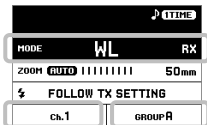
他の人がワイヤレス撮影をしている時、異なるチャンネルに設定することで誤作動を防げます。（モード詳細エリアで Ch.1~Ch.4 を選びます。）



## ワイヤレス撮影の準備（レシーバーの設定）

1.発光モードを「WL RX」にセットします。

- モード詳細エリアでトランスミッターと同じチャンネルを設定します。
- モード詳細エリアで振り分けたい発光グループ（A、B、Cのいずれか）に設定します。

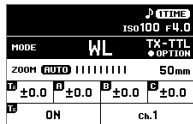


## ワイヤレス i-TTL 自動調光撮影

ワイヤレス i-TTL 自動調光撮影では、カメラが自動的に適正露出になるように制御します。

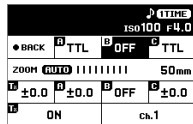
### トランスミッターの設定

- 発光モードを「WL TX-TTL」にセットします。
- 必要に応じ、モード詳細エリアで「チャンネルの設定」「トランスミッターの発光設定」を行います。
- 必要に応じ、モード詳細エリアでトランスミッターおよびレーザー各グループの調光補正值を設定します。



- レーザーの任意のグループをマニュアル発光に変更、もしくは発光禁止に設定することができます。

- 発光モードが選択されている状態で **OK** ボタンを押すと、レーザー側の発光モードを設定する画面に切り替わります。



- 変更したいグループを選択し、「M」（マニュアル発光）、「OFF」（発光禁止）のいずれかにセットします。
- 「BACK」を選択し **OK** ボタンを押して元の画面に戻ります。

- モード詳細エリアでマニュアル発光に設定したグループの発光量を設定します。

### レーザーの設定

- 「ワイヤレス撮影の準備（レーザーの設定）」の項目に従い設定します。
- レーザーを設置し、充電完了を確認して撮影します。（レーザーは AF 補助光が点滅して充電完了を知らせます。）

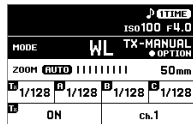
- 撮影直後、発光量不足の恐れのあるグループがある場合、そのグループのピーブ音が鳴り警告します（P.17「ピーブ音」参照）。条件を変更して撮影し直してください。

## ワイヤレスマニュアル撮影

任意に発光量を設定できるワイヤレスマニュアル撮影です。露出は市販のフラッシュメーターで決定してください。

### トランスミッターの設定

- 発光モードを「WL TX-MANUAL」にセットします。
- 必要に応じ、モード詳細エリアで「チャンネルの設定」「トランスミッターの発光設定」を行います。
- モード詳細エリアで、各グループ（トランスミッター発光 ON の場合はトランスミッターも含む）の発光量を設定します。（1/128～1/1 の範囲、1/3EV ピッチで設定できます。）



- レーザーの任意のグループを i-TTL 自動調光モードに変更、もしくは発光禁止に設定することができます。
- 発光モードが選択されている状態で **OK** ボタンを押すと、

レシーバー側の発光モードを設定する画面に切り替わります。

②変更したいグループを選択し、「TTL」(i-TTL 自動調光)、「OFF」(発光禁止)のいずれかにセットします。

③「BACK」を選択し **OK** ボタンを押して元の画面に戻ります。

④必要に応じ、モード詳細エリアで i-TTL 自動調光に設定したグループの調光補正値を設定します。

▶ (TIME)			
ISO100 F4.0			
● BACK	M	OFF	M
ZOOM (AUTO)                     50mm			
1/128	ON	OFF	1/128
ON			ch.1

### レシーバーの設定

- 発光モードを「WL RX」にセットします。
- 「ワイヤレス撮影の準備(レシーバーの設定)」の項目に従い設定します。
- レシーバーを設置し、充電完了を確認して撮影します。(レシーバーは AF 補助光が点滅して充電完了を知らせます。)

### ワイヤレスマルチ発光撮影

ワイヤレスで 1 灯、または複数のフラッシュをマルチ発光させることができます。

カメラの露出モードは M で使用してください。

### トランスミッターの設定

- 発光モードを「WL TX-MULTI」にセットします。
- 必要に応じ、モード詳細エリアで「チャンネルの設定」「トランスミッターの発光設定」をします。
- モード詳細エリアで、発光量、発光間隔「Hz」(例: 10Hz = 1 秒間に 10 回の間隔で発光します)、発光回数「x」を設定します。

▶ (TIME)			
ISO100 F4.0			
MODE	WL	TX-MULTI	
ZOOM (AUTO)                     50mm			
1/128	ON	ON	ON
ON	10Hz	x5	ch.1

- レシーバーの任意のグループを発光禁止に設定することができます。モード詳細エリアで発光させたくないグループを選択し「OFF」に設定してください。

### レシーバーの設定

- 「ワイヤレス撮影の準備(レシーバーの設定)」の項目に従い設定します。
- 「発光回数」÷「発光間隔」より遅いシャッタースピードをセットします。
- レシーバーを設置し、充電完了を確認して撮影します。(レシーバーは AF 補助光が点滅して充電完了を知らせます。)

### レシーブ発光機能

EF-630 は他のフラッシュ光に反応して光る機能を備えています。自動調光撮影はできませんが、気軽にカメラからフラッシュを離れた撮影が行えます。

### 通常レシーブ発光機能

カメラに取り付けたフラッシュの光に反応し、カメラから離れた EF-630 を同調発光させることができます。

カメラに取り付けるトランスミッターは、マニュアル発光モードにし、1/16 程度の発光量にセットします。

- カメラの内蔵フラッシュをトランスミッターとして使用できます。カメラ側で内蔵フラッシュの設定をマニュアル発光モードにして、1/16 程度の発光量にセットします。

カメラの露出モードを M、シャッタースピードを 1/30 秒以下、絞りと ISO は任意の値をセットします。

1. EF-630 の発光モードを「**R&FL NORMAL**」にセットします。
2. モード詳細エリアで、カメラの設定と同じ ISO と絞り値をセットします。
3. レシーバーから被写体の距離と、ステータスエリアの距離表示がおおむね一致するように、モード詳細エリアで発光量を調整します。
4. 充電完了を確認して撮影します。

◀1.0m		♪ (TIME)	
MODE	<b>R&amp;FL</b>	NORMAL	
ZOOM (AUTO)		24mm	
f		1/128	
iso100	F4.0		

### 指定レシーブ発光機能

複数の EF-630 を使用し、設定したチャンネルが一致するフラッシュのみを同調発光させることができます。1 台をトランスミッターとしてカメラに取り付けて、他をレシーバーとして使用します。カメラの露出モードを M、シャッタースピードを 1/30 以下、絞り ISO は任意の値をセットします。

#### トランスミッター(TX)の設定

1. 発光モードを「**R&FL TX**」にセットします。
2. 必要に応じてチャンネルを設定します。(モード詳細エリアで Ch.1~Ch.3 を選びます。)

◀1.0m		♪ (TIME)	
MODE	<b>R&amp;FL</b>	TX	
ZOOM	SET AT	24mm	
Ⓢ	CONTROL ONLY		
ch.1			

#### レシーバー(RX)の設定

3. 発光モードを「**R&FL RX**」にセットします。
4. モード詳細エリアで、トランスミッターと同じチャンネルを設定します。
5. モード詳細エリアで、カメラの設

◀1.0m		♪ (TIME)	
MODE	<b>R&amp;FL</b>	RX	
ZOOM (AUTO)		24mm	
f		1/128	
ch.1	iso100	F4.0	

定と同じ ISO と絞り値をセットします。

6. レシーバーから被写体の距離と、ステータスエリアの距離表示がおおむね一致するように、モード詳細エリアで発光量を調整します。
7. 充電完了を確認して撮影します。

- 他マウント用の EF-630 や、EF-610 DG SUPER との組み合わせでも使用できます。(EF-610 DG SUPER の設定は EF-610 DG SUPER の使用説明書に従ってください)

### オプション機能について

セットアップメニューから設定、追加できるオプション機能を説明します。

#### 配光モード (MENU 1)

EF-630 は 3 通りの配光モードを備えており、目的によって選択することができます。

「MENU 1」→「LIGHT DISTRIBUTION」

NORMAL -	通常配光 (初期設定) 一般的な撮影向きの基本的な配光特性をもったモードです。
GN GN	ガイドナンバー優先配光 周辺部の光量は落ちますが、より大きなガイドナンバーが得られるモードです。
DIFFUSE DF	フラット配光 周辺光量の落ち込みを減らし、均一な配光特性をもったモードです。

## テスト発光 (MENU 1)

EF-630 は 2 通りのテスト発光モードを備えており、いずれかを TEST ボタンに割り当てることができます。

「MENU 1」→「TEST FLASH」

<b>1 TIME</b> <b>1TIME</b>	テスト発光 (初期設定) 通常のテスト発光が行われます。
<b>MODELING</b> <b>MODEL</b>	モデリング発光 発光モード：「TTL」「TTL-BL」「MANUAL」 「GN-M」「MULTI」で使用できます。 TEST ボタンを押し続けると、約 1.5 秒間連続発光が行われ、フラッシュ撮影による被写体の影の出方を確認することができます。

### ご注意!!

モデリング発光に対応していない発光モードの時は「MODELING」にセットできません。

- モデリング発光機能を備えたカメラの場合、カメラのプレビューボタンを押してモデリング発光させることができます。(カメラのプレビューボタンでは「WL TX-TTL」「WL TX-MANUAL」「WL TX-MULTI」モード時もモデリング発光させることができます。)

## カスタムモード (MENU 2)

好みの設定を登録し、簡単に呼び出すことができます(2つのパターンを登録できます)。

1.3-14M ISO100 F4.0	
MODE <b>C1</b> <b>TTL-BL</b>	
ZOOM <b>(AUTO)</b>	50mm
±%	-1.0

## カスタムモードの登録・呼出し

1. 発光モード、モード詳細エリア、セットアップメニューの内容を一通り好みの状態に設定します。
2. 「MENU 2」→「CUSTOM MODE SETTING」から「C1」「C2」のいずれかを選び **OK** ボタンを押します。
3. 「OK」を選び **OK** ボタンで確定します。

登録された内容は、カスタムモードとして発光モードに追加されます(カスタムモードは、発光モードエリアに **C1** もしくは **C2** マークが表示されます)。

## 登録されたカスタムモードを消去する

1. 「MENU 2」→「CUSTOM MODE DELETE」から「C1」「C2」のいずれかを選び **OK** ボタンを押します。
2. 「OK」を選び **OK** ボタンで確定します。

## AF 補助光 (MENU 3)

暗い場所ではオートフォーカスの作動をアシストするために AF 補助光が照射されます(有効範囲・約 0.7m~10m)。

「MENU 3」→「AF ASSIST LIGHT」


<b>OFF</b>	AF 補助光は機能しません。
<b>ON</b> (初期設定)	暗い場所で AF 補助光が照射されます。
<b>ONLY</b>	フラッシュは発光せず、AF 補助光のみ機能します。(設定中はモード詳細エリアに「AF ASSIST LIGHT ONLY」と表示されます)

### 液晶パネルの照明 (MENU 3)

電源を ON にすると液晶パネルが照明されます。照明の点灯、消灯に関する設定を変更することができます。

「MENU 3」→「LCD LIGHT」

<b>AUTO</b> (初期設定)	最後にボタン・ダイヤル操作を行った時点から 8 秒で消灯します。消灯時にボタン・ダイヤル操作を行うと自動で点灯します。
<b>8 SEC</b>	ボタン・ダイヤル操作に関わらず、点灯時点から 8 秒で消灯します。
<b>ON</b>	常に点灯します。

- 設定に関わらず、 ボタンで点灯・消灯させることができます。

### 液晶パネルの調整 (MENU 3)

液晶パネルのコントラストや照明の明るさを調整することができます。

「MENU 3」→「DISPLAY SETTING」

<b>BRIGHTNESS</b>	<b>明るさ</b> ◀▶ ボタンで見やすい明るさに調整してください。
<b>CONTRAST</b>	<b>コントラスト</b> ◀▶ ボタンで見やすいコントラストに調整してください。

調整を確定する場合は「OK」を選び  ボタンで確定します。  
キャンセルする場合は「CANCEL」を選び  ボタンで確定します。

### 距離表示の単位変更 (MENU 3)

ステータスエリアの距離表示を変更することができます。

「MENU 3」→「M / FEET」

<b>M</b> (初期設定)	メートル表記
<b>FEET</b>	フィート表記

### 情報表示 (MENU 4)

以下の情報が確認できます。


「MENU 4」→「INFORMATION」

<b>MODEL</b>	モデル名
<b>SERIAL No.</b>	シリアルナンバー
<b>VERSION</b>	ファームウェアバージョン

### 設定の初期化 (MENU 4)

フラッシュの設定を初期の設定に戻すことができます。

「MENU 4」→「RESET SETTINGS」

初期化を実行するには「OK」を選び  ボタンで確定します。

- 設定の初期化を実行すると、登録されたカスタムモードも消去されます。

### その他の便利な機能

#### 照射角について

照射角を **AUTO** (オート) でご使用の場合、レンズの焦点距離に最適な照射角に自動的にセットされます。

- カメラの撮像素子サイズも考慮し制御されるため、実際のレンズの焦点距離と異なる数値が表示される場合があります。
- 発光モードによってはレンズの焦点距離に関わらず、照射角が固定される場合があります。

照射角は手動で切り替えることができます。モード詳細エリアで<>ボタンを押します。

AUTO ⇄ 24 ⇄ 28 ⇄ 35 ⇄ 50 ⇄ 70 ⇄ 85 ⇄ 105 ⇄ 135 ⇄ 200mm

- 照射角が変わると、ガイドナンバーも変化します。

### ワイドパネル

17mm までの広角レンズを使用するときには、ワイドパネルを使用してください。

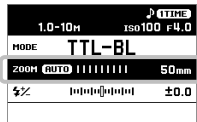
ワイドパネル+キャッチライトパネルを止まるまで引き出します (強く引っ張らないでください)。キャッチライトパネルは元の位置に収納してください。P.3-(7)

- ワイドパネル使用中は、モード詳細エリアの照射角表示部に **WP** マークが表示されます。

### バウンス撮影

フラッシュの発光部を天井や壁へ向けて発光し、光を拡散させることにより、影の少ない柔らかな写真を撮ることができます。発光部を上方 90°、下方 7°、左右 180°にセットできます。P.3-(8)

- バウンス中はステータスエリアに **BOUNCE** マークが表示されます。
- バウンスさせる反射面の色が写真全体にあらわれますので、



なるべく白い面を選んでください。また、バウンスさせる反射面の状況や撮影距離などの撮影条件によって調光できる範囲が変化します。

### 近接撮影

発光部を下方に 7°傾けることで、近接撮影において画面下部に十分に光ををまわすことができます。

- 下方に 7°バウンスさせている時は、ステータスエリアの距離表示が点滅します。

### キャッチライトパネル

バウンス撮影時に、人物の目にキャッチライトを入れることができるキャッチライトパネルを内蔵しています。

ワイドパネル+キャッチライトパネルを止まるまで引き出します (強く引っ張らないでください)。ワイドパネルは元の位置に収納してください。P.3-(9)

- バウンス角度を上方 90° にし、被写体から近い距離での撮影が効果的です。P.3-(10)

### シンクロ端子

EF-630 は、市販のシンクロコードでカメラと接続できるシンクロ端子を備えています。

シンクロコード接続での撮影は、発光モードを「**MANUAL**」で使用してください。

「**MENU 1**」の「**ISO**」「**F-NUMBER**」でカメラと同じ ISO と F 値をセットし、フラッシュから被写体の距離と、ステータスエリアの距離表示がおおむね一致するように、モード詳細エリアで発光量を調整します。






## ご注意!!

シンクロ端子を使用してのフラッシュ撮影では、i-TTL-BL / i-TTL による自動調光撮影はできません。

シンクロ端子極性が、中央のピンがプラス、外周部がマイナスのもののみ対応しています。逆の極性のものをご使用の場合は市販の変換コード等を利用してください。


## 誤操作防止機能

電源スイッチを「」（ロック）ポジションにすると、TEST ボタンと  ボタン以外の操作が禁止され、誤操作を防ぐことができます。

- ロック中はステータスエリアに  マークが表示されます。

## ビープ音

液晶パネルの表示を見なくても音だけでフラッシュの状態を知ることができます。

本体正面の BEEP スイッチを「ON」にしてください。（ON にするとステータスエリアに  マークが表示されます。）

ピッ（1回）	充電完了
ピーピー（2回）	光量不足、もしくは光量過多
ピー（2秒間）	エラー警告

## カメラ側で設定する撮影機能

### FV ロック撮影

被写体の任意の部分に適正調光させる撮影方法です。


発光モード：「TTL」「TTL-BL」「WL TX-TTL」で使用できます。

- 操作方法はご使用のカメラの説明書を参照してください。

### 後幕シンクロ撮影

シャッター幕が閉じる直前にフラッシュが発光します。動く被写体の後方に流れる光や軌跡が撮影できるため、自然な動きが表現できます。


発光モード：「TTL」「TTL-BL」「MANUAL」「GN-M」「WL TX-TTL」「WL TX-MANUAL」で使用できます。

カメラ側で後幕シンクロ撮影がセットされると、ステータスエリアに  マークが表示されます。

### FP 発光（ハイスピードシンクロ）

FP 発光はフラッシュを連続発光させて、シャッターの走行開始から終了まで発光を維持することにより、フラッシュ同調速度より高速のシャッタースピードで撮影できます。

発光モード：「TTL」「TTL-BL」「MANUAL」「GN-M」「WL TX-TTL」「WL TX-MANUAL」で使用できます。

カメラ側で FP 発光がセットされると、ステータスエリアに  マークが表示されます。

「TTL」「TTL-BL」モードでは、ステータスエリアの距離表示で、被写体が撮影範囲内にあるかを確認して撮影してください。


「MANUAL」モードでは被写体までの距離とステータスエリアの距離表示の数値が一致するように、絞りなどを調整して撮影してください。

FP 発光では、フラッシュのガイドナンバーがシャッター速度によって変化し、光の到達距離が短くなります。ガイドナンバーは巻末の [表 3] を参照してください。

## 赤目緩和発光

フラッシュを使用して人物を撮影すると、目が赤く写ることがあります（赤目現象）。人物撮影の時には赤目緩和発光機能を使用すると、シャッターが切れる前に約 1 秒間予備パルス発光を行い、赤目現象を緩和させることができます。

発光モード：「TTL」「TTL-BL」「MANUAL」「GN-M」「MULTI」「WL TX-TTL」「WL TX-MANUAL」「WL TX-MULTI」「R&FL TX」で使用できます。

カメラ側で赤目緩和発光がセットされると、ステータスエリアに  マークが表示されます。

## 主な仕様

形式：クリップオン式直列制御 TTL オートズームフラッシュ  
ガイドナンバー：63（ISO100/m、200mm 位置） 使用電源：単三形アルカリ乾電池、又は単三形ニッケル水素電池 4 本 充電時間：約 3 秒（アルカリ乾電池使用）、約 1.8 秒（ニッケル

水素電池使用） 発光回数：約 120 回（アルカリ乾電池使用）、約 185 回（ニッケル水素電池使用） 閃光時間：約 1/700 秒（フル発光時） 照射角度：24～200mm の使用レンズに合わせて自動セット（ワイドパネル使用で 17mm レンズの画角をカバー） 質量：490g 寸法（幅×高×長）：79.4×148.4×121.5mm

## 品質保証とアフターサービスについて

この製品の保証の内容、およびアフターサービスについては、別紙の“保証書”を御覧ください。

製品のお問い合わせは… シグマ カスタマーサポート部  
フリーコール：0120-9977-88  
携帯電話・PHS をご利用の方は 044-989-7436 にご連絡ください  
サポート・インターネットページアドレス  
[sigma-global.com/jp/support/](http://sigma-global.com/jp/support/)  
サポート・メールアドレス：[info@sigma-photo.co.jp](mailto:info@sigma-photo.co.jp)

株式会社シグマ 本社

〒215-8530 神奈川県川崎市麻生区栗木 2 丁目 4 番 16 号

☎ (044) 989-7430 (代) FAX: (044) 989-7451

インターネットホームページアドレス

[sigma-global.com/jp/](http://sigma-global.com/jp/)




この製品は、クラス B 情報技術装置です。この製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。


## ENGLISH


Thank you very much for purchasing the Sigma Electronic Flash EF-630 (FOR NIKON). To add to your enjoyment of photography, the flash has a variety of features. To make the most of all these features and to get the maximum performance and enjoyment from your flash, please read this instruction booklet together with your camera's instruction manual before using the flash, and also keep it handy for your future reference.


## SAFETY PRECAUTIONS

To avoid causing damage or injury, please read this instruction manual carefully, before using the flash. Please take special note of the following two cautionary symbols.


 **Warning !!** Using the product and disregarding this warning sign may cause serious injury or other dangerous results.


 **Caution !!** Using the product disregarding this caution sign may cause injury or damage.


 This symbol denotes a warning or point, where caution is required.


 This Symbol contains information regarding the actions that must be avoided.


### **Warning !!**


 This flash contains high voltage circuits. To avoid electric shock or burns, do not attempt to disassemble the flash. If the outside shell of the unit is broken or cracked, do not touch the mechanism inside.

 Do not fire the flash close to eyes. Otherwise the bright light could damage the eyes. Keep at least 1m/3feet distance between face and the flash unit when taking a picture with flash.


 Do not touch the synchro terminal of your camera when the flash is attached to the hot shoe. High voltage circuitry could cause an electric shock.


 Never use your camera in an environment where flammable, burnable, gas, liquids or chemicals, etc, exist. Otherwise it might cause fire or explosion.


 Do not cover the Flash Head with your hands or fire the flash when it is next to your skin as it could cause burns.


 Do not fire the flash toward car drivers as it could cause an accident.


### **Caution !!**


 Do not use this flash with any camera other than Nikon SLR cameras. If used, malfunction and/or adverse effects on the camera's electronic circuit may be caused.

 This flash unit is not waterproof. When using the flash and camera in the rain or snow or near water, keep it from getting wet. It is often impractical to repair internal electrical components damaged by water.

 Never subject the flash and camera to shock, dust, high temperature or humidity. These factors might cause fire or malfunctioning of your equipment.

 When the flash is subjected to sudden temperature change, as when the flash unit is brought from a cold exterior to warm interior, condensation might form inside. In such a case, place your equipment in a sealed plastic bag before such a change, and do not use the flash unit until it reaches room temperature.

 Do not store your flash in a drawer or cupboard etc. containing naphthalene, camphor or other insecticides. These chemicals will have a negative effects on the flash unit.

 Do not use a thinner, Benzene or other cleaning agents to remove dirt or finger prints from the component. Clean with a soft, moistened cloth.



For extended storage, choose a cool dry place, preferably with good ventilation. It is recommended that the flash be charged and fired several times a month, to maintain proper capacitor functioning.



Do not fire the flash while covering the Flash Head with cloths or clothes as it could cause fire.

## ABOUT THE BATTERY

This flash unit uses four “AA” type Ni-MH rechargeable batteries or alkaline dry cell batteries.

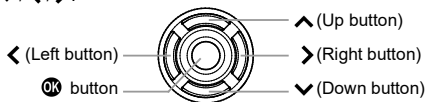
- To assure proper electrical contact, clean the battery terminals before installing the batteries.
- To prevent battery explosion, leakage or overheating, use four new AA batteries of the same type and brand. Do not mix the type or new and used batteries.
- Do not disassemble or short-circuit the batteries, or expose them to fire or water; they may explode. Do not recharge the batteries other than Ni-MH rechargeable batteries.
- When the flash will not be used for an extended period of time, remove the batteries from the flash to avoid the possibility of damage from leakage.
- As with any flash, it is recommended you carry spare batteries when on a long trip or when photographing outdoors in cold weather.
- Do not use Lithium AA/R6 Batteries. It may cause your equipment to malfunction.
- Please follow all guidelines, rules and regulations of your community regarding the disposal of batteries.

## DESCRIPTION OF THE PARTS (P.2)

1.Flash Head	7.LCD Panel	13.Selector
2.Wireless Signal Receiving Window	8.Backlight Switch	14.Shoe Lock Lever
3.BEEP Switch	9.MENU Button	15.Dial
4.AF Assist Light	10.Power Switch	16.Sync. Terminal
5.Battery Cover	11.Ready Light / TEST Button	17.Catch Light Panel
6.Shoe	12.OK Button	18.Wide Panel

## SELECTOR (13)

In this instruction manual, each position of selector is shown as  $\wedge / \vee / \langle / \rangle$ .



- The buttons are used as follows: To operate Up and Down buttons:  $\diamond$ . To operate Left and Right buttons:  $\langle \rangle$ .

## COMPATIBLE CAMERAS

This flash is compatible with the following cameras.

Digital SLR cameras that are compatible with Nikon Creative Lighting System (CLS)


- Please use an AF lens that supports the actual camera being used.

## LOADING THE BATTERIES

---

1. Turn the power switch to **[OFF]** and open the battery compartment by sliding the cover. P.3-(1)
2. Follow the indication in the battery compartment and insert the batteries with the "+" and "-" electrodes in the correct direction. P.3-(2)
3. Close the battery compartment cover. P.3-(3)
4. Turn the power switch to **[ON]**. When the flashgun is charged to the level that flash firing is possible, the Ready light starts blinking in green. When the flashgun is fully charged, the light lights up in red.

### Caution!!

When the battery capacity gets low, the  mark is indicated on the LCD panel. When the battery capacity decreases to zero, the display indicates the mark on the right, and the flash will no longer function. Please replace the batteries.



### ERROR WARNING

When the **[ER]** mark is indicated on the LCD panel, the flash may have failures. Reset the power switch or check the battery. If the indication remains, contact our sales office.

### AUTO POWER OFF

To conserve battery power, the flash unit automatically turns itself off when the flash has not been used for approximately 80 seconds. To turn the flash on again, depress the TEST button or the camera shutter button halfway. However, the auto power off does not work in **[WL RX]** mode, **[R&FL NORMAL]** mode and **[R&FL RX]** mode.

## ATTACHMENT TO THE CAMERA

---

1. Turn the power switch to **[OFF]**.
2. Confirm that the shoe lock lever is in the **[UNLOCK ►]** position. P.3-(4)
3. Insert the flash on to the hot shoe of the camera until it stops. Slide the shoe lock lever to the **[◀LOCK]** direction until the lever is locked with a clicking sound. P.3-(5)

When removing the flash, slide the shoe lock lever to the **[UNLOCK ►]** direction until it stops while continuing to press the shoe lock lever button. Then pull out the flash.

### Caution!!

If the flash is pulled out while the shoe lock lever is not in the **[UNLOCK ►]** position, the hot shoe of the camera and the attachment shoe of the flash could be damaged.

## ADJUSTING THE FLASH HEAD

---

In regular shooting, set the flash head to face forwards. P.3-(6)

### Caution!!



After the power switch is turned to ON, if the **[BOUNCE]** mark is indicated in the Status area, or if the distance indication in the Status area is blinking, the flash head is not correctly set to the front direction.

## LIMITS OF CONTINUOUS SHOOTING

To prevent overheating of the flashgun's circuitry, do not use your flash unit for at least 10 minutes after continuously firing the flash for the number of exposures shown in the table below.

Mode	Number of Flash Exposures
TTL, M(1/1, 1/2)	20 Continuous Flash Shots
M(1/4, 1/8)	25 Continuous Flash Shots
M(1/16~1/32)	40 Continuous Flash Shots
MULTI	10 Cycle


### Caution!!

In case the icon  appears on the display, the amount of light will be limited to prevent overheating of the flashgun's circuitry. Refrain from using the flashgun until the icon  disappears.

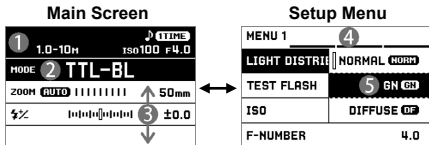
## BASIC STEPS OF SETTING

This section describes the basics of the settings. With EF-630, most settings can be conducted easily by the following steps.

### Caution!!

When the power switch is at the  (lock) position, the settings cannot be changed. Be sure to set to [ON] to change the settings.

Switchover between the Main screen and the Setup menu by using the **MENU** button. (When the power is set to [ON], always start from the Main screen.)



Changes the Flash mode and sets the details of each Flash mode.



- ① Status area
- ② Flash mode area
- ③ Mode details area

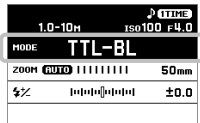
Adds the optional functions of flash shooting and sets the basic conditions of the flash.

- ④ Tab area
- ⑤ Sub menu



## BASIC OPERATIONS ON MAIN SCREEN

### SELECTING FLASH MODE

Select the Flash mode area by using the  buttons and change the Flash mode by using the  buttons or the dial.



### SETTING DETAILS OF FLASH MODE

Select Mode details area by using the  buttons and change the setting values by using the  buttons or the dial.



## BASIC OPERATION IN SETUP MENU

To move to the next tab, turn the Dial. (When the icon in the tab area is selected, it is possible to change the setting menu by pressing the **<>** buttons as well.)

### While in the Set-up Menu:

Use the **◀▶** buttons to select menu items. Press the **OK** or **▶** button to open sub-menus or dialogs. (In some items, a special screen or a dialog message may open.)

### While in set-up sub-menus:

Use the **◀▶** buttons to select setting options. Press the **OK** or **▶** button to apply new settings. (Press the **<** button to close sub-menu without applying changes.)

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	ON
LCD LIGHT	AUTO
DISPLAY SETTING	...
M / FEET	M

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	ON▶
LCD LIGHT	AUTO
DISPLAY SETTING	...
M / FEET	M

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	OFF
LCD LIGHT	ON
DISPLAY SETTING	ONLY
M / FEET	M

## i-TTL AUTO FLASH

The camera measures the reflected light of pre-flashes and give the optimal flash output. Select one of the following two methods.

### i-TTL balanced fill-flash (Flash mode: [TTL-BL])

It controls the flash output to balance the exposures of the subject and background.

- When the camera's metering mode is set to spot metering, selecting i-TTL-BL balanced fill-flash is unavailable.

### Standard i-TTL (Flash mode: [TTL])

It controls the flash amount that is suitable only for the subject, without considering the background exposure.

1. Set the flash mode to [TTL-BL] or [TTL].
2. Confirm that the subject is within the shooting range by checking the distance indication in the Status area.
3. Check the flashgun status with the Ready light and start shooting.

1.0-10m		ISO 100 F4.0
MODE	TTL-BL	
ZOOM	AUTO	50mm
⚡		±0.0

If the **NG** mark is indicated for five seconds right after the shooting, the flash amount level might be too high or too low. Change the condition and conduct shooting again.

## SHUTTER SPEED AND APERTURE

The relationships between the shutter speeds and apertures in different exposure modes of the camera are as follows.

	Shutter Speed	Aperture
<b>P</b>	Automatically set. (1/60sec*1 - flash synchronized speed*2).	Automatically set.
<b>A</b>		Can be set freely.
<b>S</b>	Enables you to freely set the speed in a range equal to or below the flash synchronized speed*2.	Automatically set.
<b>M</b>		Can be set freely.

\*1 In some models, slower shutter speeds can be set without shutter speed restrictions. In addition, when the flash mode of the camera is set to [Slow sync], there will be no limit of the slowest available shutter speed.

\*2 When FP flash is set at the camera side, there will be no limit to the fastest available shutter speed being set.

## Caution!!

When shooting is conducted while the exposure warning of the camera is indicated, under or over exposure may result. In that case, change the conditions before you start shooting.

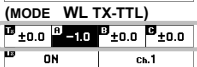
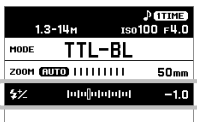
## FLASH EXPOSURE COMPENSATION

Compensating only the light amount of the flash is possible without affecting exposure of the background.

It can be used with [TTL], [TTL-BL], [GN-M], and [WL TX-TTL] flash modes.

Set the compensation amount in the Mode details area. (The compensation amount has 1/3 steps and up to  $\pm 3$  steps can be set.)

- The flash exposure compensation function is also available in camera. When the flash exposure compensation is set on both the camera and the flash, shooting will be conducted with the combined exposure compensation value.



## MANUAL FLASH

Discretionary setting of the flash amount is possible.

1. Set the Flash mode to [MANUAL].
2. Set the flash amount in the Mode details area. (Available range for setting: 1/128 to 1/1, Available pitch for setting: 1/3EV.)
3. Check the flashgun status with the Ready light and start shooting.



In the distance display section in the Status area, the distance that appropriate exposure can be obtained is calculated and displayed. Even with the same flashing amount, the distance to obtain the appropriate exposure varies if the camera's ISO sensitivity or the aperture value is changed.

An appropriate exposure when using manual flash can be calculated using the following formula.

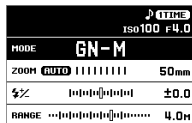
Guide Number (GN) / Shooting distance (m) = Aperture value (F)

For the GN (Guide Number) of this flash, refer to [Table 1] attached at the end of this manual.

## DISTANCE-PRIORITY MANUAL FLASH

It is the manual flash shooting the light output will automatically be adjusted to the selected distance.

1. Set the Flash mode to [GN-M].
2. In the Mode details area, set the distance to the subject. (If the desired distance exceeds the settable range, adjust the camera aperture value, ISO, etc.)
3. Check the flashgun status with the Ready light and start shooting.



## MULTI FLASH

Displaying movement of the subject in one frame as if the image is a photographic playback is possible by continuously emitting light with the flash while the shutter is open.

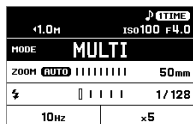
Use the camera's manual (M) exposure mode.

1. Set the Flash mode to [MULTI].
2. In the Mode details area, set the flash amount, flash interval



in "Hz" (eg.: 10 Hz = Emits light with the frequency of 10 times per second), and the number of flashes in "x".

- Set a shutter speed that is slower than the value of the "number of flashes" / "flash frequency."
- Check the flashgun status with the Ready light and start shooting.



The number of flashes that can be fired continuously varies depending on the combination of the flash amount and the flash frequency. Refer to [Table 2] at the end of this manual.

## WIRELESS FLASH

When the flash is used at a location far from the camera, the creative possibilities are expanded. The EF-630 is controlled remotely by the camera's built-in flash or a separate Transmitter(TX) flash unit.

- The flash attached to the camera is called [Transmitter(TX) unit], and the flash used at a distance from the camera is called [Receiver(RX) unit].
- Please set the flash unit between 0.5m~5m (1.6~16ft) from the subject, and set the camera body between 1m~5m (1.6~16ft) from the subject.
- When setting a Receiver unit at the desired position, you can use mini-stand. This mini-stand has a screw hole for a tripod.
- Wireless flash can be used with the camera's integrated flash (Only cameras that have [Commander mode]). For the camera settings, refer to the camera's instruction manual.
- The EF-630 can also be used in combination with the EF-610 DG SUPER NA-iTTL. In this case, use the EF-610 DG SUPER as the Receiver unit. When setting EF-610 DG SUPER, refer to the instruction manual of EF-610 DG SUPER (notation method of the EF-610 DG

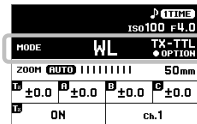
SUPER receiver ID is different. Refer to the following table.)

EF-630 receiver ID	A	B	C
EF-610 DG SUPER receiver ID	1	2	3

## PREPARATION OF WIRELESS FLASH (TRANSMITTER UNIT)

### SELECTION OF FLASH MODE

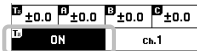
Set the desired wireless shooting mode between [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], and [WL TX-MULTI].



### TRANSMITTER FLASH SETTING

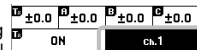
It sets whether " Transmitter " is set for the control function only or for the control function and light emission as a flash.

ON	Control function + Flash
OFF	Control function only



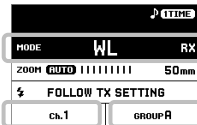
### CHANNEL SETTING

When another person is performing wireless flash, setting a different channel prevents malfunctions (selecting from channels 1 to 4 is possible).



## PREPARATION OF WIRELESS FLASH (RECEIVER UNIT)

- Set the flash mode to [WL RX].
- In the Mode details area, set a channel that is the same as Transmitter.
- In the Mode details area, set the desired flash group (either **A**, **B**, or **C**) to be selected.



## WIRELESS i-TTL AUTO FLASH

In the wireless i-TTL auto flash, the camera automatically controls the exposure to an appropriate value.

### TRANSMITTER UNIT SETTING

1. Set the Flash mode to [WL TX-TTL].

2. When necessary, perform "Setting the channel" and "Transmitter unit flash setting" in the Mode details area.

3. When necessary, in the Mode details area, set the flash exposure compensation value of each transmitter and receiver group.

• Changing the discretionary receiver group to manual flash or cancelling flash is possible.

① When the **OK** button is pressed while the flash mode is selected, the screen cycles the display to show that of the flash mode on the receiver unit(s).

② Select the group you wish to change and set to [M] (manual flash) or [OFF] (cancelling flash).

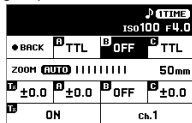
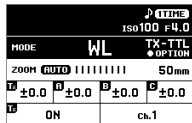
③ Select [BACK] and press the **OK** button to return to the previous screen.

④ In the Mode details area, set the flash amount of the group that is set to Manual flash.

### RECEIVER UNIT SETTING

4. Perform the setting by following "PREPARATION OF WIRELESS FLASH (RECEIVER UNIT)".

5. Place the receiver unit, confirm the completion of charging, and then start shooting (the receiver notifies the completion



of charging by blinking the AF assist light.)

• Right after the shooting, if there is any group that might be underexposed, that group will emit a beep as a warning (refer to [BEEP SOUNDS] on the page 32). In that case, change the conditions and shoot again.

## WIRELESS MANUAL FLASH

As well as manual flash photography, wireless shooting whereby the flash output can be manually set is also available. Decide the exposure by using a commercially-available flash meter.

### TRANSMITTER UNIT SETTING

1. Set the Flash mode to [WL TX-MANUAL].

2. When necessary, perform "Setting the channel" and "Transmitter unit flash setting" in the Mode details area.

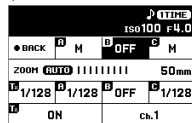
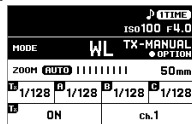
3. In the Mode details area, set the flash amount of each group (including the transmitter when Transmitter flash is set to on). (Available range for setting: 1/128 to 1/1, Available pitch for setting: 1/3EV.)

• Changing the discretionary receiver group to i-TTL auto flash mode or turning off the flash is possible.

① When the **OK** button is pressed while the flash mode is selected, the screen cycles the display to show that of the receiver unit(s).

② Select a group to change and set to [TTL] (i-TTL auto flash) or [OFF] (cancelling flash).

③ Select [BACK] and press the **OK** button to return to the previous screen.



- ④ When necessary, in the Mode details area, set the flash exposure compensation value of the group that is set to i-TTL auto flash.

### RECEIVER UNIT SETTING

- Set the Flash mode to **[WL RX]**.
- Perform the setting by following "PREPARATION OF WIRELESS FLASH (RECEIVER UNIT)".
- Place the receiver unit, confirm the completion of charging, and then start shooting (the receiver notifies the completion of charging by blinking the AF assist light.)

### WIRELESS MULTI FLASH

Wireless multi-flash is available for one flash or for multiple flashes.

Use the camera's manual (M) exposure mode.

### TRANSMITTER UNIT SETTING

- Set the Flash mode to **[WL TX-MULTI]**.
  - When necessary, perform "Setting the channel" and "Transmitter unit flash setting" in the Mode details area.
  - In the Mode details area, set the flash amount, flash interval in "Hz" (eg.: 10 Hz = Emits light with the frequency of 10 times per second), and the number of flashes in "x".
- Any receiver group can be turned off. Select a group to cancel flash in the Mode details area and set to **[OFF]**.

i-TIME			
ISO100 F4.0			
MODE	WL		TX-MULTI
ZOOM	AUTO	50mm	
1/128	A ON	B ON	C ON
D ON	10Hz	x5	ch.1

### RECEIVER UNIT SETTING

- Perform the setting by following "PREPARATION OF WIRELESS FLASH (RECEIVER UNIT)".

- Set a shutter speed that is slower than the value of the "number of flashes" / "flash frequency."
- Place the receiver unit, confirm the completion of charging, and then start shooting (the receiver notifies the completion of charging by blinking the AF assist light.)

### RECEIVE & FLASH FUNCTION

The EF-630 includes a function which allows it to fire by reacting to the flash from another flash unit. This allows for easy and convenient shooting with the flash positioned at a distance from the camera. The light output, however, is not automatically adjusted in this mode.

### NORMAL RECEIVE & FLASH FUNCTION

The Transmitter unit attached to the camera can be used to trigger a synchronized flash with the EF-630, even when it's positioned at a distance from the camera.

Set the Transmitter flash to manual mode and set the flash output to approximately 1/16.

- The camera's integrated flash can be used as a flash as a control trigger. Set the integrated flash to manual flash mode on the camera and set the flash amount to approximately 1/16.

Set the camera's exposure mode to M, the shutter speed to 1/30 second or shorter, and the aperture and ISO at discretionary values.

- Set the Flash mode of the Receiver EF-630 to **[R&FL NORMAL]**.
- In the Mode details area, set the ISO and the aperture values to

i-TIME	
<1.0M	
MODE	R&FL NORMAL
ZOOM	AUTO 24mm
f	1/128
ISO100	F4.0

match those of the camera settings.

- Adjust the flash amount in the Mode details area so the distance between the Receiver flash and the subject is approximately the same as the distance indicated in the Status area.
- Check the completion of charging and start shooting.

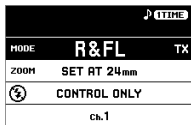
## DEDICATED RECEIVE & FLASH FUNCTION

If using two or more EF-630 flash units, you can designate which flash units will fire together by using the channel settings. In this mode, one flash unit will be used as the Receiver Controller and the others for firing as Receivers.

Set the camera exposure mode to M, the shutter speed to 1/30 second or shorter, and the aperture and ISO at discretionary values.

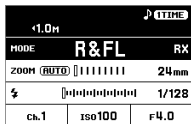
### SETTING THE CONTROL (TRANSMITTER) FLASH

- Set the Flash mode to [R&FL TX].
- Set the channel when necessary.  
(In the Mode details area, select from Ch.1 to Ch.3.)



### SETTING THE FIRING (RECEIVER) FLASH

- Set the Flash mode to [R&FL RX].
- In the Mode details area, set the channel to match that of the Control flash.
- In the Mode details area, set the ISO and aperture value to match those of the Control flash.



6. Adjust the flash amount on the Mode details area so the distance between the Receiver flash and the subject is approximately the same as the distance indicated in the Status area.

7. Check the completion of charging and start shooting.

- In Receiver mode, this flash can also be used in combination with the EF-630 and / or EF-610 DG SUPER for other camera fittings. (For details on setting up the EF-610 DG SUPER, please follow its instruction manual.)

## OPTIONAL FUNCTIONS

This section describes optional functions that can be set and added from the Setup menu.

### LIGHT DISTRIBUTION MODE (MENU 1)

The EF-630 has three Light Distribution modes that can be selected according to the purpose of use.

#### [MENU 1] → [LIGHT DISTRIBUTION]

<b>NORMAL</b> – (Default)	<b>Normal light distribution</b> Basic light distribution characteristics for general shooting.
<b>GN</b> <b>GN</b>	<b>Guide number prioritized light distribution</b> The flash beam's angle is decreased but a larger guide number is available.
<b>DIFFUSE</b> <b>DF</b>	<b>Flat light distribution</b> Prevents a decrease of the surrounding light amount providing a more uniform light distribution.

## TEST FLASH (MENU 1)

EF-630 has two Test flash modes. One of the Test flash modes can be allocated to the TEST button.

[MENU 1] → [TEST FLASH]

<b>1 TIME</b> <b>TIME</b> (Default)	<b>Test flash</b> Executes a single test flash.
<b>MODELING</b> <b>MODEL</b>	<b>Modeling flash</b> It can be used with [TTL], [TTL-BL], [MANUAL] [GN-M] and [MULTI] flash modes. When the TEST button is kept pressed, continuous flashing of approximately 1.5 seconds is conducted so the subject's shadows can be checked.

### Caution!!

The [MODELING] Setting can not be selected in any flash mode where the modeling flash is not available.

- In case the camera has a modeling flash function, modeling flash is available when the camera's preview button is pressed. (With the camera preview button, modeling flash is available also in [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], or [WL TX-MULTI] mode.)

## CUSTOM MODE (MENU 2)

It is possible to store and recall custom settings. (Two series of custom settings can be stored.)

1.3-14m	ISO100	F4.0
MODE C1	TTL-BL	
ZOOM AUTO		50mm
1/1000		-1.0

## STORING AND RECALLING CUSTOM SETTINGS

1. Set the Flash mode, Mode details area, and Setup menu contents as desired.
2. From [MENU 2] → [CUSTOM MODE SETTING], select [C1] or [C2] and press the **OK** button.
3. Select [OK] and confirm with the **OK** button.

The registered contents are added to the Flash mode as the Custom mode. (The Custom mode is indicated with the **C1** or **C2** mark in the Flash mode area.)

## DELETING THE REGISTERED CUSTOM MODE

1. From [MENU 2] → [CUSTOM MODE DELETE], select [C1] or [C2] and press the **OK** button.
2. Select [OK] and confirm with the **OK** button.

## AF ASSIST LIGHT (MENU 3)

The AF assist light will turn on automatically as you focus on a subject in a dark area. The effective range of the AF assist light is from about 0.7 to 10 meters (2.3-29.5 feet).

[MENU 3] → [AF ASSIST LIGHT]

<b>OFF</b>	AF assist light does not function.
<b>ON</b> (Default)	AF assist light is used to illuminate dark places.
<b>ONLY</b>	The flash does not work, and only AF assist light functions (when [AF ASSIST LIGHT ONLY] setting is indicated in the Mode details area.)


## LCD PANEL LIGHT (MENU 3)

---

When the power supply is turned to ON, the LCD panel lights up. The ON/OFF settings of the light can be changed.

[MENU 3] → [LCD LIGHT]

<b>AUTO</b> (Default)	After 8 seconds of non-operation, the light will turn off. When a button or dial is used while the light is off, the light will automatically turn on.
<b>8 SEC</b>	Regardless of whether a button or dial is being pressed, the light will turn off after 8 seconds from when the light initially turned on.
<b>ON</b>	The light is kept ON continuously.





- Regardless of the setting, the light can be turned on/off with the  button.


## LCD PANEL ADJUSTMENT (MENU 3)


---

The contrast and brightness of the LCD panel can be adjusted.

[MENU 3] → [DISPLAY SETTING]

<b>BRIGHTNESS</b>	<b>BRIGHTNESS</b> Adjust the brightness to the desired level by using the   buttons.
<b>CONTRAST</b>	<b>CONTRAST</b> Adjust the contrast to the desired level by using the   buttons.

When finalizing the adjustment, select [OK] and confirm with the  button.

When cancelling the adjustment, select [CANCEL] and confirm with the  button.

## CHANGING THE UNIT OF MEASUREMENT INDICATION (MENU 3)

---

The unit of measurement in the Status area can be changed.

[MENU 3] → [M / FEET]

<b>M</b> (Default)	Meter indication
<b>FEET</b>	Feet indication

## FLASH UNIT INFORMATION (MENU 4)

---

The following information can be checked.

[MENU 4] → [INFORMATION]

<b>MODEL</b>	Model name
<b>SERIAL No.</b>	Serial number
<b>VERSION</b>	Firmware version

## INITIALIZATION OF SETTINGS (MENU 4)

---

It is possible to reset the flash unit back to factory settings.

[MENU 4] → [RESET SETTINGS]

To initialize the setting, select [OK] and confirm with the  button.


- When the settings are reset, stored custom modes are deleted.

## OTHER USEFUL FUNCTIONS

---

### FLASH HEAD SETTING

---

When the flash head setting is used with  (Auto), the flash head is automatically set to the flash angle that is the optimal to the lens's focal length.

- The flash head takes into account the size of the camera's image sensor, therefore the focal length displayed on the flash may be different to that of the lens.
- Depending on the Flash mode, the flash head setting may be fixed regardless of the focal length of the lens.



The flash head setting can be changed manually. Press the **<>** buttons in the Mode details area.

AUTO ⇄ 24 ⇄ 28 ⇄ 35 ⇄ 50 ⇄ 70 ⇄ 85 ⇄ 105 ⇄ 135 ⇄ 200mm

- Depending on the flash head setting, the flash's Guide Number will change.

## WIDE PANEL

This flashgun is equipped with a built-in wide panel, which can provide an ultra-wide 17mm angle of coverage. Slide out the wide panel and catch light panel and flip it down to cover the flash's head. (Be careful to slide the panels out smoothly.) Then put the catch light panel back in its place. P.3-(7)

- The Flash head indicating section within the Mode details area may display the **WP** mark when the wide panel is in use.

## BOUNCE FLASH

By firing the flash toward the ceiling or a wall, it is possible to disperse the light and take pictures with soft light and reduced shadows.

The flash head can be set to the upper side at 90°, the lower side at 7°, and the right and left sides at 180°. P.3-(8)

- During bouncing, the **BOUNCE** mark is indicated in the Status area.

- Choose a white surface for bouncing the flash, otherwise the image's colour may be incorrect. Depending on the reflecting surface, the subject distance and other factors, the effective distance range for TTL AUTO may change.

## CLOSE-UP EXPOSURES

By tilting the flash head down to the 7° position, the lower section of the frame can be bright enough for close-up exposures.

- When it is bounced to the lower side at 7°, the distance indication in the Status area blinks.

## CATCH LIGHT PANEL

This flash is equipped with a built-in catch light panel, which can create a catch light in the eyes of the subject when the bounce flash mode is activated. Slide out the wide panel and catch light panel, then put the wide panel back in its place. (Be careful to slide the panels out smoothly.) P.3-(9)

- To create a catch light effectively, tilt the flash head upward 90 degrees and take pictures at a close distance. P.3-(10)

## SYNC.TERMINAL

EF-630 has a synchro terminal that can connect to the camera by a commercially available flash synchro cable.

When shooting with a synchro cable, use the Flash in **[MANUAL]** mode.

With **[MENU 1] → [ISO] [F-NUMBER]**, set the ISO and the aperture (F) value to match that of the camera. Adjust the flash power output in the Mode details area until the distance displayed in the Status area is approximately the same as the



distance between the flash and the subject.


### Caution!!

i-TTL-BL / i-TTL auto flash does not work if the Sync.Terminal is used.

The EF-630's Sync.Terminal is compatible with plugs that have a positive (+) polarity on the central pin and a negative (-) polarity on the shield. If the plug has reverse polarity, use a commercially- available polarity conversion cord.


### ACCIDENTAL OPERATION PREVENTION

When the power switch is set to the [  ] (lock) position, operations other than the TEST button and the  button become disabled, preventing accidental changes to the flash settings.

- Whilst the flash is locked, the  mark is displayed in the Status area.

### BEEP SOUNDS

Certain conditions of the flash are indicated by a sound, making them easy to recognize without having to look at the LCD panel.

Turn the BEEP switch on the front side of the main body to [ON]. (When it is turned to ON, the  mark is displayed in the Status area.)

One short beep	Indicates the completion of charging.
Two long beeps	Too low or too high flash exposure value
Onelongbeep(2sec.)	Error warning

## FUNCTIONS TO BE SET ON THE CAMERA

### FV LOCK SHOOTING

This is a shooting method that exposes any desired section of the subject with the correct flash exposure.


It can be used with [TTL], [TTL-BL] and [WL TX-TTL] flash modes.

- For the operation methods, refer to the camera user's manual.

### REAR CURTAIN SYNCHRONIZATION

The flash fires just before the shutter is closed. The light behind the moving subject and the path of the light can be captured; therefore, the photos can express the subject's natural movement.


It can be used with [TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [WL TX-TTL] and [WL TX-MANUAL] Flash modes.

- When the rear curtain synchronization shooting is set on the camera, the  mark is indicated in the status area.

### FP FLASH (High- speed Sync)

The FP flash keeps firing while the shutter curtain is running. Thus you can use a shutter speed faster than the synchronized speed.

It can be used with [TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [WL TX-TTL] and [WL TX-MANUAL] Flash modes.

- When the FP flash shooting is set on the camera, the  mark is indicated in the status area.

In [TTL]/[TTL-BL] mode, confirm that the subject is within the shooting range by checking the distance indicated in the Status area before you start shooting.




In [MANUAL] mode, adjust the aperture, etc. before you start shooting so the distance to the subject and the distance indicated in the Status area match each other.

The Guide Number will change depending on the shutter speed. (Please refer to [Table 3] on the last page.)

## RED-EYE REDUCTION FLASH

When taking a picture with flash, sometimes the person's eyes reflect the flashlight and will exhibit "red-eye" in the picture. If you use the "Red-eye reduction" function, the flash will blink for approximately 1 second before the shutter is released to reduce the "red-eye" effect.

It can be used with [TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [MULTI], [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], [WL TX-MULTI] and [R&FL TX] Flash modes.

- When the red-eye reduction shooting is set on the camera, the  mark is indicated in the status area.

## SPECIFICATIONS

TYPE: Clip-on type serial-controlled TTL auto zoom electric flash  
GUIDE NUMBER: 63(ISO100/m, 200mm head position)

POWER SOURCE: Four AA type alkaline batteries or Four AA type Ni-MH rechargeable batteries

RECYCLING TIME: about 3.0 sec. (Alkaline batteries) : about 1.8 sec. (Ni-MH rechargeable batteries)

NUMBER OF FLASHES: about 120 flashes (Alkaline batteries) : about 185 flashes (Ni-MH rechargeable batteries)

FLASH DURATION: about 1/700sec. (full power firing)

FLASH ILLUMINATION ANGLE: 24~200mm motor powered

control (17mm with Built-in Wide Panel)  
DIMENSIONS: (W)79.4mm/3.13in. x (H)148.4mm/5.84in. x (L)121.5mm/4.78in. WEIGHT: 490g/17.28oz.



This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



The CE Mark is a Directive conformity mark of the European Community (EC).

SIGMA (Deutschland) GmbH

Carl Zeiss Str. 10/2, D 63322 Rödermark, F.R.GERMANY

Sales: 06074 / 865 16 0 Service: 06074 / 865 16 65

Support: 06074 / 865 16 88 E-Mail: info@sigma-foto.de



### Disposal of Electric and Electronic Equipment in Private Households

Disposal of used Electrical & Electronic Equipment (Applicable in the European Union and other European countries with separate collection systems)





This symbol on the product, in the manual/warranty, and/or on the packaging indicates that this product must not be treated as household waste. Instead it should be handed over to the appropriate collection point for the recycling of electrical and electronic equipment. If your equipment contains easy removable batteries, please dispose of these separately according to your local legislation. It is your responsibility to ensure that this product is recycled correctly. In doing so you will help conserve natural resources, protect the environment and human health. For more detailed information about recycling this product, please contact your local city office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

## DEUTSCH


Vielen Dank, dass Sie sich für ein SIGMA EF-630 (FÜR NIKON) Blitzgerät entschieden haben. Sie sollten diese Gebrauchsanleitung im Zusammenhang mit Ihrer Kamerabedienungsanleitung studieren und für zukünftiges Nachschlagen griffbereit halten, um die Funktionen in vollem Umfang nutzen und die maximale Leistung des Gerätes ausschöpfen zu können.


### VORSICHTSMAßNAHMEN

Um Verletzungen oder Beschädigungen zu verhindern, lesen Sie diese Bedienungsanleitung vor dem ersten Einsatz Ihres Blitzgerätes bitte sehr sorgfältig und vollständig durch und beachten Sie unbedingt die untenstehenden Warnzeichen. Bitte beachten Sie speziell die beiden folgenden Warnzeichen.


 <b>Warnung!!</b>	Wenn Sie die entsprechenden Hinweise nicht befolgen, kann dies zu ernsthaften Verletzungen oder anderen gefährlichen Folgen führen.
 <b>Achtung!!</b>	Wenn Sie die entsprechenden Hinweise nicht befolgen, können Verletzungen oder Schäden entstehen.
	Dieses Symbol verweist auf die wichtigen Punkte, an denen Vorsicht geboten ist.
	Dieses Symbol enthält Informationen bezüglich zu unterlassender Handlungen.


#### **Warnung!!**


 Dieses Blitzgerät enthält hochspannungsführende Schaltkreise. Um elektrische Schläge oder Verbrennungen zu vermeiden, versuchen Sie nicht, das Gerät zu öffnen. Sollte das äußere Gehäuse gebrochen oder zersprungen sein, berühren Sie keine inneren Geräteteile.


 Blitzen Sie nicht aus kurzer Entfernung direkt in die Augen. Andernfalls kann das grelle Licht die Augen verletzen. Halten

Sie beim Fotografieren zumindest einen Abstand von einem Meter zwischen Gesicht und Blitzgerät ein.


 Berühren Sie nicht einen eventuell zusätzlich vorhandenen Blitzkontakt (X) Ihrer Kamera, wenn das Blitzgerät im Zubehörschuh steckt. Hochspannungsführende Stromkreise könnten einen elektrischen Stromschlag verursachen.


 Benutzen Sie Ihre Ausrüstung nie in der Umgebung entflammbarer, brennbarer Gase, Flüssigkeiten oder Chemikalien etc. Andernfalls könnte dies zu einem Brand oder einer Explosion führen.


 Bedecken Sie den Blitzkopf während des Blitzens weder mit der Hand, noch zünden Sie den Blitz in unmittelbarer Nähe zur Haut, da dies Verbrennungen verursachen könnte.


 Blenden Sie mit dem Blitz keine Autofahrer, da dies einen Unfall verursachen könnte.

#### **Achtung!!**


 Verwenden Sie dieses Blitzgerät ausschließlich an Nikon SLR-Kameras. Eine Verwendung an anderen Kameras kann zu Fehlfunktionen führen und/oder negative Auswirkungen auf die Kameraelektronik haben.


 Dieses Blitzgerät ist nicht wasserdicht. Wenn Sie die Ausrüstung im Regen, Schnee oder in der Nähe von Wasser verwenden, bewahren Sie sie davor, nass zu werden. Es ist häufig unmöglich, Wasserschäden interner elektrischer Komponenten zu reparieren.


 Setzen Sie das Blitzgerät niemals Stößen, Staub, Hitze oder Feuchtigkeit aus. Diese Faktoren könnten einen Brand oder Fehlfunktionen Ihrer Ausrüstung verursachen.


 Wenn das Gerät plötzlichen Temperaturschwankungen ausgesetzt, etwa aus einer kalten Umgebung in einen warmen Innenraum gebracht wird, kann sich Kondensniederschlag im Inneren des Gerätes bilden. In solchen Fällen stecken Sie das Gerät bitte vor dem Temperaturwechsel in eine zu verschließende Plastiktasche und benutzen Sie es erst wieder, wenn es sich

der Raumtemperatur angepasst hat.

 Bewahren Sie das Gerät nicht in einer Schublade oder einem Schrank auf, wo es schädlichen Dämpfen wie derer von Naphthalin, Kampfer oder Insektiziden ausgesetzt ist.

 Verwenden Sie weder Verdüner, Benzin noch andere Reinigungsmittel, um Schmutz oder Fingerabdrücke von dem Gerät zu entfernen. Benutzen Sie ein weiches, gegebenenfalls angefeuchtetes, fusselfreies Tuch.

 Bewahren Sie das Blitzgerät an einem trockenen, kühlen und gut belüfteten Ort auf. Lösen Sie den Blitz von Zeit zu Zeit aus, um seine volle Leistungsfähigkeit langfristig zu erhalten.

 Bedecken Sie den Blitzkopf während des Blitzens nicht mit Kleidung oder Stoffen, da dies einen Brand verursachen könnte.


## BATTERIEHINWEISE

Für dieses Blitzgerät werden vier wiederaufladbare Ni-MH-Mignonzellen oder Alkali-Trockenzellen („AA“) benötigt.





- Um einwandfreien elektrischen Kontakt zu gewährleisten, reinigen Sie die Batteriekontakte, bevor Sie die Batterien einsetzen.
- Verwenden Sie ausschließlich vier frische „AA“ Mignonzellen einer Marke und eines Typs, um die Gefahr des Platzens einer Batterie, des Austritts von Batteriesäure oder der Überhitzung vorzubeugen. Mischen Sie keinesfalls frische und gebrauchte Batterien.
- Batterien dürfen weder geöffnet, noch kurzgeschlossen bzw. ins Feuer geworfen werden, da sie explodieren können. Nur wiederaufladbare Ni-MH-Batterien dürfen wiederaufgeladen werden.
- Wenn Sie das Blitzgerät längere Zeit nicht benutzen wollen, entnehmen Sie bitte die Batterien, um Schäden durch austretende Batteriesäure zu verhindern.

- Wie bei jedem Blitzgerät empfiehlt sich die Mitnahme von Ersatzbatterien auf einer Reise oder für Außenaufnahmen bei winterlichen Temperaturen.
- Verwenden Sie keine Lithium AA/R6 Akkus/Batterien. Es könnte an Ihren Geräten zu Fehlfunktionen kommen.
- Bitte befolgen Sie alle Richtlinien, Regeln und Vorschriften, die an Ihrem Standort für die Entsorgung von Batterien gelten.



## BESCHREIBUNG DER TEILE (S.2)

1. Blitzkopf	10. Hauptschalter
2. Fenster für den kabellosen Signalempfang	11. Bereitschaftslampe / Testauslöser
3. Hinweiston-Umschalter	12.  Taste
4. AF-Hilfslicht	13. Multifunktionstaste
5. Batteriefachdeckel	14. Blitzschuh-Sperrhebel
6. Aufsteckfuß	15. Einstellrad
7. Flüssigkeitskristallanzeige	16. Synchr.- Anschluss
8. Displaybeleuchtung	17. Reflektorfolie
9. MENU Taste	18. Weitwinkelstreuscheibe

## MULTIFUNKTIONSTASTE (13)

In dieser Bedienungsanleitung werden die einzelnen Tasten der Multifunktionstaste wie folgt dargestellt:  /  /  / .



- Die Tasten werden folgendermaßen verwendet:  
Bedienung der Auf- und Ab-Tasten: .  
Bedienung der Links- und Rechts-Tasten: .

## KOMPATIBLE KAMERAS

---

Dieses Blitzgerät ist mit den folgenden Kameras kompatibel:

Digitale SLR-Kameras, die mit dem Nikon Creative Lighting System (CLS) kompatibel sind


- Bitte verwenden Sie ein AF-Objektiv, das die jeweils verwendete Kamera unterstützt.

## EINLEGEN DER BATTERIEN

---

1. Stellen Sie den Hauptschalter auf **[OFF]** und öffnen Sie das Batteriefach durch Schieben des Deckels: P.3-(1)
2. Setzen Sie die Batterien entsprechend der Markierung der Polung („+“ und „-“) in das Batteriefach ein. P.3-(2)
3. Schließen Sie das Batteriefach. P.3-(3)
4. Stellen Sie den Hauptschalter auf **[ON]**. Wenn das Blitzgerät zündbereit ist, beginnt die Bereitschaftslampe grün zu blinken. Wenn der Blitz vollständig geladen ist, leuchtet die Anzeige rot auf.


### Achtung!!

Bei niedrigem Ladezustand der Batterien erscheint das Symbol  auf dem LC-Display. Wenn die Batterien fast leer sind, wird das rechts abgebildete Symbol angezeigt und das Blitzgerät ist nicht mehr einsatzbereit. Tauschen Sie die Batterien aus.



FLAT BATTERY

### FEHLERWARNUNG

Wenn das Symbol  auf dem LC-Display angezeigt wird, liegen unter Umständen Fehler im Blitzgerät vor. Schalten Sie das Gerät in diesem Fall kurz aus und wieder ein. Führt dies nicht zum Erlöschen der Anzeige, prüfen Sie bitte die Batterien. Wenn das Symbol weiterhin angezeigt wird, setzen Sie sich mit unserem Service in Verbindung.

## AUTOMATISCHE ABSCHALTUNG

Um Strom zu sparen, schaltet sich das Gerät 80 Sekunden nach der letzten Betätigung automatisch ab. Zur Wiedereinschaltung genügt ein Druck auf den Testauslöser oder das Antippen des Kameraauslösers. Die automatische Abschaltung funktioniert jedoch nicht im **[WL RX]** -Modus, **[R&FL NORMAL]** -Modus und **[R&FL RX]** -Modus.

## ANSCHLIESSEN AN DIE KAMERA

---

1. Stellen Sie den Hauptschalter auf **[OFF]**.
2. Stellen Sie sicher, dass sich der Blitzschuh-Sperrhebel in der Position **[UNLOCK ►]** befindet. P.3-(4)
3. Schieben Sie den Aufsteckfuß des Blitzgeräts in den Blitzschuh an der Kamera, bis es sich nicht mehr weiterbewegt. Schieben Sie den Blitzschuh-Sperrhebel in die Position **[◀LOCK]**, bis er hörbar einrastet. P.3-(5)

Zum Abnehmen des Blitzgeräts schieben Sie den Blitzschuh-Sperrhebel bis zum Anschlag in die Position **[UNLOCK ►]**, während Sie die Taste für den Blitzschuh-Sperrhebel gedrückt halten. Ziehen Sie dann das Blitzgerät aus dem Blitzschuh heraus.

### Achtung!!

Wenn sich der Blitzschuh-Sperrhebel beim Herausziehen des Blitzgeräts nicht in der Position **[UNLOCK ►]** befindet, können der Blitzschuh an der Kamera und der Aufsteckfuß am Blitzgerät beschädigt werden.

## ANPASSEN DES BLITZKOPFES

---

Richten Sie bei normalen Aufnahmen den Blitzkopf nach vorne aus. P.3-(6)

### Achtung!!



Wenn nach dem Einschalten des Blitzgeräts das Symbol **BOUNCE** im Statusbereich zu sehen ist oder die Reichweitenanzeige im Statusbereich blinkt, ist der Blitzkopf nicht korrekt nach vorne ausgerichtet.

## GRENZEN DER SERIENAUSLÖSUNG

Um ein Überhitzen des Gerätes zu verhindern, legen Sie eine 10minütige Pause nach dem Absolvieren der im folgenden genannten Aufnahmeserien ein.

Betriebsart	Anzahl der Blitzaufnahmen
TTL, M (1/1, 1/2)	20 Serienauslösungen
M (1/4, 1/8)	25 Serienauslösungen
M (1/16-1/32)	40 Serienauslösungen
Multi	10 Sequenzen


### Achtung!!

Falls das Symbol  auf dem Display angezeigt wird, wird die Lichtmenge begrenzt, um ein Überhitzen im Schaltkreis des Blitzgeräts zu verhindern. Verwenden Sie das Blitzgerät nicht, solange das Symbol  angezeigt wird.

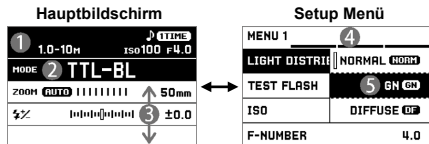
## GRUNDEINSTELLUNGEN

In diesem Abschnitt werden die Grundeinstellungen beschrieben. Die meisten Einstellungen für das Blitzgerät EF-630 können auf folgende Weise vorgenommen werden.

### Achtung!!

Die Einstellungen können nicht geändert werden, solange sich der Hauptschalter in der Position  (lock) befindet. Stellen Sie den Hauptschalter auf **[ON]**, um die Einstellungen zu ändern.

Verwenden Sie die Taste **MENU**, um vom Hauptbildschirm zum Konfigurationsbildschirm umzuschalten. (Wird das Gerät eingeschaltet **[ON]**, beginnen Sie im Hauptbildschirm.)



Ändert den Blitzmodus und ermöglicht das Einstellen der Details für jeden Blitzmodus.



Fügt die optionalen Funktionen für den Blitzmodus hinzu und legt die Ausgangskonfiguration für das Blitzgerät fest.

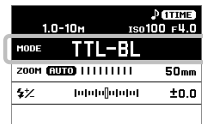
- ① Statusbereich
- ② Blitzmodusbereich
- ③ Modusdetailbereich

- ④ Registerkartenbereich
- ⑤ Untermenü



## ALLGEMEINE BEDIENFUNKTIONEN AUF DEM HAUPTBILDSCHIRM

### AUSWÄHLEN DES BLITZMODUS

Wählen Sie den Blitzmodusbereich mithilfe der  Tasten aus und ändern Sie den Blitzmodus mit den  Tasten oder dem Einstellrad.



### EINSTELLEN DER DETAILS FÜR DEN BLITZMODUS

Wählen Sie den Modusdetailbereich mit den  Tasten aus und ändern Sie die Einstellungen mit den  Tasten oder dem Einstellrad.



## ALLGEMEINE BEDIENFUNKTIONEN IM SETUP MENÜ

Die einzelnen Registerkarten werden durch Drehen des Einstellrad ausgewählt. (Ist ein Symbol im Registerkarten Bereich ausgewählt, ist es auch möglich mit den  $\leftarrow \rightarrow$  Tasten in eine andere Registerkarte zu wechseln)

### BEI GEÖFFNETEM SETUP-MENÜ:

Drücken Sie die  $\diamond$  Tasten, um die gewünschten Menüeinträge auszuwählen. Drücken Sie die  $\text{OK}$  oder  $\rightarrow$  Taste, um Untermenüs oder Dialogfelder zu öffnen. (Bei einigen Optionen wird ein spezieller Bildschirm oder eine Dialogmeldung geöffnet.)

### BEI GEÖFFNETEN UNTERMENÜS:

Drücken Sie die  $\diamond$  Tasten, um die gewünschten Optionen auszuwählen. Drücken Sie die  $\text{OK}$  oder  $\rightarrow$  Taste, um die neuen Einstellungen zu übernehmen. (Drücken Sie die  $\leftarrow$  Taste, um Untermenüs zu schließen, ohne Änderungen vorzunehmen.)

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	ON
LCD LIGHT	AUTO
DISPLAY SETTING	...
M / FEET	M

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	ON $\rightarrow$
LCD LIGHT	AUTO
DISPLAY SETTING	...
M / FEET	M

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	OFF
LCD LIGHT	ON
DISPLAY SETTING	ONLY
M / FEET	M

## i-TTL-BLITZAUTOMATIK

Die Kamera misst das reflektierte Licht der Vorblitze und liefert die optimale Blitzleistung. Wählen Sie eine der folgenden zwei Methoden.

### i-TTL-Aufhellblitz (Blitzmodus: [TTL-BL])

Steuert die Blitzleistung, um die Belichtung von Motiv und Hintergrund auszugleichen.

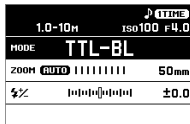
- Ist die Belichtungs-Messmethode der Kamera auf Spotmessung

eingestellt, steht der i-TTL-BL-Aufhellblitz nicht zur Verfügung.

### Standard i-TTL (Blitzmodus: [TTL])

Steuert nur die für das Motiv passende Blitzmenge, ohne die Hintergrundbelichtung zu berücksichtigen.

1. Stellen Sie die Blitzbetriebsart auf [TTL-BL] oder [TTL].
2. Stellen Sie anhand der Reichweitenanzeige im Statusbereich sicher, dass sich das Motiv im Aufnahmebereich befindet.
3. Beginnen Sie mit den Aufnahmen, wenn die Bereitschaftslampe erkennen lässt, dass der Ladezustand ausreicht.



Wenn das **NG**-Symbol direkt nach dem Auslösen für fünf Sekunden angezeigt wird, ist die Blitzstärke eventuell zu hoch oder zu gering. Ändern Sie die Verhältnisse und versuchen Sie erneut, die Aufnahmen durchzuführen.

## VERSCHLUSSZEIT UND BLENDE

Die verschiedenen Belichtungsmodi der Kamera wirken sich folgendermaßen auf die Einstellmöglichkeiten von Verschlusszeit und Blende aus.

	Verschlusszeit	Blende
<b>P</b>	Wird automatisch eingestellt.	Wird automatisch eingestellt.
<b>A</b>	(1/60 Sek*1 - Blitzsynchronzeit*2)	Kann frei gewählt werden.
<b>S</b>	Ermöglicht die freie Wahl der Verschlusszeit in einem Bereich, der die Blitzsynchronisationszeit nicht überschreitet*2.	Wird automatisch eingestellt.
<b>M</b>		Kann frei gewählt werden.

- (\*1) Bei einigen Modellen können längere Verschlusszeiten ohne Verschlusszeitbeschränkung eingestellt werden. Wenn der Blitzmodus der Kamera auf [Slow Sync] eingestellt ist, gibt es

ebenfalls keine Begrenzung in Bezug auf die längste zur Verfügung stehende Verschlusszeit.

(\*2) Wenn kameraseitig die FP-Kurzzeitsynchronisation eingestellt ist, gibt es keine Begrenzung in Bezug auf die kürzeste zur Verfügung stehende Verschlusszeit.

### Achtung!!

Wenn während der Aufnahmen die Belichtungswarnung der Kamera aufleuchtet, kann es zu Unter- oder Überbelichtungen kommen. Ändern Sie in diesem Fall die Einstellungen, bevor Sie mit dem Fotografieren fortfahren.

## BLITZBELICHTUNGSKORREKTUR

Die Lichtmenge des Blitzgeräts kann korrigiert werden, ohne dabei die Belichtung des Hintergrunds zu beeinflussen.

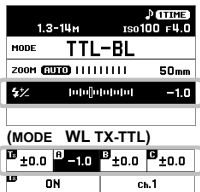
Sie ist in den Blitzmodi [TTL], [TTL-BL], [GN-M] und [WL TX-TTL] verfügbar.

Stellen Sie den Korrekturwert im Modusdetailbereich ein. (Die Anpassung des Korrekturwertes erfolgt in 1/3-Stufen und kann bis zu ±3 Stufen betragen.)

• Die Blitzbelichtungskorrektur-Funktion steht auch in der Kamera zur Verfügung. Wenn die Blitzbelichtungskorrektur sowohl an der Kamera als auch am Blitz aktiviert ist, erfolgt die Aufnahme mit dem kombinierten Belichtungskorrekturwert.

## MANUELLER BLITZBETRIEB

Die Stärke des Blitzes kann entsprechend den Erfordernissen angepasst werden.



1. Stellen Sie den Blitzmodus auf [MANUAL] ein.

2. Stellen Sie die Blitzstärke im Modusdetailbereich ein. (Einstellbereich: 1/128 bis 1/1. Abstufung: 1/3EV.)

3. Beginnen Sie mit den Aufnahmen, wenn die Bereitschaftslampe erkennen lässt, dass der Ladezustand ausreicht.



Im Statusbereich wird die Reichweite ermittelt und angezeigt, innerhalb derer eine korrekte Belichtung gewährleistet ist. Selbst bei unveränderter Blitzstärke schwankt die Reichweite, bei der korrekte Belichtungen erzielt werden, wenn ISO-Wert oder Blende an der Kamera verändert werden.

Die Korrekte Belichtung bei manuellem Blitzbetrieb kann anhand der folgenden Formel ermittelt werden:

Leitzahl (GN) / Aufnahmeabstand (m) = Blendenwert (F)

[Tabelle 1] am Ende dieser Bedienungsanleitung enthält Informationen zur Leitzahl (GN = Guide Number) dieses Blitzgeräts.

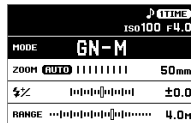
## DISTANZVORGABE MIT MANUELLER BLITZSTEUERUNG

Beim Fotografieren im manuellen Blitzbetrieb wird die Blitzleistung automatisch an die gewählte Distanz angepasst.

1. Stellen Sie den Blitzmodus auf [GN-M] ein.

2. Stellen Sie im Modusdetailbereich die Distanz zum Motiv ein. (Wenn die gewünschte Distanz den einstellbaren Bereich überschreitet, passen Sie an der Kamera Blendenwert, ISO, etc. an.)

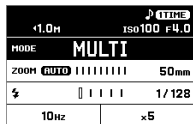
3. Beginnen Sie mit den Aufnahmen, wenn die Bereitschaftslampe erkennen lässt, dass der Ladezustand ausreicht.



## STROBOSKOPBETRIEB

Durch wiederholtes Zünden des Blitzes bei geöffnetem Verschluss ist es möglich, Bewegungen des Motivs darzustellen. So erscheint in einer einzigen Aufnahme das Motiv an verschiedenen Positionen. Verwenden Sie dafür den manuellen Belichtungsmodus („M“) der Kamera.

1. Stellen Sie den Blitzmodus [MULTI] ein.
2. Stellen Sie im Modusdetailbereich die Blitzleistung, die Blitzfrequenz in Hz (Beispiel: 10Hz = Das Blitzlicht wird in einer Frequenz von 10 Mal pro Sekunde gezündet) und die Anzahl der Blitze ein.
3. Wählen Sie eine Verschlusszeit, die länger als der Wert „Anzahl der Blitze“ / „Blitzfrequenz“ ist.
4. Überprüfen Sie den Ladezustand anhand der Bereitschaftslampe und beginnen Sie mit der Aufnahme.



Die Anzahl der Blitze, die ununterbrochen ausgelöst werden können, variiert je nach eingestellter Blitzleistung und Blitzfrequenz. [Tabelle 2] am Ende dieser Bedienungsanleitung enthält weitere Hinweise.

## KABELLOSES BLITZEN

Durch den Einsatz des Blitzgeräts in größerem Abstand zur Kamera ergeben sich zusätzliche kreative Möglichkeiten. Das Blitzgerät EF-630 kann durch den internen Blitz der Kamera oder durch ein Sender(TX)-Blitzgerät angesteuert werden.

- Das an der Kamera angeschlossene Blitzgerät wird als [Sender(TX)-Einheit] und das entfernt von der Kamera eingesetzte Blitzgerät wird als [Empfänger(RX)-Einheit] bezeichnet.
- Halten Sie mit dem Blitzgerät einen Abstand von ca. 0,5m-5m zum Motiv ein, und platzieren Sie die Kamera zwischen 1m – 5m vom Motiv entfernt.

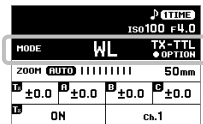
- Wenn Sie das EF-630 von der Kamera entfesselt an der gewünschten Stelle platzieren, leistet ein Blitzgeräteständer, der auch über ein Stativgewinde verfügt, gute Dienste.
- Das kabellose Blitzen kann mit dem integrierten Blitz der Kamera durchgeführt werden (Nur Kameras mit [Commander-Modus]). Die Kameraeinstellungen finden Sie in der Bedienungsanleitung der Kamera.
- Der EF-630 kann auch in Kombination mit dem EF-610 DG SUPER NA-iTTL eingesetzt werden. Setzen Sie in diesem Fall den EF-610 DG SUPER als Empfänger-Einheit ein. Stellen Sie den EF-610 DG SUPER entsprechend der Bedienungsanleitung des EF-610 DG SUPER ein (die Kennzeichnung der Empfänger-ID des EF-610 DG SUPER ist unterschiedlich. Bitte beachten Sie die folgende Tabelle.).

EF-630 Empfänger-ID	A	B	C
EF-610 DG SUPER Empfänger-ID	1	2	3

## VORBEREITUNG FÜR DAS KABELLOSE BLITZEN (SENDER-EINHEIT)

### AUSWÄHLEN DES BLITZMODUS

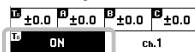
Wählen Sie den gewünschten kabellosen Aufnahmemodus aus [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], und [WL TX-MULTI].



### EINSTELLEN DES SENDER-EINHEIT

Hier stellen Sie ein, ob der Sender nur zur Steuerung dienen soll, oder ob er zur Steuerung und als lichtgebendes Blitzgerät dienen soll.

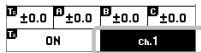
ON	Steuerung + Blitz
OFF	Nur Steuerung





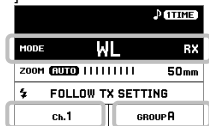
## KANALWAHL

Sollte eine weitere Person gleichzeitig kabellos blitzen, können Störungen verhindert werden, indem ein anderer Kanal gewählt wird (es stehen die Kanäle 1 bis 4 zur Verfügung).



## VORBEREITUNG FÜR DAS KABELLOSE BLITZEN (EMPFÄNGER-EINHEIT)

1. Stellen Sie den Blitzmodus auf [WL RX].
2. Stellen Sie im Modusdetailbereich denselben Kanal wie am Sender-Einheit ein.
3. Wählen Sie im Modusdetailbereich die gewünschte Blitzgerät-Gruppe aus (A, B oder C).

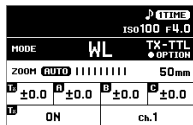


## KABELLOSE i-TTL BLITZBELICHTUNGS-AUTOMATIK

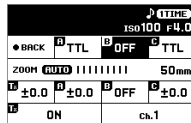
Bei der kabellosen i-TTL Blitzbelichtungsautomatik steuert die Kamera die Belichtung automatisch entsprechend einem geeigneten Wert.

### EINSTELLEN DES SENDER-EINHEIT

1. Stellen Sie den Blitzmodus auf [WL TX-TTL].
  2. Führen Sie bei Bedarf die Schritte unter „Kanalwahl“ und „Einstellen des Sender-Einheits“ im Modusdetailbereich durch.
  3. Stellen Sie bei Bedarf im Modusdetailbereich die Blitzbelichtungskorrektur jeder Sender- und Empfänger-Gruppe ein.
- Die Empfänger-Gruppe kann auf manuellen Blitzbetrieb eingestellt oder der Blitz ausgeschaltet werden.



- ① Wird die **OK**-Taste während der Wahl des Blitzmodus gedrückt, wechselt das Display zur Anzeige des Blitzmodus des Empfänger-Einheits / der Empfänger-Einheits.
- ② Wählen Sie die Gruppe, die Sie ändern möchten, aus und stellen Sie [M] (manueller Blitzbetrieb) oder [OFF] (Blitz ausschalten) ein.
- ③ Wählen Sie [BACK] und drücken Sie die **OK**-Taste, um zum vorherigen Bildschirm zurückzukehren.
- ④ Stellen Sie im Modusdetailbereich die Blitzstärke der ausgewählten Gruppe auf manuellen Blitzbetrieb.



### EINSTELLEN DES EMPFÄNGER-EINHEIT

4. Führen Sie die Einstellung wie unter „VORBEREITUNG FÜR DAS KABELLOSE BLITZEN (EMPFÄNGER-EINHEIT)“ beschrieben durch.
  5. Platzieren Sie die Empfänger-Einheit, stellen Sie sicher, dass es vollständig aufgeladen ist und beginnen dann mit Ihrer Aufnahme (wenn das AF-Hilfslicht blinkt, ist die Empfänger-Einheit bereit).
- Wenn eine Gruppe eventuell unterbelichtet, ertönt unmittelbar nach der Aufnahme ein akustisches Warnsignal (siehe [HINWEISTÖNE] auf Seite 48). Ändern Sie in diesem Fall die Einstellungen und wiederholen die Aufnahme.

## KABELLOSER MANUELLER BLITZBETRIEB

Ähnlich wie beim manuellen Einsatz des Blitzgeräts kann die Blitzleistung auch im kabellosen Blitzbetrieb manuell gesteuert werden. Ermitteln Sie die Belichtung mit einem handelsüblichen Blitzbelichtungsmesser.

### EINSTELLEN DES SENDER-EINHEIT

1. Stellen Sie den Blitzmodus [WL TX-MANUAL] ein.

2. Führen Sie bei Bedarf die Schritte unter „Kanalwahl“ und „Einstellen des Sender-Einheit“ im Modusdetailbereich durch.

3. Stellen Sie im Modusdetailbereich die Blitzstärke jeder Gruppe ein (einschließlich des Senders, wenn der Sender-Blitz aktiviert ist). (Einstellbereich: 1/128 bis 1/1. Abstufung: 1/3EV.)

● Die Empfänger-Gruppe kann auf i-TTL-Blitzautomatik eingestellt oder der Blitz ausgeschaltet werden.

① Wird die **OK**-Taste während der Wahl des Blitzmodus gedrückt, wechselt das Display zur Anzeige des Empfänger-Einheits / der Empfänger-Einheits.

② Wählen Sie zum Ändern eine Gruppe aus und stellen Sie **[TTL]** (i-TTL auto flash) oder **[OFF]** (Blitz ausschalten) ein.

③ Wählen Sie **[BACK]** und drücken Sie die **OK**-Taste, um zum vorherigen Bildschirm zurückzukehren.

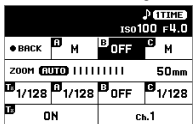
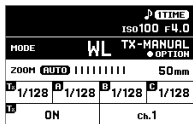
④ Stellen Sie bei Bedarf im Modusdetailbereich die Blitzbelichtungskorrektur der Gruppe ein, die auf i-TTL-Blitzautomatik eingestellt ist.

### EINSTELLEN DES EMPFÄNGER-EINHEIT

4. Set the Flash mode to **[WL RX]**.

5. Führen Sie die Einstellung wie unter „VORBEREITUNG FÜR DAS KABELLOSE BLITZEN (EMPFÄNGER-EINHEIT)“ beschrieben durch.

6. Platzieren Sie das Empfänger-Einheit, stellen Sie sicher, dass es vollständig aufgeladen ist und beginnen dann mit Ihrer Aufnahme (wenn das AF-Hilfslicht blinkt, ist das Empfänger-Einheit bereit).



## KABELLOSER STROBOSKOPBETRIEB

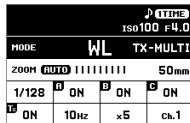
Der kabellose Stroboskopbetrieb ist mit einem oder mehreren Blitzgeräten möglich.

Stellen Sie Ihrer Kamera auf den manuellen Belichtungsmodus (M) ein.

### EINSTELLEN DES SENDE-EINHEIT

1. Stellen Sie den Blitzmodus **[WL TX-MULTI]** ein.

2. Führen Sie bei Bedarf die Schritte unter „Kanalwahl“ und „Einstellen des Empfänger-Einheit“ im Modusdetailbereich durch.



3. In the Mode details area, set the flash amount, flash interval in "Hz" (eg.: 10 Hz = Emits light with the frequency of 10 times per second), and the number of flashes in "x".

● Jede Empfänger-Gruppe kann ausgeschaltet werden. Um den Blitz einer Gruppe auszuschalten, wählen Sie im Modusdetailbereich die gewünschte Gruppe aus und wählen [OFF].

### EINSTELLEN DES EMPFÄNGER-EINHEIT

4. Führen Sie die Einstellung wie unter „VORBEREITUNG FÜR DAS KABELLOSE BLITZEN (EMPFÄNGER-EINHEIT)“ beschrieben durch.

5. Wählen Sie eine Verschlusszeit, die länger als der Wert „Anzahl der Blitze“ / „Blitzfrequenz“ ist.

6. Platzieren Sie das Empfänger-Einheit, stellen Sie sicher, dass es vollständig aufgeladen ist und beginnen dann mit Ihrer Aufnahme (wenn das AF-Hilfslicht blinkt, ist das Empfänger-Einheit bereit).

## RECEIVE & FLASH FUNKTION

Das Blitzgerät EF-630 ist mit einer Funktion ausgestattet, die das Blitzlicht in Reaktion auf einen von einem anderen Gerät ausgehenden Blitz aktiviert. Diese Funktion erlaubt den kreativen Einsatz des Blitzgeräts losgelöst von der Kamera. Die Blitzleistung wird jedoch in dieser Betriebsart nicht automatisch gesteuert.

### NORMALE RECEIVE & FLASH FUNKTION

Das an der Kamera angebrachte Sender-Einheit kann dazu verwendet werden, die synchronisierte Auslösung des entfernt von der Kamera positionierten Blitzgeräts EF-630 zu aktivieren.

Stellen Sie das Sender-Blitzgerät auf manuellen Betrieb und die Blitzleistung auf ungefähr 1/16 ein.

- Der interne Kamerablitz kann als Trigger-Blitz eingesetzt werden. Stellen Sie den internen Blitz an der Kamera auf manuellen Blitzbetrieb und die Blitzstärke auf etwa 1/16.

Stellen Sie den Belichtungsmodus der Kamera auf „M“ und die Verschlusszeit auf 1/30 Sekunde oder kürzer und passen Sie die Blende und ISO-Einstellung entsprechend an.

1. Stellen Sie am Empfänger-Einheit EF-630 den Blitzmodus [R&FL NORMAL] ein.
2. Passen Sie die ISO-Einstellung und den Blendenwert im Modusdetailbereich an die Einstellungen der Kamera an.
3. Passen Sie die Blitzleistung im Modusdetailbereich so an, dass die im Stausbereich angezeigte Reichweite dem Abstand zwischen Empfänger-Einheit und Motiv entspricht.
4. Vergewissern Sie sich, dass beide Blitzgeräte aufgeladen und Blitzbereit sind und beginnen Sie mit der Aufnahme.

◀1.0M		▶(TIME)	
MODE	R & FL	NORMAL	
ZOOM	AUTO		24mm
⚡		1/128	
ISO100	F4.0		

## DEDICATED RECEIVE & FLASH FUNKTION

Falls Sie 2 oder mehr EF-630 Blitzgeräte einsetzen, können Sie durch den Einsatz der Kanalwahl bestimmen, welche Geräte gleichzeitig blitzen sollen. In diesem Modus wird ein Blitzgerät als Empfänger-Controller und die anderen als blitzende Empfänger eingesetzt.

Stellen Sie den Belichtungsmodus der Kamera auf „M“ und die Verschlusszeit auf 1/30 Sekunde oder kürzer und passen Sie die Blende und ISO-Einstellung entsprechend an.

### EINSTELLEN DES CONTROLLER (SENDER) BLITZGERÄTS

1. Stellen Sie den Blitzmodus [R&FL TX] ein.
2. Stellen Sie bei Bedarf den Kanal ein. (Wählen Sie im Modusdetailbereich aus Ch.1 bis Ch.3 aus.)

▶(TIME)		
MODE	R & FL	TX
ZOOM	SET AT	24mm
⚡	CONTROL ONLY	
Ch.1		

### EINSTELLEN DER BLITZENDEN (EMPFÄNGER) BLITZGERÄTE

3. Stellen Sie den Blitzmodus [R&FL RX] ein.
4. Wählen Sie im Modusdetail- bereichdenselben Kanal wie am steuernden Gerät aus.
5. Passen Sie die ISO-Einstellung und den Blendenwert im Modusdetailbereich an die Einstellungen des steuernden Blitzgeräts an.
6. Passen Sie die Blitzleistung im Modusdetailbereich so an, dass die im Stausbereich angezeigte Reichweite dem Abstand zwischen Empfänger-Einheit und Motiv entspricht.
7. Vergewissern Sie sich, dass die Blitzgeräte aufgeladen und Blitzbereit sind und beginnen Sie mit der Aufnahme.

◀1.0M		▶(TIME)	
MODE	R & FL	RX	
ZOOM	AUTO		24mm
⚡		1/128	
Ch.1	ISO100	F4.0	

- Im Empfänger-Modus kann dieses Blitzgerät auch in Kombination mit dem EF-630 und/oder dem EF-610 DG SUPER für andere Kameraanschlüsse verwendet werden. (Detaillierte Informationen zur Einrichtung des Blitzgeräts EF-610 DG SUPER finden Sie in der entsprechenden Bedienungsanleitung.)

## OPTIONALE FUNKTIONEN

In diesem Abschnitt werden optionale Funktionen beschrieben, die über das Setup-Menü aufgerufen und eingestellt werden können.

### LICHTVERTEILUNGSMODUS (MENÜ 1)

Das Blitzgerät EF-630 verfügt über drei Lichtverteilungsmodi, die entsprechend dem Verwendungszweck ausgewählt werden können.

[MENU 1] → [LIGHT DISTRIBUTION]

<b>NORMAL</b> – (Voreinstellung)	<b>Normale Lichtverteilung</b> Generelle Lichtverteilungseigenschaften für allgemeine Aufnahmezwecke.
<b>GN</b> (Leitzahl) <b>GN</b>	<b>Leitzahl priorisierende Lichtverteilung</b> Der Ausleuchtwinkel des Blitzes wird enger, aber es steht eine höhere Leitzahl zur Verfügung.
<b>DIFFUSE</b> (Diffus) <b>DF</b>	<b>Flache Lichtverteilung</b> Verhindert die Abschwächung des Umgebungslichts und erzielt eine einheitlichere Lichtverteilung.

### TESTBLITZ (MENÜ 1)

Das Blitzgerät EF-630 verfügt über zwei Testblitzmodi. Eine der Testblitzmodi kann der TEST-Taste zugewiesen werden.

[MENU 1] → [TEST FLASH]

<b>1 TIME (1 MAL)</b> <b>1TIME</b> (Voreinstellung)	<b>Testblitz</b> Löst einen einzelnen Testblitz aus.
<b>MODELING</b> (MODELLIERUNG) <b>MODEL</b>	<b>Modellierblitz</b> Sie ist in den Blitzmodi [TTL], [TTL-BL], [MANUAL] [GN-M] und [MULTI] verfügbar. Wenn die TEST-Taste gedrückt gehalten wird, wird der Blitz ungefähr 1,5 Sekunden lang kontinuierlich ausgelöst, damit Sie die Lichtwirkung und den Schattenverlauf am Motiv überprüfen können.

#### Achtung!!

Die [MODELING] -Einstellung kann nicht in einem Blitzmodus ausgewählt werden, in dem der Modellierblitz nicht zur Verfügung steht.

- Falls die Kamera eine Modellierblitz-Funktion besitzt, steht der Modellierblitz dann zur Verfügung, wenn Sie die Abblendtaste der Kamera gedrückt halten. (Mit der Abblendtaste der Kamera ist der Modellierblitz auch in [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], oder [WL TX-MULTI] verfügbar.)

### BENUTZEREINSTELLUNG (MENÜ 2)

Es ist möglich, benutzerdefinierte Einstellungen zu speichern und abzurufen. (Es können zwei Benutzereinstellungsprofile gespeichert werden.)

1.3-14M		ISO100 F4.0
MODE	<b>GT</b>	<b>TTL-BL</b>
ZOOM	<b>AUTO</b>	50mm
ƒ/		-1.0

## SPEICHERN UND ABRUFEN VON BENUTZEREINSTELLUNGEN

1. Stellen Sie den Blitzmodus, den Modusdetailbereich und das Setup-Menü entsprechend Ihren Erfordernissen ein.
2. Wählen Sie im [MENU 2] → [CUSTOM MODE SETTING] die Option [C1] oder [C2] und drücken Sie die Taste **OK**.
3. Wählen Sie [OK] aus und bestätigen Sie die Auswahl mit der Taste **OK**.

Die gewählten Einstellungen werden als Blitzmodus hinzugefügt und stehen als Benutzereinstellung zur Verfügung. (Die Benutzereinstellung wird im Blitzmodusbereich durch das **C1** oder **C2** Symbol angezeigt.)

## LÖSCHEN EINER GESPEICHERTEN BENUTZEREINSTELLUNG

1. Wählen Sie im [MENU 2] → [CUSTOM MODE DELETE] die Option [C1] oder [C2] und drücken Sie die Taste **OK**.
2. Wählen Sie [OK] und bestätigen Sie die Auswahl mit der Taste **OK**.

## AF-HILFSLICHT (MENÜ 3)

Das AF-Hilfslight wird automatisch eingeschaltet, wenn Sie versuchen, ein nicht ausreichend beleuchtetes Motiv aufzunehmen. Der Wirkungsbereich des AF-Hilfslights reicht von 0,7 bis 10 Meter.

[MENU 3] → [AF ASSIST LIGHT]


<b>OFF</b>	Das AF-Hilfslight funktioniert nicht.
<b>ON</b> (Voreinstellung)	Das AF-Hilfslight dient dazu, dunkle Umgebungen zu beleuchten.
<b>ONLY</b>	Der Blitz funktioniert nicht, sondern nur das AF-Hilfslight (wenn die Einstellung [AF ASSIST LIGHT ONLY] im Modusdetailbereich angezeigt wird)

## LC-DISPLAYBELEUCHTUNG (MENÜ 3)

Wenn das Blitzgerät eingeschaltet wird, wird das LC-Display beleuchtet. Die EIN/AUS-Einstellungen für die Beleuchtung können geändert werden.

[MENU 3] → [LCD LIGHT]

<b>AUTO</b> (Voreinstellung)	Nach 8 Sekunden Stillstandzeit wird die Beleuchtung ausgeschaltet. Wird dann eine Taste oder ein Einstellrad verwendet, wird die Beleuchtung automatisch wieder eingeschaltet.
<b>8 SEC</b>	Die Beleuchtung bleibt nach dem Einschalten 8 Sekunden lang an, erlischt dann und bleibt auch aus, wenn eine Taste oder ein Einstellrad verwendet wird.
<b>ON</b>	Die Beleuchtung bleibt an.

- Unabhängig von der gewählten Einstellung kann die Beleuchtung mit der Taste  ausgeschaltet werden.

## LC-DISPLAYANPASSUNGEN (MENÜ 3)

Der Kontrast und die Helligkeit des LC-Displays können angepasst werden.

[MENU 3] → [DISPLAY SETTING]

<b>BRIGHTNESS</b>	<b>HELLIGKEIT</b> Die Helligkeit kann mit den Tasten <b>&lt;&gt;</b> entsprechend den Erfordernissen angepasst werden.
<b>CONTRAST</b>	<b>KONTRAST</b> Der Kontrast kann mit den Tasten <b>&lt;&gt;</b> entsprechend den Erfordernissen angepasst werden.

Wählen Sie abschließend [OK] und drücken Sie zur Bestätigung die Taste **OK**.

Wählen Sie [CANCEL], um die Anpassung abzubrechen, und drücken Sie zur Bestätigung die Taste **OK**.

## ÄNDERN DER MASSEINHEIT (MENÜ 3)

Die im Statusbereich angezeigte Maßeinheit kann geändert werden.

[MENU 3] → [M / FEET]

<b>M</b> (Voreinstellung)	Anzeige in Meter
<b>FEET</b>	Anzeige in Fuß

## INFORMATIONEN ZUM BLITZGERÄT (MENÜ 4)

Die folgenden Informationen können abgerufen werden.

[MENU 4] → [INFORMATION]

<b>MODEL</b>	Modelname
<b>SERIAL No.</b>	Seriennummer
<b>VERSION</b>	Firmware-Version

## RÜCKSETZEN DER EINSTELLUNGEN (MENÜ 4)

Das Blitzgerät kann auf die werkseitigen Einstellungen zurückgesetzt werden.

[MENU 4] → [RESET SETTINGS]

Wenn Sie die Einstellungen zurücksetzen möchten, wählen Sie [OK] und drücken Sie zur Bestätigung die Taste **OK**.

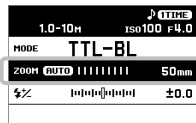
- Beim Zurücksetzen der Einstellungen werden auch alle gespeicherten Benutzereinstellungen gelöscht.

## ANDERE NÜTZLICHE FUNKTIONEN

### BLITZKOPF-EINSTELLUNG (ZOOMREFLEKTOR)

Bei Verwendung der Blitzkopf-Einstellung **AUTO** (Auto) passt der Zoomreflektor des Blitzgeräts den Ausleuchtungswinkel automatisch der Brennweite des Objektivs an.

- Die Einstellung für den Zoomreflektor berücksichtigt auch die Größe des Bildsensors der Kamera. Darum kann die auf dem Blitzgerät angezeigte Brennweite von der tatsächlichen Brennweite des Objektivs abweichen.
- Je nach Blitzmodi kann die Zoomreflektoreinstellung auf einen Wert eingestellt werden, der unabhängig von der Brennweite des Objektivs ist.



Die Zoomreflektoreinstellung kann manuell geändert werden. Drücken Sie die Tasten **<>** im Modusdetailbereich.

AUTO ⇔ 24 ⇔ 28 ⇔ 35 ⇔ 50 ⇔ 70 ⇔ 85 ⇔ 105 ⇔ 135 ⇔ 200mm

- Die Blitzleistung ändert sich in Abhängigkeit von der Zoomreflektoreinstellung.

### WEITWINKELSTREUSCHEIBE

Das Blitzgerät ist mit einer eingebauten Weitwinkelstreuungsausgestattet, die die Ausleuchtung des Bildwinkels eines 17mm Objektivs ermöglicht. Ziehen Sie die Weitwinkelstreuungsausgabe gemeinsam mit der eingebauten Reflektorfolie vorsichtig heraus und klappen Sie ausschließlich die Weitwinkelstreuungsausgabe vor den Blitzkopf. P.3-(7)

- Wird die Weitwinkelstreuungsausgabe verwendet, wird im Modusdetailbereich im Abschnitt für den Blitzkopf das Symbol **WP** angezeigt.

## INDIREKTES BLITZEN

---

Durch Ausrichtung des Blitzes an die Decke oder gegen eine Wand wird das Licht gestreut, sodass Aufnahmen mit einer weicheren Ausleuchtung und weniger Schlagschatten möglich sind.

Der Blitzkopf kann 90° nach oben oder 7° nach unten geneigt und jeweils 180° nach rechts oder links geschwenkt werden, unten ein Winkel von 7° und rechts und links ein Winkel von 180° ausgeleuchtet wird. P.3-(8)

- Bei indirektem Blitzen wird im Statusbereich das Symbol **BOUNCE** angezeigt.
- Das Motiv wird in die Farbe der reflektierenden Oberfläche getaucht. Wählen Sie deshalb bitte eine weiße Oberfläche für das indirekte Blitzen. Abhängig von der reflektierenden Oberfläche, der Motiv-Entfernung und anderen Faktoren kann sich die effektive Distanz für die TTL-Automatik verändern.

## NAHAUFNAHMEN

Das Neigen des Blitzkopfes um 7° nach unten eignet sich für Nahaufnahmen.

- Bei Ausrichtung des Blitzes um 7° nach unten blinkt die Reichweitenanzeige im Statusbereich.

## EINGEBAUTE REFLEKTORFOLIE

Das Blitzgerät ist mit einer eingebauten Reflektorfolie ausgestattet, die eine dezente frontale Aufhellung beim indirekten Blitzen gestattet (bspw. ein Lichtreflex im Auge des Modells). Ziehen Sie die Weitwinkelstreuscheibe gemeinsam mit der eingebauten Reflektorfolie vorsichtig heraus und schieben Sie nur die Weitwinkelstreuscheibe wieder zurück. P.3-(9)

- Neigen Sie für eine natürliche Ausleuchtung mit dezenter frontaler Aufhellung den Blitzkopf um 90 Grad nach oben und fotografieren Sie aus kurzer Entfernung. P.3-(10)

## SYNCHRONISATIONSANSCHLUSS

---

Das Blitzgerät EF-630 ist mit einem Synchronisationsanschluss ausgestattet, über den die Verbindung zur Kamera mithilfe eines im Handel erhältlichen Blitzsynchronisationskabels hergestellt werden kann.

Verwenden Sie das Blitzgerät bei Aufnahmen mit einem Synchronisationskabel im **[MANUAL]** Modus.

Wählen Sie unter **[MENU 1] → [ISO] [F-NUMBER]** dieselben ISO- und Blendenwerte (F) wie an der Kamera. Passen Sie die Blitzleistung im Modusdetailbereich an, sodass die im Statusbereich angezeigte Reichweite ungefähr dem Abstand zwischen dem Blitz und dem Motiv entspricht.



### Achtung!!


Die i-TTL-BL / i-TTL Automatik ist nicht verfügbar, wenn der Synchronisationsanschluss verwendet wird.

Der Synchronisationsanschluss des Blitzgeräts EF-630 ist kompatibel mit Steckern, die den Pluspol (+) auf dem mittigen Stift und den Minuspol (-) auf dem Mantel haben. Verwenden Sie ein Umpolungskabel, falls der Stecker umgekehrte Polarität aufweist.

## SCHUTZ GEGEN UNBEABSICHTIGTE ÄNDERUNGEN

---


Wenn sich der Hauptschalter in der Position  (lock) befindet, sind alle Funktionen außer der TEST-Taste und der Taste  deaktiviert, um unbeabsichtigte Änderungen an den Einstellungen des Blitzgeräts zu verhindern.

- Solange das Blitzgerät gesperrt ist, wird im Statusbereich das Symbol  angezeigt.

## HINWEISTÖNE

---

Verschiedene Tonsignale lassen den Zustand des Blitzgeräts erkennen, ohne dass ein Blick auf das LCD-Kontrollfeld erforderlich ist.

Schalten Sie den Hinweiston-Umschalter auf der Vorderseite des Geräts auf **[ON]**. (Im eingeschalteten Zustand wird im Statusbereich das Symbol  angezeigt.)

Ein kurzer Ton	Weist darauf hin, dass der Ladevorgang abgeschlossen ist.
Zwei lange Signaltöne	Zu niedriger oder zu hoher Blitzbelichtungswert
Ein langer Ton (2 Sek.)	Fehlerwarnung

## AN DER KAMERA EINZUSTELLENDEN FUNKTIONEN

---

### AUFNAHMEN MIT FV-LOCK

---

Diese Aufnahmemethode ermöglicht es Ihnen, die Blitzbelichtung auf ein bestimmtes Motivdetail abzustimmen.

Sie ist in den Blitzmodi **[TTL]**, **[TTL-BL]** und **[WL TX-TTL]** verfügbar.


- Die Funktionsweisen finden Sie im Benutzerhandbuch der Kamera.

### REAR CURTAIN SYNCHRONIZATION

---

Hierbei wird der Blitz erst kurz bevor der zweite Verschlussvorhang schließt gezündet. So werden die Leuchtspuren eines sich bewegenden Objektes hinter ihm erscheinen, sodass die Aufnahmen den natürlichen Bewegungsablauf des Objekts wiedergeben.

Sie ist in den Blitzmodi **[TTL]**, **[TTL-BL]**, **[MANUAL]**, **[GN-M]**, **[WL TX-TTL]** und **[WL TX-MANUAL]** verfügbar.


- Wenn die Kamera so eingestellt ist, dass mit Synchronisation auf den zweiten Verschlussvorhang fotografiert wird, wird im Statusfeld das -Symbol angezeigt.

### FP-KURZZEITSYNCHRONISATION

---

Bei der FP-Kurzzeitsynchronisation sendet das Gerät ununterbrochen Blitze, während der Verschluss abläuft. So können Sie eine kürzere Verschlusszeit als die eigentliche Synchronzeit verwenden.

Sie ist in den Blitzmodi **[TTL]**, **[TTL-BL]**, **[MANUAL]**, **[GN-M]**, **[WL TX-TTL]** und **[WL TX-MANUAL]** verfügbar.

- Wenn an der Kamera die High-speed-Sync-Funktion eingestellt ist, wird im Statusfeld das -Symbol angezeigt.

Vergewissern Sie sich im **[TTL]** / **[TTL-BL]** Blitzmodus, dass sich das Motiv im Aufnahmebereich befindet. Überprüfen Sie dazu die im Statusbereich angezeigte Reichweite, bevor Sie mit den Aufnahmen beginnen.

Im **[MANUAL]** Blitzmodus passen Sie die Blende usw. vor der Aufnahme so an, dass der Abstand zum Motiv und die im Statusbereich angezeigte Reichweite übereinstimmen.

Die Leitzahl hängt dabei von der Verschlusszeit ab. Bitte beachten Sie die Tabelle 3 auf der letzten Seite.

### REDUZIERUNG ROTER AUGEN


---

Bei schwachen Lichtverhältnissen weiten sich die Pupillen von Lebewesen, wodurch ein Blitzlicht mit nahezu gleichem Einfallswinkel wie das Aufnahmeobjektiv von dem roten Augenhintergrund direkt in das Objektiv reflektiert werden kann.



Dadurch entstehen die bekannten „roten Augen“. Wird die Funktion „Reduzierung roter Augen“ aktiviert, leuchtet das Blitzgerät für ca. 1 Sekunde vor der Aufnahme auf, wodurch sich die Pupillen des zu Fotografierenden verengen.

Sie ist in den Blitzmodi [TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [MULTI], [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], [WL TX-MULTI] und [R&FL TX] verfügbar.

- Wenn an der Kamera die Funktion zur Reduzierung roter Augen eingestellt ist, wird im Statusfeld das -Symbol angezeigt.

## TECHNISCHE DATEN

---

Type: Systemblitzgerät, Aufsteck-Type, serienmäßige TTL-Messung, mit Auto-Zoomreflektor

Leitzahl: 63 (ISO 100/m, 200mm Blitzkopfeinstellung)

Energieversorgung: 4 AA Type Alkaline Batterien oder 4 AA Type Ni-MH Nickel-Metall Hydrid Akkus

Aufladezeit: ca. 3,0 s mit Alkaline Batterien :ca. 1,8 s mit Ni-MH Akkus  
Blitzanzahl: ca. 120 mit Alkaline Batterien :ca. 185 mit Ni-Cd oder Ni-MH Akkus

Blitzdauer: ca. 1/700 s bei voller Leistung

Ausleuchtwinkel: 24mm~200mm motorgesteuert

:17mm mit eingebauter Weitwinkelstreuscheibe

Gewicht: 490 Gramm

Abmessungen: 79.4mm (B) x 148.4mm (H) x 121.5mm (T)



Die CE-Kennzeichnung ist eine Konformitätserklärung des Herstellers, die dokumentiert, daß das betreffende Produkt die Anforderungen von EG-Richtlinien einhält.

SIGMA (Deutschland) GmbH

Carl Zeiss Str. 10/2, D 63322 Rödermark, F.R.GERMANY

Sales: 06074 / 865 16 0 Service: 06074 / 865 16 65

Support: 06074 / 865 16 88 E-Mail: info@sigma-foto.de



### Entsorgung von Elektro- und Elektronikgeräten aus privaten Haushalten





Entsorgung von Elektro- und Elektronikgeräten (Anzuwenden in der Europäischen Union und anderen europäischen Ländern mit entsprechend geregeltem Abfall- Sammelsystem)

SIGMA unterstützt den Umweltschutz. Diese Produkt und die enthaltenen Zubehörteile erfüllen die Anforderungen der WEEE-Richtlinie. Bitte bewahren Sie diese Information auf. Dieses Symbol weist auf die getrennte Rücknahme elektrischer und elektronischer Geräte in EU-Ländern hin. Bitte werfen Sie das Gerät nicht in den Hausmüll. Informieren Sie sich über das in Ihrem Land gültige Rücknahmesystem und nutzen Sie dieses zur Entsorgung. Batterien und Akkus sollten separat entsorgt werden.


Nous vous remercions d'avoir choisi le flash électronique Sigma EF-630 (pour NIKON). Pour profiter au mieux de ses possibilités et en tirer le meilleur parti, nous vous suggérons de lire attentivement ce mode d'emploi avant toute utilisation, en ayant sous la main celui de votre appareil. Nous vous conseillons également de le garder toujours à portée de main.


## PRECAUTIONS

Pour éviter tout dommage ou erreur de manipulation, nous vous demandons de lire attentivement ce mode d'emploi avant d'utiliser votre appareil. Nous attirons particulièrement votre attention sur les deux signes d'avertissement ci-dessous.





 <b>Mise en garde !!</b>	La non prise en compte de cette mise en garde pourrait entraîner un accident grave ou un dommage sérieux au produit.
 <b>Avertissement !!</b>	Le non respect de cet avertissement pourrait entraîner un accident ou endommager le produit.
 Ce symbole marque un point important où la plus grande prudence est requise  Ce symbole correspond à une information qu'il convient de respecter	

### Mise en garde !!






 Ce flash comprend des circuits électriques à haut voltage. N'essayez jamais de démonter le produit, ceci pouvant entraîner une électrocution ou une brûlure. Si la coque est cassée ou fêlée, ne touchez pas les composants internes.

 Ne déclenchez jamais d'éclair à proximité des yeux. L'intensité lumineuse pourrait créer des dommages irréversibles. Laissez toujours une distance d'au moins 1m/3 pieds entre le visage

et l'appareil lorsque vous photographiez avec le flash.

-  Ne touchez pas la griffe lorsque le flash est monté sur l'appareil. Vous pourriez subir une décharge à haute tension.
-  N'utilisez jamais le flash dans un environnement de produits inflammables tels que gaz, produits chimiques, solvants, etc...en raison de risques d'incendie ou d'explosion.
-  Ne couvrez pas la tête du flash avec les mains et ne déclenchez le flash près de la peau, car ceci pourrait entraîner des brûlures.
-  Ne déclenchez pas le flash vers un automobiliste, car ceci pourrait provoquer un accident.

### Avertissement !!

-  N'utilisez pas ce flash avec un boîtier autre qu'un reflex Nikon. Sinon, il pourrait en résulter un dysfonctionnement ou un endommagement des circuits électroniques de l'appareil.
-  Ce flash n'est pas étanche. Tenez-le à l'abri en cas d'utilisation sous la pluie, la neige ou les embruns. Des circuits endommagés par l'eau sont souvent irréparables.
-  N'exposez pas votre flash, ni l'appareil, à un choc, à la poussière, à de très hautes températures ou à l'humidité. Ces éléments pourraient causer des dégâts ou un dysfonctionnement.
-  Si le flash est soumis à un brusque contraste de température, comme de passer d'un extérieur froid à un intérieur bien chauffé, une condensation peut se former à l'intérieur. Dans une telle circonstance, placez le flash dans un sac plastique fermé et ne l'utilisez pas tant qu'il n'a pas atteint la température de la pièce.
-  Ne rangez pas le flash dans un tiroir ou une armoire contenant de la naphthaline, du camphre ou tout autre insecticide. Ceci pourrait provoquer des dysfonctionnements.



N'employez pas de dissolvant, de benzène ou tout autre agent chimique pour nettoyer votre flash ou enlever des traces de doigts. N'utilisez qu'un chiffon doux et humide.



En cas de stockage prolongé, placez le flash dans un endroit sec et tempéré, de préférence ventilé. Faites le fonctionner plusieurs fois par mois pour entretenir le condensateur.



Ne déclenchez pas le flash si la tête du flash est recouverte avec des chiffons ou des vêtements, car ceci pourrait provoquer un incendie.

## ALIMENTATION ELECTRIQUE

Ce flash utilise quatre accus rechargeables Ni-MH de type « AA » ou 4 piles sèches alcalines.

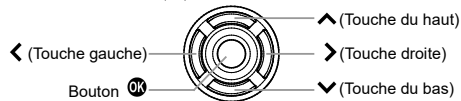
- Nettoyez les contacts des piles avant installation pour assurer une bonne conductivité
- Afin d'éviter tout risque d'explosion, d'écoulement ou de surchauffe, utilisez toujours quatre piles AA neuves de même type et de la même marque. Ne mélangez ni différents types, ni des piles neuves avec des piles usagées.
- Ne cherchez pas à démonter les piles, ni à les décharger. Ne les exposez ni au feu, ni à l'eau : il y aurait danger d'explosion. Ne rechargez pas des piles autres que des accus rechargeables Ni-MH.
- Si vous n'utilisez pas le flash pendant une longue période, ôtez les piles afin d'éviter tout risque d'écoulement.
- Il est toujours recommandé d'emporter des piles de rechange lors d'un long voyage ou en cas d'utilisation par grand froid.
- N'utilisez pas de piles AA/R6 Lithium. Ceci pourrait provoquer un dysfonctionnement de votre équipement.
- Veuillez suivre toutes les réglementations de votre pays de résidence concernant la collecte et le recyclage des piles et accumulateurs.

## DESCRIPTION DES ELEMENTS (P.2)

- |                                    |                                     |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. Tête Flash                      | 10. Interrupteur                    |
| 2. Récepteur de signal sans fil    | 11. Lampe témoin de charge /        |
| 3. Sélecteur de son électronique   | Bouton TEST                         |
| 4. Lumière d'assistance AF         | 12. Bouton de <b>OK</b>             |
| 5. Couvercle du compartiment piles | 13. Sélecteur                       |
| 6. Sabot                           | 14. Loquet de verrouillage du sabot |
| 7. Ecran LCD                       | 15. Molette                         |
| 8. Bouton de rétroéclairage        | 16. Prise Sync.                     |
| 9. Bouton de <b>MENU</b>           | 17. Réflecteur de lumière           |
|                                    | 18. Elargisseur d'angle             |

## SELECTEUR (13)

Dans ce mode d'emploi, chaque position du sélecteur est identifiée comme suit : **^ / v / < / >**.



- Les touches sont utilisées comme suit : pour monter ou descendre : touches **^** **v**. Pour aller à droite ou à gauche : touches **<** **>**.

## APPAREILS COMPATIBLES

Ce flash est compatible avec les appareils suivants.


Boîtiers reflex numériques compatibles avec le système d'éclairage créatif (CLS)

- Veuillez à utiliser un objectif compatible avec le boîtier utilisé.

## MISE EN PLACE DES PILES

1. Placez l'interrupteur en position **[OFF]** et ouvrez le compartiment piles en faisant glisser le couvercle. P.3-(1)
2. Suivez les indications du compartiment piles et insérez les piles en respectant les polarités + et – comme indiqué. P.3-(2)
3. Refermez le couvercle du compartiment piles. P.3-(3)
4. Placez l'interrupteur en position **[ON]**. Quand la charge du flash est suffisante pour déclencher un éclair, la lampe témoin de charge commence à clignoter en vert. Lorsque le flash est à pleine charge, la lampe témoin de charge s'allume en rouge.

### Avertissement!!

Si la charge des piles est faible, le symbole  s'affiche sur l'écran LCD. Quand les piles sont déchargées, l'icône ci-contre s'affiche et le flash cesse de fonctionner. Veuillez changer les piles.



### MESSAGE D'ERREUR

Lorsque le symbole **[ER]** s'affiche sur l'écran LCD, le flash peut avoir des défaillances. Éteignez et rallumez le flash ou vérifiez les piles. Si l'indication persiste, contacter votre revendeur.

### MISE EN VEILLE AUTOMATIQUE

Le flash se met en veille automatiquement après environ 80 secondes de non-activation, afin de préserver la puissance des piles. Pour le remettre en route, appuyez sur le bouton TEST ou appuyez à mi-course sur le déclencheur de l'appareil. La mise en veille automatique ne fonctionne pas en mode **[WL RX]**, **[R&FL NORMAL]** et en mode **[R&FL RX]**.

## MISE EN PLACE DU FLASH

1. Placez l'interrupteur en position **[OFF]**
2. Vérifiez que le loquet de verrouillage du sabot est en position **[UNLOCK ►]**. P.3-(4)
3. Insérez le flash sur la griffe de l'appareil jusqu'à la butée. Faites glisser le loquet de verrouillage du sabot dans la direction **[◀LOCK]** jusqu'à ce que le loquet soit bloqué avec un bruit de cliquetis. P.3-(5)

Lorsque vous retirez le flash, actionnez le loquet de verrouillage de sabot dans la direction **[UN LOCK►]** jusqu'à la butée tout en continuant d'appuyer sur le loquet de verrouillage du sabot. Puis retirez sur le flash.

### Avertissement!!

Si le flash est retiré alors que le loquet de verrouillage du sabot n'est pas en position **[UNLOCK►]**, la griffe de l'appareil photo et le sabot de fixation du flash pourraient être endommagés.

## RÉGLAGE DE LA TÊTE DU FLASH

En prise de vue générale, Placez la face de la tête flash vers l'avant. P.3-(6)

### Avertissement!!


Une fois l'interrupteur en position ON, si le symbole **[BOUNCE]** est indiqué dans la zone d'État, ou si l'indication de distance clignote dans la zone d'état, cela signifie que la tête du flash n'est pas correctement positionnée vers l'avant.

## LIMITES DES PRISES DE VUE CONSECUTIVES AU FLASH

Pour éviter une surchauffe, laissez le flash au repos au moins 10 minutes après des séquences de prises de vues consécutives en respectant le tableau ci-dessous.

Mode	Nombre d'éclairs
TTL, M(1/1,1/2)	20 éclairs consécutifs
M(1/4, 1/8)	25 éclairs consécutifs
M(1/16-1/32)	40 éclairs consécutifs
Stroboscopique	10 Cycles


### Avertissement!!

Si l'icône  apparaît sur l'affichage, la puissance de l'éclair sera limitée afin d'éviter la surchauffe des circuits du flash. N'utilisez pas le flash jusqu'à ce que l'icône disparaisse.

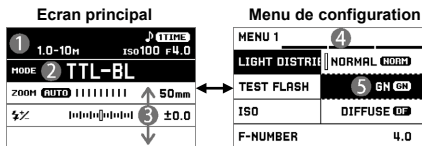
## RÉGLAGES DE BASE

Ce chapitre décrit les réglages de base. Avec le Flash EF-630, la plupart des réglages peuvent se faire facilement en suivant les étapes suivantes.

### Avertissement!!

Lorsque l'interrupteur est en position  (verrouillage), il est impossible de modifier les réglages. Assurez-vous qu'il est sur [ON] pour modifier les réglages.

Vous pouvez passer de l'écran principal au menu de configuration en utilisant le bouton **MENU**. (Lorsque vous positionnez l'interrupteur sur [ON], l'Écran principal s'affiche en premier).





Modifie le Mode flash et définit les détails de chaque Mode flash.

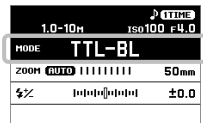
Ajoute des fonctions optionnelles de prise de vue au flash et définit les réglages de base du flash

- ① Zone d'état
- ② Zone de mode flash
- ③ Zone des détails de mode
- ④ Barre des tâches
- ⑤ Sous-menu



## OPERATIONS DE BASES SUR L'ECRAN PRINCIPAL

### SELECTION DU MODE FLASH

Sélectionnez la zone de mode flash en utilisant les touches  et modifiez le mode flash en utilisant les touches  ou la molette.



### SELECTION DES DÉTAILS DU MODE FLASH

Sélectionnez la zone de détails du mode en utilisant les touches  et modifier les valeurs de réglage en utilisant les touches  ou la molette.



## OPERATION DE BASE DANS LE MENU DE CONFIGURATION

Pour passer d'un onglet à l'autre, tournez la molette. (Lorsque le curseur est positionné sur la barre des tâches, il est aussi possible de changer de onglet en appuyant sur les touches <>)

### Dans le menu de configuration:

Utilisez les touches  $\diamond$  pour sélectionner des éléments du menu. Appuyez sur le bouton **OK** ou la touche  $\triangleright$  pour ouvrir des sous-menus ou des boîtes de dialogue. (Dans certains réglages, un écran spécial ou un message peut apparaître.)

### Dans un sous-menu de configuration:

Utilisez les touches  $\diamond$  pour sélectionner des options de réglage. Appuyez sur le bouton **OK** ou la touche  $\triangleright$  pour appliquer les nouveaux réglages. (Appuyez sur la touche  $\triangleleft$  pour fermer les sous-menus sans appliquer de modification)

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	ON
LCD LIGHT	AUTO
DISPLAY SETTING	...
M / FEET	M

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	ON $\triangleright$
LCD LIGHT	AUTO
DISPLAY SETTING	...
M / FEET	M

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	OFF
LCD LIGHT	ON
DISPLAY SETTING	ONLY
M / FEET	M

## FLASH AUTO i-TTL

Le boîtier mesure la lumière reflétée par des pré-éclair et assure la puissance de flash optimale. Il est possible de sélectionner l'une des deux méthodes suivantes :

### i-TTL balanced fill-flash (Mode Flash : [TTL-BL])

La puissance est calculée pour assurer une exposition équilibrée entre le sujet et l'arrière-plan.

- Si le mode de mesure de la lumière est réglé sur la mesure spot, cette méthode d'éclairage n'est pas disponible.

### i-TTL standard (Mode Flash : [TTL])

La puissance du flash est calculée pour assurer une bonne exposition sans tenir compte de l'exposition de l'arrière-plan.

1. Placez le mode flash sur [TTL-BL] ou [TTL].
2. Vérifiez que le sujet est dans la zone couverte par le flash en vérifiant l'information de distance dans la zone d'État.
3. Vérifiez la charge du flash avec la lampe témoin de charge et commencez la prise de vue.

1.0-10M ISO100 F4.0	
MODE	TTL-BL
ZOOM	AUTO                 50mm
±%	±0.0

Si le symbole **NG** s'affiche pendant cinq secondes juste après la prise de vue, la puissance de flash est trop forte ou trop faible. Changez la condition de prise de vue puis recommencez.

### VITESSE D'OBTURATION ET OUVERTURE

Les relations entre les vitesses d'obturation et les ouvertures dans les différents modes d'exposition de l'appareil sont indiquées ci-dessous :

	Vitesse d'obturation	Ouverture
<b>P</b>	Fixée automatiquement (1/60sec*1 - vitesse de synchronisation du flash*2)	Fixée automatiquement
<b>A</b>		Peut être fixée librement.
<b>S</b>	Permet De choisir librement la vitesse dès lors qu'elle est égale ou inférieure à la vitesse de synchronisation du flash*2.	Fixée automatiquement
<b>M</b>		Peut être fixée librement.

\*1 Avec certains boîtiers, des vitesses d'obturation plus lentes peuvent être choisies sans restrictions. De plus, si le mode flash du boîtier est réglé sur [Sync lente], il n'y a aucune limite à la vitesse d'obturation disponible.

\*2 Si le boîtier est sur Flash FP, il n'y a aucune limite à la vitesse d'obturation la plus rapide.

## Avertissement!!

Si vous photographiez alors que le témoin d'alerte d'exposition du boîtier fonctionne, il peut en résulter une sur- ou sous-exposition. Dans ce cas, changez les conditions de prise de vue.

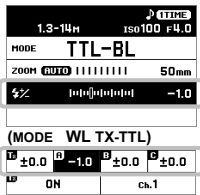
## CORRECTION D'EXPOSITION AU FLASH

La correction de la seule puissance du flash est possible pour ne pas affecter l'exposition de l'arrière-plan.

Elle peut être utilisée en mode flash [TTL], [TTL-BL], [GN-M] et [WL TX-TTL].

Définissez la valeur du niveau de correction dans la zone de détails du mode. (La correction peut être paramétrée à  $\pm 3$  IL par palier de 1/3 de valeur).

- La correction d'exposition au flash est disponible aussi avec le boîtier. Si une correction est activée à la fois sur l'appareil et le flash, la prise de vue se fera avec une valeur de correction combinée.

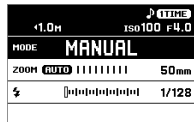


## FLASH MANUEL

IL est possible de gérer librement la puissance du flash.

- Réglez le Mode flash sur [MANUAL].
- Réglez la puissance du flash dans la zone de détails du mode. (Plage disponible pour le réglage : 1/128 à 1/1, par incréments de 1/3 de valeur.)
- Vérifiez la charge du flash avec la lampe témoin de charge et commencez la prise de vue.

Dans la partie consacrée à l'affichage de la distance dans la zone d'état,



la distance exposée de façon appropriée est affichée. Avec la même puissance de flash, la distance d'exposition appropriée varie si la sensibilité ISO de l'appareil photo ou la valeur de l'ouverture est modifiée.

L'exposition appropriée lorsque vous utilisez le flash en mode manuel peut être calculée selon la formule suivante : Nombre guide (NG) / Distance de prise de vue (m) = valeur de l'ouverture (F)

Pour le NG (Nombre guide) de ce flash, veuillez consulter le [tableau 1] disponible à la fin du mode d'emploi.

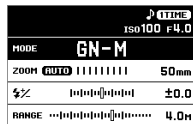
## FLASH MANUEL A PRIORITE DISTANCE

Dans ce mode manuel, la puissance du flash sera ajustée automatiquement en fonction de la distance retenue.

- Réglez le Mode flash sur [GN-M].

- Dans la zone de détail du mode, entrez la distance du sujet. (si la distance retenue excède la plage sélectionnable, modifiez l'ouverture, ou le réglage ISO, etc...)

- Vérifiez la charge du flash avec la lampe témoin de charge et commencez la prise de vue.

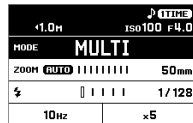


## MODE FLASH STROBOSCOPIQUE (MULTI FLASH)

Le Reproduire le mouvement du sujet en le décomposant dans une image est possible en émettant des éclairs successifs avec le flash tandis que l'obturateur reste ouvert.

Utilisez le mode d'exposition manuel ("M") de l'appareil photo.

- Réglez le mode flash sur [MULTI].



2. Dans la zone détails mode, réglez la puissance du flash, la fréquence du flash en Hz (ex.: 10Hz = émission d'éclairs avec la fréquence de 10 fois par seconde) et le nombre d'éclairs en « x ».
3. Réglez une vitesse d'obturation inférieure à la valeur du « nombre d'éclairs » / « fréquence du flash »
4. Vérifiez la charge du flash avec la lampe témoin de charge et commencez la prise de vue.

Le nombre d'éclairs pouvant être déclenchés en continu varie en fonction de la combinaison de la puissance du flash et la fréquence des éclairs. Veuillez consulter le [tableau 2] disponible à la fin de ce mode d'emploi.

## FLASH SANS CORDON

Lorsque le flash est utilisé de façon éloignée de l'appareil, les possibilités créatives en sont étendues. Le flash EF-630 est contrôlé à distance par le flash intégré de l'appareil photo ou par un flash émetteur(TX) distinct.

- Le flash fixé à l'appareil est appelé [Flash Émetteur(TX)], et le flash utilisé à distance de l'appareil photo est appelé [Flash Récepteur(RX)].
- Placez le flash à une distance comprise entre 0,5m et 5m (1.6 ~16pieds) du sujet, et l'appareil également à une distance comprise entre 0,5m et 5m (1.6 ~16pieds) du sujet.
- Lorsque vous installez un flash Récepteur à un endroit donné, vous pouvez utiliser le support livré avec le flash. Ce support comporte un pas de vis pour trépied.
- Le mode Flash distant sans fil peut être activé par le flash intégré de l'appareil (seulement les boîtiers disposant de la fonction [Mode contrôleur]). Pour les réglages de l'appareil, nous vous conseillons de vous reporter au mode d'emploi de votre appareil.
- Le flash EF-630 est utilisable également en combinaison avec le flash EF-610 DG SUPER NA-ITTL. Dans ce cas, utilisez le EF-610

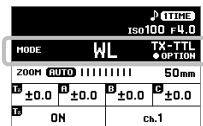
DG SUPER comme flash récepteur. Lorsque vous réglez le flash EF-610 DG SUPER, consultez le mode d'emploi du flash EF-610 DG SUPER (la méthode de numérotation de l'ID du flash EF-610 DG SUPER récepteur est différente. Consultez le tableau ci-dessous).

ID EF-630 récepteur	A	B	C
ID EF-610 DG SUPER récepteur	1	2	3

## PRÉPARATION POUR LE FLASH DISTANT SANS FIL (FLASH ÉMETTEUR(TX))

### SELECTION DU MODE FLASH

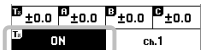
Choisissez le mode flash sans cordon parmi [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL] et [WL TX-MULTI].



### RÉGLAGE DU FLASH ÉMETTEUR

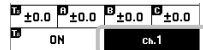
Ceci permet de régler le flash "Émetteur" uniquement comme flash de commande ou comme flash de commande et d'éclairage.

<b>ON</b>	Fonction de commande + Flash
<b>OFF</b>	Fonction de commande exclusivement



### RÉGLAGE DU CANAL

Lorsqu'une autre personne utilise un flash distant sans fil, veuillez sélectionner un canal différent afin d'éviter un problème de communication (il est possible de sélectionner les canaux de 1 à 4).



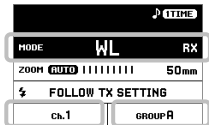
## PRÉPARATION POUR LE FLASH DISTANT SANS FIL (FLASH RECEPTEUR)

1. Réglez le mode flash sur [WL RX].



2. Dans la zone de détails du mode, sélectionnez le même canal que le flash émetteur.

3. Dans la zone de détail du Mode, choisissez le groupe flash souhaité (A, B ou C).



## FLASH DISTANT AUTOMATIQUE i-TTL

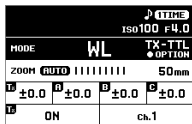
En mode distant sans fil automatique i-TTL, le boîtier règle automatiquement l'exposition à la valeur appropriée.

### REGLAGE DU FLASH ÉMETTEUR

1. Réglez le mode flash sur [WL TX-TTL].

2. Si nécessaire, dans la zone de détails du mode, sélectionnez le même canal que le flash émetteur.

3. Si nécessaire, réglez la valeur de correction d'exposition au flash de chaque groupe émetteur ou récepteur dans la zone de détail du mode.



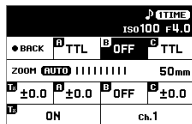
• Il est possible de faire passer un groupe récepteur en mode manuel ou de le rendre inopérant.

① Appuyez sur **OK** quand le mode flash est sélectionné pour faire défiler l'affichage et montrer le mode flash du ou des flash(es) récepteur(s)

② Sélectionnez le groupe à modifier et réglez-le sur [M] (flash manuel) ou [OFF] (annulation).

③ Sélectionnez [BACK] et appuyez sur **OK** pour revenir à l'écran précédent.

④ Choisissez dans la zone de détail du mode la puissance du groupe réglé en mode de flash manuel.



## REGLAGE DU FLASH RÉCEPTEUR

4. Effectuez le réglage en suivant le processus «PRÉPARATION POUR LE FLASH DISTANT SANS FIL (FLASH RÉCEPTEUR)».

5. Placez le flash récepteur, vérifiez l'état de charge du flash et puis commencez la prise de vue (La charge est notifiée sur le flash récepteur par le clignotement de la lumière d'assistance AF.)

• Juste après la prise de vue, un bip d'alerte sera émis si un groupe est sous-exposé (se référer à [SON ELECTRONIQUE] en page 63). Dans un tel cas, modifiez les réglages et recommencez la prise de vue.

## FLASH MANUEL SANS FIL

Tout comme pour la photographie au flash manuel, la prise de vue sans fil avec réglage manuel de la puissance du flash est également disponible. Déterminez l'exposition en utilisant un flashmètre disponible dans le commerce.

### REGLAGE DU FLASH ÉMETTEUR

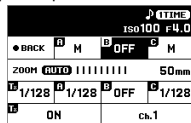
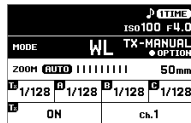
1. Réglez le mode flash sur [WL TX-MANUAL].

2. Si nécessaire, dans la zone de détails du mode, sélectionnez le même canal que le flash émetteur.

3. Dans la zone de détail du mode, réglez la puissance de chaque groupe (y compris le flash émetteur si le flash émetteur est activé). (Plage disponible pour le réglage: 1/128 à 1/1, par incréments de 1/3 de valeur.)

• Il est possible de faire passer un groupe récepteur en mode i-TTL auto ou de le rendre inopérant.

① Appuyez sur **OK** quand le mode flash est sélectionné pour faire défiler l'affichage et montrer le mode flash du ou des flash(es) récepteur(s)



- ② Sélectionnez le groupe à modifier et réglez-le sur **[TTL]** (i-TTL auto) ou **[OFF]** (annulation).
- ③ Sélectionnez **[BACK]** et appuyez sur **OK** pour revenir à l'écran précédent.
- ④ Si nécessaire, choisissez dans la zone de détail du mode la valeur de correction d'exposition au flash du groupe réglé en i-TTL auto.

### RÉGLAGE DU FLASH RÉCEPTEUR

4. Réglez le mode flash sur **[WL RX]**.
5. Effectuez le réglage en suivant le processus «PREPARATION POUR LE FLASH DISTANT SANS FIL (FLASH RÉCEPTEUR)».
6. Placez le flash récepteur, vérifiez l'état de charge du flash et puis commencez la prise de vue (La charge est notifiée sur le flash récepteur par le clignotement de la lumière d'assistance AF.)

### FLASH DISTANT STROBOSCOPIQUE

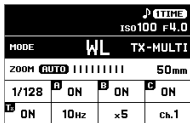
Le mode flash distant stroboscopique est disponible pour un flash ou pour plusieurs flashes.

Utilisez le mode d'exposition manuel ("M") de l'appareil photo.

### REGLAGE DU FLASH ÉMETTEUR

1. Réglez le mode flash sur **[WL TX-MULTI]**.
2. Si nécessaire, dans la zone de détails du mode, sélectionnez le même canal que le flash émetteur.
3. Dans la zone détails mode, réglez la puissance du flash, la fréquence du flash en Hz (ex.: 10 Hz = émission d'éclairs avec la fréquence de 10 fois par seconde) et le nombre d'éclairs en « X ».

- N'importe quel groupe récepteur peut être désactivé. Sélectionnez-



le dans la zone de détail du mode et réglez-le sur **[OFF]**.

### RÉGLAGE DU FLASH RÉCEPTEUR

4. Effectuez le réglage en suivant le processus «PREPARATION POUR LE FLASH DISTANT SANS FIL (FLASH RÉCEPTEUR)».
5. Réglez une vitesse d'obturation inférieure à la valeur du « nombre d'éclairs » / « fréquence du flash »
6. Placez le flash récepteur, vérifiez l'état de charge du flash et puis commencez la prise de vue (La charge est notifiée sur le flash récepteur par le clignotement de la lumière d'assistance AF.)

### FONCTION FLASH ET RÉCEPTEUR

Le flash EF-630 comprend une fonction qui lui permet de se déclencher en réagissant à la lumière d'un autre flash. Cela facilite la prise de vue avec le flash positionné à distance de l'appareil. Néanmoins, la puissance de sortie n'est pas automatiquement ajustée dans ce mode.

### FONCTION FLASH ET RÉCEPTEUR NORMAL

Le flash émetteur positionné sur l'appareil peut être utilisé pour déclencher un flash synchronisé avec le flash EF-630, même lorsqu'il est positionné à distance de l'appareil.

Réglez le flash émetteur en mode manuel et réglez la puissance du flash à environ 1/16.

- Le flash intégré au boîtier peut être utilisé en tant que flash de contrôle. Placez-le en mode manuel avec le boîtier et réglez la puissance sur environ 1/16.

Réglez le mode d'exposition de l'appareil sur M, la vitesse d'obturation à 1/30 seconde ou moins et l'ouverture et la sensibilité ISO à des valeurs choisies.

1. Réglez le Mode flash du flash EF-630 récepteur sur **[R&FL NORMAL]**.
2. Dans la zone des détails de mode, réglez la sensibilité ISO et les valeurs d'ouverture à celles des réglages de l'appareil.
3. Ajustez la puissance du flash dans la zone des détails de mode afin que la distance entre le flash récepteur et le sujet soit approximativement identique à la distance indiquée dans la zone d'état.
4. Assurez-vous que le flash est chargé et commencez la prise de vue.

1.0M		TIME	
MODE	<b>R&amp;FL</b>	NORMAL	
ZOOM	(AUTO) [     ]	24mm	
f	[     ]	1/128	
ISO	100	F4.0	

## FONCTION FLASH ET RÉCEPTEUR DÉDIÉ

Si vous utilisez deux ou plus de deux flashes EF-630, vous pouvez désigner quels flashes se déclencheront ensemble en paramétrant des canaux de communication. Dans ce mode, un flash sera utilisé comme Récepteur de contrôle et les autres de flashes Récepteur d'éclairage.

Réglez le mode d'exposition de l'appareil sur M, la vitesse d'obturation à 1/30 seconde ou moins et l'ouverture et la sensibilité ISO à des valeurs choisies.

### PRÉPARATION DU FLASH DE CONTRÔLE (ÉMETTEUR)

1. Réglez le Mode flash sur **[R&FL TX]**.
2. Réglez le canal si nécessaire (dans la zone de détail du mode, sélectionnez-le de Ch.1 à Ch.3.)

1.0M		TIME	
MODE	<b>R&amp;FL</b>	TX	
ZOOM	SET AT 24mm		
f	CONTROL ONLY		
	ch.1		

### PRÉPARATION DU FLASH D'ÉCLAIRAGE (RÉCEPTEUR)

3. Réglez le Mode flash sur **[R&FL RX]**.
4. Dans la zone des détails de mode, choisissez le canal pour correspondre à celui du flash de contrôle
5. Dans la zone des détails de mode, réglez la sensibilité ISO et la valeur d'ouverture pour correspondre à celles du flash de contrôle.

6. Ajustez la puissance du flash dans la zone des détails de mode afin que la distance entre le flash récepteur et le sujet soit approximativement identique à la distance indiquée dans la zone d'état.
7. Assurez-vous que le flash est chargé et commencez la prise de vue.

1.0M		TIME	
MODE	<b>R&amp;FL</b>	RX	
ZOOM	(AUTO) [     ]	24mm	
f	[     ]	1/128	
ch.1	ISO100	F4.0	

- En mode récepteur, ce flash peut également être utilisé en combinaison avec le flash EF-630 et / ou EF-610 DG SUPER pour les autres applications de l'appareil. (Pour plus de détails sur le paramétrage du flash EF-610 DG SUPER, veuillez consulter le mode d'emploi.)

## FONCTIONS OPTIONNELLES

Ce chapitre décrit les fonctions optionnelles qui peuvent être paramétrées et ajoutées dans le menu de configuration.

### MODE DE REPARTITION DE LA LUMIÈRE (MENU 1)

Le flash EF-630 possède trois modes de dispersion de la lumière qui peuvent être choisis selon le type d'utilisation.

[MENU 1] → [LIGHT DISTRIBUTION]

<b>NORMAL</b> - (Par défaut)	<b>Répartition normale de la lumière</b> Dispersion normale pour une prise de vue classique.
<b>GN</b> <b>GN</b>	<b>Priorité au Nombre guide dans la dispersion de la lumière</b> Le faisceau du flash est concentré pour assurer un plus grand Nombre Guide.
<b>DIFFUSE</b> <b>DF</b>	<b>Répartition de la lumière uniforme</b> Évite la diminution de la quantité de lumière en périphérie pour une répartition plus uniforme de la lumière.

## TEST DU FLASH (MENU 1)

Le flash EF-630 dispose de deux modes de test du flash. L'un des modes test du flash peut être affecté au bouton TEST.

### [MENU 1] → [TEST FLASH]

<b>1 TIME (1 FOIS)</b> <b>1TIME</b> (Par défaut)	<b>Test du flash</b> Exécute un seul test du flash.
<b>MODELING (LAMPE PILOTE)</b> <b>MODEL</b>	<b>Lampe Pilote</b> Elle peut être utilisée en mode flash [TTL], [TTL-BL], [MANUAL] [GN-M] et [MULTI]. Lorsque le bouton TEST est maintenu enfoncé, le flash clignote en continu pendant environ 1,5 secondes afin de vérifier les ombres du sujet.

### Avertissement!!

Le paramètre [MODELING] ne peut pas être sélectionné dans les modes de flash où l'utilisation de la lampe pilote n'est pas disponible.

- Si l'appareil dispose de la fonction de flash prédictif, il est activable avec le testeur de profondeur de champ. (la fonction est accessible en [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], ou [WL TX-MULTI])

## MODE PERSONNALISÉ (MENU 2)

Il est possible de mémoriser et de rappeler des réglages personnalisés. (Deux séries de réglages personnalisés peuvent être enregistrés).

### ENREGISTREMENT ET RAPPEL DES REGLAGES PERSONNALISES

1. Réglez le mode flash, la zone des détails de mode et le contenu du menu de configuration comme vous le désirez.

The screenshot shows the camera's LCD display with the following information:

- Top right: **1 TIME** (with a small '1' icon)
- Top center: **1.3-14M**
- Top right: **ISO100 F4.0**
- Center: **MODE C1 TTL-BL**
- Bottom left: **ZOOM AUTO** followed by a bar graph with 11 vertical bars of varying heights.
- Bottom right: **50mm**
- Bottom center: **1/1000** followed by a bar graph with 11 vertical bars of varying heights.
- Bottom right: **-1.0**

2. Dans [MENU 2] → [CUSTOM MODE SETTING], sélectionnez [C1] ou [C2] et appuyez sur le bouton **OK**.
3. Sélectionnez **[OK]** et confirmez avec le bouton **OK**.

Le contenu enregistré est ajouté au mode flash en tant que mode personnalisé. (un mode personnalisé est indiqué par le symbole **C1** ou **C2** dans la zone de mode flash.)

## SUPPRESSION D'UN MODE PERSONNALISÉ ENREGISTRÉ

1. Dans [MENU 2] → [CUSTOM MODE DELETE], sélectionnez [C1] ou [C2] et appuyez sur le bouton **OK**.
2. Sélectionnez **[OK]** et confirmez avec le bouton **OK**.

## LUMIÈRE D'ASSISTANCE AF (MENU 3)

La lumière d'assistance AF s'allume automatiquement lorsque vous photographiez un sujet dans un endroit sombre. La portée effective de la lumière d'assistance AF est d'environ 0,7 à 10 mètres.

### [MENU 3] → [AF ASSIST LIGHT]


<b>OFF</b>	L'assistance AF est désactivée.
<b>ON</b> (Par défaut)	L'assistance AF est utilisée pour éclairer les zones sombres.
<b>ONLY</b>	Le flash ne sert que pour l'assistance AF si [ASSISTANCE AF SEULEMENT] est sélectionné dans la zone de détail du mode)

## ÉCLAIRAGE ÉCRAN LCD (MENU 3)

Lorsque vous allumez le flash, l'écran LCD s'allume. Les réglages ON/OFF de l'éclairage peuvent être modifiés.

### [MENU 3] → [LCD LIGHT]

<b>AUTO</b> (Par défaut)	La lumière s'éteint après 8 secondes d'inactivité et se rallume automatiquement si un bouton ou la molette est utilisé.
<b>8 SEC</b>	Indépendamment d'une action sur un bouton ou la molette, la lumière s'éteint au bout de 8 secondes.
<b>ON</b>	L'éclairage est continuellement activé.


- Quel que soit le réglage, l'éclairage peut être activé/désactivé en appuyant sur le bouton .


### AJUSTEMENT DE L'ECRAN LCD (MENU 3)

Le contraste et la luminosité de l'écran LCD peuvent être ajustés.

[MENU 3] → [DISPLAY SETTING]

<b>BRIGHTNESS</b>	<b>LUMINOSITE</b> Réglez la luminosité désirée en utilisant les touches <>.
<b>CONTRAST</b>	<b>CONTRASTE</b> Réglez le contraste au niveau désiré en utilisant les touches <>.

Pour terminer le réglage, sélectionnez [OK] et validez avec le bouton .

Pour annuler le réglage, sélectionnez [CANCEL] et validez avec le bouton .

### MODIFICATION DES UNITÉS DE MESURE (MENU 3)

L'unité de mesure dans la zone d'état peut être changée.

[MENU 3] → [M / FEET]

<b>M</b> (Par défaut)	Indication en mètre
<b>FEET</b>	Indication en pied

### INFORMATION DU FLASH (MENU 4)

Les informations suivantes peuvent être vérifiées.


[MENU 4] → [INFORMATION]

<b>MODEL</b>	Nom du modèle
<b>SERIAL No.</b>	Numéro de série
<b>VERSION</b>	Version du Firmware

### INITIALISATION DES REGLAGES (MENU 4)

Il est possible de réinitialiser le flash dans ses réglages usine.

[MENU 4] → [RESET SETTINGS]

Pour réinitialiser le réglage, sélectionnez [OK] et validez avec le bouton .

- Lorsque les réglages sont réinitialisés, les modes personnalisés enregistrés sont supprimés.

### AUTRES FONCTIONS UTILES

#### RÉGLAGE DE LA TÊTE FLASH

Lorsque le réglage tête du flash est utilisé en **AUTO** (Auto), le flash ajuste automatiquement et de façon optimale, l'angle de flash en fonction de la focale de l'objectif.

- La tête flash prenant en compte la taille du capteur d'image de l'appareil, la focale affichée sur le flash peut être différente de celle de l'objectif.
- Selon le mode flash, le réglage de la tête flash peut être géré indépendamment de la focale de l'objectif.

Le réglage de la tête flash peut être modifié manuellement. Appuyez sur les touches <> situées dans la zone détails mode.



AUTO ⇔ 24 ⇔ 28 ⇔ 35 ⇔ 50 ⇔ 70 ⇔ 85 ⇔ 105 ⇔ 135 ⇔ 200mm

- La portée de l'éclair du flash varie en fonction de la position de la tête zoom.

## ELARGISSEUR D'ANGLE

Ce flash est pourvu d'un élargisseur d'angle intégré qui procure une couverture d'angle pour une focale de 17mm. Pour l'utiliser, veuillez extraire avec précaution l'élargisseur et le réflecteur et les rabattre devant la tête flash. Remettez ensuite le réflecteur dans son logement. P.3-(7)

- La section correspondant aux indications de la tête flash dans la zone des détails de mode affiche le symbole **WP** lorsque l'élargisseur d'angle est utilisé.

## FLASH INDIRECT

En déclenchant le flash vers le plafond ou vers un mur, il est possible de disperser la lumière et de prendre des photos avec une lumière douce et des ombres réduites.

La tête flash peut être orientée vers le haut à 90°, vers le bas à 7° et sur les côtés droit et gauche à 180°. P.3-(8)

- En flash indirect, le symbole **BOUNCE** est affiché dans la zone d'état.
- La lumière prenant la teinte de la surface sur laquelle elle se réfléchit, il est recommandé de choisir une surface blanche. Selon

les propriétés réfléchissantes de la surface, la distance du sujet et d'autres facteurs, l'intensité et la distance réelle parcourue par l'éclair peuvent varier.

## PRISE DE VUE RAPPROCHEE

En inclinant la tête flash vers le bas de 7°, la partie inférieure de la vue peut être suffisamment lumineuse pour les plans rapprochés.

- En cas de position indirecte de 7° vers le bas, l'indication de distance dans la zone d'état clignote.

## REFLECTEUR DE LUMIERE

Ce flash est pourvu d'un réflecteur de lumière intégré qui permet de créer un effet de lumière harmonieux dans les yeux du sujet en mode d'éclairage indirect. Pour l'utiliser, veuillez extraire avec précaution l'élargisseur et le réflecteur et les rabattre devant la tête flash. Remettez ensuite le diffuseur dans son logement. P.3-(9)

- Pour tirer le meilleur parti du diffuseur, orientez la tête à 90° vers le haut et photographiez à faible distance. P.3-(10)

## PRISE SYNC.

Le flash EF-630 dispose d'une prise synchro permettant de le connecter à l'appareil par un câble synchro flash disponible dans le commerce.

Lorsque vous photographiez avec un câble de synchro, utilisez le Flash en mode **[MANUAL]**.



Dans **[MENU 1]** → **[ISO]** **[F-NUMBER]**, réglez la sensibilité ISO et la valeur de l'ouverture (F) pour qu'ils correspondent ceux de l'appareil. Réglez la puissance du flash dans la zone des détails de mode jusqu'à ce que la distance affichée dans la zone d'état soit approximativement identique à la distance entre le flash et le sujet.


## Avertissement!!

Le Flash Auto i-TTL-BL /i-TTL ne fonctionne pas si la prise synchro est utilisée.

La prise synchro du flash EF-630 est compatible avec les prises qui ont une polarité positive (+) sur le contact central et une polarité négative (-) sur le tour. Si la prise a une polarité inversée, utilisez un cordon de conversion de polarité disponible dans le commerce.


## PRÉVENTION DE MISE EN MARCHÉ INOPINÉE

Lorsque l'interrupteur est sur la position  (verrouillage), les opérations autres que celles sur le bouton TEST et le bouton  ne sont plus possibles, empêchant ainsi toute modification accidentelle des réglages du flash.

- Pendant que le flash est verrouillé, le symbole  s'affiche dans la zone d'état.

## SON ELECTRONIQUE

Certaines conditions du flash sont indiquées par un son, ce qui les rend faciles à reconnaître sans avoir à regarder l'écran LCD.

Tournez le sélecteur de son électronique situé sur le devant sur **[ON]**. (Lorsqu'il est mis sur ON, le symbole  s'affiche dans la zone d'État.)

Un son court	Indique la fin de la charge
Deux sons longs	Valeur d'exposition au flash insuffisante ou excessive
Un son long (2 SEC.)	Attention erreur

## FONCTIONS A RÉGLER AVEC LE BOÎTIER

### MEMORISATION D'EXPOSITION AU FLASH (FV LOCK)

Il s'agit d'une méthode de prise de vue qui expose une partie précise du sujet avec l'exposition correcte au flash.


Elle peut être utilisée en mode flash **[TTL]**, **[TTL-BL]** et **[WL TX-TTL]**.

- Pour plus de détails, veuillez vous référer au mode d'emploi du boîtier.

### SYNCHRONISATION SUR LE DEUXIEME RIDEAU

Dans ce mode, le flash est activé juste avant la fermeture du rideau. L'écho lumineux du sujet en mouvement est capturé derrière lui, donnant ainsi un effet plus naturel du mouvement sur la photo.

Elle peut être utilisée en mode flash **[TTL]**, **[TTL-BL]**, **[MANUAL]**, **[GN-M]**, **[WL TX-TTL]** et **[WL TX-MANUAL]**.

- Si la synchronisation sur le second rideau est activée par le boîtier, le symbole  s'affiche dans la zone d'état.

### SYNCHRONISATION GRANDE VITESSE FP

La synchronisation rapide (Grande Vitesse) permet d'émettre un flash même si le rideau de l'obturateur est en mouvement. Vous pouvez ainsi utiliser une vitesse d'obturation plus rapide que la vitesse de synchronisation.

Elle peut être utilisée en mode flash **[TTL]**, **[TTL-BL]**, **[MANUAL]**, **[GN-M]**, **[WL TX-TTL]** et **[WL TX-MANUAL]**.

- Si la synchronisation ultra-rapide est activée avec le boîtier, le symbole **FP** s'affiche dans la zone d'état.

En mode **[TTL]**/**[TTL-BL]**, assurez-vous que le sujet est dans le champ de prise de vue en contrôlant la distance indiquée dans la

zone d'état avant de commencer la prise de vue.


En mode **[MANUAL]**, réglez l'ouverture, etc. avant de commencer la prise de vue afin de faire correspondre la distance jusqu'au sujet et celle indiquée sur la zone d'état.

Le Nombre Guide change en fonction de la vitesse d'obturation (voir le tableau 3 en dernière page)

## REDUCTION DE L'EFFET "YEUX ROUGES"

When taking a picture with flash, sometimes the person's eyes reflect the flashlight and will exhibit "red-eye" in the picture. If you use the "Red-eye reduction" function, the flash will blink for approximately 1 second before the shutter is released to reduce the "red-eye" effect.

Elle peut être utilisée en mode flash **[TTL]**, **[TTL-BL]**, **[MANUAL]**, **[GN-M]**, **[MULTI]**, **[WL TX-TTL]**, **[WL TX-MANUAL]**, **[WL TX-MULTI]** et **[R&FL TX]**.

- Si l'atténuation des yeux rouges est activée avec le boîtier, le symbole  s'affiche dans la zone d'état.

## CARACTERISTIQUES TECHNIQUES

TYPE : Flash électronique à tête zoom automatique et orientable à contrôle TTL

NOMBRE GUIDE : 63 (100 ISO/m, avec réflecteur en position 200mm)

ALIMENTATION : Quatre piles alcalines de type AA ou  
: Quatre accumulateurs Ni-Mh de type AA

TEMPS DE RECYCLAGE : environ 3,0 sec. (avec piles alcalines)  
: environ 1,8 sec. (accus Ni-Mh)

NOMBRE D'ECLAIRS : environ 120 éclairs (piles alcalines)  
: environ about 185 éclairs (accus Ni-Mh)

DUREE DE L'ECLAIR : environ 1 / 700 sec. (à pleine puissance)

ANGLE D'ECLAIRAGE : 24~200mm avec motorisation automatique  
17mm avec l'élargisseur d'angle intégré.

POIDS : 490 g

DIMENSIONS : 79.4mm(l) x 148.4mm(H) x 121.5mm(L)



Le label CE garantit la conformité aux normes établies par la Communauté Européenne.

SIGMA (Deutschland) GmbH

Carl Zeiss Str. 10/2, D 63322 Rödermark, F.R.GERMANY

Sales: 06074 / 865 16 0 Service: 06074 / 865 16 65

Support: 06074 / 865 16 88 E-Mail: info@sigma-foto.de



### Elimination des Déchets d'Equipements Electriques et Electroniques ménagers

(Applicable dans l'Union Européenne selon les dispositions particulières de chaque Etat membre)





Ce symbole inscrit sur le produit ou sur l'emballage, le mode d'emploi et la carte de garantie indique que le produit ne doit pas être éliminé avec les autres déchets ménagers. Il doit être remis à un point de collecte agréé des Déchets d'Equipements Electrique et Electroniques en fin de vie. En vous assurant que ce produit sera éliminé correctement, vous aiderez à lutter contre l'impact négatif pour l'environnement et la santé humaine qui résulterait d'un mode d'élimination inapproprié. Si votre produit contient des accumulateurs ou piles aisément amovibles, éliminez-les séparément selon les dispositions locales en vigueur.




Muchas gracias por comprar el Flash electrónico Sigma EF-630 (PARA NIKON). Para utilizar la mayoría de estas características, y obtener el máximo rendimiento y disfrutar de su flash, por favor lea este libro de instrucciones junto con el manual de su cámara antes de utilizar el flash, y guárdelo a mano para próximas consultas.


**PRECAUCIONES**


Para evitar posibles daños o perjuicios. Por favor lea el manual de instrucciones muy atentamente, y preste atención a los símbolos de precaución que vienen a continuación antes de utilizar el flash. Por favor tome nota de los dos símbolos de precaución que aparecen a continuación.


 <b>Advertencia!!</b>	Ignorar el símbolo de Advertencia al utilizar este producto, puede causar serio perjuicios o otros daños.
 <b>Cuidado!!</b>	Ignorar el símbolo de Advertencia al utilizar este producto, puede causar daños o perjuicios.
	Este símbolo significa puntos importantes, que se requiere cuidado o advertencia.
	Este símbolo contiene información con respecto a acciones que deben prevenir.


 **Advertencia!!**


 Este flash contiene circuitos de alto voltaje. Para evitar quemaduras no intente desmontar el flash. Si la carcasa exterior se rompe no toque los mecanismos interiores.

 No dispare el flash cerca de los ojos. El brillo del destello podría dañar los ojos. Mantenga una distancia de al menos 1m entre la cara y la cámara, cuando realice fotografías con flash.


 No toque el terminal sincro de la cámara cuando el flash está conectado a la zapata. El circuito de alto voltaje podría causar un shock eléctrico.


 Nunca utilice el equipo en ambientes inflamables, con llamas, gases, líquidos o químicos, etc. Podría causar un incendio o una explosión.


 No cubra el cabezal del flash con las manos o dispare el flash cuando está cerca de su piel, ya que podría provocar quemaduras.


 No dispare el flash hacia los vehículos en marcha, ya que podría causar un accidente.


 **Cuidado!!**

 No utilice este flash con ninguna cámara distinta a las cámaras Nikon SLR. Si se utiliza, puede producirse un mal funcionamiento y/o efectos adversos en el circuito electrónico de la cámara.

 Esta unidad de flash no es resistente al agua. Cuando utilice el flash y la cámara con lluvia, nieve o cerca del agua, cuide que no se humedezca. A menudo es imposible reparar componentes eléctricos internos estropeados a causa del agua.

 Nunca deje la cámara en un lugar con polvo, alta temperatura o húmedo. Estos factores pueden causar fuego o estropear su equipo.

 Cuando el flash está sujeto a cambios bruscos de temperatura, como cuando transporta la unidad de flash de un lugar frío exterior a uno cálido interior. En este caso, ponga su equipo en una bolsa de plástico sellada y no utilice la unidad de flash hasta que alcance la temperatura de ola habitación.

 No almacene el flash en un armario, cajón, etc., si contiene naftalina, o otros insecticidas. Esto podría producir efectos negativos en la unidad de flash.



No utilice gasolina o otros agentes de limpieza para sacar el polvo o huellas dactilares. Límpiense con un trapo de ropa suave.



Para un almacenamiento prolongado, escoja un lugar frío y seco, preferiblemente con buena ventilación. Dispare el flash unas cuantas veces al mes para mantener en buen estado sus funciones.



No dispare el flash si el cabezal está cubierto con ropa, ya que podría provocar un incendio.

## ACERCA DE LAS PILAS


Esta unidad de flash utiliza cuatro pilas recargables de Ni-MH de tipo "AA" o pilas alcalinas.

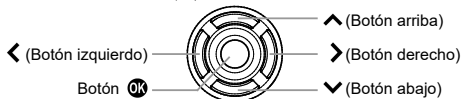
- Para asegurar un buen contacto eléctrico, limpie las terminales de las pilas antes de instalarlas.
- Para prevenir la explosión de las pilas, una fuga o recalentamiento, utilice cuatro pilas nuevas AA del mismo tipo y de la misma marca. No mezcle diferentes tipos ni pilas nuevas y usadas.
- No desmonte o haga un corto circuito con las pilas, o las exponga al fuego o al agua; podrían explotar. No recargue otro tipo de baterías que no sean recargables de Ni-MH.
- Cuando el flash no se vaya a utilizar en un periodo largo, saque las pilas del flash, para evitar posibles daños o roturas.
- Como con ningún flash, se recomienda que se lleven pilas de recambio cuando se realice un viaje largo o se fotografíe al exterior con temperaturas bajas.
- No utilice pilas de litio AA / R6. Puede ocasionar que el equipo no funcione correctamente.
- Por favor, siga todas las instrucciones, reglas y regulaciones de su comunidad respecto a la eliminación de baterías.



## DESCRIPCIÓN DE LAS PARTES (P.2)

- |                                       |                                                   |
|---------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 1. Cabezal de flash                   | 10. Interruptor de encendido                      |
| 2. Ventana de recepción de señal Wifi | 11. Luz de preparado / Botón de recepción de TEST |
| 3. Interruptor de pitido              | 12. Botón de <b>OK</b>                            |
| 4. Luz asistencia AF                  | 13. Selector                                      |
| 5. Tapa de las pilas                  | 14. Palanca de bloqueo de zapata                  |
| 6. Zapata                             | 15. Dial                                          |
| 7. Pantalla LCD                       | 16. Terminal Sincro.                              |
| 8. Interruptor de luz trasera         | 17. Panel de luz rebotada                         |
| 9. Botón de <b>MENU</b>               | 18. Panel angular                                 |

## SELECTOR (13)

En este manual de instrucciones, cada posición del selector se muestra como .



- Los botones se usan como se indica a continuación: Para operar los botones de arriba y abajo: . Para operar los botones de derecha e izquierda: .

## CÁMARAS COMPATIBLES

Este flash es compatible con las siguientes cámaras.


Cámaras SLR digitales compatibles con Creative Lighting System (CLS) de Nikon.

- Utilice un objetivo AF que sea compatible con la cámara que se está utilizando.

## CARGA DE LAS BATERÍAS


1. Coloque el interruptor de alimentación en [OFF] y abra el compartimento de la batería deslizando la tapa. P.3-(1)
2. Siga las indicaciones que se encuentran en el compartimento de baterías e inserte las pilas con los electrodos "+" y "-" en la correcta posición. P.3-(2)
3. Cierre la tapa del compartimento. P.3-(3)
4. Coloque el interruptor de alimentación en [ON]. Cuando la antorcha del flash está cargada a un nivel suficiente como para utilizar el flash, la luz de Ready (Listo) empieza a parpadear en verde. Cuando el flash está totalmente cargado, la luz se ilumina en color rojo.

### ¡¡Precaución!!

Cuando disminuye la capacidad de la batería, el icono  lo indica en el panel LCD. Cuando la batería se agota por completo, la pantalla muestra el icono de la derecha, y el flash deja de funcionar. Por favor, reemplace las baterías.



### ADVERTENCIA DE ERROR

Cuando el icono  aparece en el panel LCD panel, el flash puede estar fallando. Reseteo el interruptor de alimentación y compruebe la batería. Si la indicación permanece, contacte con nuestro distribuidor más cercano.

### DESACTIVACIÓN AUTOMÁTICA

Para conservar las pilas, la unidad de flash se desactiva automáticamente cuando no se ha utilizado en aproximadamente 80 segundos. Para volver activar el flash, presione el botón de TEST o el disparador de la cámara levemente. Sin embargo, la desconexión automática no funciona en los modos [WL RX], [R&FL NORMAL] y [R&FL RX].

## ACOPLE A LA CÁMARA

1. Coloque el interruptor de alimentación en [OFF].
2. Confirme que la palanca de bloqueo de la zapata está en la posición de desbloqueo [UN LOCK ►]. P.3-(4)
3. Inserte el flash en la Zapata de la cámara hasta que se detenga. Deslice la palanca de bloqueo a la posición [◀LOCK] hasta que oiga un clic que indica que el flash ha quedado bloqueado. P.3-(5)

Cuando desconecte el flash de la cámara, deslice la palanca de bloque hasta la posición [UN LOCK ►] mientras mantiene el botón de la palanca presionado. Cuando esté desbloqueado lo puede sacar de la zapata.


### ¡¡Precaución!!

Si se saca el flash de la zapata sin estar la palanca de desbloqueo en la posición [UN LOCK ►], tanto la zapata de la cámara como el acople de zapata del flash pueden sufrir daños.

## AJUSTE DEL CABEZAL DEL FLASH

En disparos normales, ajuste el cabezal del flash en dirección a la cara del sujeto (hacia delante). P.3-(6)

### ¡¡Precaución!!



Después de encender el flash, si el icono  aparece en el área de estado, o si el indicador de distancia en la pantalla de estado aparece parpadeando, el cabezal del flash no está ajustado correctamente en posición frontal.

## LIMITACIONES DEL DISPARO CONTINUO

Para prevenir recalentamientos, por favor no utilice la unidad de flash por lo menos 10 minutos después de utilizar el número de exposiciones que se muestran en la tabla a continuación.

Modo	Número de exposiciones con Flash
TTL, M(1/1, 1/2)	20 Disparos continuos de flash
M(1/4, 1/8)	25 Disparos continuos de flash
M(1/16-1/32)	40 Disparos continuos de flash
Multi	Ciclo 10


### ¡¡Precaución!!

En caso de que aparezca el icono  en la pantalla, la cantidad de luz que dispara el flash se limitará para evitar el sobrecalentamiento de la circuitería del flash. Absténgase de utilizar el flash hasta que el icono  desaparezca.

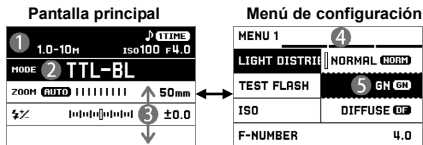
## AJUSTES BÁSICOS

Esta sección describe los ajustes básicos del flash. Con el EF-630, la mayor parte de los ajustes se pueden realizar siguiendo estos pasos.

### ¡¡Precaución!!

Cuando el interruptor de alimentación está en posición de bloqueo , los ajustes no se pueden modificar. Asegúrese de ajustar el interruptor en [ON] para modificar los ajustes.

Conmute entre la Pantalla principal y el Menú de configuración usando el botón MENU. (Cuando se enciende el flash siempre aparece primero la Pantalla principal.)





Cambia el modo de Flash y ajusta los detalles de cada modo de Flash.

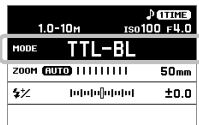
Añade las funciones opcionales de disparo con flash y ajusta las condiciones básicas del flash.

- 1 Área de Estado
- 2 Área de Modo de Flash
- 3 Área de Detalles de Modo
- 4 Área de pestañas
- 5 Sub menú



## OPERACIONES BÁSICAS EN LA PANTALLA PRINCIPAL

### SELECCIÓN DEL MODO DE FLASH

Seleccione el área de Modo de Flash usando los botones  y cambie el Modo de Flash usando los botones  o el dial.



### AJUSTE DE LOS DETALLES DEL MODO DE FLASH

Seleccione el área Detalles de modo usando los botones  y cambie los valores de ajuste usando los botones  o el dial.



## USO BÁSICO DEL MENÚ DE CONFIGURACIÓN

Para desplazarse hacia la siguiente pestaña, gire el dial. (Cuando se encuentra el cursor al área de pestañas, que se puede cambiar a otra pestaña presionando los botones <>.)

### En el Menú de Configuración:

Utilice los botones  $\diamond$  para seleccionar los elementos del menú. Presione el botón **OK** o  $\triangleright$  para abrir los sub-menús o diálogos. (En algunos elementos, una pantalla especial o un mensaje de diálogo se abrirá.)

### En los sub-menús de configuración:

Utilice los botones  $\diamond$  para seleccionar las opciones de ajuste. Presione el botón **OK** o  $\triangleright$  para aplicar los nuevos ajustes. (Presione el botón  $\triangleleft$  para cerrar los sub-menús sin aplicar cambios.)

MENU 3	
RF ASSIST LIGHT	ON
LCD LIGHT	AUTO
DISPLAY SETTING	...
M / FEET	M

MENU 3	
RF ASSIST LIGHT	ON $\triangleright$
LCD LIGHT	AUTO
DISPLAY SETTING	...
M / FEET	M

MENU 3	
RF ASSIST LIGHT	OFF
LCD LIGHT	ON
DISPLAY SETTING	ONLY
M / FEET	M

## i-TTL AUTO FLASH

La cámara mide la luz reflejada por el pre destello y proporciona la potencia óptima del flash. Seleccione Uno de los dos métodos siguientes.

### i-TTL balanced fill-flash (Modo flash: [TTL-BL])

Controla la potencia del flash para equilibrar las exposiciones del sujeto y el fondo.

- Cuando el modo de medición de la cámara está ajustado a medición puntual, la selección del flash de relleno equilibrado

i-TTL-BL no está disponible.

### Estándar i-TTL (Modo Flash: [TTL])

Controla la cantidad de destello adecuado solo para el sujeto, sin tener en cuenta la exposición de fondo.

1. Ajuste el modo de flash para [TTL-BL] o [TTL].
2. Confirme que el sujeto se encuentra en el rango de disparo comprobando la distancia indicada en el área de Estado.
3. Compruebe el estado de carga del flash con la luz (Ready) y empiece a disparar.

1.0-10M		ISO100 F4.0	
MODE	TTL-BL		
ZOOM	AUTO		50mm
⚡			±0.0

Si **NG** aparece durante cinco segundos justo después del disparo, el nivel de flash puede ser demasiado alto o bajo. Cambie la condición y vuelva a realizar el disparo.

### VELOCIDAD DE OBTURACIÓN Y APERTURA

La relación entre velocidad de obturación y apertura en los distintos modos de exposición de la cámara son los siguientes.

	Velocidad de obturación	Apertura
<b>P</b>	Se ajusta automáticamente. (1/60seg.*1 - velocidad sincronizada del destello*2)	Se ajusta automáticamente.
<b>A</b>		Se puede ajustar libremente.
<b>S</b>	Le permite ajustar la velocidad libremente a una velocidad igual o inferior a la velocidad de sincronización del flash *2.	Se ajusta automáticamente.
<b>M</b>		Se puede ajustar libremente.

\*1 En algunos modelos, se pueden ajustar velocidades de obturación más lentas sin restricciones. Además, cuando el modo de flash de la cámara está ajustado en [Sinc. lenta], no habrá límite disponible de la velocidad de obturación más lenta.

\*2 Cuando el flash FP está ajustado en la cámara, no habrá disponible un límite para la velocidad de obturación más rápida.

## ¡¡Precaución!!

Cuando se realiza el disparo mientras se indica la advertencia de exposición de la cámara, se puede producir una exposición inferior o superior. En ese caso, cambie las condiciones antes de empezar a disparar.

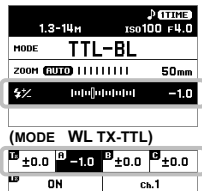
## COMPENSACIÓN DE LA EXPOSICIÓN DEL FLASH

Compensar solo la luz del flash es posible sin afectar la exposición del fondo.

Se puede usar con los modos de flash [TTL], [TTL-BL], [GN-M] y [WL TX-TTL].

Ajuste la cantidad de compensación en el área de detalles del Modo. (El nivel de compensación va en pasos de 1/3 de paso y se puede ajustar a  $\pm 3$  pasos.)

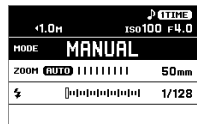
- La función de compensación de la exposición del flash también está disponible en la cámara. Cuando se ajusta la compensación de la exposición del flash tanto en la cámara como en el flash, la fotografía se realizará con el valor combinado de compensación de exposición.



## FLASH MANUAL

Se puede ajustar la cantidad de luz del flash de forma manual.

- Ajuste el Modo de Flash a [MANUAL].
- Ajuste la cantidad de luz del flash en el área Modo Detalles. (Rango disponible de ajuste: de 1/128 a 1/1, Pasos de ajuste disponibles: 1/3EV.)
- Compruebe el estado de carga del flash con la indicación luminosa y empiece a disparar.



En la sección que muestra la distancia en el área de Estado, la distancia a la cual se puede obtener una exposición apropiada se calcula y se muestra. Incluso con el mismo nivel de luz de flash, la distancia para obtener una exposición apropiada varía si se modifica la apertura o el valor ISO de la cámara.

Se puede calcular la exposición adecuada usando el flash en modo manual con la siguiente fórmula.

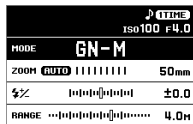
Número guía (GN) / Distancia de disparo (m) = Valor de apertura (F)

Para saber el número guía de este flash (GN), diríjase a la [Tabla 1] adjuntada al final de este manual.

## PRIORIDAD DE DISTANCIA FLASH MANUAL

La cantidad de flash se ajustará automáticamente a la distancia seleccionada en el modo de disparo manual de flash.

- Ajuste el Modo de Flash a [GN-M].
- En detalles de modo, ajuste la distancia al sujeto. (Si la distancia deseada excede el rango configurable, ajuste el valor de apertura de la cámara, ISO, etc.)
- Compruebe el estado de carga del flash con la indicación luminosa y empiece a disparar.



## MULTI FLASH

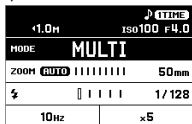
Mostrar el movimiento de un sujeto en una sola toma como si la imagen fuera una reproducción fotográfica es posible emitiendo luz de flash de forma continua mientras el obturador permanece abierto.

Use el modo de exposición manual de la cámara ("M").

- Ajuste el Modo de Flash a [MULTI].
- En el área de Modo Detalles, ajuste el nivel de luz de flash, el intervalo

de flash en Hz (ej.: 10Hz = Emite luz con una frecuencia de 10 veces por segundo), y el número de disparos en "x".

- Ajuste una velocidad de obturación más lenta que el valor de "número de flashes" / "frecuencia de flash".
- Compruebe el estado de carga del flash con la luz de "Listo" y empiece a disparar.



El número de disparos de flash que se pueden realizar de forma continua varía según la combinación del nivel de luz de flash y la frecuencia del flash. Diríjase a la [Tabla2] al final de este manual.

## CONTROL REMOTO DEL FLASH

Cuando el flash se utiliza en una localización alejada de la cámara, se expanden las posibilidades creativas. El EF-630 se controla remotamente por una unidad Transmisor de flash (TX) separada.

- El flash conectado a la cámara se llama [Unidad Transmisora(TX)], y el flash usado a distancia se llama [Unidad Receptora(RX)].
- Por favor coloque la unidad de flash a 0.5m a 5m del sujeto y coloque la cámara a una distancia de 1m a 5m del sujeto.
- Cuando se ajusta la unidad receptora en la posición deseada, se puede utilizar un mini-soporte. Este soporte incorpora una rosca para el trípode.
- El flash inalámbrico se puede utilizar con el flash integrado de la cámara (Solo cámaras que tienen [Modo Comando]). Para conocer los ajustes de la cámara, consulte el manual de instrucciones de la cámara.
- El EF-630 también se puede utilizar en combinación con el EF-610 DG SUPER NA-iTTL. En este caso, utilice la EF-610 DG SUPER como unidad receptora. Cuando ajuste EF-610 DG SUPER, consulte el manual de instrucciones del EF-610 DG SUPER (el método de notación del EF-610 DG ID de receptor

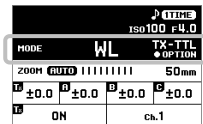
SUPER es diferente. Consulte la siguiente tabla.)

EF-630 receptor ID	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>
EF-610 DG SUPER receptor ID	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>

## PREPARACIÓN DEL DISPARO INALÁMBRICO (UNIDAD TRANSMISORA)

### SELECCIÓN DEL MODO FLASH

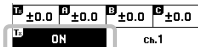
Ajuste el modo de disparo inalámbrico deseado entre [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], y [WL TX-MULTI].



### AJUSTES FLASH TRANSMISORA

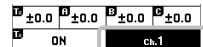
Establece si el "Transmisor" está ajustado para la función de control solamente o para la función de control y la emisión de luz como un flash.

<b>ON</b>	Función Control + Flash
<b>OFF</b>	Solo función Control



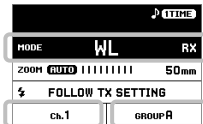
### AJUSTES DEL CANAL

Cuando otra persona está usando flash inalámbrico, la configuración de un canal diferente evita fallos de funcionamiento (es posible seleccionar de los canales 1 al 4).



## PREPARACIÓN DEL DISPARO INALÁMBRICO (UNIDAD RECEPTORA)

- Ajuste el modo de flash a [WL RX].
- En el área Detalles de modo, configure un canal que sea el mismo que el Transmisor.
- En el área de detalles del Modo, ajuste el grupo de flash que se desea seleccionar (**A**, **B** o **C**).



## INALÁMBRICO i-TTL AUTO FLASH

En el flash automático inalámbrico i-TTL, la cámara controla automáticamente la exposición a un valor apropiado.

### AJUSTE UNIDAD TRANSMISORA

1. Ajuste el Modo de Flash a **[WL TX-TTL]**.
2. Cuando sea necesario, realice "Ajuste del canal" y "Ajuste de flash de la Unidad Transmisora" en el área Detalles del modo.
3. Cuando sea necesario, en el área de detalles de Modo, ajuste el valor de compensación de exposición de flash de cada grupo maestro y receptor.

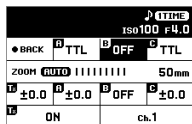
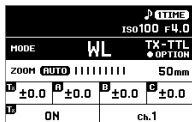
- Se puede cambiar el grupo receptor discrecional al flash manual o cancelar el flash.

① Cuando se presiona el botón **OK** mientras se selecciona el modo de flash, la pantalla cambia la visualización para mostrar el modo flash en la(s) unidad(es) receptora(s).

- ② Seleccione el grupo que desea cambiar y ajuste a **[M]** (flash manual) o **[OFF]** (cancelar flash).
- ③ Seleccione **[BACK]** y pulse el botón para volver a la pantalla anterior.
- ④ En el área detalles de modo, ajuste el valor de flash del grupo configurado en flash manual.

### AJUSTE UNIDAD RECEPTORA

4. Realice el ajuste siguiendo "PREPARACIÓN DEL FLASH INALÁMBRICO (UNIDAD RECEPTORA)".
5. Coloque la unidad receptora, confirme la finalización de la carga y, a continuación, inicie la toma (el flash receptor notifica que finalizó la carga parpadeando la luz de ayuda de AF).



- Justo después del disparo, si hay algún grupo que pudiera estar subexposición, ese grupo emitirá un pitido como advertencia (consulte **[SONIDOS Y PITIDOS]** en la página 78). En ese caso, cambie las condiciones y vuelva a disparar.

## FLASH MANUAL INALÁMBRICO

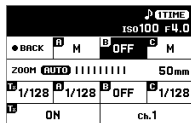
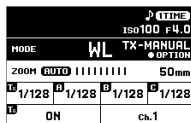
Así como en la fotografía con flash manual, el disparo inalámbrico mediante el cual la potencia del flash se puede ajustar de forma manual también está disponible. Decidir la exposición utilizando un fotómetro de flash comercialmente disponible.

### AJUSTE UNIDAD TRANSMISORA

1. Ajuste el Modo de Flash a **[WL TX-MANUAL]**.
2. Cuando sea necesario, realice "Ajuste del canal" y "Ajuste de flash de la unidad Transmisora" en el área Detalles del modo.
3. En el área de detalles de Modo, ajuste el valor de cada grupo (incluyendo el modo Transmisor cuando esté habilitado). (Rango disponible de ajuste: de 1/128 a 1/1, Pasos de ajuste disponibles: 1/3EV.)

- Se puede cambiar el grupo receptor discrecional al modo de flash automático i-TTL o apagar el flash.

- ① Cuando se presiona el botón **OK** mientras se selecciona el modo de flash, la pantalla cambia la visualización mostrada en la(s) unidad(es) receptora (as).
- ② Seleccione un grupo para cambiar y ajustar a **[TTL]** (flash auto i-TTL) o **[OFF]** (cancelar flash).
- ③ Seleccione **[BACK]** y pulse el botón **OK** para volver a la pantalla anterior.
- ④ Cuando sea necesario, en el área de detalles de Modo, ajuste





el valor de compensación de exposición del flash del grupo configurado a flash automático i-TTL.

### AJUSTE UNIDAD RECEPTORA

- Ajuste el Modo de Flash a [WL RX].
- Realice el ajuste siguiendo "PREPARACIÓN DEL FLASH INALÁMBRICO (UNIDAD RECEPTORA)".
- Coloque la unidad receptora, confirme la finalización de la carga y, a continuación, inicie la toma (el flash receptor notifica que finalizó la carga parpadeando la luz de ayuda de AF).

### MULTI FLASH INALÁMBRICO

Multi-flash inalámbrico está disponible para un flash o para múltiples flashes.

Use el modo de exposición manual de la cámara ("M").

### AJUSTE UNIDAD TRANSMISORA

- Ajuste el Modo de Flash a [WL TX-MULTI].
  - Cuando sea necesario, realice "Ajuste del canal" y "Ajuste de flash de la unidad Transmisora" en el área Detalles del modo.
  - En el área de Modo Detalles, ajuste el nivel de luz de flash, el intervalo de flash en Hz (ej.: 10 Hz = Emite luz con una frecuencia de 10 veces por segundo), y el número de disparos en "x".
- Se puede apagar cualquier grupo de receptores. Seleccione un grupo para cancelar el flash en el área de detalles del Modo y ajuste a [OFF].

### AJUSTE UNIDAD RECEPTORA

- Realice el ajuste siguiendo "PREPARACIÓN DEL FLASH INALÁMBRICO (UNIDAD RECEPTORA)".

MODE				WL	TX-MULTI
ZOOM				AUTO	50mm
1/128	A ON	B ON	C ON		
10	ON	10Hz	x5	ch.1	

5. Ajuste una velocidad de obturación más lenta que el valor de "número de flashes" / "frecuencia de flash".

6. Coloque la unidad receptora confirme la finalización de la carga y, a continuación, inicie la toma (el flash receptor notifica que finalizó la carga parpadeando la luz de ayuda de AF).

### FUNCIÓN RECIBIR Y DESTELLO

El EF-630 incluye una función que le permite reaccionar al disparo de otra unidad de flash. Esto permite realizar disparos de forma más fácil y conveniente con un flash posicionado a cierta distancia de la cámara. La luz de salida, sin embargo, no se ajusta de forma automática en este modo.

### FUNCIÓN NORMAL DE RECEPCIÓN Y DESTELLO

La unidad Transmisora conectada a la cámara se puede usar para disparar un flash sincronizado con el EF-630, incluso cuando se encuentra a cierta distancia de la cámara.

Ajuste el flash Transmisora a modo manual y seleccione la salida a aproximadamente 1/16.

- El flash integrado de la cámara puede utilizarse como un control trigger. Ajuste el flash integrado en modo de flash manual en la cámara y ajuste la potencia de flash en aproximadamente 1/16.

Ajuste el modo de exposición de la cámara a M, la velocidad de obturación a 1/30 segundos o un tiempo menor, y la apertura y el valor ISO a valores prudenciales.

1. Ajuste el modo de Flash del receptor EF-630 a [R&FL NORMAL].

2. En el área de Modo Detalles, ajuste los valores ISO y de apertura para que coincidan con los ajustes de la cámara.

MODE		R&FL	NORMAL
ZOOM		AUTO	24mm
ISO	100	F4.0	

- Ajuste la cantidad de luz del flash en el área de Modo Detalles de forma que la distancia entre el flash receptor y el sujeto sea aproximadamente la misma que la distancia indicada en el área de Estado.
- Compruebe que la carga está completa y empiece a disparar.

## FUNCIÓN DEDICADA DE RECEPCIÓN Y DESTELLO

Si utiliza dos o más unidades EF-630, puede desganar cual de los flashes se dispararán juntos utilizando los ajustes del canal. En este modo, una unidad de flash se utilizará como controlador del Receptor y las otras para disparar como receptores.

Ajuste el modo de exposición de la cámara a M, la velocidad de obturación a 1/30 segundos o inferior, y la apertura y la ISO a valores prudenciales.

### AJUSTE DE LOS CONTROLES DEL FLASH (TRANSMISOR)

- Ajuste el modo de Flash a [R&FL TX].
- Ajuste el canal cuando sea necesario. (En detalles de modo, seleccione desde Ch.1 a Ch.3.)

▶ TIME		
MODE	R&FL	TX
ZOOM	SET RT	24mm
Ⓢ	CONTROL ONLY	
ch.1		

### AJUSTE DEL DISPARO DE FLASH (RECEPTOR)

- Ajuste el modo de Flash a [R&FL RX].
- En el área Modo Detalle, ajuste el canal para que cuadre con el canal del flash de control.
- En el área Modo Detalle, ajuste los valores ISO y de apertura para que sean los mismos que los del flash de control.
- Ajuste la cantidad de luz de flash en el área Modo Detalle de

▶ TIME		
◀1.0M		
MODE	R&FL	RX
ZOOM	AUTO	24mm
Ⓢ		1/128
ch.1	ISO100	F4.0

forma que la distancia entre el flash receptor y el sujeto sea aproximadamente la misma que la distancia indicada en el área de Estado.

- Compruebe que la carga se haya completado y empiece a disparar.

- En Modo Receptor, este flash también puede ser usado en combinación con el EF-630 y / o el EF-610 DG SUPER para encajar con otras cámaras. (Para detalles acerca de la configuración del EF-610 DG SUPER, siga las indicaciones de su manual de instrucciones.)

## FUNCIÓNES OPCIONALES

En esta sección encontrará las funciones opcionales que se pueden ajustar y añadir desde el menú de configuración.

### MODO DISTRIBUCIÓN DE LUZ (MENÚ 1)

El EF-630 tiene tres modos de Distribución de Luz que se pueden seleccionar según el propósito de su uso.

[MENU 1] → [LIGHT DISTRIBUTION]

<b>NORMAL</b> - (por defecto)	<b>Distribución de luz normal</b> Características básicas de distribución de luz para disparos generales.
<b>GN</b> <b>GN</b>	<b>Distribución de luz con prioridad al número guía</b> El ángulo de haz de luz se disminuye pero se alcanza un mayor número guía.
<b>DIFFUSE</b> <b>DF</b>	<b>Distribución de luz plana</b> Previene una disminución de la luz alrededor proporcionando una distribución de luz más uniforme.

## TEST DE FLASH (MENÚ 1)

El EF-630 tiene dos modos de test. Uno de los modos de Test de Flash puede asignarse al botón TEST.

[MENU 1] → [TEST FLASH]

<b>1 TIME (1 VEZ)</b> <b>TIME</b> (por defecto)	<b>Test de flash</b> Ejecuta un test simple de flash.
<b>MODELING (MODELADO)</b> <b>MODEL</b>	<b>Flash de modelado</b> Se puede usar con los modos de flash [TTL], [TTL-BL], [MANUAL] [GN-M] y [MULTI]. Cuando se mantiene pulsado el botón TEST, se realiza un flash continuo de aproximadamente 1.5 segundos para poder detectar las sombras que produce el sujeto.

### ¡¡Precaución!!

El ajuste [MODELING] no se puede seleccionar en ningún modo de flash en el que el flash de modelado no esté disponible.

- Si la cámara tiene una función de flash de modelado, éste quedará disponible cuando se presiona el botón de previsualización de la cámara. También queda disponible en los modos [WL TTL], [WL MANUAL] o [WL MULTI]).

## MODO PERSONALIZACIÓN (MENÚ 2)

Es posible almacenar y recuperar ajustes personalizados. (Se pueden almacenar dos series de ajustes personalizados.)

1.3-14M		ISO100	F4.0
MODE	<b>G1</b>	<b>TTL-BL</b>	
ZOOM	<b>AUTO</b>		50mm
ƒ/			-1.0

## ALMACENAJE Y RECUPERACIÓN DE AJUSTES PERSONALIZADOS

1. Ajuste el modo de Flash, área de Más detalles, y configure el menú de contenidos según se desee.
2. Desde [MENU 2] → [CUSTOM MODE SETTING], seleccione [C1] o [C2] y pulse el botón **OK**.
3. Seleccione [OK] y confirme con el botón **OK**.

Los contenidos registrados se añaden al modo de Flash como Modo Personalizado. (El Modo Personalizado se indica con los iconos **C1** o **C2** en el área de Modo de Flash.)

## BORRADO DE LOS AJUSTES PERSONALIZADOS GUARDADOS

1. Desde [MENU 2] → [CUSTOM MODE DELETE], seleccione [C1] o [C2] y pulse el botón **OK**.
2. Seleccione [OK] y confirme con el botón **OK**.

## LUZ DE ASISTENCIA AF (MENÚ 3)

La luz de asistencia de AF se activará de forma automática si enfoca hacia un sujeto en una zona oscura. Tel rango efectivo de la luz de asistencia AF es de 0.7 a 10 metros.

[MENU 3] → [AF ASSIST LIGHT].


<b>OFF</b>	Luz de ayuda AF apagada
<b>ON</b> (por defecto)	Luz de ayuda AF se usa para ambientes oscuros.
<b>ONLY</b>	El flash no funciona, solo las funciones de luz de ayuda AF (cuando se ajusta [AF ASSIST LIGHT ONLY] en el área de detalles del modo).

### LUZ DEL PANEL LCD (MENÚ 3)

Cuando se conecta la fuente de alimentación, el panel LCD se ilumina. Los ajustes de ON/OFF de la luz se pueden modificar.

[MENU 3] → [LCD LIGHT]





<b>AUTO</b> (por defecto)	Después de 8 segundos sin operación, la luz se apagará. Cuando un botón o dial se usa mientras la luz está apagada, la luz se enciende de forma automática.
<b>8 SEC</b>	Independientemente de si está siendo presionado un botón o un dial, la luz se apagará después de 8 segundos desde que la luz se activó inicialmente.
<b>ON</b>	La luz se mantiene encendida de forma continua.


- Independientemente del ajuste, la luz se puede encender y apagar con el botón .


### AJUSTE DEL PANEL LCD (MENÚ 3)

El contraste y el brillo del panel LCD se pueden ajustar.

[MENU 3] → [DISPLAY SETTING]

<b>BRIGHTNESS</b>	<b>BRILLO</b> Ajuste el brillo al nivel deseado usando los botones   .
<b>CONTRAST</b>	<b>CONTRASTE</b> Ajuste el contraste al nivel deseado usando los botones   .

Cuando finalice el ajuste, seleccione [OK] y confirme con el botón .

Cuando cancele el ajuste, seleccione [CANCEL] y confirme con el botón .

### CAMBIO DE LA INDICACIÓN DE LA UNIDAD DE MEDIDA (MENÚ 3)

Se puede modificar la unidad de medida en el área de Estado.

[MENU 3] → [M / FEET]

<b>M</b> (por defecto)	Indicación en metros.
<b>FEET</b>	Indicación en pies

### INFORMACIÓN DE LA UNIDAD DE FLASH (MENÚ 4)

Se puede comprobar la siguiente información.

[MENU 4] → [INFORMATION]

<b>MODEL</b>	Nombre del modelo
<b>SERIAL No.</b>	Número de serie
<b>VERSION</b>	Versión del firmware

### REINICIO DE LOS AJUSTES (MENÚ 4)

Se puede restablecer el flash para volver a los ajustes de fábrica.

[MENU 4] → [RESET SETTINGS]

Para iniciar los ajustes, seleccione [OK] y confirme con el botón .

- Cuando se restablecen los ajustes, los modos personalizados almacenados se borran.

## OTRAS FUNCIONES ÚTILES

### AJUSTES DEL CABEZAL DE FLASH

Cuando el ajuste del cabezal de flash se usa con **AUTO** (Auto), el cabezal del flash se ajusta automáticamente al ángulo de flash óptimo para la distancia focal del objetivo.

- El cabezal del flash tiene en cuenta el tamaño del sensor de imagen de la cámara, por lo tanto, la longitud focal que se muestra en el flash puede ser diferente a la del objetivo.
- Dependiendo del modo de Flash, el ajuste del cabezal del flash se puede fijar sin tener en cuenta la distancia focal del objetivo.



El ajuste del cabezal de flash se puede modificar de forma manual. Presione los botones **<>** en el área Modo Detalle.

AUTO ⇔ 24 ⇔ 28 ⇔ 35 ⇔ 50 ⇔ 70 ⇔ 85 ⇔ 105 ⇔ 135 ⇔ 200mm

- Dependiendo del ajuste del cabezal del flash, la potencia del flash puede cambiar.

### PANTALLA ANGULAR

Este flash está equipado con un panel angular, que proporciona un ángulo de cobertura ultra angular de 17mm. Extraiga el panel angular y el panel de luz rebotada y déjelo caer hasta cubrir el cabezal del flash. (Sea cuidadoso a la hora de deslizar los paneles). Después recoja el panel de luz rebotada a su lugar. P.3-(7)

- La sección de indicación del cabezal de Flash en el área Modo Detalles puede mostrar el icono **WP** cuando el panel ampliado está en uso.

### FLASH REFLEJADO

Disparando el flash hacia el techo o una pared, es posible dispersar

la luz y tomar fotografías con una iluminación más suave y reducir las sombras.

El cabezal del flash se puede ajustar hacia arriba a 90°, hacia el lado inferior a 7°, y hacia los lados derecho y izquierdo a 180°. P.3-(8)

- Durante el rebote, el icono **BOUNCE** aparece en el área de Estado.
- La fotografía recibirá el color de la superficie reflectante. Por favor escoja una superficie blanca para reflejar el flash. Dependiendo de la superficie reflejada, de la distancia del sujeto y de otros factores, la distancia efectiva para el TTL AUTO puede cambiar.

### EXPOSICIONES DE APROXIMACIONES

Al inclinar el cabezal del flash hacia abajo a la posición de 7°, la sección inferior del encuadre puede ser lo suficientemente brillante como para realizar exposiciones de primer plano.

- Cuando se rebota hacia la parte inferior a 7°, la indicación de distancia en el área de Estado parpadea.

### PANEL DE LUZ REBOTADA

Este flash está equipado con un panel de luz rebotada, que permite iluminar los ojos del sujeto cuando el flash esta con el cabezal basculado (en posición de luz rebotada). Extraiga los dos paneles simultáneamente, y después recoja el panel angular a su lugar. (Sea cuidadoso a la hora de deslizar los paneles.)P.3-(9)

- Para crear una luz de captura efectiva, incline el cabezal del flash 90° hacia arriba y tome las fotografías a una distancia cercana. P.3-(10)

### TERMINAL SINCR0.

El EF-630 tiene un terminal sincro que se puede conectar a la cámara con un cable de sincro de flash comercial.

Cuando dispara con un cable sincro, utilice el flash em modo **[MANUAL]**.



Con **[MENU 1]** → **[ISO]** **[F-NUMBER]**, ajuste los valores ISO y apertura (F) para que coincidan con los de la cámara. Ajuste la potencia de salida del flash en el área Modo Detalles hasta que la distancia mostrada en el área de Estado sea aproximadamente la misma distancia entre el flash y el sujeto.


### ¡¡Precaución!!

El flash auto i-TTL-BL / i-TTL si su utiliza el Terminal Sincro.

El Terminal Sincro. del EF-630's es compatible con cables que tengan la polaridad positiva (+) en el pin central pin y la polaridad negativa (-) en el protector. Si el cable tiene la polaridad invertida, utilice un convertidor de polaridad comercial.


## PREVENCIÓN DEL USO ACCIDENTAL

Cuando el interruptor de encendido se ajusta a la posición  (bloqueo), se deshabilitan todas las operaciones que no sean el botón TEST y el botón , para prevenir el cambio accidental de los ajustes del flash.

- Mientras que el flash esté bloqueado, el icono  aparece en el área de Estado.

## SONIDOS Y PITIDOS

Ciertas condiciones del flash se indican con un sonido, haciéndolas fácilmente reconocibles sin necesidad de mirar la pantalla LCD.

Ajuste el interruptor de PITIDO en la parte frontal del cuerpo a **[ON]**. (Cuando se ajusta en ON, el icono  se muestra en el área de Estado.)

Un pitido corto	Indica que la carga se ha completado.
Dos largos pitidos	Valores de exposición del flash muy altos o muy bajos
Un pitido largo (2 seg.)	Alarma de error.

## AJUSTAR FUNCIONES EN LA CÁMARA

### DISPARO CON BLOQUEO FV

Este es un método de disparo que expone cualquier sección deseada del sujeto con la exposición de flash correcta.


Se puede usar con los modos de flash **[TTL]**, **[TTL-BL]** y **[WL TX-TTL]**.

- Para los métodos de operación, consulte el manual de usuario.

### SINCRONIZACIÓN CON LA SEGUNDA CORTINILLA

El flash se dispara justo antes de que se cierre el obturador. La luz trasera del sujeto en movimiento y la trayectoria de la luz se pueden capturar; de esta forma, las fotografías pueden expresar el movimiento natural del sujeto.

Se puede usar con los modos de flash **[TTL]**, **[TTL-BL]**, **[MANUAL]**, **[GN-M]**, **[WL TX-TTL]** y **[WL TX-MANUAL]**.

- Cuando se ajusta la toma de sincronización a la cortina trasera en la cámara, la señal  se indica en el área de estado.

### FP FLASH (SINCRO ALTA VELOCIDAD)

El flash FP continua disparando mientras la cortina del obturador funciona. Esto le permite utilizar una velocidad de obturación mayor que la velocidad de sincronización.

Se puede usar con los modos de flash **[TTL]**, **[TTL-BL]**, **[MANUAL]**, **[GN-M]**, **[WL TX-TTL]** y **[WL TX-MANUAL]**.

- Cuando se ajusta la flash FP en la cámara, la señal **FP** se indica en el área de estado.

En modo **[TTL]**, confirme que el sujeto se encuentra en el rango de disparo comprobando la distancia indicada en el área de Estado

antes de empezar a disparar.


En modo **[MANUAL]**, ajuste la apertura, etc. Antes de empezar a disparar de forma que la distancia hasta el sujeto y la distancia indicada en el área de Estado coincidan.

El Número Guía variará en función de la velocidad de obturación. (Por favor mire **Cuadro 3** de la última página)

## REDUCCION DE OJOS ROJOS

Cuando realiza una fotografía con flash, a veces los ojos de las personas reflejan la luz del flash y en la foto aparecen con los ojos rojos. Si utiliza la función "reducción de ojos rojos", el flash parpadeará durante aproximadamente 1 segundo antes del disparo, y reducirá el efecto ojos rojos.

Se puede usar con los modos de flash **[TTL]**, **[TTL-BL]**, **[MANUAL]**, **[GN-M]**, **[MULTI]**, **[WL TX-TTL]**, **[WL TX-MANUAL]**, **[WL TX-MULTI]** y **[R&FL TX]**.

- Cuando se ajusta la Reducción de ojos rojos en la cámara, la señal  se indica en el área de estado.

## ESPECIFICACIONES

TIPO: Flash electrónico automático zoom TTL tipo Clip-on con controlador de serie.

NUMERO GUIA: 63 ( 100 ISO/m, posición del cabezal 200 mm)

ALIMENTACION: Cuatro pilas alcalinas de tipo AA

Cuatro pilas Níquel-hidrógeno de tipo AA.

TIEMPO DE RECICLAJE: acerca de 3.0 seg. (pilas alcalinas)  
acerca de 1.8 seg. (Níquel-hidrógeno)

NÚMERO DE DISPAROS: acerca de 120 disparos (pilas alcalinas)  
acerca 185 disparos (Níquel-hidrógeno)

DURACIÓN DEL DISPARO: acerca de 1/ 700 seg.(disparo a

máxima potencia)

ANGULO DE ILUMINACION DEL FLASH: 24mm a 200mm  
controlador de motor de potencia

17mm con la pantalla angular incorporada.

PESO: 490 g.

DIMENSIONES: 79.4mm x 148.4mm x 121.5mm



El logotipo CE es una directiva de conformidad con la Comunidad Europea (CE).

SIGMA (Deutschland) GmbH

Carl Zeiss Str. 10/2, D 63322 Rödermark, F.R.GERMANY

Sales: 06074 / 865 16 0 Service: 06074 / 865 16 65

Support: 06074 / 865 16 88 E-Mail: info@sigma-foto.de



**Reciclaje de Equipos Eléctricos y Electrónicos de Uso Privado**





Reciclaje de Equipos Eléctricos y Electrónicos Usados (Aplicable en la Unión Europea y en otros países con sistema de reciclaje por separado)

Este símbolo indica que este producto no debería tratarse como los demás materiales residuales de uso general. Estos productos deben reciclarse en el contenedor específico para los equipos eléctricos y electrónicos. Depositando estos productos correctamente, UD. ayuda al tratamiento adecuado de los productos reciclables y previene los efectos potencialmente negativos para el medioambiente y la salud, que podrían verse afectados por un incorrecto reciclado del producto. Si su equipo contiene baterías o acumuladores de fácil extracción, por favor deposítelos en el contenedor adecuado según las normativas locales. El reciclaje de los materiales ayuda a la conservación de los recursos naturales. Para más información acerca del reciclaje de estos productos, contacte con la autoridad local, el servicio de reciclaje o el establecimiento donde adquirió el producto.



Grazie per la preferenza accordata al Flash elettronico Sigma EF-630 (PER NIKON). Per avere ottime fotografie e ottenere il massimo dal flash, prima di iniziare a usarlo, leggete questo manuale e quello della vostra macchina. Tenetelo poi a portata di mano per poterlo consultare in caso di dubbio.





## ATTENZIONE

Per evitare danni o ferite a terzi, leggete attentamente il manuale di istruzioni e fate attenzione ai segni di allerta riportati di seguito prima di usare il flash. In particolar modo, fate attenzione a questi due segnali:







 <b>Attenzione!!</b>	Usare questo prodotto nell'inosservanza del presente segnale di pericolo può causare serie ferite o mettervi in serio pericolo
 <b>Attenzione!!</b>	Usare questo prodotto nell'inosservanza del presente segnale di pericolo può causare serie ferite o danni.
	Questo denota punti rilevanti, per i quali attenzione e cautela sono particolarmente richiesti
	Il simbolo contiene informazioni su ciò che non si deve fare

### **Attenzione!!**

-  Il flash contiene circuiti ad alto voltaggio. Per evitare di prendere la corrente o di bruciarsi, non cercate di smontare il flash. Se la carrozzeria è rotta o incrinata, non toccate le parti interne.
-  Non scattate flash vicino agli occhi. La luce molto intensa può provocare danni alla vista. Tenete almeno 1 metro di distanza tra il flash e il viso quando fotografate.

-  Non toccate il terminale syncro della macchina quando il flash è collegato. Il circuito ad alto voltaggio può causare scosse elettriche.
-  Non usate la macchina in ambienti con materiali infiammabili, gas, agenti chimici o infiammabili liquidi. C'è il rischio di causare un'esplosione.
-  Non coprire la Parabola del flash con una mano o avvicinarla alla pelle quando si scatta: il calore potrebbe scottarvi.
-  Non scattare lampi con il flash rivolto verso gli automobilisti, potreste causare un incidente.

### **Attenzione!!**

-  Non usare questo flash con fotocamere che non siano DSLR Nikon. Ciò potrebbe causare malfunzionamenti alla parte elettronica delle fotocamere.
-  Questo flash teme l'acqua. Se usato sotto pioggia, neve o vicino all'acqua va protetto. Spesso non è possibile riparare componenti interni danneggiati dall'acqua.
-  Flash e apparecchio fotografico non vanno esposti a urti, polvere, alte temperature e umidità. Questi fattori possono causare malfunzionamento o incendio dell'apparecchiatura.
-  Quando il flash è sottoposto a sbalzi improvvisi di temperatura (es. dal freddo di un esterno al caldo di un ambiente interno) può formarsi della condensa. In questi casi, riponete l'attrezzatura in un sacchetto di plastica e non usatela fino a quando non è a temperatura ambiente.
-  Non riponete il flash in un cassetto o armadietto con naftalina, canfora o altro insetticida. Possono avere un effetto negativo sul suo funzionamento.
-  Non utilizzate un lucidante, Benzene o altro agente di pulizia per rimuovere sporco o impronte. Pulite solamente con un panno morbido appena inumidito.





Se non intendete usare il flash per un lungo periodo, cercate un luogo asciutto e fresco dove riporlo, preferibilmente con una buona ventilazione. Fate scattare il flash più volte nell'arco di un mese, affinché mantenga adeguate capacità di funzionamento.



Non coprire la Parabola del flash con vestiti e panni in genere perché il calore potrebbe bruciarli.

## BATTERIA

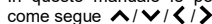
Questo flash usa batterie Ni-MH ricaricabili tipo "AA" oppure alcaline.

- Per assicurare contatti elettrici ottimali, pulite i terminali delle batterie prima di installarle
- Per evitare esplosioni delle batterie, perdite o surriscaldamento, usate quattro batterie nuove della stessa marca. Non mischiate batterie di marche diverse, vecchie e nuove insieme
- Non mandate in corto le batterie, non smontatele, non esponetele a fonti di calore o d'energia: potrebbero esplodere. Non ricaricare batterie diverse da quelle ricaricabili al Ni-MH.
- Se non si utilizza il flash per un periodo prolungato, togliere le batterie per evitare danni o perdite
- La funzionalità delle batterie decresce alle basse temperature. Tenete quindi le batterie protette quando utilizzate il flash al freddo.
- Non usare batterie al Litio AA/R6. Potrebbero causare malfunzionamento all'apparato.
- Per le batterie usate seguire le disposizioni di conferimento del vostro Paese.



## DESCRIZIONE DELLE PARTI (P.2)

- |                                                    |                                             |
|----------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 1. Testa del flash                                 | 10. Interruttore accensione                 |
| 2. Finestrella del ricevitore del segnale wireless | 11. Spia di pronto lampo / pulsante TEST    |
| 3. Interruttore del segnale acustico               | 12. Pulsante <b>OK</b>                      |
| 4. Illuminatore AF                                 | 13. Selettore                               |
| 5. Coperchio delle batterie                        | 14. Levetta di blocco della slitta contatti |
| 6. Staffa                                          | 15. Ghiera                                  |
| 7. Display LCD                                     | 16. Presa sincro                            |
| 8. Interruttore retroilluminazione                 | 17. Pannello riflettente                    |
| 9. Pulsante <b>MENU</b>                            | 18. Diffusore grandangolare                 |

## SELETTORE (13)

In questo manuale le posizioni del selettore sono indicate come segue .



Usare i pulsanti come segue: per muovere su e giù:  per muovere sinistra/destra .

## FOTOCAMERE COMPATIBILI

Il flash è compatibile con le seguenti fotocamere

Fotocamere compatibili con il sistema CLS Nikon
-------------------------------------------------


- Usare un obiettivo AF adatto alla fotocamera utilizzata.

## INSERIRE LE BATTERIE

---

1. Spostare l'interruttore da **[SPENTO]** e aprire il vano batterie facendo scorrere il coperchio. P.3-(1)
2. Seguire le indicazioni presenti nel vano batterie e inserire le batterie rispettando la polarità + e - P.3-(2)
3. Chiudere il vano batterie. P.3-(3)
4. Riportare l'interruttore su **[Acceso]**. Quando le batterie hanno raggiunto una carica sufficiente lampeggerà una spia verde. Quando sono del tutto cariche lampeggerà una spia rossa.

### Attenzione!!

Quando la carica della batteria è bassa nel LCD comparirà l'icona . Quando la batteria arriva a zero compare un avvertimento sulla destra del pannello e il flash non funzionerà più per molto. Cambiare le batterie.



### INDICAZIONI DI ERRORE

Se nel pannello LCD compare l'icona **[ER]** il flash potrebbe avere dei malfunzionamenti. Resettarlo e controllare le batterie. Se l'indicazione rimane consultare il rivenditore

### AUTO POWER OFF

Per risparmiare l'energia delle batterie, il flash si spegne automaticamente quando non viene usato per oltre 80 secondi. Per ripristinare il funzionamento, premete il pulsante TEST oppure quello di scatto della macchina fino a metà. Lo spegnimento automatico non funziona nelle modalità **[WL RX]**, **[R&FL NORMAL]** e **[R&FL RX]**.

## INSERIRE IL FLASH NELLA FOTOCAMERA

---

1. Spegnerne l'alimentazione **[OFF]**
2. Assicurarsi che la levetta di blocco sia nella posizione di **[UNLOCK ►]**. P.3-(4)
3. Inserire il flash nella slitta portaccessori fino a che si blocca. Spostare la levetta di blocco nella posizione **[◀LOCK]** fino a sentire un clic. P.3-(5)

Per togliere il flash spostare la levetta di blocco su **[UNLOCK ►]** fino a che si arresta. Poi togliere il flash.

### Attenzione!!

Se il flash è tolto con la levetta non sulla posizione di **[UNLOCK ►]** potrebbe danneggiarsi o danneggiare l'innesto a slitta.

## REGOLARE LA TESTA DEL FLASH

---

Nelle riprese normali lasciare la testa rivolta in avanti P.3-(6)

### Attenzione!!



Dopo aver posto su ON, acceso, l'interruttore, se compare la scritta **[BOUNCE]** o se l'indicazione della distanza lampeggia nel LCD, vuol dire che la testa del flash non è posta correttamente verso l'avanti.

## LIMITAZIONI QUANDO SI SCATTA IN SEQUENZA

Per evitare il surriscaldamento, non usate il flash per almeno 10 minuti dopo una sequenza di scatti, come indicato nella tabella

Modalità	Numero di esposizioni flash
TTL, M (1/1, 1/2)	20 esposizioni continuate
M(1/4, 1/8)	25 esposizioni continuate
M(1/16-1/32)	40 esposizioni continuate
Multi	10 cicli


### Attenzione!!

Se compare nel display questa icona  la emissione di luce dev'essere ridotta per evitare il surriscaldamento dei circuiti del flash. Prima di usare il flash attendere che l'icona  scompaia.

## PROCEDURE DI BASE DI REGOLAZIONE

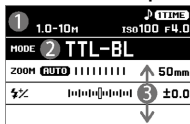
Questa sezione descrive i principi fondamentali delle impostazioni. Con EF-630, la maggior parte delle impostazioni possono essere effettuate facilmente mediante le seguenti fasi.

### Attenzione!!

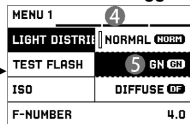
Quando l'interruttore di accensione è posto sul segno di blocco , i settaggi non potranno essere cambiati. Bisogna spostarlo su ON, acceso, se si desidera cambiarli.

Passare dalla Schermata principale al Menu di settaggio col pulsante **MENU**. (Con l'interruttore su ON, acceso iniziare anche dalla Schermata principale.)

### Schermata Principale



### Menu di settaggio



Cambiare la Modalità Flash e settare i particolari di ciascuna modalità



Aggiungere funzioni alla ripresa flash e fare i settaggi base.

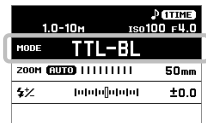
- ① Area Stato attuale
- ② Area modalità flash
- ③ Area dettagli modalità

- ④ Area tabulazione
- ⑤ Sottomenu



## OPERAZIONI BASICHE NELLA FINESTRA PRINCIPALE

### IMPOSTARE LA MODALITA' FLASH

Impostare la modalità Flash con i pulsanti  e cambiare la modalità con quelli  oppure con la ghiera.



### IMPOSTARE I DETTAGLI DELLA MODALITA'

Impostare i dettagli usando pulsanti  e variare i valori di settaggio con i pulsanti  o con la ghiera.



## OPERAZIONI PRINCIPALI NEL MENU DI SETTAGGIO

Ogni volta che si ruota la Ghiera si passa a una tabulazione successiva. (Impostata l'icona nello spazio di tabulazione è possibile variare il menu di settaggio premendo i pulsanti <>)

### Una volta nel Menu di settaggio

Usare pulsanti <> per impostare i vari settaggi. Premere il pulsante **OK** o > per aprire i sottomenu. (In alcuni settaggi si aprirà una schermata dedicata o un messaggio)

### Una volta nei sottomenu

Usare i pulsanti <> per impostare le varie opzioni. Premere i pulsanti **OK** > per applicarle. (Premere il pulsante < per chiudere il sottomenu senza applicare i cambiamenti)

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	ON
LCD LIGHT	AUTO
DISPLAY SETTING	...
M / FEET	M

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	ON >
LCD LIGHT	AUTO
DISPLAY SETTING	...
M / FEET	M

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	OFF
LCD LIGHT	ON
DISPLAY SETTING	ONLY
M / FEET	M

## i-TTL AUTO FLASH

La fotocamera misura la luce dei pre-lampi e regola la potenza in modo ottimale. Si può scegliere tra i seguenti due metodi.

### i-TTL fill-flash (Modalità flash: [TTL-BL])

Regola la luce flash in modo da avere illuminati sia il soggetto, sia lo sfondo

- Quando la misurazione esposimetrica è impostata su Spot, non è possibile impostare la modalità i-TTL-BL.

## Standard i-TTL (Modalità flash: [TTL])

Regola la quantità di luce necessaria a illuminare il soggetto e non tiene conto della luce per illuminare lo sfondo.

1. Impostare la modalità flash [TTL-BL] o [TTL].
2. Controllare nell'area di Stato che il soggetto sia nella portata del flash.
3. Controllare lo stato delle batterie con la Spia Pronto e iniziare a fotografare

1.0-10M		TIME
MODE	TTL-BL	ISO100 F4.0
ZOOM	AUTO	50mm
BATT		±0.0

Se l'icona **NG** compare per cinque secondi dopo lo scatto, significa che la luce del flash è stata o poca o troppa. Variare i parametri di ripresa e riprovare.

## VELOCITÀ OTTURATORE E APERTURA DIAFRAMMA

Le relazioni tra velocità dell'otturatore e aperture di diaframma in differenti modalità d'esposizione sono illustrate sotto.

	Velocità Otturatore	Apertura
<b>P</b>	Scelta automaticamente.	Scelto automaticamente
<b>A</b>	(Velocità sincro flash*2-1/60 sec.*1)	Scelta personale.
<b>S</b>	Consente di scegliere personalmente il tempo di scatto purché non sia più breve di quello di sincronizzazione*2.	Scelto automaticamente
<b>M</b>		Scelta personale.

\*1 Con alcuni modelli è possibile impostare, senza limiti, esposizioni più lente di quella sincro. Inoltre, quando la modalità della fotocamera è impostata su Sincronizzazione Lenta, non ci sono limiti al tempo di esposizione.

\*2 Quando sulla fotocamera è impostata la modalità FP si possono usare tutti i tempi rapidi.

## Attenzione!!

Quando si scatta con la spia di esposizione della fotocamera accesa, si avrà una sotto o sovra esposizione. In tal caso cambiare i parametri di ripresa.

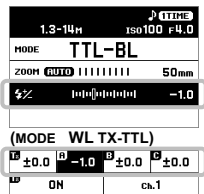
## COMPENSAZIONE ESPOSIZIONE FLASH

E' possibile correggere solamente la luce del flash e non quella ambiente.

Può essere usata nelle modalità flash [TTL], [TTL-BL], [GN-M] e [WL TX-TTL].

Impostare il valore di compensazione nell'area Modalità dettagli. (La compensazione può essere di +/-3 stop a gradini di 1/3 di stop.)

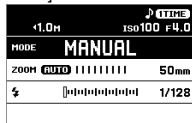
- Disponibile anche la funzione di compensazione dell'esposizione sulla fotocamera. Quando tale compensazione venga impostata sia sulla fotocamera sia sul flash, la ripresa godrà della combinazione di entrambe.



## FLASH MANUALE

E' possibile settare il flash secondo il giudizio personale

1. Impostare sul flash la Modalità [MANUAL]
2. Impostare il valore flash nell'area Modalità dettagli (Si può settare da 1/128 a 1/1, con gradini di 1/3 di EV)
3. Controllare lo stato della batteria con la spia Pronto e poi scattare.



Nell' Area di Stato, sezione visualizzazione distanza, è visualizzata la distanza operativa. Anche con la medesima Potenza di flash la esposizione corretta varierà, secondo la sensibilità ISO e l'apertura di diaframma impostati sulla fotocamera.

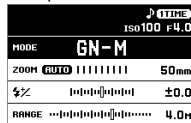
La esposizione corretta nella modalità flash manuale si calcola con la formula seguente. Numero Guida (NG)/Distanza di ripresa (m)= Aperura diaframma

Per conoscere il NG (Numero Guida) di questo flash, leggere la tabella alla fine di questo manuale [Tabella 1]

## FLASH MANUALE A PRIORITA' DELLA DISTANZA

Modalità manuale con la quale l'emissione della luce flash è automaticamente regolata sulla distanza impostata.

1. Impostare sul flash la Modalità [GN-M].
2. Distanza dal soggetto. (Se la distanza è fuori dal campo di regolazione, regola di conseguenza il diaframma, gli ISO ecc.)
3. Controllare lo stato della batteria con la spia Pronto e poi scattare.



## MULTI FLASH

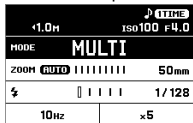
E' possibile ricreare l'immagine del movimento del soggetto scattando una serie di flash con l'otturatore sempre aperto.

Impostare sulla fotocamera la modalità "M", Manuale.

1. Impostare la modalità [MULTI]
2. Nell'area Modalità dettagli impostare la Potenza del flash e

il numero dei lampi in "x". (esempio: 10Hz corrispondono a 10 lampi al secondo)

- Impostare una velocità di scatto inferiore a quella ricavata da "Numero flash"/"Frequenza dei flash"
- Controllare la spia di carica del flash e iniziare a scattare.



Il numero di lampi che si possono scattare in sequenza dipende dalla frequenza del lampeggiamento e il numero dei lampi. Consultare [Tabella 2] alla fine di questo manuale.

## FLASH TELECOMANDATO SENZA FILI (WIRELESS)

Se il flash è situato distante dalla fotocamera le possibilità creative aumentano. Il EF-630 è pilotato a distanza dal flash incorporato alla fotocamera o da un modulo flash Trasmettitore(TX) separato.

- Il flash inserito nella fotocamera è chiamato [Trasmettitore(TX)], quello distante è denominato [Ricevitore(RX)].
- Posizionare il flash a entro una distanza compresa fra 0,5m e 5m dal soggetto, e regolare la fotocamera per una distanza compresa tra 1m e 5m
- Quando sistemate il flash EF-630 separato dalla fotocamera, usate la mini base, che possiede un foro filettato per il treppiede.
- Lo scatto del flash in wireless può essere pilotato dal flash integrato nella fotocamera (Solamente con fotocamere dotate di Modalità Commander). Riguardo ai settaggi da impostare nella fotocamera leggere il manuale istruzioni della fotocamera.
- Il modello EF-630 può anche essere usato assieme al EF-610 DG SUPER NA-iTTL. In questo caso si usa EF-610 DG SUPER

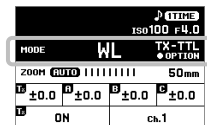
come flash Ricevitore. Per il settaggio del EF-610 DG SUPER leggere il relativo manuale (la procedura per settare EF-610 DG SUPER come flash Ricevitore ID è indicata nel relativo manuale)

EF-630 ID flash Ricevitore	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>
EF-610 DG SUPER ID flash Ricevitore	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>

## PREPARAZIONE FLASH PER IL WIRELESS (TRASMETTITORE)

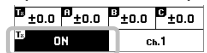
### IMPOSTARE MODALITÀ FLASH

Impostare le modalità di scatto a distanzan [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], e [WL TX-MULTI].



### SETTAGGIO FLASH PRINCIPALE (TRASMETTITORE)

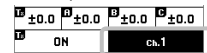
Scegliere di settare il Trasmettitore solamente con funzioni di controllo oppure anche d'illuminazione.



<b>ON</b>	Funzione di controllo + emissione Flash
<b>OFF</b>	Solamente funzione di controllo

### SETTAGGIO DEI CANALI

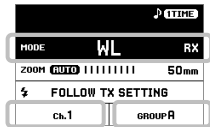
Se un altro fotografo utilizza flash wireless, impostare un canale diverso evita malfunzionamenti. (Possiamo settare Quattro differenti canali da 1 a 4)



## PREPARAZIONE FLASH PER IL WIRELESS (RICEVITORE)

- Impostare la modalità [WL RX]

- Nello spazio dedicato alle Modalità scegliere il medesimo canale del Flash Principale
- Nella modalità area particolare, impostare il gruppo di flash desiderato (tutti, **A**, **B**, **C**)

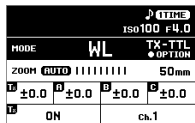


## WIRELESS i-TTL AUTO FLASH

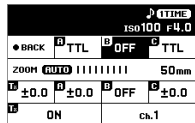
Nella modalità flash automatic i-TTL la fotocamera regola automaticamente l'esposizione sul giusto valore.

### SETTAGGI DEL TRASMETTITORE

- Settare il flash nella modalità **[WL TX-TTL]**.
  - Quando necessario impostare nell'area dettagli Modalità "Settare il canale" e "Settare il flash principale (Trasmettitore)"
  - Se necessario, nella Modalità area particolare, impostare la compensazione dell'esposizione flash per ciascun gruppo Principale o Ricevitore.
- E' possibile passare alla modalità manuale o disattivare il gruppo di flash secondari desiderato.



- Quando il pulsante **OK** è premuto durante la selezione della modalità flash, nello schermo è indicata a rotazione la modalità dei vari gruppi flash secondari.
- Scegliere il gruppo che si desidera variare e impostare **[M]** (flash manual) oppure **[OFF]** (cancella flash)
- Impostare **[BACK]** e premere il pulsante **OK** per tornare alla schermata precedente.



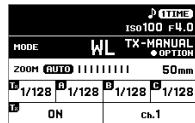
- Nella Modalità area particolare regolare la Potenza del flash del gruppo impostato su Flash Manuale.

### SETTAGGI DEL RICEVITORE

- Imposta i settaggi da "PREPARAZIONE FLASH PER IL WIRELESS (RICEVITORE)"
  - Posizionare il flash ricevitore, attendere che sia pronto al lampo e poi iniziare la ripresa (quando il flash è pronto al lampo l'illuminatore AF emette una luce lampeggiante.)
- Se dopo lo scatto qualche gruppo di flash non ha esposto correttamente, tale gruppo emetterà un bip d'avvertimento (Consulta **[BEEP SONORO]** a pag 93). In tal caso variare le regolazioni e scattare nuovamente.

## FLASH MANUALE WIRELESS

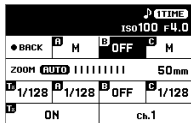
Come è possibile scattare in luce flash manuale, così lo è scattare in wireless. Regolare l'esposizione usando un esposimetro flash.



### SETTAGGI DEL TRASMETTITORE

- Settare il flash nella modalità **[WL TX-MANUAL]**.
  - Quando necessario impostare nell'area dettagli Modalità "Settare il canale" e "Settare il flash principale (Trasmettitore)"
  - Nella modalità Area particolare, impostare la potenza flash per ciascun gruppo [compreso il Principale (Trasmettitore) quando sia impostato su ON] (Si può settare da 1/128 a 1/1, con gradini di 1/3 di EV)
- E' possibile impostare, secondo l'esigenza, sul gruppo ricevitore la modalità i-TTL auto flash oppure spegnere il flash.

- Quando il pulsante **OK** è premuto mentre si imposta la modalità flash, nello schermo è indicata a rotazione la modalità dei vari gruppi flash secondari
- Scegliere il gruppo da cambiare e impostare **[TTL]** (i-TTL auto flash) o **[OFF]** (cancella flash).
- Impostare **[BACK]** e premere il pulsante **OK** per tornare alla schermata precedente.
- Quando necessario, nella Modalità area particolare, impostare la compensazione dell'esposizione per il gruppo che è stato impostato su i-TTL auto flash.



## SETTAGGI DEL RICEVITORE

- Settare il flash nella modalità **[WL RX]**.
- Imposta i settaggi da "PREPARAZIONE FLASH PER IL WIRELESS (RICEVITORE)"
- Posizionare il flash Ricevitore, attendere che sia pronto al lampo e poi iniziare la ripresa (quando il flash è pronto al lampo l'illuminatore AF emette una luce lampeggiante.)

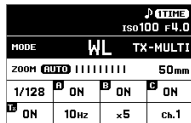
## WIRELESS MULTI FLASH

La modalità multi-flash è possibile sia con un solo flash sia con più flash

Impostare sulla fotocamera la modalità "M", Manuale.

## SETTAGGI DEL TRASMETTITORE

- Settare il flash nella modalità **[WL TX-MULTI]**.
- Quando necessario impostare nell'area dettagli Modalità "Settare il canale" e "Settare il flash principale (Trasmettitore)"



3. Nell'area Modalità dettagli impostare la Potenza del flash e il numero dei lampi in "x". (esempio: 10Hz corrispondono a 10 lampi al secondo)

- Qualsiasi gruppo Ricevitore può essere spento. Scegliere il gruppo da spegnere nella Modalità area particolare e impostare **[OFF]**.

## SETTAGGI DEL RICEVITORE

- Imposta i settaggi da "PREPARAZIONE FLASH PER IL WIRELESS (RICEVITORE)".
- Impostare una velocità di scatto inferiore a quella ricavata da "Numero flash"/"Frequenza dei flash"
- Posizionare il flash ricevitore, attendere che sia pronto al lampo e poi iniziare la ripresa (quando il flash è pronto al lampo l'illuminatore AF emette una luce lampeggiante.)

## FUNZIONE RICEVITORE & FLASH

Il EF-630 possiede una funzione che gli permette di scattare in seguito al lampo di un altro flash. Ciò permette di scattare con il flash distante dalla fotocamera. In questa modalità l'emissione del lampo non è regolata automaticamente.

## FUNZIONE NORMALE RICEVITORE & FLASH

Il flash principale Trasmettitore inserito nella fotocamera può essere usato per far partire in sincronismo un lampo con il EF-630, anche se questo è distante dalla fotocamera.

Impostare il flash Trasmettitore in modalità Manuale e regolare la potenza su 1/16

- Il flash integrato nella fotocamera può essere usato sia come flash sia come trigger. Impostare dalla modalità della fotocamera flash manuale e regola la Potenza del flash a circa 1/16



Impostare la modalità di esposizione della fotocamera su M e il tempo di scatto su 1/30 o inferiore. ISO e apertura diaframma secondo il vostro giudizio.

1. Impostare il flash in Modalità Ricevitore EF-630 to **[R&FL NORMAL]**.
2. Nell'area Modalità dettagli impostare ISO e valori di diaframma uguali a quelli impostati sulla fotocamera.
3. Regolare il flash nell'area Modalità dettagli in modo che la distanza tra flash ricevitore e soggetto sia simile a quella indicate dell'area di Stato.
4. Controllare lo stato di carica e iniziare a scattare.

◀1.0M		▶ TIME	
MODE	<b>R&amp;FL</b>	NORMAL	
ZOOM (AUTO)		24mm	
⌘		1/128	
iso100	F4.0		

## FUNZIONI DEDICATE RICEVITORE & FLASH

Se si usano due o più flash EF-630 è possibile stabilire quali flash debbano scattare insieme mediante la selezione dei canali. In questa modalità, un modulo flash potrà essere usato come Controller del Ricevitore e gli altri per lampeggiare come Ricevitori.

Impostare sulla fotocamera l'esposizione manuale M, il tempo di scatto su 1/30 o più breve e un valore ISO secondo il proprio giudizio

### IMPOSTARE IL CONTROLLO FLASH (TRANSMETTITORE)

1. Impostare la modalità Flash su **[R&FL TX]**.
2. Se necessario impostare i canali. (Nella Modalità area particolare impostare da Ch.1 a Ch.3.)

◀1.0M		▶ TIME	
MODE	<b>R&amp;FL</b>	TX	
ZOOM	SET AT 24mm		
⌘	CONTROL ONLY		
ch.1			

### IMPOSTARE IL LAMPEGGIATORE FLASH (RICEVITORE)

3. Impostare la modalità Flash su **[R&FL RX]**
4. Nell'area Modalità dettagli impostare il medesimo canale del

Flash Principale.

5. Nell'area Modalità dettagli impostare il medesimo valore ISO e aperture di diaframma del Flash Principale.
  6. Regolare la potenza del flash nell'area Modalità dettagli in modo che la distanza tra flash ricevitore e soggetto sia, approssimativamente la stessa indicata nell'Area di Stato.
  7. Controllare lo stato di carica e iniziare a scattare.
- Nella modalità Flash Ricevitore questo flash può essere usato assieme a EF-630 e / o EF-610 DG SUPER. (Maggiori dettagli sul settaggio consultare questo manuale)

◀1.0M		▶ TIME	
MODE	<b>R&amp;FL</b>	RX	
ZOOM (AUTO)		24mm	
⌘		1/128	
ch.1	iso100	F4.0	

## FUNZIONI AGGIUNTIVE

Il capitolo descrive le funzioni aggiuntive che possono essere aggiunte al Menu di Settaggio.

### MODALITÀ IRRAGGIAMENTO LUCE (MENU 1)

Il flash EF-630 ha tre modalità di irraggiamento della luce, da scegliere secondo il soggetto.

[MENU 1] → [LIGHT DISTRIBUTION]

<b>NORMAL</b> Regolazione di default	<b>Irraggiamento normale</b> Riprese generiche
<b>GN</b> <b>GN</b>	<b>Irraggiamento a priorità numero guida</b> L'angolo di emissione è più ristretto, perciò il numero guida è più alto.
<b>DIFFUSE</b> <b>DF</b>	<b>Luce diffusa</b> Fornisce una illuminazione diffusa e uniforme su tutto il campo inquadrato.

## TEST FLASH (MENU 1)

EF-630 possiede due modalità Test. Una delle due può essere allocata nel pulsante Test.

[MENU 1] → [TEST FLASH]

<b>1 TIME (1VOLTA)</b> <b>1TIME</b> Regolazione di default	<b>Test flash</b> Esegue un solo lampo test.
<b>MODELING</b> <b>MODEL</b>	<b>Modeling flash</b> Può essere usato con le modalità Flash [TTL], [TTL-BL], [MANUAL] [GN-M] e [MULTI]. Quando il pulsante TEST è tenuto premuto, per circa 1,5 secondi vengono emessi lampi continui così che si possano controllare le ombre.

### Attenzione!!

I settaggi per l'illuminazione di riempimento [MODELING] non possono essere impostati in nessun gruppo perché tale modalità non è possibile.

- Se la fotocamera possiede la funzione di flash di riempimento (modeling), tale funzione sarà disponibile premendo il pulsante di previsualizzazione della fotocamera. (Con tale pulsante il flash di riempimento è disponibile nelle seguenti modalità [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], o [WL TX-MULTI])

## MODALITÀ PERSONALIZZATA (MENU 2)

È possibile memorizzare e richiamare settaggi personalizzati. (Possono essere memorizzate due serie di settaggi

1.3-14m		ISO100 F4.0	
MODE C1	TTL-BL		
200M	AUTO		50mm
1/1000			-1.0

personalizzati)

## MEMORIZZARE E RICHIAMARE SETTAGGI PERSONALIZZATI

1. Impostare la Modalità Flash, Modalità area dettagli, e menu di Settaggio come desiderato.
2. Da [MENU 2] → [CUSTOM MODE SETTING], scegliere [C1] o [C2] e premere il pulsante **OK**.
3. Scegliere **OK** e confermare con il pulsante **OK**

Le variazioni saranno aggiunte alle modalità Flash come Modalità Personalizzate. (La modalità Personalizzata è indicata con le icone **C1** o **C2** nell'area Modalità Flash.)

## CANCELLARE LE MODALITÀ PERSONALIZZATE

1. Da [MENU 2] → [CUSTOM MODE DELETE], scegliere [C1] o [C2] premere il pulsante **OK**.
2. Impostare **OK** e confermare con il pulsante **OK**.

## ILLUMINATORE AF (MENU 3)

L'illuminatore AF si attiva automaticamente quando si mette a fuoco in condizioni di luce scarsa. La portata dell'illuminatore AF va da circa 0.7 a circa 10 metri.

[MENU 3] → [AF ASSIST LIGHT]


<b>OFF</b>	L'illuminatore AF non funziona
<b>ON</b> Regolazione di default	L'illuminatore AF è usato per rischiarare le parti in ombra.
<b>ONLY</b>	Il flash non funziona, solamente i settaggi dell'illuminatore AF [AF ASSIST LIGHT ONLY] sono indicati nell'area Modalità particolari.

### ILLUMINAZIONE DEL PANNELLO LCD (MENU 3)

Quando si accende l'alimentazione il pannello LCD s'illumina. I settaggi ON/OFF possono essere cambiati.

[MENU 3] → [LCD LIGHT]

<b>AUTO</b> Regolazione di default	Dopo 8 secondi di inattività l'illuminazione si spegne. Quando si aziona un comando l'illuminazione si riaccende.
<b>8 SEC</b>	Che sia stato usato il pulsante o la ghiera dopo 8 secondi dall'accensione l'illuminazione si spegne.
<b>ON</b>	L'illuminazione rimane sempre accesa


- Secondo il settaggio l'illuminazione può essere accesa/spenta con il pulsante 

### REGOLAZIONE SCHERMO LCD (MENU 3)

Contrasto e luminosità dello schermo LCD possono essere regolati

[MENU 3] → [DISPLAY SETTING]

<b>BRIGHTNESS</b>	<b>LUMINOSITA</b> Regolare la luminosità usando i pulsanti <>
<b>CONTRAST</b>	<b>CONTRASTO</b> Regolare il contrasto con i pulsanti <>

Per terminare la regolazione impostare [OK] e premere il pulsante 

Per cancellare la regolazione impostare [CANCEL] e confermare con il pulsante 

### CAMBIARE L'UNITA DI MISURA (MENU 3)

L'unità di misura nell'area di Stato può essere variata

[MENU 3] → [M / FEET]

<b>M (Default)</b>	Indicazioni in metri
<b>FEET</b>	Indicazioni in piedi

### INFORMAZIONI SUL FLASH (MENU 4)

Si possono vedere le seguenti informazioni

[MENU 4] → [INFORMATION]

<b>MODEL</b>	Nome del modello
<b>SERIAL No.</b>	Numero di serie
<b>VERSION</b>	Versione firmware

### INIZIALIZZAZIONE DEI SETTAGGI (MENU 4)

E' possibile resettare il flash ai valori di default

[MENU 4] → [RESET SETTINGS]

Per inizializzare i settaggi scegliere [OK] e premere il pulsante 

- Compiuto il reset tutte le personalizzazioni risulteranno cancellate.

### ALTRE FUNZIONI DI USO CORRENTE

#### REGOLARE LA TESTA DEL FLASH

Con la regolazione automatica della testa del flash **AUTO** (Auto), automaticamente questa regola l'angolo di emissione della luce secondo la focale dell'obiettivo.

- La testa del flash si regola sulle dimensioni del sensore per questo la focale visualizzata nello schermo del flash potrebbe essere diversa da quella realmente usata.
- Secondo le modalità flash la regolazione della testa va fatta secondo la focale dell'obiettivo.

I settaggi relativi alla testa del flash possono essere cambiati manualmente. Premere i pulsanti **<>** nell'area Modalità dettagli.



AUTO ⇔ 24 ⇔ 28 ⇔ 35 ⇔ 50 ⇔ 70 ⇔ 85 ⇔ 105 ⇔ 135 ⇔ 200mm

- A seconda della regolazione della parabola del flash, la sua potenza può variare

## DIFFUSORE GRANDANGOLARE

Il flash incorpora un filtro diffusore grandangolare che assicura la copertura fino alla focale del supergrandangolare da 17mm. Estrarre il pannello diffusore assieme al pannello riflettente dalla testa del flash. (Estrarre i pannelli lentamente, con delicatezza.) Poi spingere il pannello riflettente nel suo alloggiamento. P.3-(7)

- L'area del flash nel quale sono indicati dettagli delle modalità d'uso riporterà l'icona **[MP]** quando lo schermo grandangolare è in uso.

## FLASH INDIRECTO

Volgendo il flash verso il soffitto o una parete è possibile ottenere immagini con luce diffusa e ombre poco marcate.

La testa del flash può essere ribaltata verso l'alto di 90°, in basso di 7° e ruotata a destra e sinistra di 180° P.3-(8)

- Usando il flash modalità Luce Riflessa nell'area di Stato comparirà la scritta **[BOUNCE]**
- L'immagine sarà influenzata dal colore della superficie riflettente. Meglio se pareti e soffitto sono bianchi. A causa della riflettanza della superficie, della distanza del soggetto e di altri fattori, l'effettiva distanza per la modalità TTL AUTO può variare.

## ESPOSIZIONE CLOSE-UP

Inclinando verso il basso di 7° la testa si illuminerà meglio, nelle foto a distanza ravvicinata, la parte bassa del fotogramma.

- Quando la testa è inclinata verso il basso di 7° nell'area di Stato l'indicazione della distanza si metterà a lampeggiare.

## PANNELLO RIFLETTENTE

Il flash incorpora un pannello riflettente che contribuisce a creare il punto di luce di luce negli occhi del soggetto quando si usa il flash nella modalità di lampo riflesso. Estrarre il pannello diffusore e quello riflettente e riposizionare il diffusore nel suo alloggiamento. (Estrarre diffusore e pannello con la massima delicatezza.) P.3-(9)

- Per utilizzare nel modo migliore il pannello diffusore, ribaltare di 90° gradi in alto la testa del flash e riprendere il soggetto da breve distanza. P.3-(10)

## PRESA SINCRO

EF-630 possiede una presa sincro che permette di collegare la fotocamera ai cavetti sincro.

Quando si fotografa con il cavetto sincro si deve usare il flash in modalità **[MANUAL]**

Tramite **[MENU1]** → **[ISO]** **[F-NUMBER]**, impostare ISO e valore



di diaframma (F) come sulla fotocamera. Regolare la Potenza del flash nella area Modalità finché la distanza visualizzata nell'area di Stato sia simile a quella tra flash e soggetto.


### Attenzione!!

La modalità i-TTL-BL / i-TTL auto non è attiva quando si usa con il cavetto sincro.

La presa Sincro EF-630 ha il contatto + al centro e quello – alla periferia. Se il cavetto ha polarità invertita usare un comune convertitore di polarità.


## SICUREZZA CONTRO OPERAZIONI INDESIDERATE

Quando l'interruttore è nella posizione di blocco , tutti i comandi sono disabilitati, tranne quello TEST e quello dell'illuminazione , ciò per evitare variazioni di settaggi accidentali.

- Quando il flash è bloccato nell'area di Stato apparirà questa icona .

## BEEP SONORO

Certi stati d'uso del flash sono indicati anche con un beep sonoro che evita di controllare il pannello LCD.

Spostare l'interruttore del BEEP presente sul frontale dell'apparecchio su [ON]. (Una volta spostato su ON nell' area di Stato comparirà l'icona )

Un beep corto	Indica che la ricarica è terminata
Due lunghi bip	Esposizione flash troppa o insufficiente
Un lungo beep (2sec.)	Attenzione: errore

## FUNZIONI IMPOSTABILI SULLA FOTOCAMERA

### RIPRESA FV LOCK

La modalità con la quale si può correttamente esporre col flash qualsiasi area dell'inquadratura.


Può essere usata con le modalità flash [TTL], [TTL-BL] e [WL TX-TTL].

- Per la metodica delle impostazioni consultare il manuale della fotocamera.

### SINCRONIZZAZIONE SULLA SECONDA TENDINA

Il flash scatta appena prima della chiusura dell'otturatore. Sono registrate quindi le luci dietro il soggetto e l'eventuale scia di luce che questo lascia; la fotografia mostra il movimento del soggetto.


Può essere usata con le modalità flash [TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [WL TX-TTL] e [WL TX-MANUAL].

- Quando si è impostata la sincronizzazione sulla seconda tendina, nell'area di stato compare l'icona .

### FLASH FP (Sincro ad Alta Velocità)

Il flash FP emette una serie di lampi mentre scorrono le tendine dell'otturatore. Perciò è possibile usare tempi di scatto più veloci di quelli di sincronizzazione.

Può essere usato con le modalità Flash [TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [WL TX-TTL] e [WL TX-MANUAL]

- Quando si è impostata la flash FP, nell'area di stato compare l'icona .

Se siete nella modalità [TTL] / [TTL-BL] controllate che il soggetto sia nel raggio d'illuminazione controllando la distanza indicata nell'area di Stato, poi iniziate a scattare.


Nella modalità [MANUAL] regolate l'apertura del diaframma ecc... prima di iniziare a scattare, in modo che la distanza dal soggetto e quella indicata nell'area di Stato coincidano.

Il Numero Guida varia secondo la velocità dell'otturatore. (Consultare la tabella 3 dell'ultima pagina)

## RIDUZIONE DEGLI OCCHI ROSSI

Quando si scatta una foto con il flash, talora gli occhi delle persone ritratte riflettono la luce del lampo e risultano con le pupille colorate di rosso. Se si usa la funzione "riduzione degli occhi rossi", il flash lampeggia per circa un secondo prima dell'apertura dell'otturatore, e questo riduce il fenomeno "occhi rossi".

Può essere usata nelle modalità flash [TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [MULTI], [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], [WL TX-MULTI] e [R&FL TX].

- Quando si è impostata la riduzione degli occhi rossi, nell'area di stato compare l'icona .

## SPECIFICHE

MODELLO: Flash con slitta a contatto caldo, auto zoom, TTL  
NUMERO GUIDA: 63 (ISO 100, posizione parabola su focale 200mm)

ALIMENTAZIONE: Quattro batterie alcaline AA, oppure quattro batterie Nickel-Metal Hydride

TEMPO DI CARICA: circa 3.0 secondi (batterie alcaline);  
circa 1.8 secondi con batterie Nickel-Metal Hydride)  
NUMERO LAMPI: circa 120 (con batterie alcaline); circa 185  
(con batterie Nickel-Metal Hydride)  
DURATA DEL LAMPO circa 1/700 (a piena potenza)  
COPERTURA FOCALI: 24-200mm, con spostamento  
motorizzato della parabola;  
17mm con diffusore incorporato  
PESO: 490 gr    DIMENSIONI: 79.4x148.4x121.5mm



Questo è il marchio di conformità alle direttive della comunità Europea (CE).

SIGMA (Deutschland) GmbH

Carl Zeiss Str. 10/2, D 63322 Rödermark, F.R.GERMANY

Sales: 06074 / 865 16 0    Service: 06074 / 865 16 65

Support: 06074 / 865 16 88    E-Mail: info@sigma-foto.de



**Smaltimento domestico dei rifiuti elettrici ed elettronici**

Smaltimento dei rifiuti elettrici ed elettronici (Per gli Stati UE e dell'Europa con raccolta differenziata dei rifiuti)





Il simbolo indica che questo prodotto non deve essere considerato un normale rifiuto domestico. Perciò deve essere raccolto separatamente, in modo da permettere il riciclo dei suoi componenti elettrici ed elettronici. Quando si sostituisce con un nuovo prodotto, deve essere consegnato al distributore o al centro di raccolta per lo smaltimento dei rifiuti elettrici ed elettronici. Assicuratevi che il prodotto sia smaltito correttamente, aiuterete a prevenire negative conseguenze per l'ambiente e per la salute umana, che potrebbero essere causate dal suo inappropriato smaltimento. Se questo prodotto è smaltito contrariamente a quanto prescrive la legge, si può andare incontro a sanzioni.

## DANSK



Mange tak for dit køb af Sigma's elektroniske blitz EF-630 til Nikon. For at gøre din nydelse ved fotografering endnu større har denne blitz fået tilføjet flere nye funktioner. For at udnytte disse funktioner og få maksimal udbytte af din nye blitz, læs da venligst instruktionsbogen sammen med manualen til dit kamera, og hav dem altid i nærheden for ekstra referencer.





## SIKKERHEDS FORHOLDSREGLER

For at undgå at forvolde skade, læs venligt denne indstruktions manual grundigt før brugen af blitzten. Læg venligst især mærke til de følgende to symboler.







 <b>Advarsel !!</b>	Tilsidesættelse af dette advarsels symbol under anvendelse af produktet, kan afstedkomme alvorlig tilskadekomst eller anden alvorlig tilstand
 <b>Forsigtighed!!</b>	Anvender man produktet og tilsidesætter dette advarsels symbol, kan man risikere tilskadekomst eller anden alvorlig tilstand.
	Dette symbol understreger en advarsel eller punkt, hvor forsigtighed tilrådes.
	Dette Symbol indeholder information om de handlinger der skal undgås.

### **Advarsel !!**

-  Denne Blitz indeholder et højspændingskredsløb. For at undgå elektrisk stød eller forbrændinger, forsøg aldrig at skille blitzten ad. Hvis produktets skal er ødelagt eller revnet rør aldrig ved mekanismen inden i.
-  Udlad ikke blitz lyset tæt på øjnene. Det kraftige blitzlys kan beskadige øjnene. Hold minimum 1m/100cm afstand mellem blitz og ansigt.

-  Rør ikke ved kameraets syncrostick når blitzten er monteret i kameraets blitz-sko. Højspændings kredsløbet kan forårsage elektrisk stød.
-  Anvend aldrig dit kamera på steder hvor letantændelige gasser, flydende brændstof eller kemikalier e.t.c er opbevaret, der kan være fare for eksplosion.
-  Dæk ikke for blitzhovedet med dine hænder, og undlad at udløse blitzten tæt på din hud, det kan afstedkomme brændsår.
-  Undlad at udløse blitzten mod bilister da det kan være skyld i ulykke.

### **Forsigtighed !!**

-  Anvend ikke denne flash med andet end Nikon SLR kameraer. Hvis man gør det, kan det medføre fejlfunktion og/eller skadelig effekt på kameraets elektroniske kredsløb.
-  Denne blitz enhed er ikke vandtæt. Når blitzten og kameraet anvendes i regn, sne eller tæt på vand, sørg for at udstyret ikke bliver vådt. Det er ofte ikke muligt at reparere elektriske komponenter der har været beskadiget af vand.
-  Udsæt aldrig blitz og kamera for stød, høje temperature, støv eller fugtighed. Disse faktorer kan muligvis udløse brand eller fejlfunktioner på udstyret.
-  Når blitzten udsættes for pludselige temperaturskift, som når blitzten flyttes fra f.eks koldt udendørs til et varmt indendørs miljø, dannes der kondens fugt på indersiden. I disse tilfælde, placer dit udstyr i en forseglet plastik pose, og vent med at bruge udstyret til det har nået almindelig indendørs rumtemperatur.
-  Opbevar ikke din blitz i en skuffe eller skab med naftalin kamfor eller andre insektmidler. Disse kemikalier vil have en negativ effect på produktet.
-  Brug aldrig Fortynder, Benzin eller andre rensesvæsker for at fjerne skit eller finger aftryk fra komponenterne. Rens i stedet

forsigtigt med en let fugtet blød klud.



For langtidsopbevaring, vælg et køligt tørt sted helst med god ventilation. Husk, blitzen har godt af at blive opladt og udladet flere gang om måneden, på den måde sikrere man den korrekte funktion af kondensatoren.



Udlad ikke blitzen hvis den er dækket af et klæde, dette kan medføre brand..

## BATTERI


Denne blitz enhed kan bruges med fire "AA" type, Ni-MH genopladelige batterier eller alkaline batterier.

- For at sikre optimal elektrisk kontakt, aftør batteri polerne før batterierne monteres i Blitzen.
- For at undgå batteri eksplosion, lækage eller overophedning, brug altid fire nye AA batterier af samme type og mærke. Mix aldrig nye og brugte batterier.
- Adskil aldrig batterierne eller forsøge at kortslutte dem udsætte dem for ild eller vand, De kan eksplodere. Oplad ALDRIG alkaline batterier, De eksploderer. Oplad KUN Ni-MH genopladelige batterier..
- Bruges blitzen ikke over en længere periode, anbefales det, at fjerne batterierne, da de ellers måske ville kunne lægge batterisyre der er ødelæggende for blitzen.
- Som med enhver anden blitz, anbefales det, at du medbringer ekstra batterier hvis du er på rejse eller fotograferer udendørs i koldt vejr.
- Brug IKKE Lithium AA/R6 Batterier. Det kan få dit udstyr til at give en fejlfunktion..
- Følg venligst alle anvisninger og regler for dit lokalområde med hensyn til korrekt bortskaffelse af brugte batterier..



## BESKRIVELSE AF FLASHENS DELE (P.2)

- |                                     |                              |
|-------------------------------------|------------------------------|
| 1. Blitz Hoved                      | 10. Power knap               |
| 2. Trødløs signal modtagelse vindue | 11. Klar lys /TEST knap      |
| 3. BEEP kontakt                     | 12. <b>OK</b> Knap           |
| 4. AF Assist lys                    | 13. Central vælger           |
| 5. Batteri Dæksel                   | 14. Shoe Lock Lever          |
| 6. Sko                              | 15. Dreje knap               |
| 7. LCD Panel                        | 16. Syncro. Terminal         |
| 8. Backlight kontakt                | 17. Catch Light Panel        |
| 9. MENU knap                        | 18. Vidvinkel diffuser panel |

## CENTRAL VÆLGER (13)

I denne instruktions manual, er hver position af Central vælgeren vist med disse pile .



- Knapperne bruges som følgende: Op og Ned knapper:  .  
Venstre og Højre knapper: .

## KOMPATIBLE KAMERAER

Denne Blitz er kompatibel med følgende kameraer:

Digital SLR kameraer der er kompatible med Nikon Creative Lighting System (CLS)

- Brug venligst et AF objektiv der understøtter det kamera der anvendes.




## ISÆTNING AF BATTERIER

---

1. Skub POWER knap till [OFF] og åben batteridækslet ved at skubbe det ud P.3-(1)
2. Følg indikationerne i batteri kammeret og indsæt batterierne med + og - i korrekt position. P.3-(2)
3. Luk her efter batteri dækslet. P.3-(3)
4. Skub POWER knappen til [ON]. Når Blitzten er ved at lade op til skud blinker den grønne KLAR lampe. Straks Blitzten er fuldt opladt lyser KLAR lampen fast rød.


### Advarsel !!

Når batteri kapaciteten bliver lav, vises  symbolet i LCD panelet. Når batterierne løber helt tør, vises symbolet, vist her til højre i LCD panelet. Blitzten virker ikke længere. Skift venlist batterier.



FLAT BATTERY

### FEJL ADVARSEL

Når  symbolet vises på LCD panelet, kan Blitzten have en fejl. Sluk og tænd blitzten igen eller tjek batterierne. Viser symbolet da fortsat, kontakt venligst Distributøren.

### AUTO POWER OFF

For at spare på strømmen, slukker Blitzten automatisk hvis den ikke har været i brug i 80 sekunder, tryk på TEST knappen for at genstarte den, eller kameraets udløserknop halvt ned. Bemærk at, auto sluk ikke fungerer i [WL RX] indstilling, [R&FL NORMAL] indstilling og [R&FL RX] indstilling.

## MONTERING PÅ KAMERAET

---

1. Sluk for blitzten på [OFF].
2. Kontroller at blitzsko låsen er i [UNLOCK ►] position. P.3-(4)
3. Skub blitzten ind i hot skoen på kameraet indtil den stopper. Skub blitzsko låsen til [◀LOCK] position indtil den er låst med en klik lyd. P.3-(5)

Når Blitzten skal afmonteres, skub blitzsko låsen i [UN LOCK►] retning indtil den stopper. Mens du fortsat holder Blitzsko låsen inde, trækker du blitzten af hot skoen.

### Advarsel!!


Hvis Blitzten trækkes af kameraets hotsko mens låsen stadig er last, risikerer du at beskadige bade kameraets hotsko og foden på Blitzten. Sørg altid for at låseknappen står i [UNLOCK ►] position før afmontering.

## JUSTERING AF BLITZ HOVEDET

---

Ved almindelig fotografering, indstil Blitzhovedet til lige ud position. P.3-(6)

### Advarsel!!



Efter at Blitzten er tændt (ON) og  symbolet vises i Status området, eller hvis afstands indikatoren i Status området blinker, er blitzhovedet ikke korrekt sat til lige ud position.

## BEGRÆNSET KONTINUERLIG BRUG

For at undgå overophedning af Blitzens kredsløb, anbefaler vi at du ikke bruger Blitzten i mindst 10 minutter efter du har skudt det antal kontinuerlige eksponeringer du finder i tabellen herunder.

Mode	Number of Flash Exposures
TTL, M(1/1, 1/2)	20 Continuous Flash Shots
M(1/4, 1/8)	25 Continuous Flash Shots
M(1/16~1/32)	40 Continuous Flash Shots
MULTI	10 Cycle

### Advarsel!!

I tilfælde af at  symbolet vises i LED displayet, begrænses lysmængden automatisk for at undgå overophedning af Blitzens kredsløb. Undgå at bruge Blitzten til  symbolet er slukket igen.

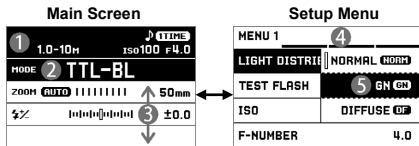
## GRUNDLÆGGENDE INDSTILLINGER

Denne sektion beskriver de grundlæggende indstillinger. Med EF-630, kan de fleste indstillinger udføres ganske enkelt ved blot at følge trinene i denne beskrivelse.

### Advarsel!!

Når power ON knappen er i  (låse) position, kan der ikke foretages ændringer. Husk at sætte power knappen til [ON] for at ændre indstillinger.

Skift mellem (Main screen) og (Setup menu) ved at bruge **MENU** knappen. (Når power er sat til [ON], start altid fra (Main screen.)



Ændrer Blitz indstillinger og detaljer i hver Blitz indstilling.



- ① Status område
- ② Blitz indstillings område
- ③ Indstillings detalje område

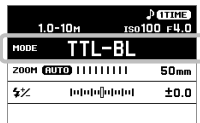
Tilføjer de valgbare blitz indstillingsmuligheder og sætter de grundlæggende funktioner.

- ④ Fane område
- ⑤ Sub menu



## GRUNDLÆGGENDE INDSTILLING PÅ (MAIN SCREEN)

### VALG AF BLITZ INDSTILLINGER.

Vælg Blitz indstillings område ved hjælp af  pil op ned knapperne og foretag ændringen ved hjælp af  højre / venstre pil eller dreje knappen.



### BLITZ INDSTILLINGS DETALJER

Vælg indstillings detalje området ved hjælp af pil op/ned  knapperne og foretag ændringerne i værdierne ved hjælp af højre/ venstre pil  knapperne eller dreje knappen.



## GRUNDLÆGGENDE BRUG I SETUP MENU

Du kan skifte mellem fanerne, ved at bruge dreje knappen. (Når markøren er placeret på [Fane område] kan skifte fanerne med **<>** knapperne.)

### I Set-up Menuen:

Brug **↕** Op/ned pile knapperne for at vælge mellem emnerne i menuen. Tryk på **OK** eller højre pil **>** knap for at åbne under-menuerne eller en dialog boks. (Under visse emner, dukker en special fane eller dialog boks op)

### I set-up undermenuerne:

Brug op/ned pile **↕** knapperne for at vælge mulighederne. Tryk på **OK** eller højre pil **>** knappen for at aktivere den nye indstilling. (Tryk på venstre pil **<** knap for at lukke undermenuerne uden at aktivere indstillingerne)

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	ON
LCD LIGHT	AUTO
DISPLAY SETTING	...
M / FEET	M

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	ON >
LCD LIGHT	AUTO
DISPLAY SETTING	...
M / FEET	M

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	OFF
LCD LIGHT	ON
DISPLAY SETTING	ONLY
M / FEET	M

## i-TTL AUTO FLASH

Kameraet måler det reflekterede lys fra pre-flashes og giver det optimale flash output. Vælg mellem de følgende to metoder.

### i-TTL balanceret fill-flash (Flash metode: [TTL-BL])

Her kontrolleres den mængde lys der kræves for en ballanceret eksponering af motivet og baggrunden.

- Når kameraets målemetoder er indstillet på spot måling, er det ikke muligt at vælge i-TTL-BL balanceret fill-flash.

## Standard i-TTL (Flash metode: [TTL])

Denne indstilling kontrollerer den mængde lys der er nødvendig til motivet, uden hensyntagen til eksponeringen af baggrunden.

1. Sæt flash metoden på [TTL-BL] eller [TTL].
2. Sikre at motivet er indenfor korrekt optage afstand ved at tjekke distance indikatoren i Status området.
3. Tjek batterikapaciteten via READY indikator lyset og start optagelserne.

1.0-10M		ISO100	F4.0
MODE	TTL-BL		
ZOOM	AUTO		50mm
⚡			±0.0

Hvis **NG** markeringen vises i fem sekunder lige efter eksponeringen, kan lysmængden have været for høj eller for lav. Skift indstilling og udfør eksponering igen.

## LUKKERTID OG BLÆNDE

Forholdene mellem lukkertider og blænder under forskellige eksponerings indstillinger er som følgende:

	Lukker hastighed	Blænde
<b>P</b>	Automatisk sat	Automatisk sat
<b>A</b>	(1/60sek* <sup>1</sup> -blitz synkroniserings-hastighed* <sup>2</sup> )	Kan indstilles frit
<b>S</b>	Giver dig mulighed for frit at sætte lukkerhastighed der svarer til eller er lavere end den blitz	Automatisk sat
<b>M</b>	synchronerede hastighed* <sup>2</sup> .	Kan indstilles frit

\*1 I nogle modeller, kan langsommere lukkertider vælges uden begrænsninger i lukkertider. I tillæg, når kameraets flash metoden er indstillet på [Slow sync], er der ikke nogen begrænsninger i forhold til den langsommest tilgængelige lukkertid.

\*2 Når FP flash vælges på kamraet, er der ikke nogen begrænsninger i forhold til indstilling af den hurtigst mulige lukkertid.

### Advarsel!!!

Hvis der fotograferes mens kameraets eksponerings advarsel lyser, kan

de resultere i over eller undereksposering. Skift indstilling og skyd igen.

## BLITZ EKSPONERINGS KOMPENSERING

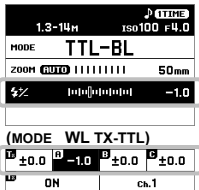
Det er muligt at kompencere mænden af blitslyset uden at det påvirker eksponeringen af baggrunden.

Det kan bruges med [TTL], [TTL-BL], [GN-M] og [WL TX-TTL] Blitz indstilling.

Indstil kompensations graden i Indstillings detaljer området.

(kompensations værdien kan indstilles I 1/3 trin og optil ±3 trin kan indstilles.)

- Flash eksponerings kompensations funktionen er også mulig i kameraet. Når flash eksponeringskompensation indstilles på både kamera og flash, vil eksponeringen blive udført med en eksponeringsværdi der er en kombination af de to indstillinger.

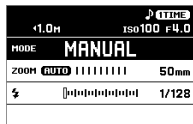


## MANUEL BLITZ

Det er muligt at indstille mængden af blitzlys efter behag.

- Sæt Blitz indstillingen til [MANUAL].
- Sæt Blitz mængde I indstillings detalje området (Tilgængeligt indstillings omfang: 1/128 to 1/1,) (Tilgængelig indstillingsværdi: 1/3EV.)
- Tjek batterikapaciteten via Ready lyset og begynd derefter optagelserne.

Blitz rækkevidden der kan opnås med den korrekte eksponering kalkuleres og vises under Distance display sektionen af Status området. Selv med den samme blitz mængde, varierer rækkevidden



I forhold til at opnå den korrekte eksponering hvis ISO eller blænder værdien ændres.

En korrekt eksponering når der bruges manual blitz, kan kalkuleres ved at bruge følgende formel:

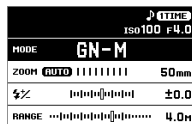
Ledetal (GuideNumber) / Optage afstand (m) = Blænder værdi (F)

Ledetallet for denne Blitz (Guide Number) finder du nederst I denne manual. [Tabel 1]

## AFSTANDSPRIORITERET MANUEL FLASH

I manuel flash optagelse vil lysmængden automatisk blive justeret i forhold til den valgte afstand.

- Sæt Blitz indstillingen til [GN-M].
- I metode detalje indstillingerne, sæt afstanden til motivet. (Hvis den ønskede afstand overstiger den tilgængelige afstand, juster kameraets blændeværdi eller ISO.)
- Tjek batterikapaciteten via Ready lyset og begynd derefter optagelserne.

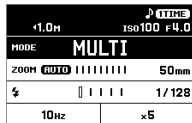


## MULTI BLITZ

At vise bevægelse af et emne I eet billede, som hvis billedet var et fotografisk playback, kan lade sig gøre ved kontinuerlige blitz udladninger mens kameraets lukker står åben.

Indstil kameraet til Manuel (M) eksponerings metode.

- Sæt Blitz indstillingen til [MULTI].
- I indstillings detalje området, sættes Blitz mængden, blitz interval i Hz (eg.: 10 Hz = udlader lys med en frekvens af 10 gange pr. sekund), og antallet af glimt i "x".



3. Vælg en lukkerhastighed der er langsommere end værdien af "antallet af blitzglimt" / "blitz frekvens."

4. Tjek opladningen via Ready lyset og begynd optagelsen.

Antallet blitzglimt der kan affyres kontinuerligt varierer afhængigt af blitz mængden og udladnings frekvensen. Referer til [Table 2] i slutningen af denne manual.

## WIRELESS BLITZ

Når Blitzen anvendes længere væk fra kameraet udvides de kreative muligheder. EF-630 blitzen kan fjernudløses af kameraets indbyggede blitz eller af en separat transmitter (TX) blitz enhed.

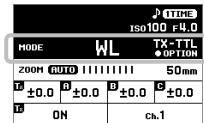
- Den blitz der monteres på kameraet kaldes [Transmitter (TX) enhed], og den blitz der bruges væk fra kameraet kaldes [Receiver (RX) enhed].
- Placer blitz enheden mellem 0.5m~5m fra objektet og placer kameraet mellem 1m~ 5m fra objektet.
- Transmitter Blitzen udløses for at kontrollere Receiver blitzen. Når Receiver blitzen skal placeres i en ønsket position, anbefales det at anvende et compact lampestativ.
- Trådløs blitz kan bruges med kameraets indbyggede blitz (Kun kameraer der har [Commander mode]). Læs om kamera indstillinger, i kameraets brugsanvisning.
- EF-630 kan også anvendes i kombination med EF-610 DG SUPER NA-iTTL. I så fald, brug EF-610 DG SUPER som Receiver enhed. Om indstilling af EF-610 DG SUPER, læs venligst i brugsanvisningen til EF-610 DG SUPER (opsætnings metoden på EF-610 DG SUPER receiver ID er anderledes. Se i følgende tabel.)

EF-630 receiver ID	A	B	C
EF-610 DG SUPER receiver ID	1	2	3

## KLARGØRING AF TRÅDLØS BLITZ (TRANSMITTER ENHED)

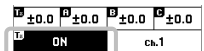
### VALG AF FLASH METODE

Indstil den ønskede wireless eksponerings metode mellem [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], og [WL TX-MULTI].



### TRANSMITTER BLITZ INDSTILLING

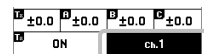
Her indstilles om "Transmitter" kun gælder for kontrol funktionen eller for kontrol funktionen og blitzens lysemission.



ON	Kontrol funktion + Blitz
OFF	Kontrol funktion alene

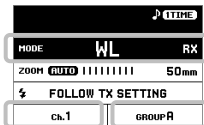
### KANAL INDSTILLING

Hvis en anden person også arbejder med trådløs blitz, kan fejlfunktioner undgås ved at vælge en anden kanal (Der kan vælges fra kanal 1 til 4).



## KLARGØRING AF TRÅDLØS BLITZ (RECEIVER ENHED)

1. Sæt blitz indstillingen til [WL RX].
2. I indstillings detaljer, vælges en kanal som er den samme som Transmitter.
3. Under Metode detaljer indstillinger, vælges den ønskede flash gruppe (enten A, B, eller C).



## TRÅDLØS i-TTL AUTO BLITZ

I indstillingen trådløs i-TTL auto blitz, kontrollerer kameraet automatisk eksponeringen til en passende værdi.

### TRANSMITTER ENHED INDSTILLING

1. Sæt blitz indstillingen til **[WL TX-TTL]**.
2. Når nødvendigt, udfør "Indstil kanal" og "Transmitter enhed blitz indstilling" i indstillingsdetalje afsnittet.
3. Når nødvendigt, indstil flash eksponeringskompensations værdien for hver transmitter og receiver gruppe i Metode detalje området.

♫ (TIME)	
ISO100 F4.0	
MODE	WL TX-TTL ◆ OPTION
ZOOM	AUTO       50mm
A	±0.0
B	±0.0
C	±0.0
D	ON
	ch.1

- Det er muligt at ændre den ønskede receiver gruppe til manual flash eller helt at slukke flashen.

- ① Når **[OK]** knappen trykkes ned samtidig med at flash metoden vælges, skifter skærbilledet så det viser receiver enheden (enhedernes) flash metode.
- ② Vælg den gruppe du vil ændre og sæt den på **[M]** (manuel flash) eller **[OFF]** (sluk flash).
- ③ Vælg **[BACK]** og tryk på **[OK]** knappen for at vende tilbage til det foregående skærbillede.
- ④ I metode detalje området, indstil flash antallet for den gruppe der indstilles til Manuel flash.

♫ (TIME)	
ISO100 F4.0	
◆ BACK	A TTL B OFF C TTL
ZOOM	AUTO       50mm
A	±0.0
B	±0.0
C	OFF
D	ON
	ch.1

### RECEIVER ENHED INDSTILLING

4. Udfør indstillingerne ved at følge "KLARGØRING AF TRÅDLØS BLITZ (RECEIVER ENHED)".
5. Placer receiver enheden, kontroller at opladningen er fuldført, og begynd så at optage (receiver enheden bekræfter at opladningen er gennemført med et blink med AF hjælpe lyset.)

- Straks efter eksponeringen, hvis en gruppe bliver undereksponeret, vil der lyde et bib som advarsel (se under **[BEEP LYDE]** på side 108). I sådanne tilfælde, skift indstillinger eller opstilling og gentag optagelsen.

## TRÅDLØS MANUEL BLITZ

Lige så vel som manuel blitz fotografering er mulig, er det også muligt at skyde trådløst blitz hvor mængden manuelt kan indstilles. Bestem eksponeringen ved at anvende et flashmeter der kan købes separat.

### TRANSMITTER ENHED INDSTILLING

1. Sæt blitz indstillingen til **[WL TX-MANUAL]**.
2. Når nødvendigt, udfør "Indstil kanal" og "Transmitter enhed blitz indstilling" i indstillingsdetalje afsnittet.
3. I Metode detalje området, indstil antallet af flash i hver gruppe (inklusive transmitter flashen når Transmitter flash er indstillet på on). (Tilgængeligt indstillings omfang: 1/128 to 1/1.) (Tilgængelig indstillingsværdi: 1/3EV.)

♫ (TIME)	
ISO100 F4.0	
MODE	WL TX-MANUAL ◆ OPTION
ZOOM	AUTO       50mm
A	1/128
B	1/128
C	1/128
D	ON
	ch.1

- Det er muligt at ændring af den ønskede receiver gruppe til i-TTL auto flash metode eller slukke flashen.

- ① Når **[OK]** knappen trykkes ned samtidig med at flash metoden vælges, skifter skærbilledet så det viser receiver enheden (enhedernes) flash metode.
- ② Vælg den gruppe du vil ændre og sæt den på **[TTL]** (i-TTL auto flash) eller **[OFF]** (sluk flash).
- ③ Vælg **[BACK]** og tryk på **[OK]** knappen for at vende tilbage til det foregående skærbillede.

♫ (TIME)	
ISO100 F4.0	
◆ BACK	A M B OFF C M
ZOOM	AUTO       50mm
A	1/128
B	1/128
C	OFF
D	ON
	ch.1

- ④ Hvis nødvendigt kan man i, Metode detalje området, indstille flash eksponerings kompensationsværdien for den gruppe der er indstillet på i-TTL auto flash.

## RECEIVER ENHED INDSTILLING

- Sæt blitz indstillingen til [WL RX].
- Udfør indstillingerne ved at følge "KLARGØRING AF TRÅDLØS BLITZ (RECEIVER ENHED)"
- Placer receiver enheden, kontroller at opladningen er fuldført, og begynd så at optage (receiver enheden bekræfter at opladningen er gennemført med et blink med AF hjælpe lyset.)

## TRÅDLØS MULTI BLITZ

Trådløs multi-blitz er mulig for en blitz eller for flere blitz.

Indstil kameraet til Manuel (M) eksponerings metode

### TRANSMITTER ENHED INDSTILLING

- Sæt blitz indstillingen til [WL TX-MULTI].
  - Når nødvendigt, udfør "Indstil kanal" og "Transmitter enhed blitz indstilling" i indstillingsdetalje afsnittet.
  - I indstillings detalje området, sættes Blitz mængden, blitz interval i Hz (eg.: 10 Hz = udlader lys med en frekvens af 10 gange pr. sekund), og antallet af glimt i "x".
- En hver receiver gruppe kan slukkes. Vælg den gruppe der skal slukkes i flash Metode detaljer området og indstil den på [OFF].

### RECEIVER ENHED INDSTILLING

- Udfør indstillingerne ved at følge "KLARGØRING AF TRÅDLØS BLITZ (RECEIVER ENHED)"
- Vælg en lukkerhastighed der er langsommere end værdien af "antallet af blitzglimt" / "blitz frekvens."

⏸ (T)IME			
ISO100 F4.0			
MODE	WL		TX-MULTI
ZOOM	AUTO		50mm
1/128	A ON	B ON	C ON
D ON	10Hz	x5	ch.1

- Placer Receiver enheden, kontroller at opladningen er fuldført, og begynd så at optage (Receiver enheden bekræfter at opladningen er gennemført med et blink med AF hjælpe lyset.)

## RECEIVE & BLITZ FUNKTION

SIGMA EF-630 inkluderer en funktion hvor den kan udløses af blitz glimt fra andre blitz enheder. Dette gør det nemt og praktisk når flere blitz er placeret længere væk fra kameraet. Blitz mængden bliver dog ikke automatisk justeret i denne indstilling.

## NORMAL RECEIVE & BLITZ FUNKTION

Transmitter enheden forbundet til kameraet kan bruges til at udløse en synkroniseret blitz med EF-630, selv når den er placeret væk fra kameraet.

Sæt Transmitter blitzen til manuel indstilling og sæt blitz mængden til ca. 1/16.

- Kameraets integrerede flash kan bruges som en flash udløser. Indstil den integrerede flash på manuel flash metode på kameraet og sæt flash styrken til cirka 1/16.

Sæt kameraets eksponerings indstilling til M og lukkehastigheden til 1/30 sekund eller kortere og blænder og ISO værdi skønsmæssigt.

- Sæt blitz indstillingen på Receiver EF-630 blitzen til [R&FL NORMAL].
- I indstillings detalje området, sættes ISO og blænde værdierne til at matche med kameraets indstillinger.
- Juster blitz mængden i indstillings detalje området så rækkevidden mellem Receiver blitzen og objektet ca. har den samme rækkevidde som

⏸ (T)IME			
<1.0M			
MODE	R&FL		NORMAL
ZOOM	AUTO		24mm
⚡			1/128
ISO100			F4.0

- der indikeres i Status området.
4. Tjek at blitzen er fuldt opladet og begynd så optagelsen.

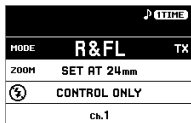
## UDVALGTE RECEIVE & BLITZ FUNKTION

Hvis der bruges to eller flere EF-630 blitz enheder, kan du udvælge hvilke blitz enheder der skal udløses sammen, ved at bruge kanal indstillingerne. I denne indstilling bliver den ene blitz RECEIVER kontrolleren, og de andre udløses som Receiver blitz.

Sæt kamera eksponerings indstillingen til M, Lukkehastigheden til 1/30 sekund eller kortere, og ISO og blænder værdi skønsmæssigt.

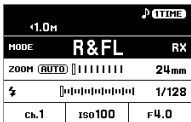
### INDSTILLING AF KONTROL (TRANSMITTER) BLITZEN

- Sæt Blitz indstillingen til [R&FL TX].
- Vælg kanal når det er nødvendigt. (I Metode detajeområdet, vælg fra kanal 1 til 3.)



### INDSTIL DEN UDLØSENDE (RECEIVER) BLITZ

- Sæt blitz indstillingen til [R&FL RX].
- I indstillings detalje området, sættes same kanal nummer som på KONTROL blitzen.
- I indstillings detalje området, sættes ISO og blænde værdi matchende dem der er sat på KONTROL blitzen.
- Juster blitz mængden I indstillings detalje området så rækkevidden mellem Receiver blitz og objekt er omtrent den same som indikeret I Status området.
- Tjek at blitzen er fuldt opladet og start optagelsen.



- I Receiver indstilling, kan denne blitz også bruges I kombination med EF-630 og / eller EF-610 DG SUPER til andre kamera

tilpasninger. (For detaljer om indstillingerne af EF-610 DG SUPER, se venligst dens instruktions manual.I.)

## EKSTRA FUNKTIONER

Denne section beskriver de ekstra funktioner der kan blive indstillet og tilføjet fra SETUP menuen.

### LYS DISTRIBUTIONS INDSTILLINGER (MENU 1)

EF-630 har tre Lys Distributions indstillinger der kan vælges alt efter hvilket formål man vil opnå..

[MENU 1] → [LIGHT DISTRIBUTION]

<b>NORMAL</b> - (Default)	<b>Normal light distribution</b> Almindelig lys distributions karakteristisk til general fotografering
<b>GN</b> <b>GN</b>	<b>Ledetals prioriteret lys distribution</b> Blitzens udlysningsvinkel formindskes men blitzens ledetal forøges.
<b>DIFFUSE</b> <b>DF</b>	<b>Flat light distribution</b> Forhindrer en reducere af den omgivende lysmænde med en mere jævn lysfordeling.

### TEST BLITZ (MENU 1)

EF-630 har to Test blitz indstillinger. En af Test Blitz indstillingerne kan blive allokert til TEST knappen.

[MENU 1] → [TEST FLASH]



<b>1 TIME</b> <b>1 TIME</b> (Default)	<b>Test Blitz</b> Udfører et enkelt Blitz glimt
<b>MODELING</b> <b>MODEL</b>	<b>Modeling Blitz</b> Det kan bruges med [TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M] og [MULTI] Blitz indstilling. Når Test knappen holdes nedtrykket udløses kontinuerlige blitz glimt I ca. 1,5 sek Så det er muligt at tjekke hvor skyggerne falder.

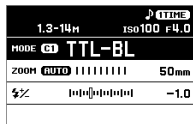
### Bemærkning!!

Indstillingen [MODELING] kan ikke vælges i de blitz metode indstillinger hvor modeling blitz (opblødningslys) ikke er tilgængeligt.

- Hvis kameraet har pilotlys funktion, pilotlys er tilgængelig når kameraets preview knap trykkes ned. (Via kameraet preview knap, kan pilotlys også bruges [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], eller [WL TX-MULTI] metode.)

## BRUGERVALGTE INDSTILLINGER (MENU 2)

Det er muligt gemme og genkalde "custom settings". (To serier af brugervalgte indstillinger kan gemmes)



## LAGRING OG RECALLING CUSTOM SETTINGS

1. Sæt blitz indstillingen, indstillings detalje området, og Setup menuens indhold som du ønsker..
2. Fra [MENU 2] → [CUSTOM MODE SETTING], vælg [C1] eller [C2] og tryk på **OK** knappen.
3. Vælg [OK] og bekræft med **OK**

Det registrerede indhold er tilføjet Blitz indstilling som "Custom mode". ("Custom mode" indikeres med symbolerne **C1** eller **C2** i blitz indstillings området.

## SLET REGISTREREDE "CUSTOM" INDSTILLINGER

1. Fra [MENU 2] → [CUSTOM MODE DELETE], vælg [C1] or [C2] og tryk på **OK** knappen.
2. Vælg [OK] og bekræft med **OK** knappen.

## AF HJÆLPE LYS (MENU 3)

AF hjælpelyset tændes automatisk når du fokuserer på et objekt i mørke. Den effective rækkevidde af AF hjælpelyset ligger fra omkring 0.7 til 9 meter (2.3-29.5 fod).

[MENU 3] → [AF ASSIST LIGHT] → [OFF].


<b>OFF</b>	AF hjælpelys fungerer ikke.
<b>ON</b> (Default)	AF hjælpelys bruges til at oplyse mørke områder.
<b>ONLY</b>	Flash er slået fra, og kun AF hjælpelyset fungerer (når [AF ASSIST LIGHT ONLY] indstillingen er vist i metode indstillings området.)

### LCD PANEL LYS (MENU 3)

Når strømmen er slået til (ON) lyser LCD panelet op. ON/OFF indstillingerne af lyset kan ændres..

[MENU 3] → [LCD LIGHT]

<b>AUTO</b> (Default)	Efter 8 sekunder uden brug, slukker panellyset automatisk. Straks en knap eller hjul påvirkes når panelet er slukket, tændes det automatisk igen.
<b>8 SEC</b>	Uanset om en knap eller et hjul, bliver påvirket, vil panel lyset automatisk slukke efter 8 sekunder uden brug fra panel lyset blev tændt.
<b>ON</b>	Panellyset er tændt permanent.


- Uanset indstillinger, kan panel lyset tændes og slukkes med on/off  knappen


### LCD PANEL JUSTERING (MENU 3)

Kontrast og lysstyrke af LCD panelet kan justeres.

[MENU 3] → [DISPLAY SETTING]

<b>BRIGHTNESS</b>	<b>LYSSTYRKE</b> Juster lysstyrken til det ønskede niveau ved at bruge pile <> knapperne.
<b>CONTRAST</b>	<b>KONTRAST</b> Juster kontrasten til det ønskede niveau ved at bruge pile <> knapperne.

Når du har foretaget justeringerne, vælg [OK] og bekræft ved at trykke på  knappen.

Hvis du vil slette justeringerne, vælg [CANCEL] og bekræft ved at trykke på  knappen.

### ÆNDRING AF MÅLEENHED (FEET / METER) (MENU 3)

Du kan vælge mellem at få vist måleenheden som feet eller meter.

[MENU 3] → [M / FEET]

<b>M</b> (Default)	Meter indikation
<b>FEET</b>	Feet indikation

### BLITZ ENHEDENS INFORMATION (MENU 4)

Du kan tjekke de følgende informationer.


[MENU 4] → [INFORMATION]

<b>MODEL</b>	Model navn
<b>SERIAL No.</b>	Serie nummer
<b>VERSION</b>	Firmware version

### NULSTILLING AF INDSTILLINGER (MENU 4)

Det er muligt at nulstille blitzenheden tilbage til fabriks indstillingerne.

[MENU 4] → [RESET SETTINGS]

For at nulstille indstillingerne, vælg [OK] og bekræft ved at trykke på  knappen.

- Når indstillingerne er nulstillet, er de gemte "custom" indstillinger ligeledes slettet.

## ANDRE BRUGBARE FUNKTIONER

### INDSTILLING AF BLITZHOVEDET

Når blitzhovedet indstilling står i **AUTO** (Auto). Vælges den udlysningsvinkel der passer med den valgte brændvidde, automatisk.

- Blitzhovedet læser informationer fra kameraets sensor, derfor kan den brændvidde der vises i displayet måske være anderledes end det fysiske objektiv.

- Afhængig af Blitz indstillingen, kan Blitzhoved indstillingerne være låst, uanset hvilken brændvidde der benyttes.

Blitzhovedets indstillinger kan ændres manuelt. Tryk på pile **<>** i indstillings detalje området.

AUTO ⇔ 24 ⇔ 28 ⇔ 35 ⇔ 50 ⇔ 70 ⇔ 85 ⇔ 105 ⇔ 135 ⇔ 200mm

- Afhængig af Blitzhovedets indstilling, ændres Blitzens Ledetal.

### VIDVINKEL PANEL

Denne blitzenhed er udstyret med et vidvinkelpanel, som gør det muligt at kunne dække en ultra-vidvinkel udlysning ned til 17mm. Skub vidvinkelpanelet ud, bounce panelet følger med ud. Vip vidvinkelpanelet ned foran Blitz hovedet. (Sørg for at trække de to paneler forsigtigt ud) Skub Bounce panelet tilbage på sin plads. P.3-(7)

- Når Vidvinkel panelet er i brug, vil du i Blitz sektionen i indstillings detalje området muligvis kunne se symbolet **WP**.

### BOUNCE BLITZ

Ved at skyde blitzlyset mod et loft eller en væg, er det muligt at få en

større spredning og blødgøring af lyset, på denne måde kan du tage billeder med flot blødt lys der samtidig reducerer hårde skygger.

Blitzhovedet kan vippe op i 90° og tiltes ned 7°, og drejes til begge sider ( Højre / Venstre ) 180°. P.3-(8)

- Vipper du blitzhovedet op i bounce position vil **BOUNCE** symbolet vises i Blitzens Status område.

- Vælg en hvid overflade når du bouncer Blitzen, ellers kan du risikere at farven på billedet bliver forkert. Afhængig af den reflekterende overflade, kan afstanden til objektet og andre faktore, som den effektive rækkevidde på TTL AUTO været ændret.

### CLOSE-UP OPTAGELSER

Ved at tilte Blitzhovedet ned i 7° positionen, lyses den nederste del af billedet så tilstrækkeligt op at det kan bruges til Close-up optagelser.

- Når Blitzen bounces to the lower side at 7°, the distance indication in the Status area blinks.

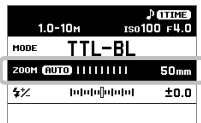
### CATCH LIGHT BOUNCE PANEL

Blitzen er udstyret med et indbygget catch light (Bounce) panel, som ved portrætter kan give en flot indirekte belysning uden hårde skygger. Skub forsigtigt både vidvinkel og- bounce panelet ud. Skub vidvinkel panelet tilbage på plads (vær forsigtig og pas på ikke at ride panelerne) P.3-(9)

- For at skabe det mest effektive catch light (Bounce) lys. Tilt Blitzhovedet op 90 grader, og Bounce panelet i position. Tag billedet på tæt afstand P.3-(10)

### SYNC.TERMINAL

EF-630 har en syncro terminal som kan tilsluttes et kamera med almindelige standard Blitz synchro kabler.





Hvis du bruger et syncro kabel, skal du indstille blitzen til **[MANUAL]**  
Med **[MENU 1]** → **[ISO]** **[F-NUMBER]**, sæt ISO og blænder (F) værdi så de matcher dem på kameraet. Juster Blitz mængden i indstillingsområdet, indtil rækkevidden, som er vist i Status området, omtrent er den samme som afstanden mellem Blitzten og objektet.


### Advarsel!!

i-TTL-BL/i-TTL auto blitz virker ikke hvis Sync.Terminal bruges.

EF-630's Sync.Terminal er kompatibel med stik som har en positive (+) polaritet på den centrale pind and en negative (-) polaritet på skærmen. Hvis stikket har modsat polaritet, så anvend et standard polaritets konversions kabel.


## HINDRING AF UTILSIGTET BRUG

Når tænd knappen er sat til  (låse) position, bliver alle andre indstillinger end TEST knappen og display lys  knappen låste. Dette forhindrer utilsigtet ændringer af Blitz Indstillingerne.

- Imens at Blitzten er låst vises symbolet  i status området.

## BEEP LYDE

Visse tilstande af Blitzten indikeres ved en lyd. Dette gør dem nemme at genkende uden at skulle se på LCD panelet.

Tænd for BEEP lyden på forsiden af kroppen af Blitzten til **[ON]**. (Når funktionen er tændt ON, vises  i Status området.)

Et kort beep	Indikerer at opladning er færdig.
To lange bib	For lav eller for høj flash eksponerings værdi.
Eet langt beep (2 sec.)	Fejl varsel.

## FUNKTIONER DER SKAL STILLES PÅ KAMERAET

### FV LÅS OPTAGELSE

Dette er en optage metode som eksponerer enhver ønsket del af motivet med den korrekte blitz eksponering.


Det kan bruges med **[TTL]**, **[TTL-BL]** og, **[WL TX-TTL]** Blitz indstilling.

- For funktionsmetode, følg kameraets bruger manual.

### SYNKRO MED BAGERSTE GARDIN

Blitzen affyres lige før lukkeren går i. Lyset efter et objekt i bevægelse og striber af lys bliver fastholdt; Derfor kan disse foto's udtrykke et objekts naturlige bevægelse.

Den kan bruges med **[TTL]**, **[TTL-BL]**, **[MANUAL]**, **[GN-M]**, **[WL TX-TTL]** og **[WL TX-MANUAL]** blitz indstillinger..

- Når det optagelse med synkronisering på sidste lukkergardin er valgt på kameraet, vises  markeringen i status området.

### FP BLITZ (High- speed Sync)

FP Blitz bliver ved med at fyre blitz glimt af så længe lukkeren arbejder. Derved kan du bruge hurtigere lukkertider end den synkroniserende hastighed..

Det kan bruges med **[TTL]**, **[TTL-BL]**, **[MANUAL]**, **[GN-M]**, **[WL TX-TTL]** og **[WL TX-MANUAL]** Blitz indstilling..

- Når det optagelse med FP Blitz er valgt på kameraet, vises **FP** markeringen i status området.

I **[TTL]/[TTL-BL]** indstilling, kan du kontrollere at objektet er inden for rækkevidden, ved at tjekke rækkevidden indikeret i status området inden du foretager eksponeringen.

I **[MANUAL]** indstilling, Juster blænden, evt..før du begynder

optagelserne så rækkevidden til objektet og rækkevidden indikeret i Status området matcher hinanden..

Ledetallet vil ændrer sig afhængig af den anvendte lukker hastighed. (Referer venligst til [Table 3] på den sidste side.)


### Bemærkning!!

Denne funktion kan ikke slås til "ON" i de blitz indstillinger der ikke er kompatible med FP flash.

## RØD-ØJE REDUKTION BLITZ (MENU 1)

Når der tages et billede med blitz, hænder det af og til at personens øjne reflekterer blitzlyset fra nethinden og skaber rød-øje effekten. Hvis du bruger "Rød-øje reduktions" funktionen, Giver blitzten et glimt ca.1 sek før lukkeren udløses. Pre glimtet får pupillen til at trække sig sammen og rød-øje effekten reduceres.

Det kan bruges med [TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [MULTI], [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], [WL TX-MULTI] og [R&FL TX] blitz indstillinger.

- Når det optagelse med Rød-øje reduktions er valgt på kameraet, vises  markeringen i status området.

## SPECIFICATIONER

TYPE: Clip-on type serie-c kontrolleret TTL auto zoom electric Blitz  
Ledetal: 63(ISO100/m, i 200mm hoved position)

Strømkilde: fire AA type alkaline batterier eller fire AA type Ni-MH Nickel-Metal Hydrid batterier

RECYCLING TIME: omkring 3.0 sec. (Alkaline batteries) omkring 1.8 sec. (Ni-MH Nickel-Metal Hydride)

Antal Blitz skud: Omkring 120 skud (Alkaline batteries) : Omkring 185 skud (Ni-MH Nickel-Metal Hydrid)

Blitz varighed: Omkring 1/700sec. (full power firing)

Blitz udlysnings vinkel: 24~200mm motorkontrolleret (17mm med indbygget vidvinkel Panel)

Vægt: 490g.

Dimensjoner: (W)79.4mm x (H)148.4mm x (L)121.5mm



Questo è il marchio di conformità alle direttive della comunità Europea (CE).

SIGMA (Deutschland) GmbH

Carl Zeiss Str. 10/2, D 63322 Rödermark, F.R.GERMANY

Sales: 06074 / 865 16 0 Service: 06074 / 865 16 65

Support: 06074 / 865 16 88 E-Mail: info@sigma-foto.de



**Bortskaffelse af elektrisk/elektronisk udstyr i private husholdninger**

Bortskaffelse af kasseret elektrisk & elektronisk udstyr (Gældende for lande indenfor EU og andre europæiske lande med separat indsamlingsordning).





Dette symbol betyder, at udstyret ikke bør behandles som almindeligt husholdningsaffald. I stedet skal det afleveres på et godkendt indsamlingssted for behandling og genanvendelse af elektronisk udstyr. Ved at bortskaffe dette produkt på korrekt måde, sikrer du at affaldet behandles korrekt og genbruges i størst muligt omfang. Herved forhindres en evt. negativ miljømæssig og sundhedsmæssig effekt der kunne opstå ved forkert behandling af affaldet. Hvis udstyret indeholder batterier eller akkumulatører der nemt kan tages ud, bør disse behandles separat i henhold til de lokale regler. Genbrug af materialer hjælper med at bevare de naturlige ressourcer. Hvis du ønsker mere detaljerede oplysninger om genbrug af dette produkt, kan du kontakte de lokale myndigheder, den lokale renovationsvirksomhed eller den forretning hvor du har købt produktet.

## NEDERLANDS


Hartelijk dank voor de aankoop van de Sigma EF-630 (voor Nikon) electronenflitser. Om uw flitser op de juiste wijze in te stellen en optimaal gebruik te maken van de mogelijkheden, raden wij u aan deze gebruiksaanwijzing aandachtig door te lezen en tevens de gebruiksaanwijzing van uw camera naast deze instructies te gebruiken.






## VOORZORGSMAATREGELEN

Ter voorkoming van ongelukken en beschadiging, raden wij u aan deze gebruiksaanwijzing aandachtig te lezen en te letten op de speciale waarschuwingssymbolen. Let u vooral op de twee onderstaande waarschuwingssymbolen:





 <b>Waarschuwing!!</b>	Wanneer u tijdens het gebruik van deze flitser deze waarschuwingen negeert, loopt u het risico van ernstige verwondingen en/of schade.
 <b>Let Op!!</b>	Wanneer u tijdens het gebruik van deze flitser deze waarschuwingen negeert, loopt u het risico van verwondingen en/of schade.
	Dit symbool duidt op een belangrijke aanwijzing wanneer verwondingen en/of schade kunnen worden veroorzaakt.
	Dit symbool duidt op welke handelingen vermeden moeten worden


### **Waarschuwing!!**


 De elektronische circuits in deze flitser hebben een hoog voltage. Maak de flitser niet open om elektrische schokken of brandwonden te voorkomen. Indien de behuizing van de flitser gescheurd of kapot is, raak de delen binnenin dan niet aan.


-  Gebruik de flitser niet vlakbij de ogen. Het zeer felle licht zou de ogen kunnen beschadigen. Houdt minimaal 1 meter afstand van het gezicht als u een flitsopname maakt.
-  Raak de flitscontacten van uw camera niet aan als de flitser op het flitschoentje is bevestigd. Dit kan een elektrische schok geven.
-  Gebruik uw flitser nooit in een omgeving waar zich licht ontvlambare stoffen bevinden, dit zou tot brand of ontploffing kunnen leiden.
-  Bedek de flitskop niet met uw handen en laat de flitser niet afgaan wanneer deze dichtbij uw huid is. Dit kan brandwonden veroorzaken.
-  Laat de flitser niet afgaan terwijl deze is gericht op automobilisten, dit kan ongelukken veroorzaken.

### **Let Op!!**

-  Gebruik deze flitser niet voor andere camera's dan Nikon spiegelreflexcamera's. Anders kunnen de elektronische circuits van de camera worden beschadigd.
-  De flitser is niet waterdicht. Indien u de flitser in regen of in de nabijheid van water gebruikt, zorg er dan voor dat deze niet nat wordt. Vaak is het vrijwel onmogelijk om waterschade aan elektrische circuits te repareren.
-  Stel u camera en flitser niet bloot aan schokken, stoten, stof, hoge temperaturen of vochtigheid. Deze factoren kunnen tot storingen leiden in uw apparatuur.
-  Indien de flitser een sterke temperatuurswisseling ondergaat, kan er kon condensatie in het binnenwerk optreden. Wacht in dit geval tot uw flitser de omgevingstemperatuur heeft aangenomen.
-  Bewaar uw flitser niet in een ruimte waar zich chemische stoffen, kamfer of insecticides bevinden. Deze stoffen kunnen de flitser beschadigen.

 Gebruik geen thinner, benzine of andere schoonmaakmiddelen om de flitser te reinigen. Gebruik alleen een schone, eventueel iets vochtige, doek.

 Bewaar de flitser op een koele, goed geventileerde, droge plaats. Het is aan te raden om de flitser enkele keren per maand op te laden en te ontsteken. Dit zal de levensduur van de flitser ten goede komen.

 Laat de flitser niet afgaan terwijl u de flitskop bedekt met stof of bekleding. Dit kan brand veroorzaken.

## BATTERIJEN

Deze flitser dient te worden gevoed met 4 "AA" alkaline batterijen of Ni-MH oplaadbare batterijen.

- Om zeker te zijn van een goed elektrisch contact kunt de batterijpolen schoonmaken voor u de batterijen inlegt.
- Gebruik altijd 4 batterijen van hetzelfde merk en type en gebruik geen oude en nieuwe batterijen door elkaar, anders bestaat het risico van explosie, lekkage over oververhitting.
- Sluit de batterijen niet kort en haal ze niet uit elkaar. Stel ze ook niet bloot aan vuur of water, want dan kunnen ze exploderen. Gebruik uitsluitend Ni-MH oplaadbare batterijen.
- Verwijder de batterijen wanneer de flitser gedurende langere tijd niet zal worden gebruikt om eventuele lekkage te voorkomen.
- Het is aan te bevelen extra batterijen mee te nemen wanneer U voor langere tijd weg gaat of bij opnamen bij koud weer.
- Gebruik geen AA/R6 batterijen. Hierdoor kan het voorkomen dat uw apparatuur niet goed werkt.
- Volg alstublieft alle richtlijnen, wet- en regelgeving omtrent wegwerpbatterijen die in uw land gelden.

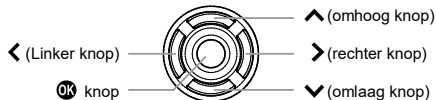
## OMSCHRIJVING VAN DE ONDERDELEN (P.2)



- |                              |                                                                                               |
|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. Flitskop                  | 10. Aan/uit schakelaar                                                                        |
| 2. Draadloos signaal display | 11. OK lampje /TEST toets                                                                     |
| 3. BLIEP schakelaar          | 12.  toets |
| 4. AF hulp lampje            | 13. Selectieknop                                                                              |
| 5. Batterijdeksel            | 14. Flitsschoen blokkeerschakelaar                                                            |
| 6. Flitsvoetje               | 15. Draaiknop                                                                                 |
| 7. LCD display               | 16. Sync. terminal                                                                            |
| 8. Tegenlicht knop           | 17. Vanglichtpaneel                                                                           |
| 9. MENU toets                | 18. Groothoek adapter                                                                         |

## SELECTIEKNOP

Hieronder worden alle functies van de selectieknop getoond.

▲ / ▼ / ◀ / ▶



- De knoppen dienen als volgt te worden bedient: Omhoog en omlaag:  naar links en rechts: .

## CAMERA'S

Deze flitser kan worden gebruikt met de onderstaande camera's:

Digitale spiegelreflexcamera's compatibel met het Creative Lighting System (CLS) van Nikon

- Gebruik uitsluitend een objectief met autofocus zolang deze compatibel is met een Nikon camera body.

## INLADEN VAN DE BATTERIJEN

---

1. Schakel de flitser uit [OFF] en open het batterij compartiment door de batterijdeksel open te schuiven. P.3-(1)
2. Plaats de batterijen in het batterij compartiment. Zorg ervoor dat de plus- en minpolen op de juiste wijze worden geplaatst, volgens de aanduiding in het compartiment "+" en "-". P.3-(2)
3. Sluit de batterijdeksel. P.3-(3)
4. Zet de flitser aan [ON]. Indien de flitser voldoende is geladen, zal het "Ready" lampje groen knipperen. Wanneer de batterijen volledig zijn opgeladen brandt het lampje in het rood.

### Waarschuwing!!

Wanneer de batterij leeg raakt, wordt het  symbool weergegeven op het LCD paneel. Wanneer de batterij volledig leeg raakt, wordt het rechter symbool getoond en zal de flitser niet meer functioneren. Vervangt u alstublieft de batterijen.



### ERROR MELDING

Wanneer het **ER** symbool op het LCD paneel verschijnt, kan het zijn dat de flitser gebreken vertoont. Reset de flitser of controleer de batterij. Neem contact op met onze service afdeling indien de melding blijft aanhouden.

### AUTOMATISCHE UITSCHAKELING

Indien de flitser enige tijd niet wordt gebruikt zal hij zich na ongeveer 80 sec. automatisch uitschakelen om energie te sparen. Om de flitser weer in te schakelen drukt u op de testknop of de ontspanknop van de camera half in. De automatische uitschakeling werkt niet in de [WL RX], [R&FL NORMAL] en de [R&FL RX] modi.

## BEVESTIGEN AAN DE CAMERA

---

1. Schakel de aan/uit schakelaar van de flitser naar [OFF].
2. Zorg dat de flitsschoen blokkeerschakelaar in de [UNLOCK▶] positie staat. P.3-(4)
3. Schuif de flitser in het flitsschoentje van de camera. Schuif de flitsvoet blokkeerschakelaar op de [◀LOCK] positie, totdat de hendel is vergrendeld met een 'klik' geluid. P.3-(5)

Wanneer u de flitser verwijdert, schuif de flitsschoen blokkeerschakelaar naar de [UNLOCK▶] positie totdat dit niet meer verder kan, terwijl u de flitsschoen blokkeerschakelaar blijft indrukken. Haal vervolgens de flitser van uw camera af.

### Waarschuwing!!

Wanneer u de flitser verwijdert terwijl de flitsschoen blokkeerschakelaar op [UNLOCK▶] staat, kan het zijn dat u zowel de camera als de flitser beschadigt.

## HET AFSTELLEN VAN DE FLITSKNOP

---

Bij normale fotografie omstandigheden zet u de flitsknop naar voren. P.3-(6)

### Waarschuwing!!

Zodra de **BOUNCE** indicatie verschijnt in het statusgebied of de afstandsindicatie in het statusgebied knippert, is de flitsknop niet correct in de voorste positie ingesteld.





## MAXIMALE PRESTATIES BIJ CONTINU FOTOGRAFEREN

Om oververhitting te voorkomen dient u uw flitser tenminste 10 minuten niet te gebruiken na het aantal flitsen in de onderstaande tabel:

Mode	Aantal flitsen
TTL, M(1/1, 1/2)	20 flitsen achter elkaar
M(1/4, 1/8)	25 flitsen achter elkaar
M(1/16-1/32)	40 flitsen achter elkaar
Multi	10 cycli


### Waarschuwing!!

Zodra het  icoon op het display verschijnt, wordt de hoeveelheid licht gereduceerd om oververhitting van het elektronische circuit te voorkomen. Gelieve de flitser niet te gebruiken totdat het  is verdwenen.

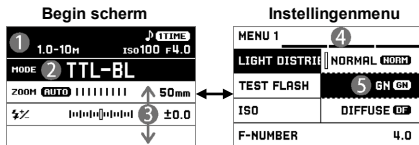
## BASIS INSTELLINGEN STAPPENPLAN

In dit onderdeel worden de basis instellingen van de EF-630 beschreven. De meeste instellingen kunnen worden ingesteld door het volgende stappenplan te doorlopen.

### Waarschuwing!!

De instellingen kunnen niet worden gewijzigd, wanneer de aan/uit schakelaar is geblokkeerd . Zorg dat de aan/uit schakelaar op [ON] staat om de instellingen te wijzigen.

Wisselen tussen het beginscherm en het instellingenmenu doet u door het **MENU** knopje in te drukken. Standaard start de fliters bij het begin scherm zodra de fliters wordt aangezet.



Wijzigt de flits modus en stelt iedere flits modus gedetailleerd in.

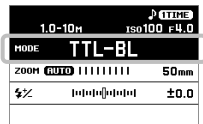
Voegt optionele flits opname functionaliteiten toe en stelt de basiscondities van de flits in.

- ① Status gebied
- ② Flits modus gebied
- ③ Modus detail gebied



- ④ Tabblad gebied
- ⑤ Sub menu

## FLITS MODUS BASIS BEDIENING IN HET BEGINSCHERM

Selecteer het flits modus gebied middels de  knoppen en wijzig de flits modus door de  knoppen te gebruiken of middels de draaiknop



## FLITS MODUS DETAIL INSTELLINGEN



Selecteer het modus detail gebied door de  knoppen gebruiken en wijzig de waarden door de  knoppen te gebruiken of middels de draaiknop.






## SETUP MENU BASIS BEDIENING

Om naar het volgende tabblad, draai de draaiknop. (Als de cursor in de "Tabblad Gebied", gebruik dan de <> knoppen kunt u naar het volgende tabblad.)

### In het Set-up Menu:

Gebruik de  knoppen om menu item te selecteren. Druk op de **OK** of  knop om de sub-menus of ander scherm te openen. In sommige gevallen zal een speciaal tekstvenster verschijnen.

### In de sub-menus:

Gebruik de  knoppen om nieuwe instellingen te selecteren. Druk op de **OK** of  knop om de instellingen te bevestigen. (Druk op de  knop om de sub-menus te sluiten zonder wijzigingen door te voeren.)

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	ON
LCD LIGHT	AUTO
DISPLAY SETTING	...
M / FEET	M

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	ON >
LCD LIGHT	AUTO
DISPLAY SETTING	...
M / FEET	M

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	OFF
LCD LIGHT	ON
DISPLAY SETTING	ONLY
M / FEET	M

## i-TTL AUTO FLASH

De camera meet het gereflecteerde licht van voorflits en regelt de juiste hoeveelheid flitslicht. Selecteer een van de volgende modi.

### i-TTL gebalanceerde invulflits (Flits modus: [TTL-BL])

Dankzij deze modus worden zowel het onderwerp als de achtergrond van de juiste hoeveelheid licht voorzien.

- De i-TTL gebalanceerde invulflits modus kan niet worden geactiveerd in combinatie met de spotmeting modus van de camera.

### Standaard i-TTL (Flits modus: [TTL])

Deze flitsmodus regelt de juiste hoeveelheid flitslicht voor het

onderwerp, zonder dat er rekening wordt gehouden met de belichting van de achtergrond.

1. Wijzig de flitsmodus naar [TTL-BL] of [TTL]

2. Controleer of het onderwerp binnen de opnameafstand is door de afstandindicatie in het status gebied te controleren.

3. Controleer status van de flitser in het OK lampje en begin met fotograferen.

1.0-10M		TIME
ISO100		F4.0
MODE	TTL-BL	
ZOOM	AUTO	50mm
ƒ%		±0.0

Indien het **NG** symbool voor vijf seconden na de eerste opname verschijnt, dan kan het zijn dat de flitsintensiteit te hoog of te laag is. Wijzig de condities en start opnieuw met fotograferen.

## SLUITERSNELHEID EN LENSOPENING

De relatie tussen sluitersnelheid en de lensopening in de diverse belichtingsmodi van de camera is als volgt.

	Sluitersnelheid	Lensopening
<b>P</b>	Automatisch ingesteld. (1/60sec*1 - flits synchronisatie snelheid*2)	Automatisch ingesteld.
<b>A</b>		Instelling naar eigen keuze.
<b>S</b>	Stelt u in staat de synchronisatietijd of een sluitertijd trager dan de synchronisatietijd in te stellen*2.	Automatisch ingesteld
<b>M</b>		Instelling naar eigen keuze.

\*1 Bij sommige modellen kunnen langere sluitertijden worden ingesteld, zonder enige beperkingen. Bovendien wordt de meest trage sluitertijd niet gelimiteerd zodra de flitsmodus van de camera op [Slow sync] staat.

\*2 Zodra de FP flash instelling van de camera wordt gebruikt, wordt de snelste sluitertijd niet gelimiteerd

### Waarschuwing!!

Zodra de belichtingswaarschuwing op de camera verschijnt, kan het

zijn dat de opname wordt onder- of overbelicht. Wij adviseren u om de condities te wijzigen voordat u weer begint met fotograferen.

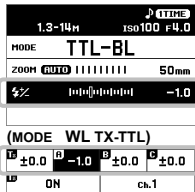
## BELICHTINGSCOMPENSATIE

Het is mogelijk om uitsluitend de lichthoeveelheid van de flits te compenseren zonder de helderheid van de achtergrond aan te tasten.

Daarbij kunnen de [TTL], [TTL-BL], [GN-M] en [WL TX-TTL] flits modi worden gebruikt.

U kunt de compensatie hoeveelheid via het Modus detail gebied instellen. (Deze kan in stappen van 1/3 stops worden gewijzigd tot ±3 stops.)

- De belichtingscompensatie is ook in de camera body aanwezig. Zodra de belichtingscompensatie in zowel de camera body als de flitser wordt gebruikt, dan zal de opname worden gecompenseerd door de som van beide waarden.

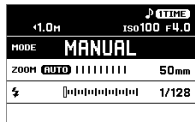


## HANDMATIGE FLITSINSTELLING

U kunt naar eigen voorkeur de flitsintensiteit instellen.

- Zet de Flitser in de [MANUAL] modus.
- U kunt de flitsintensiteit instellen in het detail gebied van het menu. Het beschikbare bereik is 1/128 tot 1/1, in stappen van 1/3 EV stops.
- Controleer de status van de flitser in het OK lampje en begin met fotograferen.

In het afstandsdeel van het status display wordt na berekening het afstands bereik voor een correcte belichting getoond. Wordt bij



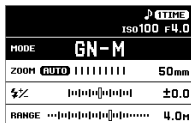
dezelfde flitssterkte de ISO-instelling of de diafragma waarde veranderd, dan moet voor een correcte flitsbelichting de afstand tot het onderwerp worden aangepast.

Een correcte belichting bij handmatig flitsen kan met de volgende formule worden berekend: Richtgetal(GN): Opnameafstand(m)= Diafragma waarde(F). Het richtgetal (GN) ziet u in Tabel 1 aan het eind van deze handleiding.

## HANDMATIGE INSTELLING MET AFSTAND VORKEUZE.

Bij de handmatige flits opnamen wordt de hoeveelheid licht automatisch aangepast op de geselecteerde afstand.

- Zet de Flitser in de [GN-M] modus.
- In het Mode detail gebied dient u de afstand tot het onderwerp in te stellen. (Indien het de gewenste afstand niet binnen de instelbare range valt, dan dient u de diafragma-, ISO-waarde, etc. te wijzigen.)
- Controleer de status van de flitser in het OK lampje en begin met fotograferen.

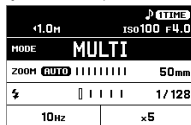


## MEERVOUDIG FLITSEN

Hieronder wordt verstaan het tonen van opeenvolgende bewegingsmomenten van een onderwerp in één beeld. Dit wordt mogelijk doordat continu flitspulsen worden afgevuurd terwijl de sluiters open staat.

Zet de camera op de M belichtingsmodus.

- Zet de flitsmodus op [MULTI].
- Voer op het status display het gewenste aantal flitsen in (bijv. x5) en de flitsinterval in Hertz (bijv. 10Hz, voor het pulseren van flitslicht met 10 keer per seconde).



3. Stel een sluitertijd in die trager is dan de waarde van "aantal flitsen: frequentie"

4. Controleer de status van de flitser in het OK lampje en begin met fotograferen.

Het aantal flitsen dat continu kan worden afgevuurd is afhankelijk van de combinatie van de ingestelde hoeveelheid pulsen en de frequentie. Zie hiervoor [Tabel 2] aan het eind van deze handleiding.

## DRAADLOOS FLITSEN

Indien u de flitser op een locatie ver van de camera plaatst zijn de creatieve mogelijkheden eindeloos. De EF-630 wordt bediend door de ingebouwde flitser van de camera of een separate Zender(TX) flits unit.

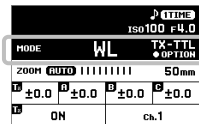
- De flitser op de camera wordt de [Zender(TX) Unit] genoemd en de flitser los van de camera wordt de [Ontvanger(RX) Unit] genoemd.
- Plaats zowel de camera als de Ontvanger unit op een afstand tussen de 0,5 en 5 meter tot het onderwerp.
- Als u de Ontvanger unit op de gewenste plaats wilt opstellen kunt u de mini-standaard gebruiken. Deze mini-standaard heeft tevens een statiefaansluiting.
- De draadloze flits modus kan worden gebruikt in combinatie met een camerabody met geïntegreerde flitser. (Geldt alleen voor camera's die beschikken over de [Commander modus]) Raadpleeg de handleiding van uw camera voor de juiste instellingen.
- De EF-630 kan ook in combinatie met de EF-610 DG SUPER NA-ITTL worden gebruikt. In dit geval is de EF-610 DG Super de Ontvanger unit. Raadpleeg de handleiding van de EF-610 DG Super voor de juiste instellingen, het ID van de EF-610 DG Super Ontvanger kijkt af. Gebruik daarom de volgende tabel.

EF-630 ontvanger ID	A	B	C
EF-610 DG SUPER ontvanger ID	1	2	3

## VOORBEREIDEN VAN DRAADLOOS FLITSEN (ZENDER UNIT)

### KEUZE VAN FLITS MODI

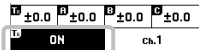
Kies een van de volgende draadloze opname modi: [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL] en [WL TX-MULTI].



### ZENDER FLITSINSTELLINGEN

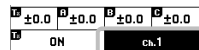
Ofwel, de "Zender" is uitsluitend ingesteld voor de controle functie of deze regelt zowel de controle functie als de lichtemissie van de flitser.

ON	Controle functie + Flits
OFF	Controle functie



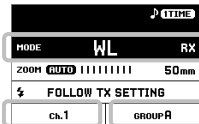
### KANAAL INSTELLINGEN

Indien u tegelijkertijd met een ander persoon draadloos flitst, kunnen er storingen optreden. Om een storing te voorkomen dient u van kanaal te wisselen. U kunt kiezen van kanaal 1 tot 4.



## VOORBEREIDEN VAN DRAADLOOS FLITSEN (ONTVANGER UNIT)

1. Zet de flitser in de [WLRX] modus.
2. Zorg dat het kanaal correspondeert met die van de Zender unit.
3. Kies in het modus detail gebied de gewenste flits groep (A, B of C).



## AUTOMATISCH DRAADLOOS i-TTL FLITSEN

In de draadloze i-TTL modus, wordt automatisch de juiste belichting bepaald.

### ZENDER UNIT INSTELLING

1. Zet de flitser in de [WL TX-TTL] modus.
  2. Verander de kanaalinstellingen en de zender unit flitsinstellingen indien nodig. Dit kan via het modus detail gebied.
  3. Indien gewenst, kan de belichtingscompensatie waarde van iedere zender en ontvanger groep worden gewijzigd in het modus detail gebied.
- De gewenste ontvanger groep kan naar manual flash worden gewijzigd, daarnaast kan de flits ook worden geannuleerd.

TIME		ISO100 F4.0	
MODE	WL	TX-TTL OPTION	
ZOOM	AUTO	50mm	
A	±0.0	B	±0.0
B	±0.0	C	±0.0
D	ON	ch.1	

- ① Zodra de **OK** knop wordt ingedrukt - terwijl de gewenste flits modus is geselecteerd – worden de flash modi van de ontvanger units op het display getoond.
- ② Selecteer de te wijzigen groep en selecteer **[M]** (handmatige flits) of **[OFF]** (flitsen annuleren).
- ③ Selecteer **[BACK]** en druk op de **OK** knop, om naar het vorige scherm terug te keren.
- ④ Wijzig in het mode detail gebied de flitsintensiteit van de handmatige flits groep.

### ONTVANGER UNIT INSTELLING

4. Zorg dat de instellingen op "VOORBEREIDEN VAN DRAADLOOS FLITSEN (ONTVANGER UNIT)" staan.
5. Zet de Ontvanger unit op de gewenste positie en controleer de laadgereedheid van de flitser en start met fotograferen. (Het knipperen van het AF-hulplicht duidt op volledige laadgereedheid)

- Indien er een groep wordt onderbelicht, zal deze groep als waarschuwing een piepje uitbrengen (zie **[BLIEP GELUIDEN]** op pagina 123). Wijzig in dat geval de opname condities.

## WIRELESS MANUAL FLASH

Handmatig draadloos fotograferen is mogelijk waarbij u zelf de flitsintensiteit kunt bepalen. Kies de juiste belichting met behulp van een los verkrijgbare lichtmeter van een andere leverancier.

### ZENDER UNIT INSTELLING

1. Zet de flitser in de [WL TX-MANUAL] modus.
2. Verander de kanaalinstellingen en de zender unit flitsinstellingen indien nodig. Dit kan via het modus detail gebied.
3. In het mode details gebied kan de gewenste flitsintensiteit per groep worden gekozen, zelfs wanneer de Zender flash actief is. (Het beschikbare bereik is 1/128 tot 1/1, in stappen van 1/3 EV stops.)

TIME		ISO100 F4.0	
MODE	WL	TX-MANUAL OPTION	
ZOOM	AUTO	50mm	
A	1/128	B	1/128
B	1/128	C	1/128
D	ON	ch.1	

- De instelling van de ontvanger groep kan worden gewijzigd naar i-TTL auto flash of kan worden ge-deactiveerd.

- ① Zodra de **OK** knop wordt ingedrukt - terwijl de gewenste flits modus is geselecteerd – worden de flash modi van de ontvanger units op het display getoond.
- ② Selecteer de te wijzigen groep en selecteer **[TTL]** (i-TTL auto flits) of **[OFF]** (flitsen annuleren).
- ③ Selecteer **[BACK]** en druk op de OK knop, om naar het vorige scherm terug te keren.
- ④ Indien noodzakelijk kan de belichtingscompensatie van een i-TTL auto flitsmodus groep worden gewijzigd via het modus detail gebied.

TIME		ISO100 F4.0	
BACK	M	B OFF	C M
ZOOM	AUTO	50mm	
A	1/128	B OFF	C 1/128
D	ON	ch.1	

## ONTVANGER UNIT INSTELLING

4. Zet de flitser in de [WL RX] modus.
5. Zorg dat de instellingen op "VOORBEREIDEN VAN DRAADLOOS FLITSEN (ONTVANGER UNIT)" staan.
6. Zet de ontvanger unit op de gewenste positie en controleer de laadgereedheid van de flitser en start met fotograferen. (Het knipperen van het AF-hulplicht duidt op volledige laadgereedheid)

## DRAADLOZE MULTI FLITS

Draadloze multi flits is mogelijk voor één of meerdere flitsers.

Zet de camera op de M belichtingsmodus.

## ZENDER UNIT INSTELLING

1. Zet de flitser in de [WL TX-MULTI] modus.
  2. Verander de kanaalinstellingen en de zender unit flitsinstellingen indien nodig. Dit kan via het modus detail gebied.
  3. Voer op het status display het gewenste aantal flitsen in (bijv. x5) en de flitsinterval in Hertz (bijv. 10Hz, voor het pulseren van flitslicht met 10 keer per seconde).
- Iedere willekeurige ontvanger groep kan worden uitgeschakeld. Selecteer de gewenste groep in het modus detail gebied en zet deze op [OFF].

## ONTVANGER UNIT INSTELLING

4. Zorg dat de instellingen op "VOORBEREIDEN VAN DRAADLOOS FLITSEN (ONTVANGER UNIT)" staan.
5. Stel een sluitertijd in die trager is dan de waarde van "aantal flitsen: frequentie"
6. Zet de ontvanger unit op de gewenste positie en controleer de

laadgereedheid van de flitser en start met fotograferen. (Het knipperen van het AF-hulplicht duidt op volledige laadgereedheid)

## ONTVANG EN FLITSFUNCTIE

De EF-630 is uitgerust met een functie waarbij de flitser reageert op de flits van een tweede flitser. Hiermee kunt u eenvoudig fotograferen waarbij de flitser op een andere positie staat dan de camera. De lichtopbrengst wordt echter niet automatisch aangepast in deze modus.

## REGULIERE ONTVANG EN FLITSFUNCTIE

De Zender unit op de camera kan worden gebruikt om een gesynchroniseerde flits met de EF-630 te realiseren, zelfs wanneer de EF-630 verwijderd is van de camera.

Zet de Zender flash op manual en zet de flitsintensiteit op ongeveer 1/16.

- De geïntegreerde flitser van de camera kan worden gebruikt als een controle flitser. Zet de geïntegreerde flitser in de handmatige flitsmodus en kies voor een flitssterkte van ongeveer 1/16.

Zet de camera in de M stand, de sluitersnelheid op 1/30 seconden of lager, het diafragma en de ISO op de juiste waarden.

1. Zet de Flash modus in de Ontvanger EF-630 op [R&FL NORMAL].
2. Wijzig de ISO en diafragma waarden in het mode detail gebied, zodat deze overeenkomen met de instellingen van de camera.
3. Wijzig de flitsintensiteit in het Mode detail gebied zodat de afstand tussen de Ontvanger flitser en het object ongeveer overeenkomt

TIME				
iso100 F4.0				
MODE		WL TX-MULTI		
ZOOM	AUTO			50mm
1/128	ON	ON	ON	ON
ON	10Hz	x5	ch.1	

1.0M		TIME	
MODE		R&FL NORMAL	
ZOOM	AUTO	24mm	
f			1/128
iso100		F4.0	

met de indicatie in het status gebied.

4. Controleer de flitser-laadgereedheid en begin met fotograferen.

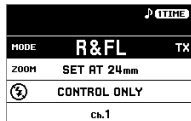
## TOEGEWZEN ONTVANG & FLITSFUNCTIE

Als u twee of meerdere EF-630 (voor SIGMA) flitsers gebruikt, kunt u een voorkeuze maken welke flitsers tegelijk flitsen door verschillende kanaalinstellingen. In deze modus wordt een flitser gebruikt als ontvanger controller en de andere flitsers als ontvangers.

Zet de camera in de M belichtingsstand, de sluitersnelheid op 1/30 seconden of hoger, het diafragma en de ISO op de juiste gewenste waarden.

### DE CONTROLLERENDE (ZENDER) FLITSER INSTELLEN

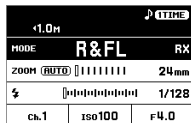
1. Zet de flits modus op [R&FL TX].
2. Wijzig het kanaal indien noodzakelijk. Kies tussen Ch.1 tot Ch.3 in het modus detail gebied.



TTIME		
MODE	R&FL	TX
ZOOM	SET AT 24mm	
Ⓢ	CONTROL ONLY	
ch.1		

### DE VURENDE (ONTVANGER) FLITSER INSTELLEN

3. Zet de flits modus op [R&FL RX].
4. Kies op het display onderaan hetzelfde kanaal als dat van de Stuur flitser.
5. Stel hier ook dezelfde ISO waarde en het diafragma in als van de Stuur flitser.
6. Pas de flitssterkte op het display zodanig aan dat de afstand ontvanger tot onderwerp ongeveer gelijk is aan de afstand die op het statusdisplay staat opgegeven.
7. Controleer de flitser-laadgereedheid en begin met fotograferen.



TTIME		
1.0H		
MODE	R&FL	RX
ZOOM	AUTO	24mm
Ⓢ	1/128	
ch.1	ISO100	F4.0

- In de Ontvanger modus kan deze flitser ook worden gecombineerd met de EF-630 en/of EF-610 DG SUPER flitser voor andere toepassingen. (Zie voor deze mogelijkheden de handleiding van de EF-610 DG SUPER flitser).

## OPTIONELE FUNCTIONALITEITEN

In dit onderdeel worden de optionele functionaliteiten beschreven die u via het setup menu kunt toevoegen.

### LICHT DISTRIBUTIE MODE (MENU1)

De EF-630 is uitgerust met drie licht distributie modi, met ieder haar eigen specifieke doeleinden.

[MENU 1] → [LIGHT DISTRIBUTION]

<b>NORMAL</b> _ (Standaard)	<b>Normale licht distributie</b> Basis licht distributie voor regulier gebruik.
<b>GN</b> GN	<b>Richtgetal gepriorizeerde licht distributie</b> De flitsstraal hoek is versmald, maar een groter richtgetal is aanwezig.
<b>DIFFUSE</b> DF	<b>Egale lichtverdeling</b> Voorkomt een abrupte afname van het flitslicht d.m.v. een bredere uitstroom.

### TESTFLITS (MENU 1)

De EF-630 heeft twee testflits modi. Een van de modi kan worden toegekend aan de TEST knop

[MENU 1] → [TEST FLASH]

<b>1 TIME</b> (1 keer) <b>1TIME</b>	<b>Testflits</b> (Standaard) Een eenmalige testflits wordt uitgevoerd.
<b>MODELING</b> <b>MODEL</b>	<b>Instellicht</b> Daarbij kunnen de [TTL], [TTL-BL], [MANUAL] [GN-M] en [MULTI] flits modi worden gebruikt. Wanneer de TEST toets blijvend wordt ingedrukt, wordt gedurende ongeveer 1,5 seconde een stroom flitsjes uitgezonden. Hierdoor kan het schaduweffect op het onderwerp worden gecontroleerd.

### Waarschuwing!!

De [MODELING] instelling kan niet worden geselecteerd indien de flash modus deze instelling niet ondersteunt.

- Indien de camera beschikt over een modeling flits functie, kan deze worden geactiveerd door op de scherptediepte voorbeeld knop te drukken. (Met de preview knop ingedrukt, modeling flash is mogelijk in de [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], of [WL TX-MULTI] modi)

## PERSONLIJKE MODE (MENU 2)

Het is mogelijk om twee persoonlijke instellingen te configureren. (Twee persoonlijke instellingen worden opgeslagen)

1.3-14m		ISO100 F4.0
MODE	C1	TTL-BL
ZOOM	AUTO	50mm
ƒ/		-1.0

## OPSLAAN EN INSTELLEN VAN PERSONLIJKE INSTELLINGEN

1. Kies een Flits mode, Mode detail gebied, en setup menu naar eigen voorkeur.
2. Ga vanuit [MENU 2] → [CUSTOM MODE SETTING], selecteer

[C1] of [C2] druk op de **OK** knop

3. Selecteer [OK] en bevestig uw keuze met de **OK** knop

Uw persoonlijke instellingen worden nu onder Custom mode opgeslagen. (Afhankelijk van uw keuze worden de persoonlijke instellingen opgeslagen onder het **C1** of **C2** icoon.)

## PERSONLIJKE INSTELLINGEN VERWIJDEREN

1. Vanuit [MENU 2] → [CUSTOM MODE DELETE], selecteer [C1] of [C2] en druk op de **OK** knop.
2. Selecteer [OK] en bevestig met de **OK** knop.

## AF HULPLICHT (MENU 3)

Het AF hulplicht zal automatisch aan gaan wanneer u scherpstelt op een onderwerp in donkere omgeving. Het effectieve bereik hiervan ligt tussen 0,7 tot 10 meter.

[MENU 3] → [LCD LICHT].

<b>OFF</b>	AF hulpverlichting is uitgeschakeld
<b>ON</b> (Standaard)	AF hulpverlichting is gemaakt om donkere plekken te verlichten
<b>ONLY</b>	De flitser functioneert niet en de AF hulpverlichting blijft actief (zolang [AF ASSIST LIGHT ONLY] is ingesteld), deze instelling wordt in het Modus detail gebied getoond.


## LCD DISPLAY LICHT (MENU 3)

Het LCD display licht op zodra de flitser wordt aangezet. De AAN/UIT instellingen van het licht kunnen worden aangepast.

[MENU 3] → [LCD LICHT]



<b>AUTO</b> (Standaard)	Na 8 seconden gaat het licht automatisch uit. Zodra u een knopje indrukt zal het licht automatisch aan gaan.
<b>8 SEC</b>	Ongeacht er een knopje wordt ingedrukt, gaat het licht standaard na 8 seconden uit , gezien vanaf het moment het licht voor de eerste keer is aan gezet.
<b>ON</b>	Het licht brandt continu.


- Ongeacht de instelling kan het licht worden aangezet middels de  knop.


### LCD DISPLAY AANPASSEN (MENU 3)

Het contrast en de helderheid van het LCD Display kunnen worden aangepast.

[MENU 3] → [DISPLAY SETTING]

<b>BRIGHTNESS</b>	<b>HELDERHEID</b> Pas de helderheid aan door op de <> knoppen te drukken.
<b>CONTRAST</b>	<b>CONTRAST</b> Pas het contrast aan door op de <> knoppen te drukken.

Om de aanpassingen te bevestigen selecteert u eerst [OK] om vervolgens op de knop  te drukken.

Om de aanpassing te annuleren selecteert u [CANCEL] en bevestigt u uw keuze via de  knop.

### MEETEENHEID WIJZIGEN (MENU 3)

De meeteenheid in het status gebied kan worden gewijzigd.

[MENU 3] → [M / FEET]

<b>M</b> (Standaard)	Meter aanduiding
<b>FEET</b>	Voet aanduiding

### FLITSER INFORMATIE (MENU 4)

De volgende gegevens kunnen worden gecontroleerd.


[MENU 4] → [INFORMATION]

<b>MODEL</b>	Model
<b>SERIAL No.</b>	Serienummer
<b>VERSION</b>	Firmware versie

### INITIALISATIE VAN INSTELLINGEN (MENU 4)

Het is mogelijk om de flitser terug naar de fabrieksinstellingen te zetten.

[MENU 4] → [RESET SETTINGS]

Om de reset door te voeren selecteert u [OK] en bevestigt u uw keuze via de  knop.

- Persoonlijke instellingen worden verwijderd zodra u de flitser reset.

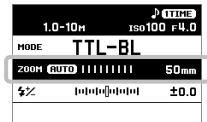
### NUTTIGE INFORMATIE

#### FLITSKOP INSTELLINGEN

In de Auto stand wordt de flitskop automatisch in de juiste hoek gepositioneerd die bij de betreffende brandpuntafstand past.

- De flitskop houdt rekening met de grootte van de beeldsensor van de camera, daarom kan de brandpuntafstand op de flitser niet overeenkomen met die op de lens.

- Afhankelijk van de flits modus wordt de flitskop op een vaste positie ingesteld, ongeacht de brandpuntsafstand van de lens.



De flitskop instelling kan handmatig worden aangepast door op de <> knop te drukken in het mode detail gebied.

AUTO ⇔ 24 ⇔ 28 ⇔ 35 ⇔ 50 ⇔ 70 ⇔ 85 ⇔ 105 ⇔ 135 ⇔ 200mm

- Afhankelijk van de zoominstelling zal het richtgetal van de flitser veranderen.

## GROOTHOEK ADAPTER

De flitser is voorzien van een ingebouwde groothoek adapter, waarmee het mogelijk is om met ultra groothoek-objectieven tot 17 mm te werken. Trek de groothoek adapter samen met het vanglichtpaneel uit de houder en draai het voor de flitskop. (Trek beiden voorzichtig en gelijkmatig naar buiten) Druk het vanglichtpaneel hierna terug in de houder. P.3-(7)

- Het **WP** icoon kan op het mode detail gebied verschijnen wanneer een groothoek adapter wordt gebruikt.

## INDIRECT FLITSEN

Wanneer u de flitser naar een muur of plafond richt, zal het licht zich daar op verspreiden. Het teruggekaatste licht is zacht en heeft verminderde schaduwen.

De flitskop is onder de volgende hoeken in te stellen: Omhoog tot 90°  
Naar links en rechts tot 180°  
Zijwaarts naar beneden tot 7° P.3-(8)

- Tijdens het "Bouncen" zal het **BOUNCE** icoon in het statusgebied verschijnen.
- De opname zal een kleurzeem krijgen in dezelfde tint als het

reflecterende oppervlak. Kiest u daarom een wit oppervlak voor weerkaatsing van de flits. Het effectieve bereik. Van de TTL AUTO instelling is variabel en afhankelijk van de grootte van het reflectie-oppervlak, de afstand van het onderwerp en andere factoren.

## CLOSE-UP OPNAMEN

Door de flitskop in de positie van 7° omlaag te kantelen kan het lager liggende deel van het beeld worden opgehelderd bij close-up opnames.

- Wanneer de flitskop in de neerwaartse positie van 7° is gezet zal de afstandsindicatie in het status gebied knipperen.

## VANGLICHTPANEEL

Deze flitser is uitgerust met een ingebouwd vanglichtpaneel, waardoor een levendige expressie aan het onderwerp kan worden gegeven wanneer de "Bounce Flash Mode" is geactiveerd. Trek de groothoek adapter samen met het vanglichtpaneel uit de houder en draai het voor de flitskop. (Trek beiden voorzichtig en gelijkmatig naar buiten). Druk de groothoek adapter hierna terug in de houder P.3-(9)

- Voor een maximaal vanglicht effect richt u de flitskop 90 graden naar boven en maak foto's op korte afstand van het object. P.3-(10)

## SYNC. TERMINAL

De EF-630 heeft een synchronisatie terminal waarmee de flitser verbonden kan worden met de camera door middel van een los verkrijgbare synchronisatie kabel.

Wanneer u fotografeert met een synchronisatie kabel, gebruik dan de [Manual] mode van de flitser.

Zorg ervoor dat in **[MENU 1]** de **[ISO]** en **[F-NUMBER]** overeenkomen met die van de camera body. Daarnaast dient de afstand in het



status gebied ongeveer overeen te komen met de afstand tussen het object en de flitser.


### Waarschuwing!!

De i-TTL-BL / i-TTL auto flits functie werkt niet zolang de sync terminal in gebruik is.

De synchro terminal van de EF-630 is compatibel met pluggen die een positieve centrale pin hebben en een negatieve behuizing. Gebruik een optioneel omkeerkoord als de polariteit is omgewisseld.


## VOORKOMEN VAN ONGEWENSTE WIJZIGINGEN

Zodra de aan/uit schakelaar in de  (lock) positie staat, worden alle functionaliteiten behalve de TEST knop en de  knop geblokkeerd. Dit voorkomt onvoorziene veranderingen in de flitser instellingen.

- Het  icoon verschijnt in het status gebied zodra de flitser is geblokkeerd.

## BLIEP GELUIDEN

Sommige instellingen van de flitser worden aangeduid door middel van een geluid. Deze zijn goed te herkennen waardoor u niet op het LCD display hoeft te kijken.

Schakel de “**Beep**” schakelaar aan de voorzijde van de flitser op [ON]. (Zodra deze is ingeschakeld verschijnt het  icoon in het status gebied)

Een korte bliep	Het laden is voltooid
Twee lange bliepjes	Belichtingswaarde te hoog of te laag
Een lange bliep (2 sec.)	Fout waarschuwing

## CAMERA INSTELLINGEN

### FV-VERGENDELING

Met deze methode kan ieder gewenst deel van het object worden belicht met de juiste hoeveelheid licht.


Daarbij kunnen de [TTL], [TTL-BL] en [WL TX-TTL] flits modi worden gebruikt.

- Kijk in de handleiding van uw camera voor de juiste instellingen.

### TWEEDE GORDIJN SYNCHRONISATIE

De flitser ontsteekt net voordat het sluitergordijn sluit. Het licht achter een bewegend object en het lichtspoor dat hieruit volgt kan worden vastgelegd, hierdoor ontstaat een natuurlijk effect.


Daarbij kunnen de [TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [WL TX-TTL] en [WL TX-MANUAL] flits modi worden gebruikt.

- Zodra de tweede gordijn synchronisatie instelling van de camera is geactiveerd, verschijnt het volgende symbool  in het statusgebied.

### FP FLASH (HIGH- SPEED SYNC)

De FP Flits vuurt zeer snelle pulsjes af terwijl de sluiters afloopt. Daardoor kan er een veel snellere sluitertijd dan de synchronisatietijd worden benut.

Daarbij kunnen de [TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [WL TX-TTL] en [WL TX-MANUAL] flits modi worden gebruikt.

- Zodra de FP Flits instelling van de camera is geactiveerd, verschijnt het volgende symbool  in het statusgebied.

Voordat u begint met fotograferen in de [TTL] / [TTL-BL] modus, zorg ervoor dat het object zich binnen de juiste afstand zoals aangegeven in het status gebied.

Wanneer u in manual fotografeert dient u ervoor te zorgen dat waarden zoals diafragma correct zijn ingesteld. Daarnaast moet de afstand van het object overeenkomen met de afstand zoals aangegeven in het status gebied.

Het richtgetal verandert afhankelijk van de sluitersnelheid. (zie de tabel 3 op de vorige pagina)

## RODE-OGEN REDUCTIE

---

Bij het maken van flitsopnamen komt het vaak voor dat het flitslicht reflecteert in de ogen waardoor het effect van rode ogen ontstaat. Indien u de rode-ogen functie gebruikt zal de flitser gedurende ongeveer 1 sec. enkele "voorflitsen" geven voordat de werkelijke opname wordt gemaakt. Dit zal het rode-ogen effect sterk doen afnemen.

Daarbij kunnen de [TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [MULTI], [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], [WL TX-MULTI] en [R&FL TX] flits modi worden gebruikt.

- Zodra de rode-ogen functie instelling van de camera is geactiveerd, verschijnt het volgende symbool  in het statusgebied.

## TECHNISCHE GEGEVENS:

---

Type: Opschuifbare DDL Autozoom Electronenflitser

Richtgetal: 63 (ISO 100 / op 200mm zoompositie)

Stroombron: 4 "AA" alkaline batterijen of Ni-MH oplaadbare batterijen  
Oplaadtijd: Ca. 3 sec. met alkaline batterijen, ca. 1.8 sec. met oplaadbare batterijen

Aantal flitsen: Ca. 120 met alkaline batterijen Ca. 185 met Ni-MH

oplaadbare batterijen

Flitsduur: Ca. 1/700 sec. bij vol vermogen

Verlichtingshoek: 24mm – 200mm motorisch gestuurd

17mm met ingebouwde groothoekdiffusor

Gewicht / Afmetingen: 490 gram / 79.4mmX148.4mmX121.5mm



Het CE teken is een aanduiding voor de Europese Gemeenschap (EC).

SIGMA (Deutschland) GmbH

Carl Zeiss Str. 10/2, D 63322 Rödermark, F.R.GERMANY

Sales: 06074 / 865 16 0 Service: 06074 / 865 16 65

Support: 06074 / 865 16 88 E-Mail: info@sigma-foto.de



**Inzamelen van elektronische apparatuur voor huishoudelijk gebruik.**

Inzamelen van elektronische apparatuur (van de toepassing in de EU en andere Europese landen met een gescheiden afval systeem).





Dit symbool geeft aan dat dit product niet als huishoudelijk afval verwerkt mag worden. Het dient derhalve ingeleverd te worden bij het afval scheidingsstation als KCA voor eventueel hergebruik. U helpt hierbij schade aan het milieu te voorkomen. Indien er in het apparaat makkelijk te verwijderen batterijen of accu's zitten dient u deze apart in te leveren als KCA bij het scheidingsstation. Het hergebruiken van materialen spaart het milieu. Voor meer informatie voor hergebruiken van dit product kunt u contact opnemen met uw lokale afval scheidingsstation of bij de winkel waar u het apparaat gekocht heeft.

## 简体中文



感谢您选购适马 EF-630 电子闪光灯(适用于佳能机尼康型), 闪光灯拥有多样化的功能可以为您的拍摄提供乐趣。为了使您的闪光灯发挥出最佳性能, 请仔细阅读此使用手册, 也请参阅您所使用相机的说明书中有关闪光灯的章节, 并且按照使用手册的要求进行操作。

## 安全警示





为避免闪光灯损坏, 请在使用闪光灯前仔细阅读本说明书, 并特别注意以下两个警示符号

 <b>警告!!</b>	使用本产品, 忽视此警告可能导致严重伤害或其他后果
 <b>注意 !!</b>	使用本产品, 无视此警告可能会导致受伤或产品损坏
	此符号表示需要特别注意的地方
	此符号表示必须避免的行为






### **警告 !!**


-  闪光灯内置高压电路。为了避免触电或者烧伤, 请不要尝试拆解或改装闪光灯。如果闪光灯外壳破裂或者损伤时, 请不要触摸内部电路
-  使用闪光灯进行拍摄时请不要靠近眼睛进行闪光, 否则会对眼睛造成伤害。尤其是拍摄婴儿时, 请保


持 1m 以上的距离进行闪光。


-  当闪光灯连接在热靴上时, 请不要触摸闪光灯的同步端子, 这将有可能引发触电
-  请勿在易燃易爆的化学物品附近使用闪光灯, 否则有可能引发火灾
-  请勿用手遮挡闪光灯的闪光部分或是接触皮肤进行闪光, 否则可能会烧伤
-  请勿向汽车司机闪光, 有可能会造成交通事故

### **注意 !!**

-  此闪光灯不适用于尼康单反相机以外的相机。如果使用, 可能会造成故障或者产生对相机电子电路不好的影响。
-  本闪光灯不具备防水能力, 请勿在雨雪等恶劣环境中使用, 进水可能会导致闪光灯的永久损坏
-  请勿在多尘, 高温或者高湿度的环境下使用闪光灯, 有可能会造成闪光灯出现故障。
-  当闪光灯从寒冷的环境进入温暖的环境时, 水汽有可能在闪光灯内部凝结。为避免产生故障, 请将闪光灯放入密封袋中进行保温。
-  请勿把闪光灯放在橱柜或者抽屉里, 因为里面放置的驱虫剂等化学品可能会对闪光灯造成损伤。

 不要用化学清洁剂擦拭闪光灯，否则可能会造成闪光灯的变色或变形。

 闪光灯如果长期放置不使用的話，请定期对闪光灯进行充放电操作，以防止闪光灯性能劣化。

 不要让衣服覆盖闪光灯头，因为有可能导致火灾。

## 关于电池

此闪光灯使用四节“AA”型镍氢充电电池或碱性干电池。

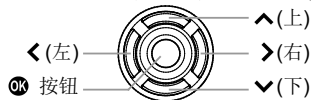
- 注意清洁电池触点，保证正常接触
- 请勿将新旧或者不同型号/规格的电池混合使用，否则可能会导致漏液、发热、破裂甚至爆炸
- 请勿拆解电池，或者将电池丢入火中或者水中，有可能导致爆炸。不要对干电池进行充电
- 当闪光灯长时间不用时，请取出电池以避免电池漏液导致损坏。
- 在进行户外拍摄或者长途旅行时，建议携带备用电池
- 请勿使用 AA/R6 锂电池，有可能导致闪光灯故障
- 请根据当地的环保法案的要求处理废弃的电池

## 各部分的名称（请参照第二页）

- |            |                |            |
|------------|----------------|------------|
| 1. 闪光灯头    | 7. 液晶屏         | 13. 导航键    |
| 2. 无线信号接收口 | 8. 背光开关        | 14. 热靴锁定拨杆 |
| 3. 提示音开关   | 9. MENU 菜单按钮   | 15. 拨轮     |
| 4. AF对焦辅助灯 | 10. 电源开关       | 16. 同步接口   |
| 5. 电池仓盖    | 11. 闪电/TEST 按钮 | 17. 眼神光板   |
| 6. 热靴接口    | 12. OK OK 按钮   | 18. 散光板    |

## 导航键 (13)

此说明书中导航键的各个位置都以  $\wedge/\vee/\langle/\rangle$  表示。



- 导航键使用方法如下：向上或向下请按  $\diamond$ 。向左或向右请按  $\langle\rangle$ 。

## 兼容相机

具备 CLS 照明系统的尼康数码相机


- 请使用支持自动对焦镜头的相机。

## 电池的装入方法

---


1. 关闭电源开关，打开电池仓盖。 P.3-(1)
2. 按照电池仓盖上的指示，按照正确的正负极方向装入电池。 P.3-(2)
3. 关闭电池仓盖。 P.3-(3)
4. 打开电源开关，当闪光灯的电能可以进行闪光拍摄时，状态提示灯会变为绿色闪烁状态，。当闪光灯电量完全充满时，状态提示灯会变为红色。

### 注意!!

当电池电量低下时， 图标会显示在液晶屏幕上。当电池电量下降到 0 时，有图图标会显示在液晶屏幕上，无法再进行正常操作，请更换新电池后再继续使用。



### 错误警告

当  图标显示在液晶屏幕上时，表示闪光灯可能存在故障，请重置电源开关或者检查电池，如果该提示仍在的话，请联系我们的售后进行处理。

### 自动关闭电源

为了节省电池电量，当超过 80 秒钟不使用闪光灯时，闪光灯电源将自动关闭。如要再次使用，半按快门或测试按钮重新启动电源。但是，自动关闭功能无法在以下模式中实现：**[WL RX]** (无线接收器闪光)模式、**[R&FL**

**NORMAL]** (普通接收及闪光)模式以及**[R&FL RX]** (接收器闪光)模式。

## 安装到相机机身的方法

---

1. 关闭电源开关。
2. 确认热靴锁定拨杆的位置处于非锁定状态 **[UNLOCK ▶]**。 P.3-(4)
3. 将闪光灯插入到相机的热靴上，直到卡住后，拨动热靴锁定拨杆至“锁定” **[◀LOCK]**位置。 P.3-(5)

当要取下闪光灯时，请先拨动热靴锁定拨杆至解锁 **[UNLOCK ▶]**，然后再取下闪光灯。

### 注意!!

如果热靴锁定拨杆的位置没有处于解锁状态就强行取下闪光灯，有可能导致闪光灯或者相机热靴损坏

## 设置闪光灯灯头

---

在常规拍摄中，闪光灯灯头要面对前方 P.3-(6)

### 注意!!


打开闪光灯电源后，如果出现 **[BOUNCE]** 图标，则表示闪光灯灯头位置不正确，请进行调整

## 连续拍摄时的注意事项

防止闪光灯过热，不要让你的闪光灯连续闪光超过以下限制，并让闪光灯闲置 10 分钟以上。

模式	最大连续发光次数
TTL, M(1/1, 1/2)	20 次
M(1/4, 1/8)	25 次
M(1/16~1/32)	40 次
MULTI	10 循环


### 注意!!

如果  图标出现在显示屏上，表示闪光灯电路过热，请停止使用一段时间，直到该图标消失

## 设置的基本步骤

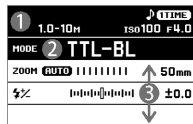
本节介绍设置的基本步骤，EF-630 的大部分操作可以通过以下基本设置来进行。

### 注意!!

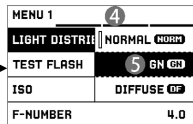
当电源开关处于「」锁定位置时，设置不能更改，一定要设置为 [ON(打开)] 才能进行更改

可以在显示屏上通过MENU按钮在主界面和设置菜单画面之间进行切换。

### 主界面



### 设置菜单



改变闪光模式，设置各个闪光模式的详细



增加闪光拍摄的可选功能，并设置闪光的基本调节

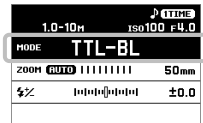
- ① 状态显示区域
- ② 闪光模式
- ③ 模式详细区域

- ④ 标签页
- ⑤ 子菜单



### 主屏幕的基本操作

#### 选择闪光模式

通过使用  上下按钮选择闪光模式/区域，并使用  左右按钮或者拨盘来改变闪光模式



#### 设置闪光模式的详细

通过使用  上下按钮来选择模式详细区域，并通过  左右按钮或者拨盘来改变设定值











## 设置菜单的基本操作

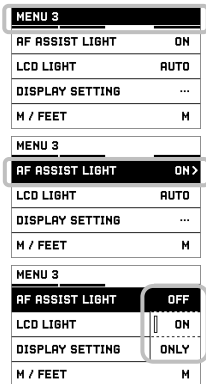
可以通过拨轮在标签页之间进行切换。(当光标定位在标签项,您可以在<>按钮切换选项卡。)

### 设置菜单

用  按钮来选择菜单项,按  键进入子菜单项(在某些项目,可能会打开特殊的对话框)

### 设置子菜单

使用  按钮来选择设置项目,按  键或  键来应用新设置(按  键可在不改变原设定的情况下关闭子菜单)



## i-TTL 自动测光闪光

相机会测量预闪的反射光,并给出最佳的闪光输出。提供以下两种方法供选择:

### TTL 均衡填充闪光 (闪光灯模式: [TTL-BL])

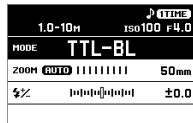
通过对闪光灯输出功率的控制,能够让拍摄的对象和背景达到均衡曝光的效果。

- 当相机的测光模式设置为点测光时,不能使用 i-TTL-BL 均衡补充闪光。

## 标准 i-TTL (闪光灯模式: [TTL])

它控制的闪光量,只注重拍摄主体的曝光效果,而不考虑背景曝光效果。

- 设置闪光灯模式为 [TTL-BL] 模式或者[TTL]模式。



- 确认主体在拍摄范围内,检查闪光灯显示屏的距离提示。
- 通过指示灯确认闪光充电状态,做好准备后开始拍摄。

如果在拍摄后五秒内提示 **NG**,说明闪光指数过高或者过低。

## 快门速度和光圈

在不同曝光模式下的快门速度和光圈之间的关系如下。

	快门速度	光圈
<b>P</b>	自动设定	自动设定
<b>A</b>	(1/60 秒*1- 闪光灯同步速度*2)	可自由设定
<b>S</b>	可在闪光同步速度以下*2 进行	自动设定
<b>M</b>	自由设定	可自由设定

\*1 在某些型号中,慢门速度可以设置成无线慢。并且,当相机的闪光灯模式设置为[Slow sync],慢门速度将不会有设置限制。

\*2 当在相机的侧面设置了高速闪光时,快门的最快速度将没有设置限制。

## 注意 !!

当拍摄时，相机的曝光警告表示，可能造成曝光过度或者曝光不够。曝光可能是不匹配的。

## 闪光输出补偿

在不影响背景曝光的前提下，对闪光灯的输出光量做调整。

可以使用[TTL], [TTL-BL], [GN-M], [WL TX-TTL]等闪光模式。

请在模式细节区设定曝光补偿量。(补偿量为 1/3EV 步进，可以设置区间为±3EV)

- 在相机上也可设置闪光灯曝光补偿功能。当相机和闪光灯都设置了曝光补偿时，拍摄将进行联合曝光补偿。



## 手动闪光

可以设置任意的闪光量。

- 设置闪光模式为[MANUAL](手动)
- 设置模式详细中的闪光量 (有效设定范围 1/128 到 1/1, 可以以 1/3EV 步进设定)
- 确认充电状态，做好准备开始拍摄。

显示部分，会计算并显示适当曝光量的距离。如果相机的光

圈快门变化，要根据拍摄距离改变设置量来保证合适的曝光。

使用以下公式来计算手动闪光时的适当曝光量。

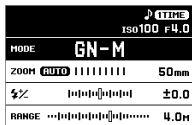
闪光指数(GN) / 拍摄距离 (m) = 光圈值 (F)

有关 GN 指数的含义，请参考文末 [表 1]。

## 距离值先决手动模式

拍摄时将闪光灯设置成手动时，闪光曝光将自动调整到选定的距离

- 设置闪光模式为[GN-M]。
- 在闪光灯模式设置里面，可以设置被摄物体的距离。(如果目标距离超过设定范围，调整摄像机的光圈值，ISO，等等。)
- 确认充电状态，做好准备开始拍摄。

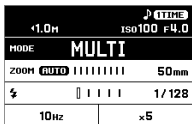


## 频闪拍摄

在闪光灯闪光时，快门不断打开记录图像，在一张照片中展示动态。

请使用相机的手动曝光模式(M档)。

- 设置闪光模式为[MULTI](频闪)
- 在闪光模式的详细设置区域，可以设置闪光量、闪光间隔[Hz](例.: 10 Hz = 1 秒钟闪光 10 次)，闪光次数“x”。



3. 根据 [闪光次数] ÷ [闪光间隔] 设置较低的快门速度。
4. 确认充电状态，准备拍摄。

连续闪光次数会根据闪光量和闪光间隔的组合设定有所不同。请参照文末 [表 2]。

## 无线引闪摄影

当在远离相机的位置使用闪光灯，可以扩大创作可能性。EF-630 可以由相机的内置闪光灯或者一个单独的发射器(TX)灯光遥控。

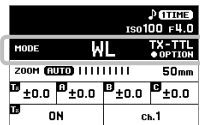
- 连接到相机的闪光灯称为 [发射器(TX)单元]，在距相机一段距离处使用的闪光灯称为 [接收器(RX)单元]。
- 请将闪光灯设置在距离被摄体 0.5m~5m，将相机设置在距离被摄体 1m~5m 的范围内。
- 远程使用闪光灯时可以装载附带的迷你底座。迷你底座也配备可以装到三脚架上的锁孔。
- 无线闪光可使用自带机身闪光灯的相机 (只有相机能设置成指令模式)。关于相机侧设定请参见相机的使用说明书。
- EF-630 可以与 EF-610 DG SUPER NA-iTTL 组合使用。当组合使用时，请根据 EF-610 DG SUPER 的使用说明书，将 EF-610 DG SUPER 设置成接收器灯。(EF-610 DG SUPER 的接收器 ID 编号的不同标记方法，请参见下列表格)

EF-630 的接收器 ID	A	B	C
EF-610 DG SUPER 的接收器 ID	1	2	3

## 无线闪光准备 (发射器单元)

### 设置闪光模式

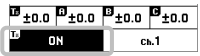
设置引闪模式，可在 [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL] 和 [WL TX-MULTI] 中选择的。



### 设定发射器闪光灯

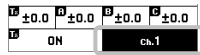
通过该设定选择哪个是“发射器闪光灯”或者控制功能和闪光灯发光。

ON	功能控制+闪光
OFF	仅控制功能



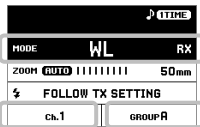
### 频道设定

当还有其他人使用无线闪光的时候，可以设置不用频道来避免发生冲突故障 (频道有 1~4 可选)。



## 无线闪光准备 (接收器单元)

1. 将闪光模式设置成 [WL RX] (无线接收器)。
2. 在模式详情区，设置与发射器闪光灯同样的频道。
3. 在信息区域，设置闪光灯组别在 A、B、C 三项中任选其一。



## 无线自动测光闪光 i-TTL

使用无线自动测光闪光时，相机将自动控制曝光到一个合适的值。

### 发射器单元的设置

1. 设置闪光模式为 **[WL TX-TTL]**
  2. 如果需要，可以在模式详情区进行“频道设定”和“发射器单元设定”。
  3. 在模式设置区域，可以设置发射器闪光灯和接收器闪光灯的曝光补偿值。
- 副闪光灯可以设置为手动闪光和关闭闪光。

① 当闪光模式已经被选择时，按下 **OK** 按钮，屏幕上将循环显示接收器单元。

② 选择组别可以设置为 **[M]** (手动闪存) 或 **[OFF]** (关闭闪光)。

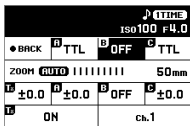
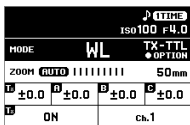
③ 选择 **[BACK]** 并按下 **OK** 按键将返回预览界面。

④ 在模式设置区域，手动闪光模式可以设置曝光补偿值。

### 接收器单元的设置

4. 根据“无限闪光准备 (接收器单元)”内容进行设定。
5. 放置接收器单元，确定充电完成后，可进行拍摄。(AF 自动对焦辅助灯闪烁表示接收器灯充电完毕)。

● 完成拍摄后，如果出现错误的曝光，会发出“哔”的一声



以示警告 (参考[提示音] 设置在第 138 页) 在这种情况下，更改环境进行再次拍摄。

## 无线手动闪光

和手动闪光一样，无线闪光模式也可以使用手动设置闪光输出。参考市面上在售的闪光表来确定曝光。

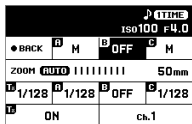
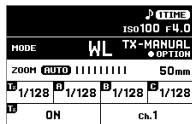
### 发射器单元的设置

1. 设置闪光模式为 **[WL TX-MANUAL]**
  2. 如果需要，可以在模式详情区进行“频道设定”和“发射器单元设定”。
  3. 在信息区域，可以设置闪光灯每一组的曝光量 (当发射器闪光灯设置到 ON 时，也包括发射器闪光灯)。(有效设定范围 1/128 到 1/1，可以以 1/3EV 步进设定)
- 任意改变接收器组到 i-TTL 自动闪光模式，和关闭闪光灯都是可以的。

① 当闪光模式已经被选择时，按下 **OK** 按钮，屏幕上将循环显示接收器单元。

② 选择组别可以设置 **[TTL]** 或者 **[OFF]** (取消闪光灯)。

③ 选择 **[BACK]** 并按下 **OK** 按键将返回预览界面。



- ④ 在必要的时候，可以在信息区域 i-TTL 自动闪光模式下，设置闪光灯的曝光补偿值。

## 发射器单元的设置

- 设置闪光模式为 [WL RX]
- 根据“无限闪光准备 (接收器单元)”内容进行设定。
- 放置接收器单元，确定充电完成后，可进行拍摄。(AF 自动对焦辅助灯闪烁表示接收器灯充电完毕)。

## 无线多重闪光

无线多重闪光可适用于单个闪光灯或多个闪光灯。  
请使用相机的手动曝光模式 (M 档)。

### 发射器单元的设置

- 设置闪光模式为 [WL TX-MULTI]。
- 如果需要，可以在模式详情区进行“频道设定”和“发射器单元设定”。
- 在闪光模式的详细设置区域，可以设置闪光量、闪光间隔[Hz](例.: 10 Hz=1 秒钟闪光 10 次), 闪光次数“x”。
- 任何接收器组都可以被关闭，选择一个需要取消闪光功能的接收器组，将其设置成 [OFF] 即可。

i-TTL			
ISO100 F4.0			
MODE	WL		TX-MULTI
ZOOM	AUTO	50mm	
1/128	A ON	B ON	C ON
D ON	10Hz	x5	ch.1

### 接收器单元的设置

- 根据“无限闪光准备 (接收器单元)”内容进行设定。

- 根据 [闪光次数] ÷ [闪光间隔] 设置较低的快门速度。
- 放置接收器单元，确定充电完成后，可进行拍摄。(AF 自动对焦辅助灯闪烁表示接收器灯充电完毕)。

## 接收及闪光功能

EF-630 拥有一项功能，可以被另外一只闪光灯引闪，虽然无法进行自动调光拍摄，但是可以方便使用者调节闪光灯和机身的位置以及距离。

### 普通接收及闪光功能

感应到装载在机身上的闪光灯闪光，离开相机一定距离的 EF-630 可以被同步引闪。

将发射器闪光灯设置为手动模式，将闪光灯输出功率设置为 1/16。

- 相机自带的闪光灯可当做外接闪光灯的触发器。在相机的自带闪光灯操作界面进行设置，并设置闪光灯的曝光量在 1/16 左右。

设置相机的曝光模式为 M 档，快门速度为 1/30 或者更短，光圈和 ISO 为任意值。

1.0m		i-TTL	
MODE	R&FL		NORMAL
ZOOM	AUTO	24mm	
f			1/128
iso100	F4.0		

- 将接收器的 EF-630 闪光灯的闪光模式设置到 [R&FL NORMAL]
- 在模式详细的区域，设置 ISO 和光圈值以匹配相机设置。

- 在模式详细区域调整闪光量，使接收器闪光灯和主体之间的距离大致相同。
- 确认充电状态后开始拍摄。

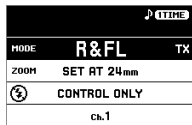
## 指定接收及闪光功能

如果使用两个或两个以上的 EF-630 闪光灯，设置在同一频道的闪光灯可以进行同步闪光，一个闪光单元会被用作接收控制器，其他都作为接收器闪光。

设置相机的曝光模式，快门速度为 1/30 秒或者更短，光圈和 ISO 为任意值。

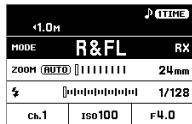
### 设置控制(发射器)闪光灯

- 设置闪光模式为 [R&FL TX]
- 当需要进行频道设置时（在信息区域内可以选择 Ch.1 到 Ch.3）。



### 设置闪光(接收器)闪光灯

- 设置闪光模式为 [R&FL RX]。
- 在模式详细区域内，设置通道以匹配发射器闪光灯。
- 在模式详细区域内，设置 ISO 和光圈值，以匹配控制闪光。
- 在模式详细区域内调整闪光输出量，使接收器闪光灯和主体间的距离大致相同，在状态区域内的距离是相通的。



7. 确认充电状态后开始拍摄。

- 可以和其他接口的 EF-630、EF-610 DG SUPER 进行组合使用，(EF-610 DG SUPER 的设定方法请参考 EF-610 DG SUPER 的使用说明书。)

## 可选功能

本节介绍了可从设置菜单里添加和设置的功能

### 分光模式 (MENU 1)

EF-630 有三种分光模式，可根据使用目的选择

[MENU1](菜单 1)→ [LIGHT DISTRIBUTION] (分光模式)

<b>NORMAL</b> (默认)	<b>普通分光模式</b> 一般拍摄的光分配模式
<b>GN</b> <b>GN</b>	<b>GN 指数优先分光模式</b> 周边的光量会有所下降，可以获得更高的 GN 指数。
<b>DIFFUSE</b> <b>DF</b>	<b>平均分光模式</b> 防止边缘的光的量减少提供更均匀的光分配。

### 测试闪光 (MENU 1)

EF-630 有两种测试闪光模式。测试闪光模式可以分配给测试按钮。

## [MENU 1] (菜单 1) → [TEST FLASH] (测试闪光)

<b>1 TIME</b> <b>1 TIME</b> (默认)	测试闪光 进行常用的测试闪光
<b>MODELING</b> <b>MODEL</b>	造型闪光 可以使用[TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [MULTI]等闪光模式 当测试按钮被按下时, 连续闪烁大约 1.5 秒, 这样就可以检查该主体的阴影。

### 注意 !!

[MODELING] (造型闪光)设置无法在任何不支持造型闪光的模式下被选择。

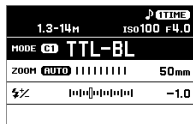
- 为防止相机的模拟闪光功能被误操作, 所以只有当相机的预览按钮按下时, 模拟闪光功能才能使用。(按下相机的预览按钮时, 模拟闪光功能在[WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], or [WL TX-MULTI] 模式下都能使用)。

## 自定义模式 (MENU 2)

可以存储用户的自定义设置 (支持 2 套设置参数)。

### 存储和调出自定义设置

- 设置闪光模式、模式详细区域和设置菜单内容。



- 从 [MENU 2](菜单 2) → [CUSTOM MODE SETTING] (自定义模式设置), 选择 [C1] 或 [C2], 按下 **OK** 按钮。
- 选择 [OK] (确定) 并按下 **OK** 按钮

注册的内容被添加到存储模式作为自定义模式。(自定义模式是在闪光模式区内用 **C1** 或 **C2** 标记。)

### 删除已注册的自定义模式

- 从 [MENU 3] (菜单 3) → [CUSTOM MODE DELETE] (自定义模式删除), 选择 [C1] 或 [C2], 按下 **OK** 按钮。
- 选择 [OK] (确定) 并按下 **OK** 按钮。

## AF 对焦辅助灯 (MENU 3)

在黑暗的地方进行拍摄时, 自动对焦辅助灯将自动打开, 自动对焦辅助光的有效范围约从 0.7 到 10 米。

- 当不需要使用对焦辅助灯时, 可以在[MENU 3](菜单 3) → [AF ASSIST LIGHT](AF 对焦辅助灯) → [OFF](关闭)。


<b>OFF</b>	自动对焦辅助灯不工作。
<b>ON</b> (默认)	在黑暗的地方, 自动对焦辅助灯将用于照明。
<b>ONLY</b>	闪光灯处于不工作状态, 和只有自动对焦辅助灯功能 ([AF ASSIST LIGHT ONLY]会在信息区域中显示)。

## 液晶屏背光 (MENU 3)

当电源打开时，液晶屏会点亮。背光的开/关的设置可以改变。

[MENU 3] (菜单 3) → [LCD LIGHT] (LCD 背光)。

<b>AUTO</b> (默认)	不进行操作 8 秒后，背光将自动关闭。按下任意按钮，光会自动打开。
<b>8 SEC</b>	不管按钮是否被按下，8 秒后背光将会自动关闭
<b>ON</b>	背光将保持点亮


- 无论如何设置，可以按背光按钮打开背光 

## 调整液晶屏 (MENU 3)

液晶屏的对比度和亮度可以调节

[MENU 3] (菜单 3) → [DISPLAY SETTING] (显示设置)

<b>BRIGHTNESS</b>	<b>亮度</b> 使用<>按钮调整亮度到所需的水平。
<b>CONTRAST</b>	<b>对比度</b> 使用<>按钮调整对比度到所需的水平。

当完成调整，选择 [OK] (确定)按钮，按下  键确认。

当取消调整，选择 [CANCEL] (取消)按钮，按下  键确认。

## 改变距离标记的单位 (MENU 3)

在状态区域的距离标记可以被改变

[MENU 3] (菜单 3) → [M / FEET]

<b>M</b> (默认)	米
<b>FEET</b>	英尺

## 信息显示 (MENU 4)

可以确认以下信息

[MENU 4] (菜单 4) → [INFORMATION] (信息)

<b>MODEL</b>	模式名称
<b>SERIAL No.</b>	序列号
<b>VERSION</b>	固件版本

## 初始化设置 (MENU 4)

可以将闪光灯的设置恢复到出厂状态。

[MENU 4](菜单 4)→ [RESET SETTINGS] (初始化设置)

要初始化设置，选择 [OK] (确定)并按下  按钮。

- 当设置复位后，自定义模式存储的内容将被删除。



## 其他便利功能

### 照射角度设置

当使用闪光灯设置 **AUTO** 时，闪光灯自动设置为最佳镜头焦距的最佳角度。

- 闪光灯头按照相机图像传感器的大小来测算焦距，因此不同镜头显示的焦距可能会不同。
- 根据设置的闪光模式，某些情况下无论所使用何种焦距的镜头，照射角度都会被固定。

照射角度可以手动改变。在模式详细区域按 **<>** 进行选择。

AUTO ⇄ 24 ⇄ 28 ⇄ 35 ⇄ 50 ⇄ 70 ⇄ 85 ⇄ 105 ⇄ 135 ⇄ 200mm

- GN 指数会根据照射角发生变化。

### 散光板

EF-630 闪光灯提供了一个可以覆盖最广 17mm 超广角的散光板，将散光板从闪光灯灯头处拉出直到卡住为止（请勿强硬拉出），请将眼神光板放回原位。P.3-(7)

- 散光板的使用过程中，模式详细区域的照射角处会显示 **WP** 标记。

### 跳闪

将闪光灯的灯头朝向天花板或墙壁进行闪光，利用光的扩散，可以获得阴影较少的光线柔和的照片。灯头可以在上

方 90 度、下方 7 度、左右 180 度的范围内进行设定。P.3-(8)

- 在使用跳闪的过程中状态区域会显示 **BOUNCE** 标记。
- 为了使跳闪的反光可以覆盖全部照片，尽量选择白色的背景。此外，根据跳闪使用的反射面状况和拍摄距离等条件，能够进行闪光补偿的范围也会发生变化。

### 近距离摄影

将闪光灯灯头设置到下方 7 度的位置，在近距离摄影的时候可以使闪光覆盖下方几乎所有的范围。

- 在下方 7 度的位置使用跳闪时，状态区域的距离标识会闪烁。

### 眼神光板

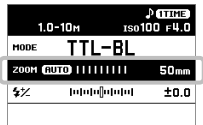
EF-630 闪光灯内置有使用跳闪时，让被摄人物眼中展现眼神光的眼神光板将散光板和眼神光板拉出到最大（请勿强硬拉出），将散光板塞回原位。P.3-(9)

- 跳闪角度设置为向上 90 度，可以在近距离拍摄时获得比较好的效果。P.3-(10)

### 同步接口

EF-630 配备了同步接口，可以使用市售的同步数据线和相机接续。

使用同步数据线接续状态下的拍摄，请使用 **[MANUAL]** 闪光模式。





在 [MENU 1] (菜单 2)中将 [ISO] [F-NUMBER] (光圈值)设置到和相机相同,尽可能将状态区域的距离标识和闪光灯距离被摄体的距离保持一致,在模式详细区域中对闪光量进行调整。

## 注意!!


使用同步接口进行的闪光拍摄,无法使用 i-TTL-BL / i-TTL 的自动调光功能。同步接口支持的数据线端口极性为中央的 pin 是正极,周边的 pin 是负极。如果需要使用逆向极性的数据线请购买市售的转换接线。

## 误操作防止功能

电源开关拨到「」锁定位置时,测试按钮和按钮以外的操作都将被禁用,可以有效防止误操作。

- 锁定状态下状态区域会显示标记。

## 提示音

即使不看液晶屏,也可以通过提示音感知闪光灯的状态。将闪光灯正面的提示音开关设置为 [ON]。(状态区域会显示标记)

短音一次	充电完毕
长音两次	曝光值太高或者太低。
长音一次 2 秒	错误警告

## 相机上的功能设置。

### 闪光曝光锁定 (FV LOCK)


此拍摄方法是为被摄物体任意部位锁定正确闪光曝光。可以使用 [TTL], [TTL-BL], [WL TX-TTL]等闪光模式。

- 操作方法,请参阅相机用户使用手册。

### 后帘同步

在快门关闭前闪光,移动主体的光线轨迹可以被拍摄到,可以用来表现主体的自然运动


可以使用 [TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL]等闪光模式

- 相机上设置成后帘同步拍摄时,这个图标将在状态区域显示。

### FP 闪光(HIGH-SPEED SYNC 高速同步)

FP 闪光模式在快门打开的这段时间内会持续闪光,因此,你可以使用比同步速度更快的快门速度进行拍摄。

可以使用 [TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL] 等闪光模式。

- 相机上设置成 FP 闪光拍摄时,这个图标将在状态区域显示。

在 [TTL] 模式下, 确认主体和闪光灯之间的拍摄距离后再开始拍摄。


在 [MANUAL] 模式下, 调整光圈后, 才开始拍摄。

使用FP闪光时, 闪光灯的GN指数会根据快门速度而变化, 闪光范围会有所减小。GN指数的含义请参考文末[表3]。

## 防红眼闪光

当用闪光灯拍照时, 有时人的眼睛会产生反射, 并会在照片上出现“红眼”。如果你使用“防红眼”功能, 闪光灯会预先闪 1 秒, 然后释放快门, 以减少“红眼”的效果。

可以使用[TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [MULTI], [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], [WL TX-MULTI], [R&FL TX]等闪光模式。

- 相机上设置成防红眼闪光拍摄时,  这个图标将在状态区域显示。

## 规格

类型: 套入式专用 TTL 自动变焦电子闪光灯

GN 指数: 63(ISO100/m, 200mm 灯头位置)

电源: 四节“AA”型镍氢充电电池或碱性干电池

回电时间: 约 3 秒(碱性电池): 约 1.8 秒(镍氢充电电池)

闪光次数: 约 120 次(碱性电池): 约 185 次(镍氢充电电池)

闪光时间: 约 1/700 秒。(全光输出)

闪光灯覆盖范围: 24~200mm 马达控制(内置散光板可覆盖最长达 17mm 广角) 重量: 490g

体积: (W)79.4mm x (H)148.4mm x (L)121.5mm

产品中有毒物质的名称及含量

		有害物质					
部件名称		铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
10	外壳(金属部件)	×	○	○	○	○	○
	外壳(树脂部件)	○	○	○	○	○	○
	基板部件	×	○	○	○	○	○
	光学部件	○	○	○	○	○	○
	机械部件	×	○	○	○	○	○

备注	本表格依据 SJ/T 11364 的规定编制。 ○: 表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T 26572 规定的限量要求以下。 ×: 表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB/T 26572 规定的限量要求。
10	10 或 5 图形含义: 此标识是适用于在中国境内销售的电子讯息产品的环保使用期限。
5	此产品使用者只要遵守安全和使用上的注意事项, 从生产之日起的十年或五年期间不会对环境污染, 也不会对人身和财产造成重大影响。

制造商: 株式会社适马 / SIGMA CORPORATION

日本神奈川县川崎市麻生区栗木 2-4-16 号

进口商: 适马贸易(上海)有限公司

上海市长宁区宋园路 65 号 1 号楼 3 楼 1301-1302 单元

售后服务: 400-852-8080 代表: 021-6233-1086 FAX: 021-6233-1167


2021 年 9 月印刷


## 繁體中文


多謝閣下購買適馬 EF-630 (尼康用) 電子閃光燈。請詳細閱讀本說明書。本產品多樣化的功能會為閣下帶來更多的攝影樂趣。為要把本產品各功能發揮得淋漓盡致及增加攝影之樂趣，請將本說明書跟相機說明書一起閱讀，並妥為保存以便將來查閱。


## 注意

為避免構成任何損毀或受傷，於使用本產品前，請小心及詳細地閱讀本說明書，隨時留意下列注意標誌所述事項。請特別留意下列兩種注意標誌。


 **警告!!** 如忽略此警告標誌所述的情況下使用本產品可能構成嚴重受傷或其他危險結果。


 **注意!!** 如忽略此注意標誌所述的情況下使用本產品可能構成受傷或損毀。


 標誌代表警告及注意等的重要事項。


 標誌含有需要避免的動作。

### 警告!!


 本閃光燈內建高壓電路。為避免觸電或消傷，請不要嘗試拆開本閃光燈。如本閃光燈外殼爆裂或損毀，請不要觸摸內部的元件。

 不要靠近眼睛觸發閃光燈，否則其強光可能對眼睛做成傷害。拍攝時，請保持閃光燈與臉部至少 1 米/3 呎的距離。


 當閃光燈已安裝在相機的熱靴座後不要接觸相機的閃光燈同步接點。其高壓可導致觸電。


 不要在易燃的氣體、液體及化學物品附近使用相機，否則可能引起爆炸。


 請勿用手覆蓋閃光燈燈頭、或請勿靠近皮膚觸發閃光燈這樣均能做成灼傷。


 請勿向駕駛人仕直射閃光，因這會引發交通意外。


### 注意!!


 不要把本閃光燈使用在非尼康單鏡反光相機上，否則可能會導致相機的電路故障或不利的影響。


 本閃光燈並不防水。當在下雨、降雪或近水的地方使用相機及閃光燈時，請避免弄濕。因弄濕而損毀的電子元件一般都較難維修。

 不要把閃光燈曝露在震盪、滿佈塵埃、高溫或高濕度的環境底下。在這些情況下可引致火警或令器材不正常工作。

 當閃光燈遇到溫度驟變的環境，例如把閃光燈從寒冷的室外帶到溫暖的室內時，閃燈內部及外部會有積水。預防方法為先把閃光燈放入密封膠袋內才把它帶到溫度驟變的另一地方，直到閃光燈達到該地方之溫度方可使用。

 不要把閃光燈存放在抽屜或廚櫃內，因其可能含有樟腦或其他殺蟲劑會對閃光燈做成不良影響。

 不要使用天拿水、苯或其他清潔劑來抹掉閃光燈表面的塵埃或指紋。應使用微濕及柔軟的布。

 如需要長時間存放，請選擇乾爽清涼的地方，最好有良好的通風系統。建議每個月都使用閃光燈來作數次閃光，以維持電容正常工作。



觸發閃光燈時，請勿用布料或衣物覆蓋閃光燈燈頭，因為這可以引致火災。

## 關於電池

這閃光燈是使用了四個“AA”型 Ni-MH 鎳氫充電電池或鹼性乾電池。

- 為確保妥善的電力接觸，可清潔電池接點後才安裝電池。
- 為防止電池發生爆炸、洩漏或過熱，請使用相同品種及品牌之電池，不要把品種不同或新舊不一之電池混合使用。
- 不要把電池拆開、短路或暴露於水火當中，否則可能引起爆炸。
- 不要向非 Ni-MH 鎳氫充電電池的電池充電。
- 如需長時間閒置此閃光燈，請把電池取出，以防電池洩漏可能帶來的損毀。
- 建議於長途旅程或於寒冷的戶外進行拍攝工作前攜帶足夠後備電池。
- 請勿使用 AA/R6 鋰電池，這可能導致您的設備發生故障。
- 請遵守您所在社區之有關處理電池的所有準則，條款和規定。

## 各部位名稱 (第 2 頁)

- |            |                          |             |
|------------|--------------------------|-------------|
| 1. 閃光燈燈頭   | 7. 液晶顯示屏                 | 13. 選擇器     |
| 2. 無線信號接收窗 | 8. 背光開關鈕                 | 14. 熱靴鎖撥杆   |
| 3. 音效開關鈕   | 9. MENU 按鈕               | 15. 轉盤      |
| 4. 自動對焦輔助燈 | 10. “開關”掣                | 16. 同步終端    |
| 5. 電池室蓋掩   | 11. 充電完成提示燈/<br>“閃光測試”按鈕 | 17. 反射片     |
| 6. 熱靴座     | 12. OK 按鈕                | 18. 廣角閃光擴散片 |

## 選擇器(13)

在這使用說明書，選擇器的每個位置以  $\wedge$  /  $\vee$  /  $\langle$  /  $\rangle$  來指示。



- 按鍵運用方法：操作向上及向下鍵： $\diamond$ 。操作向左及向右鍵： $\langle \rangle$ 。

## 適配相機

此閃光燈適配以下相機：


適配尼康創意閃光系統(CLS)之數碼單鏡反光相機。

- 請運用支援實際使用中之相機的自動對焦鏡頭。

## 安裝電池

- 1.把電源開關掣設置為[關閉]及滑動蓋掩打開電池艙。  
第 3 頁-(1)
- 2.依據在電池艙內的指示，跟隨"+"和 "-"電極的正確方向插入電池。第 3 頁-(2)
- 3.關上電池艙蓋掩。第 3 頁-(3)
- 4.把電源開關掣設置為[開啟]。當閃光燈的電量達到可以觸發閃燈，充電完成提示燈便會開始閃動綠光，而當閃光燈的電量是充滿，則會亮起紅光。

### 注意 !!

當電池的電量下降，標記會在液晶顯示屏上顯示。當電池的電量下降至零，顯示屏會在右方指示標記及閃光燈不能運作，請更換電池。



### 錯誤發生警告

當 **EB** 標記在液晶顯示屏上顯示，閃光燈可能發生事故，請重設開關掣或檢查電池，如標記還在，請聯絡維修中心。

### 自動關閉電源

為節省電力，本閃光燈於停用大約 80 秒鐘後便會自動關閉電源。此時可按“閃光測試”按鈕或半按相機上之快門釋放掣重新啟動閃光燈。但是，自動關閉電源並不適用於[WL RX]模式，[R&FL NORMAL]模式，和[R&FL RX]

模式。

## 安裝到相機上

- 1.把電源開關掣設置為[關閉]。
- 2.確定熱靴鎖撥杆是在[UNLOCK ►]位置。第 3 頁-(4)
- 3.把閃光燈插入相機熱靴直至停穩，拉動熱靴鎖撥杆到[◀LOCK]方向直至撥杆鎖好及發出嗒一聲。第 3 頁-(5)

當移除閃光燈，拉動熱靴鎖撥杆到[UNLOCK ►]方向直至撥杆停定，同時繼續按熱靴鎖撥杆鍵，跟着拔出閃光燈。

### 注意 !!

如果拔出閃光燈時，熱靴鎖撥杆不是在[UNLOCK ►]位置，可能會損壞相機的熱靴及安裝的閃光燈的熱靴。

## 調節閃光燈頭

在正常拍攝，請設置閃光燈頭向前。第 3 頁-(6)

### 注意 !!



把電源開關掣設置為[ON]後，如果有 **BOUNCE** 標記在狀態區域顯示，或距離顯示在狀態區域閃動，代表閃光燈頭不是正確設置向前方。

## 閃燈連發限制

為免閃燈因連續發射，而導致閃燈內部電路過熱，請讓閃光燈依隨下列表格所述操作，並務請在每組次組完成後，讓閃光燈休息至少 10 分鐘。

模式	閃光次數
TTL, 手動 (全輸出, 半輸出)	連續 20 次
手動 (1/4 輸出, 1/8 輸出)	連續 25 次
手動 (1/16 輸出, 1/32 輸出)	連續 40 次
頻閃	循環 10 次

### 注意 !!

萬一  圖標在顯示屏出現，閃光次數將被限制，以防止閃光燈的電路過熱，避免繼續使用閃光燈直至  圖標消失。

## 設定基本步驟

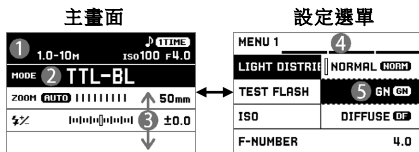
這部分描述基本設定。EF-630 的大部分設定可跟隨以下步驟輕鬆進行。

### 注意 !!

當電源開關掣設在 [🔒] (鎖定) 位置，便不能更改設定，請確定是設置 [開啟] 以變更設定。

使用 MENU 鍵切換主畫面及設定選單。(當電源開關掣設

置為 [ON] (開啟)，則常會在主畫面開始。)





更改閃光燈模式及設定每個閃光燈模式的細節。

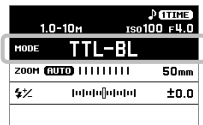
增加閃光燈拍攝的附加功能和設定閃光燈的基本條件。

- ① 狀態區域
- ② 閃光燈模式區域
- ③ 模式細節區域
- ④ 標籤區域
- ⑤ 副選單



## 在主畫面的基本操作

### 選擇閃光燈模式

使用  鍵選擇閃光燈模式區域和使用  鍵或轉盤變更閃光燈模式。



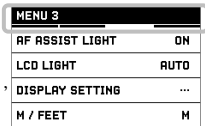
### 設定閃光燈模式的細節

使用  鍵選擇模式細節區域和使用  鍵或轉盤變更設定值。



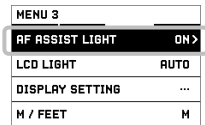
## 在設定選單的基本操作

轉動轉盤移動到下一個標籤。  
(在標籤區域中選好設定標記後，可利用<>鍵改動標籤。)



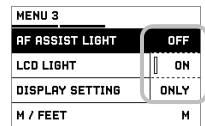
## 在設定選單：

使用◀鍵選擇選單項目，按OK或▶鍵打開副選單或對話框。  
(在某些項目，或會打開特別畫面或對話框訊息。)



## 在設定副選單：

使用◀鍵選擇設定項目，按OK或▶鍵去應用新設定。(按◀鍵關閉副選單而不應用變更。)



## i-TTL 自動閃光

相機測量預閃的反射光，並給出最佳的閃光輸出。以下兩種方法選擇其一。

### i-TTL 均衡補充閃光(閃光模式: [TTL-BL])

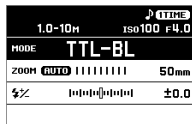
控制閃光輸出以平衡主體和背景的曝光。

- 當相機的測光模式設定為點測光時，便可選擇 i-TTL-BL 均衡補充閃光。

## 標準 i-TTL (閃光模式: [TTL])

僅適用於控制不需考慮背景曝光之拍攝對象的閃光量。

- 設定閃光模式為 [TTL-BL] 或 [TTL]。
- 在狀態區域檢查距離指示以確定主體是在拍攝範圍。
- 以充電完成提示燈檢查閃光燈狀態及開始拍攝。



如果 **NG** 標記在拍攝後顯示 5 秒，則代表閃光量可能是太高或太低。請更改條件及再次拍攝。

## 快門速度和光圈

在不同相機曝光模式下，快門速度和光圈之關係如下：

	快門速度	光圈
<b>P</b>	自動設定	自動設定
<b>A</b>	(1/60 秒*1 - 閃光燈同步速度*2)	可自由設定
<b>S</b>	可以從等同或低於閃光燈同步速度*2範圍內自由設定速度。	自動設定
<b>M</b>		可自由設定

\*1 在某些型號中，可以不受快門速度限制地設定較慢的快門速度。另外，當相機的閃光模式設定為[慢速同步]時，最低可用快門速度將不會受限制。

\*2 當 FP 高速閃光是在相機設定時，便不會對快門最高速度的設定有所限制。



## 注意 !!

當相機的曝光警告在顯示時進行拍攝時，可能會導致曝光不足或過度。請在開始拍攝前更改拍攝條件。

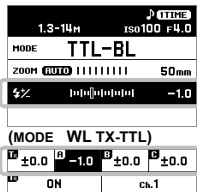
## 閃光燈的曝光補償

補償只在閃光燈的光量並不影響背景的曝光時進行。

可以在[TTL]、[TTL-BL]、[GN-M] 和 [WL TX-TTL] 閃光燈模式下使用。

在模式細節區域設定補償量 (補償量有 1/3 級和最多±3 級來設定)。

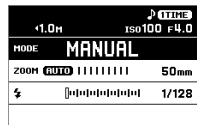
- 閃光曝光補償功能也可從相機提供。當相機和閃光燈都設定了閃光曝光補償時，將以合併的曝光補償值來進行拍攝。



## 手動閃光

可以自由設定閃光量。

- 把閃光燈模式設為[MANUAL]。
- 在模式細節區域設定閃光量。(設定範圍：1/128 至 1/1，設定幅度：1/3EV。)
- 以充電完成提示燈檢查閃光燈狀態及開始拍攝。



在狀態區域裡的距離指示部分，計算及顯示適當的曝光距離。即使採用相同的閃充量，該適當曝光距離會因應相機的感光度或光圈值的改變而有所不同。

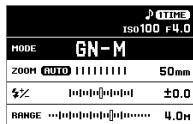
當運用手動閃光，可以使用以下方程式計算適當曝光：閃光燈指數(GN) / 拍攝距離(m) = 光圈值(F)

有關此閃光燈的閃光燈指數(GN)，請參閱在本說明書末部的[表 1]。

## 距離值先決手動模式

這是手動閃光拍攝，光量的輸出將自動調整到所選的距離。

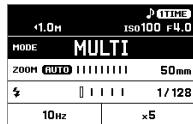
- 把閃光燈模式設為[GN-M]。
- 在模式細節區域設定與主體的距離。(如果所需距離超過可設定範圍，請調整相機的光圈值，ISO 等。)
- 以充電完成提示燈檢查閃光燈狀態及開始拍攝。



## 頻閃

在一張照片上要表現主體的動態，就如影像不斷重現，是可通過快門長開及使用閃光燈連續發射而拍成。

使用相機的手動曝光模式("M")。



1. 設定閃光燈模式為**[MULTI]**。
2. 在模式細節區域，設定閃光量，以 Hz 設定閃光間隔(例：10Hz=每秒 10 次的發射頻率)，及以"x"設定閃光數量。
3. 設定低於"閃光數量"和"閃光頻率"的快門速度。
4. 以充電完成提示燈檢查閃光燈狀態及開始拍攝。

可以連續發射的閃光數量是取決於閃光量和閃光頻率的組合而有所不同，請參閱在本說明書末部的[表 2]。

## 相機與閃燈無線配合操控

當閃光燈離開相機，以遠距離方式操控，可以擴展創作。EF-630 可從相機的內置閃光燈或獨立的發送器(TX)閃光燈單位以遠程控制。

- 裝載在相機上的閃光燈被稱為[發送器(TX)單位]，而離開相機的閃光燈被稱為[接收器(RX)單位]
- 請將閃燈安放距被攝體範圍自 0.5m - 5m；而相機與被攝距離為 1m - 5m
- 請將`接收器燈'，安置在隨燈附贈的小型燈座上，安放在欲置的發放位置。
- 無線閃光可與相機的一體式閃光燈一起使用(只適合擁有[指揮模式]的相機)。有關相機設定，請參閱相機的使用說明書。
- EF-630 可與 EF-610 DG SUPER NA-iTTL 一併使用。在這種情況下，會以 EF-610 DG SUPER 為接收器單位，當設定 EF-610 DG SUPER 時，請參閱 EF-610 DG SUPER 的使用

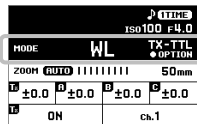
說明書(EF-610 DG SUPER 的接收器燈識別碼是不同的，請參考以下列表。)

EF-630 接收器燈識別碼	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>
EF-610 DG SUPER 接收器燈識別碼	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>

## 無線閃燈預備動作(發送器單位)

### 選擇閃光模式

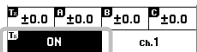
從[WL TX-TTL]，[WL TX-MANUAL]，及[WL TX-MULTI]設定所需的無線拍攝模式。



### 發送器閃光設定

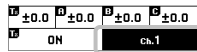
可設定“主機”是僅為控制功能，或是控制功能及如閃光燈般發射光量。

<b>ON</b>	控制功能+閃光
<b>OFF</b>	只有控制功能



### 頻道設定

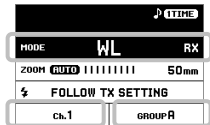
當另外有人在進行無線閃光時，請設定不同頻道以防止故障（可從頻道 1 至 4 中選擇。）



## 無線閃燈預備動作(接收器單位)

1. 設定閃光燈模式為**[WL RX]**。

- 在模式細節區域，設定為與主機相同的頻道。
- 在模式細節區域選擇設定所需的閃光群組(A、B或C)。

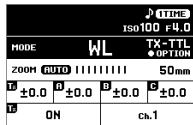


## 無線 i-TTL 自動閃光功能

在無線 i-TTL 自動閃光功能，相機自動控制曝光至合適量。

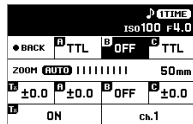
### 發送器單位設定

- 將閃光燈模式設定為[WL TX-TTL]。
- 有需要時，在模式細節區域執行“頻道設定”和“發送器單位設定”。
- 當有需要時，在模式細節區域為每組的發送器單位和接收器單位設定閃光曝光補償值。



- 可以把離散的接收器組更改為手動閃光或取消閃光。

- 當按下 **OK** 鍵，便選擇了閃光模式，屏幕將循環顯示接收器單位的閃光模式。
- 選擇需要更改的組別及設定為 **[M]**(手動閃光) 或 **[OFF]**(取消閃光)。



- 選擇 **[BACK]** 及按 **OK** 鍵以返回前一個畫面。

- 在模式細節區域，為設定為手動閃光的組別設定閃光量。

### 接收器單位設定

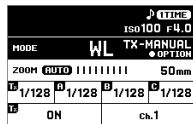
- 依據以下“無線閃燈預備動作(接收器單位)”來執行設定。
  - 安置接收器閃燈，確認完成充電，之後開始拍攝(通過閃動 AF 輔助燈來通知接收器閃燈已完成充電。)
- 拍攝結束後，如果有任何組別是曝光不足，則該組別會發出嗶聲響以作出警告(請參閱第 153 頁的[音效])。在這種情況下，請更改條件並重新拍攝。

## 無線人動閃光

除手動閃光攝影外，以無線拍攝也可手動設定閃光燈輸出。使用市面上有售的閃燈測光錶來決定曝光輸出。

### 發送器單位設定

- 將閃光燈模式設定為[WL TX-MANUAL]。
- 有需要時，在模式細節區域執行“頻道設定”和“發送器單位設定”。
- 在模式細節區域，為每組別設定閃光量(包括當發送器閃光設定為開啟的發送器單位)。(設定範圍:1/128 至 1/1，設定幅度:1/3EV。)



- 可以把離散的接收器組更改為 i-TTL 自動閃光模式或關閉閃光。

① 當按下 **OK** 鍵，便選擇了閃光模式，屏幕將循環顯示接收器單位。

② 選擇需要更改的組別及設定為 **[TTL]** (i-TTL 自動閃光) 或 **[OFF]** (取消閃光)。

③ 選擇 **[BACK]** 及按 **OK** 鍵以返回前一個畫面。

④ 當有需要時，在模式細節區域為設定為 i-TTL 自動閃光的組別設定閃光曝光補償值。

D (TIME)			
ISO100 F4.0			
● BACK	M	OFF	M
ZOOM (AUTO)                     50mm			
1/128	1/128	OFF	1/128
ON			ch.1

(例: 10Hz=每秒 10 次的發射頻率)，及以 "x" 設定閃光數量。

- 可以關閉任何一組的接收器單位。在模式細節區域選擇需要取消閃光的組別及設定為 **[OFF]**。

### 接收器單位設定

4. 依據以下“無線閃燈預備動作(接收器單位)”來執行設定。
5. 設定低於“閃光數量”和“閃光頻率”的快門速度。
6. 安置接收器閃燈，確認完成充電，之後開始拍攝(通過閃動 AF 輔助燈來通知接收器閃燈已完成充電。)

### 接收器單位設定

4. 將閃光燈模式設定為 **[WL RX]**。
5. 依據以下“無線閃燈預備動作(接收器單位)”來執行設定。
6. 安置接收器閃燈，確認完成充電，之後開始拍攝(通過閃動 AF 輔助燈來通知接收器閃燈已完成充電。)

### 無線頻閃功能

無線頻閃功能適用於一次閃光或多次閃光。

使用相機的手動曝光模式 (“M”)。

### 發送器單位設定

1. 將閃光燈模式設定為 **[WL TX-MULTI]**。
2. 有需要時，在模式細節區域執行“頻道設定”和“發送器單位設定”。
3. 在模式細節區域，設定閃光量，以 Hz 設定閃光間隔

D (TIME)			
ISO100 F4.0			
MODE	WL	TX-MULTI	
ZOOM (AUTO)                     50mm			
1/128	ON	ON	ON
ON	10Hz	x5	ch.1

### 接收及閃光功能

EF-630 的功能包括通過反應另一閃光燈的閃光而發射，讓閃光燈可位於相機的遠距離進行容易和方便的拍攝。但是，不會在此模式下自動調節光的輸出。

### 普通接收及閃光功能

發送器閃光燈安裝在相機上，可以被用來觸發與 EF-630 同步閃光，即使當它放置在相機的遠距離。

設定發送器閃光燈為手動模式及設定閃光燈輸出約為 1/16。

- 相機的內置閃燈可以作為控制觸發器使用。在相機上把內置閃燈設定為手動閃光模式，並將閃光量設定為約 1/16。設定相機的曝光模式為 M、快門速度為 1/30 秒或更短，及任意設定光圈值和感光度。

1. 設定接收器的 EF-630 的閃光燈模式為 **[R&FL NORMAL]**。
2. 在模式細節區域設定感光度 and 光圈值以吻合相機在這方面的設定。
3. 在模式細節區域調整閃光量，讓接收器閃光燈與主體的距離約相等於在狀態區域所顯示的。
4. 檢查充電完成否及開始拍攝。

◀1.0M		▶ [TIME]	
MODE	<b>R&amp;FL</b>	NORMAL	
ZOOM (AUTO)			24mm
f			1/128
iso100	F4.0		

## 專用接收及閃光功能

如使用兩支或以上的 EF-630 閃光燈，可用頻道控制同時誘發一支(或多支)閃光燈。在此模式下，其中一個閃光燈將用作控制接收器，而其他閃光燈則用作為接收器而被誘發。設定相機的曝光模式為 M、快門速度為 1/30 秒或更短，及任意設定光圈值和感光度。

### 設定控制閃光燈(發送器)

1. 設定閃光燈模式為 **[R&FL TX]**。
2. 當有需要時，設定頻道。(在模式細節區域，從頻道 1 至頻道 3 選擇。)

◀1.0M		▶ [TIME]	
MODE	<b>R&amp;FL</b>	TX	
ZOOM	SET AT 24mm		
f	CONTROL ONLY		
ch.1			

### 設定發射閃光燈(接收器)

3. 設定閃光燈模式為 **[R&FL RX]**。
4. 在模式細節區域設定頻道以吻合控制閃光燈所設定的。

5. 在模式細節區域設定感光度 and 光圈值以吻合控制閃光燈所設定的。
6. 在模式細節區域調整閃光量，讓接收器閃光燈與主體的距離約相等於在狀態區域所顯示的。
7. 檢查充電完成否及開始拍攝。

◀1.0M		▶ [TIME]	
MODE	<b>R&amp;FL</b>	RX	
ZOOM (AUTO)			24mm
f			1/128
ch.1	iso100	F4.0	

- 在接收器模式，這閃光燈也可與 EF-630 及或 EF-610 DG SUPER 組合使用，成為另一套相機配件。(請參考 EF-610 DG SUPER 使用說明書有關此設定的詳細資料。)

## 另選功能

這部分描述可以從設定選單設定及增加的另選功能。

### 配光模式 (MENU 1)

EF-630 設有 3 組配光模式，可依據不同需要來選擇。

[MENU 1] → [LIGHT DISTRIBUTION]

<b>NORMAL</b> - (預設)	<b>一般配光</b> 為一般拍攝用途的基本配光。
<b>GN</b> <b>GN</b>	<b>閃光燈指數優先配光</b> 閃光燈光束角減少但可得更大閃光燈指數。
<b>DIFFUSE</b> <b>DF</b>	<b>平散配光</b> 防止減少四周光量，提供更均衡的配光。

## 測試閃光 (MENU 1)

EF-630 設有 2 組測試閃光模式，一組測試閃光模式可分配到測試鍵。

### [MENU 1] → [TEST FLASH]

<b>1 TIME</b> (1 次) <b>1 TIME</b> (預設)	<b>測試閃光</b> 執行單次測試閃光
<b>MODELING</b> (做型模擬) <b>MODEL</b>	<b>做型模擬閃光</b> 可以在[TTL]、[TTL-BL]、[MANUAL]、[GN-M]和[MULTI]閃光燈模式下使用。當長按測試鍵，約有 1.5 秒的連續發射，便可檢察主體的陰影。

### 注意!!

在任何不能使用造型閃光功能的閃光燈模式均不能選擇[MODELING] (造型) 設定。

- 如果相機具有做型模擬閃光功能，按下相機的預覽按鈕時，便可運作做型模擬閃光。(使用相機預覽按鈕，在[WL TX-TTL]，[WL TX-MANUAL]或[WL TX-MULTI]模式也可使用做型模擬閃光。)

## 自定義模式 (MENU 2)

可以儲存及召回自定義設定。  
(可儲存 2 系列的自定義設定。)

1.3-14m		ISO100 F4.0	
MODE	C1	TTL-BL	
ZOOM	AUTO		50mm
⚡			-1.0

## 儲存及召回自定義設定

1. 依要求設定閃光燈模式、模式細節區域、及設定選單內容。
2. 從 [MENU 2] → [CUSTOM MODE SETTING]，選擇 [C1] 或 [C2] 及按 **OK** 鍵。
3. 選擇 [OK] 及 **OK** 鍵以確認。

以自定義模式，加註冊內容至閃光燈模式。(在閃光燈模式區域以 **C1** 或 **C2** 標記標示自定義模式。

## 刪除註冊自定義模式

1. 從 [MENU 2] → [CUSTOM MODE DELETE]，選擇 [C1] 或 [C2] 及按 **OK** 鍵。
2. 選擇[確認]及 **OK** 鍵以確認。

## 自動對焦輔助光 (MENU 3)

如在陰暗環境向主體對焦，自動對焦輔助光會自動開啟，自動對焦輔助光的有效範圍是約 0.7m 至 10m。

### [MENU 3] → [AF ASSIST LIGHT]


<b>OFF</b>	自動對焦輔助燈不能運作。
<b>ON</b> (預設)	自動對焦輔助燈用於照亮黑暗的地方。
<b>ONLY</b>	閃光燈不起作用，只有自動對焦輔助燈運作。(當[AF ASSIST LIGHT ONLY] 設定在模式細節區域顯示。

## 液晶顯示屏燈光 (MENU 3)

當電源設置為開啟，液晶顯示屏會亮起，可變更燈光的開啟/關閉設定。

### [MENU 3] → [LCD LIGHT]

<b>AUTO</b> (預設)	沒有操作 8 秒後，會關上燈光。而在燈光關掉時使用各鍵或轉盤，燈光會自動亮起。
<b>8 SEC</b>	無論是否按下各鍵或轉盤，燈光也將在開啟後 8 秒關上。
<b>ON</b>	燈光持續亮着。


- 不論任何設定，也可使用  鍵開關燈光。

## 液晶顯示屏調整 (MENU 3)

可以調節液晶顯示屏的對比度和亮度。

### [MENU 3] → [DISPLAY SETTING]

<b>BRIGHTNESS</b>	<b>亮度</b> 使用<>鍵調節亮度至所需水平。
<b>CONTRAST</b>	<b>對比度</b> 使用<>鍵調節對比度至所需水平。

當確定最終調整，選擇[OK]及  鍵以確認。

當確定取消調整，選擇[CANCEL]及  鍵以確認。

## 更改量度指示單位 (MENU 3)

可以更改在狀態區域的量度單位。

### [MENU 3] → [M / FEET]

<b>M</b> (預設)	公尺指示
<b>FEET</b>	英尺指示

## 閃光燈資訊 (MENU 4)

可查閱以下資訊。

### [MENU 4] → [INFORMATION]

<b>MODEL</b>	型號名稱
<b>SERIAL No.</b>	序號
<b>VERSION</b>	韌體版本

## 設定初始化 (MENU 4)

可重設閃光燈返回出廠時的設定。

### [MENU 4] → [RESET SETTINGS]

初始化設定，選擇[OK]及  鍵以確認。

- 重設設定後，儲存的自定義模式會被刪除。

## 其他有用功能

### 閃光燈頭設定

當以 **AUTO** (自動) 使用閃光燈頭設定，閃光燈頭會自動設定對於鏡頭焦距最為理想的閃光燈涵蓋角度。

- 閃光燈頭會考慮到相機的影像感測體的大小，因此，閃光燈顯示的焦距可以跟鏡頭本身的有所不同。
- 根據閃光燈模式，閃光燈頭設定可能會不論鏡頭的焦距而整理。

閃光燈頭設定可以手動更改，在模式細節區域按 **<>** 鍵。



AUTO ⇄ 24 ⇄ 28 ⇄ 35 ⇄ 50 ⇄ 70 ⇄ 85 ⇄ 105 ⇄ 135 ⇄ 200mm

- 閃光燈指數會隨燈頭涵蓋角度而改變。

### 廣角閃光擴散片

閃光燈內附置能覆蓋達 17mm 的超廣角閃光擴散片。

設置：先將廣角閃光擴散片及反射片從閃燈頂部拉出，繼將其反下覆蓋閃燈發射表面(拉出光片請小心)，再將 (11) 反射片退回閃燈內 P.3-(7)

- 當使用廣角閃光擴散片時，在模式細節區域的閃光燈頭指示部分會顯示 **WP** 標記。

## 反射閃光

閃光燈向天花或牆身發射，可將光分散，為拍攝提供柔和的光及減少背影。

閃光燈頭可 90° 向上、向下 7°、及 180° 向左和向右。  
第 3 頁-(8)

- 在反射閃光時，會在狀態區域出現 **BOUNCE** 標記。
- 請選擇白色作燈光反射面，其他顏色的表面，將令反射回來的光帶有偏色的色溫。因應不同之反射表面、主體距離等因素，閃燈在 TTL(Auto 模式)，其原本所示的有效覆蓋閃光距離將有所改動。

### 近攝/近距閃光

將閃光燈頭傾斜降至 7° 位置時，畫面下部會有足夠亮度作特寫曝光。

- 當以向下 7° 作反射閃光，在狀態區域的距離指示會閃動。

### 反射片

閃光燈內附置反射片，在進行燈光反射攝影模式時，它能將閃光燈所發出的光線反射至被攝主體表面、同時在主体的眼睛上造出高光的效果。設置：首將廣角閃光擴散片及反射片從閃燈頂部拉出，(拉出光片請小心)，再將 (12) 擴散片退回閃燈內 P.3-(9)

- 創立燈光反射攝影模式，適在近距進行，並將閃燈發射部翹起至 90 度°。 P.3-(10)



## 同步終端

設有同步終端，可使用市面上的閃光燈同步線連接相機。

當以同步線拍攝，請在[MANUAL]模式使用閃光燈。



以[MENU 1] → [ISO][F-NUMBER]設定感光度及光圈值(F)來配合相機的設定，在模式細節區域調整閃光燈輸出直至在狀態區域顯示的距離與閃光燈和主體的距離相約。


### 注意!!

如使用同步終端，i-TTL-BL/i-TTL 自動閃光則不能運作。

EF-630 的同步終端適配在中央插腳設有正極(+)及在護板設有負極(-)的插頭。如果插頭是相反極性，可使用市面上的極性轉換線。


## 防止意外操作

設置開關掣為 (鎖上)位置，除測試鍵及 鍵外，均不能操作其他功能，以防止錯誤更改閃光燈的設定。

- 當鎖上閃光燈，在狀態區域會顯示 標記。

## 音效

某些閃光燈狀態會以音效指示，這可不用觀看液晶顯示屏也可輕易察覺。

將在機身前方的音效掣設定為[開啟]。(當開啟後，在狀態區域會顯示 標記。)

一聲短鳴	指示完成充電。
兩聲長鳴	閃光曝光值過低或過高
一聲長鳴(2 秒)	錯誤警告。

## 在相機上設定的功能

### FV 鎖拍攝

這是一種使用正確的閃光燈曝光來攝取主體中任何所屬部分的拍攝方法。


可以在[TTL]、[TTL-BL] 和 [WL TX-TTL] 閃光燈模式下使用。

- 有關操作方法，請參閱相機的用戶手冊。

### 後簾同步

閃光燈會在快門關閉之前發射，便可捕獲移動主體背後的光和光之軌跡；因此，照片便能表達主體的自然動態。

可以在[TTL]、[TTL-BL]、[MANUAL]、[GN-M]、[WL TX-TTL] 和 [WL TX-MANUAL] 閃光燈模式下使用。

- 當在相機設定後簾同步拍攝， 標誌會在狀態區域顯示。

### FP 閃光(高速同步)

當快門簾走動時，FP 高速快門閃光同步會保持發射，所以可以使用比同步速度更快的快門速度。

可以在[TTL]、[TTL-BL]、[MANUAL]、[GN-M]、[WL TX-TTL] 和 [WL TX-MANUAL] 閃光燈模式下使用。

- 當在相機設定 FP 高速快門閃燈同步拍攝，**FP** 標誌會在狀態區域顯示。

在[TTL] / [TTL-BL]模式，於拍攝前檢查在狀態區域顯示的距離以確定主體是在拍攝範圍內。

在[MANUAL]模式，於拍攝前調整光圈等設定，讓與主體的距離和在狀態區域顯示的距離吻合。

閃光燈指數會依據快門速度而改變。(請參閱最後頁表 3)


## 注意 !!

這功能不可在不兼容 FP 高速快門閃光同步的閃光燈模式設定為"ON"。

## “紅眼”減免功能

在使用閃燈拍攝人像景物照片時，主體眼睛瞳孔，常因燈光反射，而在照片中呈現“紅眼”現象；在啟動此“紅眼”減免功能後，閃燈將在快門開啟前約 1 秒，短促發射閃光，使主體的眼睛，經適應閃光情況下收縮眼瞳，減免“紅眼”出現。

可以在[TTL]、[TTL-BL]、[MANUAL]、[GN-M]、[MULTI]、[WL TX-TTL]、[WL TX-MANUAL]、[WL TX-MULTI] 和 [R&FL TX] 閃光燈模式下使用。

- 當在相機設定紅眼減免功能，標誌會在狀態區域顯示。

## 規格

類型：套入式專用 TTL 自動變焦電子閃光燈

閃燈指數：63 (ISO 100/M, 設置在 200mm。)

電 源：四枚 AA 型鹼性 或 四枚 AA 型 Ni-MH

回電時間：大約 3 秒 (鹼性電) 或大約 1.8 秒 (Ni-MH)

閃光次數：約 120 (鹼性電) 約 185 (Ni-MH)

閃光時間：約 1/700 秒 (全光輸出)

閃光燈覆蓋角度：24mm – 200mm 自動馬達控制 (使用內置廣角擴散片可令覆蓋角度達至 17mm)

重量：490 克

尺寸：79.4mm (闊) X 148.4mm (高) X 121.5mm (長)

適馬(香港) 有限公司

香港北角渣華道 321 號柯達大廈 2 期 12 字樓 05 室  
(維修服務中心於 21 樓 2105 室)

TEL: (852) 2573 6655 FAX: (852) 2838 1852

台灣總代理：恆伸照相器材有限公司

台中市南屯區大墩六街 133 號

TEL: 04-24727278 FAX: 04-24724630

## 한국어

시그마 EF-630 (니콘용) 플래시를 구입해 주셔서 감사합니다. 플래시의 활용도를 높이고 최대의 성능을 이끌어 내기 위해서는 플래시를 사용하기 전에 플래시 사용 설명서와 카메라 사용 설명서를 함께 숙지해 주시기 바랍니다. 다 읽으신 후에는 반드시 사용자가 언제든지 볼 수 있는 곳에 보관해 주십시오.

## 사용상 주의점

손해나 부상을 미연에 방지하기 위해 플래시 사용전에 사용 설명서를 주의깊게 읽어 주시고 아래의 표시들에 주의를 기울여 주시기 바랍니다. 특히, 아래의 두가지 주의 표시에 특별히 주의하십시오.

**⚠경고 !!** 이 기호를 무시하고 잘못 취급하면 심각한 손상이나 위험한 결과를 초래할 수 있습니다.

**⚠주의 !!** 이 기호를 무시하고 잘못 취급하면 손상을 입을 수 있습니다.

**⚠** 이 기호는 경고와 주의를 표시해주는 중요한 사항들을 알려줍니다.

**⊘** 이 기호는 금지하는 사항들을 알려줍니다.

### ⚠경고 !!

**⊘** 플래시 내부에는 고전압 회로가 내장되어 있습니다. 감전이나 화상의 우려가 있으므로 분해, 개조등은 절대 금합니다. 만일 낙하등으로 손상된 경우에는 내부 부품에 손을 대지 않도록 주의하여 주십시오.

**⊘** 플래시를 사람 눈 가까이에 대고 촬영하지 마십시오. 눈 가까이에서 플래시를 발광하면 시력 장애를 일으킬 위험성이 있습니다. 특히 유아를 촬영할 때에는 1m 이상 떨어져서 촬영하십시오.

**⊘** 카메라의 핫 슈에 플래시를 접속하여 사용할때에는 카메라의 싱크로 터미널에 손을 대지 마십시오. 고전압으로 인하여 감전될 수 있습니다.

**⊘** 화재 및 기타 위험이 있는 장소에서는 사용하지 마십시오. 그렇지 않을 경우, 화재나 폭발의 원인이 될 수 있습니다.

**⊘** 화재의 위험이 있으므로 플래시 헤드 부분은 손으로 가리거나 피부 가까이에서 작동하지 마시기 바랍니다.

**⊘** 사고의 위험이 있으므로 자동차 운전자 쪽으로 플래시를 작동하지 마시기 바랍니다.

### ⚠주의 !!

**⊘** Nikon SLR 카메라 이외의 다른 카메라에는 이 플래시를 사용하지 마십시오. 카메라의 전자 회로에 오작동 및 악영향을 미칠 수 있습니다.

**⚠** 이 플래시는 방수 구조로 되어 있지 않습니다. 우천시나 물가에서 사용할 때에는 젖지 않도록 주의하여 주십시오. 물이 내부에 들어가면 고장의 원인이 됩니다.

**⊘** 플래시와 카메라에 충격을 주지 마십시오. 먼지가 많은 장소나 고온다습한 장소에 방치해두지 마십시오. 고장이나 화재의 원인이 될 수 있습니다.

**⚠** 급격한 온도 변화에 의해 플래시 내부에 결로가 발생할 수 있습니다. 추운 실외에서 따뜻한 실내로 들어올 때와 같은 경우에는 케이스나 비닐봉지에 넣어 주위 온도에 익숙해진 후에 사용하여 주십시오.

**⊘** 방충제는 플래시에 나쁜 영향을 미칠 수 있습니다. 서랍장이나 장롱에 보관하지 마십시오.

**⊘** 신나, 벤젠등의 유기용제로 닦지 마십시오. 변색, 변형등의 원인이 됩니다. 부드러운 천으로 닦아주십시오.

**!** 플래시를 장기간 보관할 때에는 통풍이 잘 되는 서늘하고 건조한 곳에 보관하십시오. 플래시의 성능을 유지시키기 위해서는 매달 플래시 발광 테스트를 수회 실시해 주시기 바랍니다.

**⊘** 화재의 위험이 있으므로 플래시 헤드 부분이 천이나 옷 등으로 덮혀있을 경우 작동하지 마십시오.

## 배터리에 대하여

이 플래시는 AA 형 니켈 수소 전지 또는 알칼리 건전지 4 개를 사용합니다.

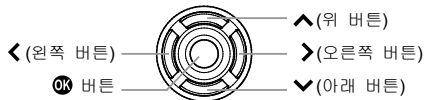
- 배터리나 배터리 커버의 접점은 항상 깨끗한 상태를 유지해 주십시오.
- 배터리의 폭발, 전지액 누설, 과열등을 방지하기 위해 동일한 브랜드, 동일한 타입의 AA 배터리 4 개를 사용해 주십시오. 배터리 브랜드나 타입을 혼합해 사용하지 마십시오.
- 배터리를 분해하거나 불속, 물속에 던지거나, 단락등은 파열의 우려가 있으므로 절대 금합니다. 니켈 수소 전지 이외는 충전하지 마십시오.
- 플래시를 장기간 사용하지 않을 때는 배터리 액이 누설되지 않도록 배터리를 꺼내어 보관해 주십시오.
- 오랜 여행이나 추운 지역에서 촬영을 할 때에는 여분의 배터리를 준비해 두십시오.
- 리튬-이온 배터리 AA/R6 를 사용하지 마십시오. 기기의 오작동을 유발할 수 있습니다.
- 배터리 폐기에 관한 모든 규정, 규칙 및 법률을 따르십시오.

## 각부의 명칭 (P.2)

- |               |                        |               |
|---------------|------------------------|---------------|
| 1. 플래시 헤드     | 7. LCD 패널              | 13. 셀렉터       |
| 2. 무선 신호 수신 창 | 8. 백라이트 스위치            | 14. 슈 잠금 레버   |
| 3. 신호음 스위치    | 9. MENU 버튼             | 15. 다이얼       |
| 4. AF 보조광     | 10. 전원 스위치             | 16. 싱크 단자     |
| 5. 배터리 커버     | 11. 준비 표시등/<br>TEST 버튼 | 17. 캐치 라이트 패널 |
| 6. 슈          | 12. <b>OK</b> 버튼       | 18. 와이드 패널    |

## 셀렉터 (13)

이 사용 설명서에서는 셀렉터의 각 포지션이 **^ / v / < / >** 로 표시되어 있습니다.



- 상하로 조작하는 경우는 **^** 버튼, 좌우로 조작하는 경우는 **<>** 버튼으로 사용합니다.

## 호환 카메라

이 플래시는 다음 카메라와 호환 가능합니다.


크리에이티브 라이팅 시스템(CLS) 과 호환되는 디지털 SLR 카메라.

- 사용중인 카메라 지원가능한 AF 렌즈 사용하십시오.

## 배터리 장착

1. 전원 스위치를 “OFF”로 하여 배터리 투입구 커버를 밀어 엽니다. P.3-(1)
2. 배터리 투입구 안쪽에 있는 표시에 따라 “+”와 “-” 방향을 맞춰 넣습니다. P.3-(2)
3. 배터리 덮개를 닫습니다. P.3-(3)
4. 전원 스위치를 “ON”으로 합니다. 플래시 건이 발광 가능한 상태까지 충전되면 준비 표시등이 녹색으로 깜박이고 완전히 충전되면 빨간색으로 점등됩니다.

### 주의 !!

배터리 용량이 부족하면 액정 패널에  마크가 표시됩니다. 배터리 용량이 완전히 방전되면 오른쪽 그림과 같은 화면으로 전환되고 작업을 할 수 없게 됩니다. 새로운 배터리로 교체하십시오.



### 오류 경고

**ER** 표시가 LCD 패널에 표시 된 경우, 플래시에 어떤 이상이 발생할 수 있습니다. 일단 전원 스위치를 끄거나 배터리를 확인하시기 바랍니다. 그래도 표시가 계속되면 고객 지원팀에 문의하십시오.

### 오토 파워 오프

배터리 소모를 줄이기 위해 플래시가 약 80 초동안 작동하지 않으면 자동으로 전원이 꺼집니다. 플래시를 다시 작동하려면 “TEST” 버튼을 누르거나 카메라 셔터를 살짝 누르십시오. 하지만 **[WL RX]** 모드, **[R&FL NORMAL]** 모드 그리고 **[R&FL**

**RX]** 모드에서는 자동 전원 꺼짐 기능이 작동하지 않습니다.

## 카메라에 장착

1. 전원 스위치를 “OFF”로 합니다.
  2. 슈 잠금 레버가 **[UNLOCK ▶]** 위치에 있는지 확인합니다. P.3-(4)
  3. 카메라의 핫슈에 끝까지 밀어넣고 슈 락킹 레버를 **[◀LOCK]** 방향으로 제자리에 고정 될 때까지 밀어 넣습니다. P.3-(5)
- 플래시를 탈착하려면 슈 락킹 레버 버튼을 누른 상태에서 **[UNLOCK▶]** 방향으로 끝까지 밀어 플래시를 분리하십시오.

### 주의 !!

슈 락킹 레버가 **[UNLOCK▶]** 에서 벗어난 위치에서 플래시를 뺐으면 카메라의 핫슈와 플래시의 부착 슈가 손상될 수 있습니다.

## 플래시 헤드 조정

일반 촬영에서는, 플래시 헤드를 정면 방향으로 설정합니다. P.3-(6)

### 주의 !!



전원 스위치를 ON 으로 한 다음, 상태 영역에 **BOUNCE** 표시가 나타나거나 거리 표시가 깜박이는 경우 플래시 헤드가 제대로 정면방향으로 설정되어있지 않으므로 주의하시기 바랍니다.

## 연속 촬영시 주의점

플래시 회로의 과열을 방지하기 위해 아래의 표에 나타나는 연속 플래시 촬영 후 최소 10분이상 쉬어 주시기 바랍니다.

모드	플래시 촬영 횟수
TTL, M(1/1, 1/2)	15 회 연속 플래시 촬영
M(1/4, 1/8)	20 회 연속 플래시 촬영
M(1/16-1/32)	40 회 연속 플래시 촬영
MULTI	10 사이클


### 주의!!

액정 패널에  아이콘이 표시가 된 경우, 과열 방지를 위해 플래시의 발광이 제한됩니다.  표시가 사라질 때까지 사용을 중단해주시기 바랍니다.

## 설정의 기본 단계

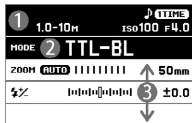
기본 설정을 설명합니다. EF-630 은 다음 단계에서 대부분의 설정을 간단하게 할 수 있습니다.

### 주의!!

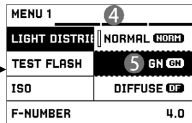
전원 스위치가  (잠금) 위치에 있을 때 설정을 변경할 수 없습니다. 설정 시 반드시 "ON"에 맞추십시오.

**MENU** 버튼을 사용하여 메인 화면과 설정 메뉴를 전환합니다. (전원을 [ON]으로 했을 때는 반드시 메인 화면에서 시작합니다.)

### 메인 화면



### 설정 메뉴



플래시 모드를 변경하고 각 플래시 모드의 세부 사항을 설정합니다.



- ① 상태 영역
- ② 플래시 모드 영역
- ③ 모드 세부사항 영역

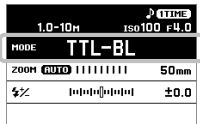
플래시 촬영의 옵션 기능을 추가하고 플래시의 기본 상태를 설정합니다.

- ④ 탭 영역
- ⑤ 서브 메뉴



## 메인 화면에서 기본 조작

### 플래시 모드 선택

 버튼으로 플래시 모드 영역을 선택한 후  버튼이나 다이얼을 사용하여 플래시 모드를 변경합니다.



### 플래시 모드 세부사항 설정

 버튼으로 모드 세부사항 영역을 선택하고  버튼이나 다이얼을 사용하여 설정 값을 변경합니다.



## 설정 메뉴의 기본 조작

다이얼을 움직일 때마다 다음 탭으로 메뉴가 이동합니다. (탭 영역에서 아이콘을 선택할 때, <> 버튼을 사용해서도 설정 메뉴를 변경할 수 있습니다.)

### 설정 메뉴에서:

◊ 버튼으로 원하는 항목을 선택합니다.  
 OK 또는 > 버튼으로 하위 메뉴를 엽니다. (항목에 따라 전용 화면을 열거나 메시지가 나타납니다.)

### 하위 메뉴에서:

◊ 버튼으로 원하는 옵션을 선택하고  
 OK 또는 > 버튼으로 확인합니다.  
 (< 버튼을 누르면 옵션이 변경되지 않고 하위 메뉴가 닫힙니다.)

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	ON
LCD LIGHT	AUTO
DISPLAY SETTING	...
M / FEET	M

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	ON >
LCD LIGHT	AUTO
DISPLAY SETTING	...
M / FEET	M

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	OFF
LCD LIGHT	ON
DISPLAY SETTING	ONLY
M / FEET	M

## i-TTL 오토 플래시

카메라는 이전에 사용했던 플래시의 반사광을 측정하여 최적의 플래시를 제공합니다. 다음 두가지 방법 중 하나를 선택하여 사용하십시오.

### i-TTL 균형 맞춰주는 플래시 (플래시모드: [TTL-BL])

피사체와 배경의 균형을 맞추기 위해 플래시를 컨트롤합니다.

- 카메라의 측광모드가 스팟측광으로 설정되어있을 때 i-TTL-BL 발란스 필 플래시는 사용 안됩니다.

## 표준 i-TTL (플래시모드: [TTL])

배경노출 제외하고 피사체에만 적합한 플래시 양을 컨트롤합니다.

1. 플래시 모드사용([TTL-BL] 또는 [TTL]).
2. 피사체가 촬영 범위 내에 있는지를 상대 영역의 거리표시로 확인합니다.
3. 준비 표시등으로 플래시 건 상태를 확인하고 촬영합니다.

촬영 직후 **NG** 표시가 5 초 동안 보이면 플래시 양이 너무 높거나 낮을 수 있다는 뜻입니다. 조건을 변경하고 사진을 다시 촬영하십시오.

1.0-10M		ISO100	F4.0
MODE	TTL-BL		
ZOOM	AUTO		50mm
ƒ/			±0.0

## 셔터 스피드와 조리개

카메라의 각 노출 모드에서 셔터 스피드와 조리개의 관계는 다음과 같습니다.

	셔터 스피드	조리개
<b>P</b>	자동으로 설정	자동으로 설정
<b>A</b>	(1/60 초*1 - 플래시 동기화 속도*2)	자유롭게 설정 가능
<b>S</b>	플래시 동조 속도*2 이하에서 임의로	자동으로 설정
<b>M</b>	설정 가능	자유롭게 설정 가능

\*1 일부 모델에서는 셔터 속도 제한없이 슬로우 셔터 속도를 설정할 수 있습니다. 또한 카메라의 플래시 모드를 [슬로우싱크]로 설정하면 가장 느린부분은 속도 제한이 없습니다.

\*2 FP 플래시가 카메라에 세팅되면 빠른셔터 속도 설정에는 제한이 없습니다.

## 주의 !!

카메라에 노출 경고가 표시된 상태에서 촬영하면 노출 부족 또는 과다 노출이 발생할 수 있습니다. 그때는 조건을 변경하여 촬영하십시오.

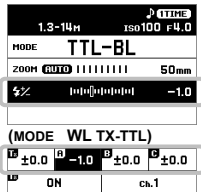
## 플래시 노출 보정

배경의 노출에 영향을 주지 않고 플래시 출력 보정을 할 수 있습니다.

[TTL], [TTL-BL], [GN-M] 그리고 [WL TX-TTL] 플래시 모드에서 사용할 수 있습니다.

모드 세부 정보 영역에서 보정량을 설정합니다. (보정량은 1/3 단계에서 ±3 단계까지 설정할 수 있습니다.)

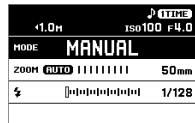
- 플래시 노출 보정기능은 카메라에서도 사용 가능합니다. 플래시 노출 보정이 카메라와 플래시 모두에 설정되면, 결합된 노출 보정 값으로 촬영 가능합니다.



## 수동 플래시

발광량을 임의로 설정할 수 있습니다.

1. 플래시 모드를 [MANUAL]으로 설정합니다.
2. 모드 세부사항 영역에서 발광량을 설정합니다. (1/128~1/1의 범위에서 1/3EV 간격으로 설정할 수 있습니다)



3. 준비 표시등으로 플래시 건 상태를 확인하고 촬영합니다.

상태 영역의 거리 표시부에 적정 노출을 얻을 수 있는 거리가 계산되어 표시됩니다. 동일한 광량에서도 카메라의 ISO 감도와 조리개 값을 변경하면 적정 노출을 얻을 수 있는 거리가 달라집니다.

수동 플래시의 적정 노출은 다음의 공식을 사용하여 계산할 수 있습니다.

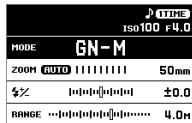
플래시의 가이드 넘버 (GN) / 촬영 거리(m) = 조리개 값(F)

이 플래시의 GN (가이드 넘버)은 [Table 1]를 참조하십시오.

## 촬영거리 우선 매뉴얼 플래시

수동플래시는 자동으로 선택된 거리에 따라 조정됩니다.

1. 플래시 모드를[GN-M]으로 설정합니다.
2. 세부모드 에서 피사체와의 거리를 설정하십시오. (원하는 거리가 설정 가능한 범위를 초과하는 경우 카메라 조리개 값, ISO 등을 조절하십시오)
3. 준비 표시등으로 플래시 건 상태를 확인하고 촬영합니다.



## 멀티 플래시

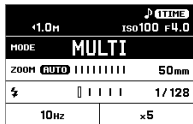
셔터가 열려있는 동안 플래시를 연속 발광하여 피사체의 움직임을 1 프레임의 화면에 연속 분해 사진처럼 찍을 수 있습니다.

카메라의 수동 ("M") 노출 모드를 사용하십시오.



1. 플래시 모드를 **[MULTI]**로 설정합니다.

2. 모드 세부사항 영역에서 광량, 플래시 간격 "Hz" (예: 10Hz = 초당 10 회 간격으로 발광합니다.) 발광횟수 "x"를 설정합니다.



3. "발광 회수" / "발광 간격" 보다 느린 셔터 속도를 설정합니다.

4. 준비 표시등으로 플래시 건 상태를 확인하고 촬영합니다.

연속 발광 횟수는 광량과 발광 간격의 조합에 따라 다릅니다. 매뉴얼 마지막의 [Table 2]를 참조하십시오.

## 무선 플래시 촬영

플래시를 카메라에서 분리하여 설치하면 조명에 의한 표현의 폭이 넓어집니다. EF-630은 카메라에 내장된 플래시 또는 별도의 송신기(TX) 플래시 유닛을 통해 제어가 가능합니다.

- 카메라에 장착한 플래시는 [송신기(TX) 유닛], 카메라에서 멀리 떨어진 플래시를 [수신기(RX) 유닛]이라고 합니다.
- 플래시는 피사체로부터 0.5m ~ 5m 거리에 놓고 카메라 바디는 피사체로부터 1m ~ 5m 거리에 놓습니다.
- 수신기 플래시를 원하시는 위치에 놓을 때 미니 스탠드를 사용할 수 있습니다. 이 미니 스탠드는 트라이포드에 장착할 수 있도록 나사 홈이 있습니다.
- 카메라의 내장 플래시를 이용한 무선 촬영도 가능합니다. ([커맨더모드]가 있는 카메라만 해당) 카메라의 설정은 카메라 설명서를 참고하십시오.
- EF-610 DG SUPER NA-iTTL 와 함께 사용할 수 있습니다.

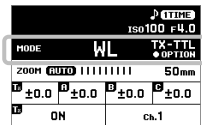
그 경우, EF-610 DG SUPER 를 '수신기'로 설정하십시오. EF-610 DG SUPER 설정은 EF-610 DG SUPER 사용설명서에 따릅니다, (EF-610 DG SUPER 수신기 ID 표기 방법은 다르므로, 하기 표를 참조하세요.)

EF-630 수신기 ID	A	B	C
EF-610 DG SUPER 수신기 ID	1	2	3

## 무선 촬영 준비 (송신기 유닛)

### 플래시모드 작동법

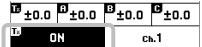
원하는 무선촬영 모드를 다음과 같이 설정하십시오.[WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], 그리고 [WL TX-MULTI].



### 송신기 플래시 설정

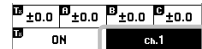
"송신기"를 컨트롤 기능만으로 활용하거나 컨트롤 기능 및 플래시로 발광시킬지에 대한 설정입니다.

ON	컨트롤 기능 + 플래시
OFF	컨트롤 기능



### 채널 설정

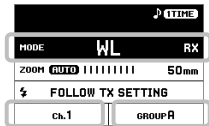
다른 사람이 무선 촬영을 할 경우, 다른 채널로 설정하여 오작동을 막을 수 있습니다. (채널 1~4 중에서 선택할 수 있습니다.)



## 무선 촬영 준비 (수신기 유닛)

1. 발광 모드를 **[WL RX]** 로 설정합니다.

2. 모드 세부 사항에서, 송신기와 동일한 채널을 설정합니다.
3. 세부영역 에서 원하는 플래시 그룹(A,B 또는 C)에서 선택합니다.

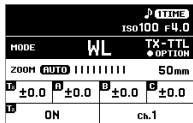


## 무선 i-TTL 오토 플래시

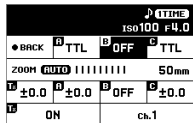
무선 i-TTL 오토 플래시에서는 카메라가 자동으로 적정 노출이 되도록 제어합니다.

### 송신기 유닛 설정

1. 플래시 모드를 [WL TX-TTL] 로 설정합니다.
2. 필요에 따라 모드 세부 사항에서 “채널 설정” 그리고 “송신기 유닛 플래시 설정”을 실시합니다.
3. 필요시 세부모드에서 매스터와 수신기 에서 플래시 값을 세팅 하십시오.



- 수신기 그룹을 매뉴얼에서 플래시나 플래시 취소 할 수 있음.
  - ① 플래시 모드가 선택되어있을 때 **OK** 버튼을 누르면, 화면이 깜빡이면서 수신기 장치의 플래시 모드를 보여줍니다.
  - ② 변경할 그룹을 선택하고 **[M]** (매뉴얼 플래시) 또는 **[OFF]** (플래시취소)를 설정하십시오.
  - ③ **[BACK]** 을 누르고 **OK** 누르면 이전화면으로 돌아옵니다.
  - ④ 세부모드 에서 수동플래시로 설정된 그룹의 플래시



값을 설정하십시오.

### 수신기 유닛 설정

4. “무선 촬영 준비 (수신기 유닛)” 항목에 따라 설정합니다.
5. 수신기 유닛을 설치하고, 충전 완료를 확인 한 다음 촬영합니다. (AF 보조광이 깜박일 경우, 수신기의 충전 완료를 나타냅니다.)

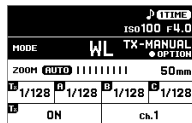
- 촬영 직후에 노출이 될 가능성이 있는 그룹이 있다면 해당 그룹에서 경고음이 울립니다. (168 페이지의 [신호음] 참조). 이 경우 조건을 변경하고 다시 촬영하십시오.

## 무선 수동 플래시

수동 플래시 촬영과 마찬가지로 임의로 발광량을 설정할 수 있는 무선 촬영도 가능합니다. 시중에 판매되는 플래시 미터를 사용하여 노출을 결정하십시오.

### 송신기 유닛 설정

1. 플래시 모드를 [WL TX-MANUAL] 로 설정합니다.
  2. 필요에 따라 모드 세부 사항에서 “채널 설정” 그리고 “송신기 유닛 플래시 설정”을 실시합니다.
  3. 세부모드에서 각 그룹의 플래시 값을 설정합니다. (송신기 플래시가 켜지면 송신기 포함). (1/128~1/1 의 범위에서 1/3EV 간격으로 설정할 수 있습니다)
- 임의로 수신기 그룹을 i-TTL 자동 모드로 변경하거나 플래시를 끌 수 있습니다.

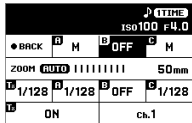


① 플래시 모드가 선택되어있는 동안 **OK** 버튼을 누르면, 화면은 수신이 장치를 표시합니다.

② 변경할 그룹을 선택하고[TTL] (i-TTL 자동플래시) 또는 [OFF] (플래시취소) 를 설정하십시오.

③ [BACK] 을 선택하고 **OK** 버튼을 누르면 이전화면으로 돌아갑니다.

④ 필요한 경우 세부모드에서 i-TTL 자동플래시로 설정된 그룹의 플래시 노출 보정값을 설정합니다.



### 수신기 유닛 설정

4. 플래시모드를 [WL RX] 로 설정합니다.

5. “우선 촬영 준비 (수신기 유닛)” 항목에 따라 설정합니다.

6. 수신기 유닛을 설치하고, 충전 완료를 확인 한 다음 촬영합니다. (AF 보조광이 깜박일 경우, 수신기의 충전 완료를 나타냅니다.)

### 무선 멀티 플래시

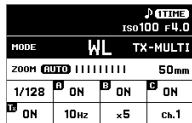
무선에서 1개 또는 여러 개의 플래시를 멀티 발광시킬 수 있습니다.

카메라의 수동 (“M”) 노출 모드를 사용하십시오.

### 송신기 유닛 설정

1. 플래시 모드를 [WL TX-MULTI] 로 설정합니다.

2. 필요에 따라 모드 세부 사항에서 “채널 설정” 그리고 “송신기 유닛 플래시 설정”을 실시합니다.



3. 모드 세부사항 영역에서 광량, 플래시 간격 “Hz” (예: 10Hz = 초당 10 회 간격으로 발광합니다.) 발광횟수 “x”를 설정합니다.

● 수신기 그룹도 끌 수 있습니다. 세부모드에서 플래시를 취소할 그룹을 [OFF]를 누르십시오.

### 수신기 유닛 설정

4. “우선 촬영 준비 (수신기 유닛)” 항목에 따라 설정합니다.

5. “발광 회수”/“발광 간격” 보다 느린 셔터 속도를 설정합니다.

6. 수신기 유닛을 설치하고, 충전 완료를 확인 한 다음 촬영합니다. (AF 보조광이 깜박일 경우, 수신기의 충전 완료를 나타냅니다.)

### 수신기 플래시

EF-630 은 다른 플래시 빛에 반응하여 발광하는 기능을 제공합니다. 자동 조광 촬영은 할 수 없지만, 부담 없이 카메라에서 플래시를 카메라에서 분리해도 촬영이 가능합니다.

### 일반 수신기 플래시

카메라에 장착 된 송신기 유닛의 빛에 반응하여, 카메라에서 분리 된 EF-630 을 동조발광 할 수 있습니다.

송신기 플래시를 수동 모드로 설정하고 발광량을 1/16 정도로 설정합니다.

● 카메라의 내장 플래시는 플래시를 컨트롤 할 수 있습니다. 카메라에서 내장 플래시를 수동 플래시 모드로 설정하고 플래시 값을 약 1/16 으로 설정하십시오.

카메라의 노출 모드를 M 으로 설정하고, 셔터 스피드를 1/30 초 또는 그 이하, 마지막으로 조리개와 ISO 는 임의의 값으로 설정합니다.

- 수신기 EF-630의 플래시 모드를 [R&FL NORMAL]로 설정합니다.
- 모드 세부사항 영역에서 카메라의 설정과 동일하게 ISO와 조리개 값을 설정합니다.
- 수신기 플래시에서 피사체의 거리와 상태 영역의 거리표시가 대체로 일치하도록 모드 세부사항 영역에서 발광량을 조절합니다.
- 충전 완료인지 확인하고 촬영합니다.

1.0M		▶ (TIME)	
MODE	R&FL	NORMAL	
ZOOM (AUTO)		24mm	
⚡		1/128	
iso100	F4.0		

- 모드 세부사항 영역에서 ISO와 조리개 값을 제어 플래시와 동일하게 설정합니다.
  - 수신기 플래시에서 피사체의 거리와 상태 영역의 거리 표시가 대체로 일치하도록 모드 세부사항 영역에서 발광량을 조절합니다.
  - 충전 완료인지 확인하고 촬영합니다.
- 수신기 모드에서 이 플래시는 EF-630 및/또는 EF-610 DG SUPER와 함께 사용할 수 있습니다. (EF-610 DG SUPER 설정은 사용설명서를 참조하십시오.)

## 전용 수신기 플래시

2개 이상의 EF-630 플래시를 사용하면, 채널을 설정해 발광되는 플래시를 정할 수 있습니다. 이 모드에서 한 개의 플래시는 수신기 플래시 컨트롤러로 작동하고 나머지 플래시들은 수신기 플래시로 작동됩니다.

카메라의 노출 모드를 M, 셔터 스피드를 1/30 초 또는 그 이하, 그리고 조리개와 ISO는 임의의 값을 설정합니다.

### 제어(송신기) 플래시 설정

- 플래시 모드를 [R&FL TX]로 설정합니다.
- 필요할 경우 채널을 설정하십시오. (세부모드에서 Ch.1 to Ch.3 선택.)

1.0M		▶ (TIME)	
MODE	R&FL	TX	
ZOOM	SET AT 24mm		
⚡	CONTROL ONLY		
ch.1			

### 발광용(수신기) 플래시 설정

- 플래시 모드를 [R&FL RX]로 설정합니다.
- 모드 세부사항 영역에서 제어 플래시와 동일한 채널을 설정합니다.

1.0M		▶ (TIME)	
MODE	R&FL	RX	
ZOOM (AUTO)		24mm	
⚡		1/128	
ch.1	iso100	F4.0	

## 옵션 기능

설정 메뉴에서 설정 추가 할 수 있는 옵션 기능을 설명합니다.

### 배광모드 (MENU 1)

EF-630은 3가지 배광모드를 갖추고 있어 용도에 따라 선택할 수 있습니다.

#### [MENU 1] → [LIGHT DISTRIBUTION]

<b>NORMAL</b> - (기본)	<b>일반적 배광</b> 일반적인 촬영의 기본 배광 특성을 가진 모드입니다.
<b>GN</b> <b>GN</b>	<b>가이드 넘버 우선 배광</b> 주변부 광량 저하에 큰 가이드 넘버를 제공하는 모드입니다.
<b>DIFFUSE</b> <b>DF</b>	<b>플랫 배광</b> 주변 광량의 감소를 줄이고 균일한 배광 특성을 가진 모드입니다.

## 테스트 플래시 (MENU 1)

EF-630 은 두 가지의 테스트 플래시 모드를 갖추고 있습니다. 테스트 플래시 모드 중 하나를 TEST 버튼에 할당 할 수 있습니다.

[MENU 1] → [TEST FLASH]

1 TIME(기본) <b>1TIME</b>	테스트 플래시 테스트 플래시를 1 번 실행합니다.
MODELING <b>MODEL</b>	모델링 플래시 [TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M] 및 [MULTI] 플래시 모드에서 사용할 수 있습니다. TEST 버튼을 누르면 약 1.5 초간 연속 플래시를 실행하여 피사체의 그림자 방향을 확인할 수 있습니다.

### 주의 !!

모델링 발광에 대응하지 않는 발광 모드에서 [모델링]으로 설정할 수 없습니다.

- 카메라에 모델링 플래시 기능이 있는 경우, 카메라의 미리보기 버튼을 눌러서 모델링 플래시를 사용할 수 있습니다. (카메라 미리보기 버튼에서 [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], 또는 [WL TX-MULTI] 모드 플래시를 사용할 수 있습니다.)

## 사용자 정의 모드 (MENU 2)

원하는 설정을 등록하고 불러올 수 있습니다. (2 개의 패턴을 등록할 수 있습니다.)

1TIME	
1.3-14H	ISO100 F4.0
MODE <b>C1</b> TTL-BL	
ZOOM AUTO	50mm
1/2	-1.0

## 사용자 정의 모드의 등록 및 불러오기

1. 플래시 모드, 모드 세부사항 영역 그리고 설정 메뉴 내용을 원하는 상태로 설정합니다.
2. [MENU 2] → [CUSTOM MODE SETTING] 에서 [C1] 또는 [C2] 중 하나를 선택하여 **OK** 버튼을 누릅니다.
3. [OK]를 선택한 다음, **OK** 버튼을 눌러 확인합니다.

등록된 내용은 사용자 정의 모드로 플래시 모드에 추가됩니다. (사용자 정의 모드는 플래시 모드 영역에서 **C1** 또는 **C2** 표시로 나타납니다.)

## 등록된 사용자 정의 모드를 삭제하려면

1. [MENU 2] → [CUSTOM MODE DELETE]에서 [C1] 또는 [C2] 중 하나를 선택하여 **OK** 버튼을 누릅니다.
2. [OK]를 선택한 다음 **OK** 버튼을 눌러 확인합니다.

## AF 보조광 (MENU 3)

어두운 곳에서는 자동 초점의 작동을 지원하는 AF 보조광이 켜집니다. AF 보조광의 범위는 약 0.7 에서 10 미터 (2.3-32.8 feet) 입니다.

[MENU 3] → [AF ASSIST LIGHT]


OFF	AF 보조광이 작동하지 않습니다
ON (기본)	AF 보조광은 어두운 장소를 비추는데 사용됩니다.
ONLY	플래시가 작동되지 않고 AF 보조광 기능만 가능 ([AF ASSIST LIGHT ONLY]설정이 세부모드에 표시된 경우.)

## LCD 패널 조명 (MENU 3)

전원을 ON 으로 하면 LCD 패널 조명이 들어옵니다. 조명의 점등, 소등에 관한 설정을 변경할 수 있습니다.

### [MENU 3] → [LCD LIGHT]

<b>AUTO</b> (기본)	8 초동안 버튼 다이얼 조작이 없으면 조명이 꺼집니다. 소등 시 버튼 다이얼을 조작하면 자동으로 켜집니다.
<b>8 SEC</b>	버튼 다이얼 조작에 관계없이 점등 시점에서 8 초후에 꺼집니다.
<b>ON</b>	항상 켜집니다.



- 설정에 관계없이  버튼을 누르면 조명을 키거나 끌 수 있습니다.

## LCD 패널 조정 (MENU 3)

LCD 패널의 콘트라스트나 밝기를 조정할 수 있습니다.

### [MENU 3] → [DISPLAY SETTING]

<b>BRIGHTNESS</b>	<b>밝기</b> <> 버튼을 눌러 원하는 밝기로 조정하십시오.
<b>CONTRAST</b>	<b>콘트라스트</b> <> 버튼을 눌러 원하는 콘트라스트로 조정하십시오.

조정이 끝나면 [OK]를 선택한 다음,  버튼을 눌러 확인합니다.  
취소하려면 [CANCEL] 버튼을 누르고  버튼으로 확인합니다.

## 거리 표시 단위 변경 (MENU 3)

상태 영역의 거리 표시 단위를 변경할 수 있습니다.

### [MENU 3] → [M / FEET]

<b>M</b> (기본)	미터 표기
<b>FEET</b>	(피트) Feet 표기

## 플래시 유닛 정보 (MENU 4)

다음 정보를 확인할 수 있습니다.


### [MENU 4] → [INFORMATION]

<b>MODEL</b>	모델명
<b>SERIAL No.</b>	시리얼 넘버
<b>VERSION</b>	펌웨어 버전

## 설정 초기화 (MENU 4)

플래시 설정을 초기 설정으로 리셋할 수 있습니다.

### [MENU 4] → [RESET SETTINGS]

초기화를 실행하려면 [OK]를 선택하고  버튼으로 확인합니다.

- 설정의 초기화를 실행하면 등록 된 사용자 정의 모드는 삭제됩니다.

## 기타 유용한 기능

### 플래시 헤드 설정

플래시 헤드 설정을 **AUTO** (Auto) 로 할 경우, 렌즈의 초점 거리에 적합한 조사각이 자동으로 설정됩니다.

- 플래시 헤드는 카메라의 이미지 센서 크기를 고려하기 때문에 실제 렌즈의 초점 거리와 수치가 다르게 표시 될 수 있습니다.
- 플래시 모드에 따라, 렌즈 초점 거리에 관계없이 조사각이 고정되는 경우가 있습니다.



플래시 헤드 설정을 수동으로 변경할 수 있습니다. 모드 세부사항 영역에서 <> 버튼을 누르십시오.

AUTO ⇄ 24 ⇄ 28 ⇄ 35 ⇄ 50 ⇄ 70 ⇄ 85 ⇄ 105 ⇄ 135 ⇄ 200mm

- 플래시 헤드 설정에 따라 플래시 가이드 넘버가 변경될 것입니다.

### 와이드 패널

플래시에는 17mm 의 초 광각 조사 각을 제공하는 내장 와이드 패널이 장착되었습니다. 와이드 패널과 캐치 라이트 패널을 꺼내 플래시 발광 부를 덮어 줍니다. (패널들을 부드럽게 꺼낼 수 있도록 주의합니다.) 그 다음 캐치 라이트 패널을 원래 위치로 넣습니다. P.3-(7)

- 와이드 패널 사용 중에는 모드 세부사항 영역의 각 조사각 표시부에 **WP** 표시가 나타납니다.

## 바운스 촬영

플래시를 천정이나 벽을 향해 빛을 발광하여 확산시킴으로써 그림자가 적은 부드러운 사진을 찍을 수 있습니다.

플래시 헤드는 위쪽 90°, 아래쪽 7°, 좌우 180°로 설정이 가능합니다. P.3-(8)

- 바운스 동안 상태 영역에 **BOUNCE** 표시가 나타납니다.
- 바운스되는 반사면의 색이 사진 전체에 나타나므로 가능한 한 흰색면을 선택하시기 바랍니다. 반사면에 따라 피사체의 거리 및 다른 요소들, TTL AUTO 에 대한 유효거리는 변경될 수 있습니다.

### 근접 촬영

플래시 헤드를 아래로 7° 기울이는 것으로 근접 촬영에서 화면 하단에 충분히 조명을 비출 수 있습니다.

- 아래로 7° 바운스 시키고 있을 때는 상태 영역의 거리표시가 광박입니다.

### 캐치 라이트 패널

플래시에는 바운스 플래시 모드가 작동 중일 때 피사체의 눈에 캐치 라이트를 만들어 주는 내장 캐치 라이트 패널이 장착되었습니다. 와이드 패널과 캐치 라이트 패널을 꺼낸 후 와이드 패널을 원래 위치로 넣습니다. (패널들을 부드럽게 꺼낼 수 있도록 주의합니다.) P.3-(9)

- 캐치 라이트를 효과적으로 만들기 위해서는, 플래시 헤드를 90도로 세운 후 가까운 거리에서 촬영하십시오. P.3-(10)

## 싱크 단자

EF-630 은 상용 싱크로 케이블로 카메라와 연결할 수 있는 싱크로 단자를 갖추고 있습니다.

싱크로 케이블을 연결해서 촬영할 경우, 플래시를 [수동] 모드에서 사용하십시오.


[MENU 1]의 [ISO][F-NUMBER]에서 카메라와 같은 ISO 및 F-값을 설정하고 플래시에서 피사체의 거리와 상태 영역의 거리표시가 대체로 일치하도록 모드 세부사항 영역에서 발광량을 조정합니다.


### 주의 !!

싱크 단자가 사용되는 경우, i-TTL-BL / i-TTL 자동 플래시는 작동하지 않습니다.

EF-630 의 싱크 단자는 중앙핀에 positive (+) polarity 와 실드에 negative (-) polarity 를 가진 플러그와 호환됩니다. 플러그가 반대의 극성을 가질 경우, 극성 변환 코드를 사용하십시오.

## 오조작 방지 기능


전원 스위치를 [🔒] (잠금) 위치로 하면 TEST 버튼과  버튼 이외의 조작이 금지되고 오조작을 방지할 수 있습니다.

- 플래시가 잠긴 상태에서는 상태 영역에  표시가 표시됩니다.

## 신호음

LCD 패널의 표시를 보지 않고 소리만으로 플래시의 상태를

알 수 있습니다.

본체 정면의 BEEP 스위치를 [ON]으로 설정하십시오. (ON 으로 켜면 상태영역에  표시가 나타납니다.)

1 회 짧은 신호음	충전 완료
두번의 긴 경고음	너무 낮거나 높은 플래시 노출 값
1 회 긴 신호음 (2 초)	오류 경고

## 카메라에 설정되는 기능

### FV 잠금 촬영

올바른 플래시 노출로 피사체의 원하는 부분을 노출시키는 촬영 방법입니다.


[TTL], [TTL-BL] 그리고 [WL TX-TTL] 플래시 모드에서 사용할 수 있습니다.

- 조작방법은 카메라의 사용설명서를 참조하십시오.

### 후막 싱크로

셔터막이 닫히기 직전에 플래시가 발광합니다. 움직이는 피사체의 후방에 흐르는 빛과 궤적을 촬영할 수 있기 때문에 자연스러운 움직임을 표현할 수 있습니다.

[TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [WL TX-TTL] 그리고 [WL TX-MANUAL] 플래시 모드에서 사용할 수 있습니다.

- 카메라에 후막 동조 촬영을 설정하면  표시가 상태영역에 표시됩니다.



## FP 플래시 (고속 동조)

FP 플래시는 셔터막이 움직이는 동안에도 연속 발광됩니다. 따라서 플래시 동조 속도 보다 빠른 셔터 스피드로 촬영할 수 있습니다.

[TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [WL TX-TTL] 그리고 [WL TX-MANUAL] 플래시 모드에서 사용할 수 있습니다.

● 카메라에 FP 플래시 촬영을 설정하면 **FP** 표시가 상태영역에 표시됩니다.

[TTL] / [TTL-BL] 모드에서는 상태 영역의 거리표시에서 피사체가 촬영 범위 내에 있는지를 확인하고 촬영하십시오.


[MANUAL] 모드에서 피사체까지의 거리와 상태 영역의 거리 표시가 일치하도록 조리개 등을 조정하여 촬영하십시오.

가이드 넘버는 셔터 스피드에 따라 달라질 수 있습니다. (마지막 페이지의 [Table 3]를 참조하십시오.)

## 적목 감소 기능

플래시를 사용해 촬영을 할 때, 사람의 눈이 빨갛게 찍히는 경우가 있습니다. 적목 감소 기능을 사용하면 셔터가 내려가기 전에 플래시가 약 1 초간 깜박거리 적목현상을 완화시켜 줍니다.

[TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [MULTI], [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], [WL TX-MULTI] 그리고 [R&FL TX] 플래시 모드에서 사용할 수 있습니다.

● 카메라에 적목 감소 기능 촬영을 설정하면  표시가 상태영역에 표시됩니다.

## 제품 사양

형식: 클립 온(Clip-on)식 직렬 제어 TTL 오토 줌 전자 플래시  
가이드 넘버: 63 (ISO 100/m, 200mm 헤드 포지션)  
전원 공급: 4 개의 AA 타입 알카라인 배터리 또는,  
4 개의 AA 타입 니켈 수소전지(Ni-MH Nickel-Metal Hydride)  
충전 시간: 약 3 초 (알카라인 배터리)  
: 약 1.8 초 (니켈 수소전지(Ni-MH Nickel-Metal Hydride))  
발광 횟수 : 약 120 회 (알카라인 배터리)  
: 약 185 회 (니켈 수소전지(Ni-MH Nickel-Metal Hydride))  
성광 시간 : 약 1 / 700 초 (풀 파워 발광시)  
조사 각도 : 24mm~200mm 모터 파워 컨트롤 (와이드 패널 사용시 17mm)  
무게 : 490g.  
크기 : 79.4mm(W) x 148.4mm x 121.5mm



적합성 평가를 받은 자 상호 : Sigma Corporation

[B 급 기기 (가정용 정보통신 기기)]

이 제품은 가정용으로 전자파적합등록을 한 제품으로서 주거지역은 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.





모델명: ELECTRONIC FLASH EF-630-NA

인증 번호: MSIP-REM-SCJ-EF-630-NA


Благодарим Вас за приобретение электронной вспышки Sigma EF-630 (Для NIOKN). Перед использованием вспышки для реализации всех ее возможностей и получения максимальной отдачи от вспышки, пожалуйста, прочитайте это руководство одновременно с руководством для камеры и в дальнейшем держите их под руками.






## ПРАВИЛА БЕЗОПАСНОСТИ

Перед использованием вспышки, для того чтобы избежать повреждений или травм, пожалуйста, прочитайте очень внимательно это руководство, обращая внимание на предупредительные знаки приведенные ниже. Пожалуйста, обратите особое внимание на эти два предупредительных знака.




 <b>Предупреждение!!</b>	Использование вспышки без учета этого предупреждающего знака может быть причиной серьезной травмы или привести к другому опасному результату.
 <b>Предостережение!!</b>	Использование вспышки без учета этого предупреждающего знака может быть причиной серьезной травмы или повреждения.
 Символ обозначает действие, где требуется предупреждение или предостережение.  Под этим символом дана информация о действиях, которые нужно избегать.	

### Предупреждение!!


 Вспышка имеет цепи высокого напряжения. Для того чтобы избежать электрического удара или ожога, не предпринимайте усилий по разборке вспышки. Если наружный корпус вспышки сломался или треснул, не касайтесь деталей внутреннего устройства.


-  Не подносите вспышку близко к глазам, так как яркий свет может повредить глаза. При съемке с вспышкой держите ее на расстоянии, по крайней мере, 1 м от лица.
-  Не касайтесь синхроклемм камеры при установке вспышки в полозья камеры. Высокое напряжение в цепи может быть причиной электрического удара.
-  Никогда не используйте камеру в присутствии дыма, горячего газа, жидкостей и химикатов. Использование вспышки может быть причиной пожара или взрыва.
-  Не дотрагивайтесь до головки вспышки руками и не прикасайтесь ею к коже во время работы вспышки, т.к. это может привести к ожогам.
-  Во избежание несчастных случаев не направляйте вспышку в лицо водителям автотранспорта


### Предостережение!!


-  Запрещается использовать вспышку на других камерах, кроме заркальных камер Nikon.
-  Эта вспышка не водостойка. При использовании вспышки и камеры в условиях дождя, снега или около воды старайтесь держать их сухими. Частым явлением является ремонт внутренних электрических цепей поврежденных водой.
-  Никогда не подвергайте вспышку и камеру ударам, воздействию пыли, высокой температуры или влажности. Эти факторы могут приводить к возгоранию и отказам в работе оборудования.
-  Когда вспышка подвергается внезапному воздействию изменения температуры, например, при внесении ее из холодного места в теплую комнату, внутри может образоваться конденсат. В этом случае перед таким изменением, положите оборудование в закрытую пластиковую емкость и не используйте вспышку, пока она

не достигнет комнатной температуры.

 Не храните вспышку в шкафу или гардеробе, поскольку там может быть нафталин, камфора и другие инсектициды. Эти химикаты отрицательно влияют на вспышку.

 Не используйте растворители, бензол или другие чистящие вещества для удаления грязи или отпечатков пальцев. Чистку производите мягкой увлажненной тканью.

 Для длительного хранения используйте прохладное сухое место предпочтительно с хорошей вентиляцией. Рекомендуется, чтобы вспышка была заряжена и для проверки правильного функционирования несколько раз в месяц проверялась на срабатывание.

 Запрещается делать вспышки, если корпус вспышки накрыт тканью или одеждой, т.к. это может вызвать возгорание.


## БАТАРЕЯ

Питание вспышки от четырех Ni-MH аккумуляторов или щелочных батареек типоразмера "AA".





- Для уверенности в хорошем электрическом контакте почистите клеммы батарей перед их установкой.
- Для предотвращения разрыва батареи, течи или перегрева используйте четыре новых батареи типа AA одной марки. Не смешивайте марки или новые и использованные батареи.
- Не разбирайте и не замыкайте накоротко батареи. Не подвергайте их воздействию огня или воды, поскольку они могут взорваться. Ни в коем случае не пытайтесь перезарядить батарейки!
- Когда вспышка не используется длительный период времени, выньте батарею из вспышки для того, чтобы избежать возможности повреждения от течи.

- Как для любой вспышки рекомендуется соблюдать осторожность в обращении с батареями, особенно при длительном путешествии или при съемках в холодную погоду.
- Запрещается применять литиевые батарейки AA/R6, т.к. это может привести к поломке.
- Пожалуйста, соблюдайте принятые в вашем регионе правила и способы утилизации использованных элементов питания.



## ОПИСАНИЕ СОСТАВНЫХ ЧАСТЕЙ (СТР.2)

- |                                    |                                                                                                |
|------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. Головка вспышки                 | 10. Выключатель питания                                                                        |
| 2. Сенсор беспроводного управления | 11. Кнопка Готовность к вспышке / Тест                                                         |
| 3. Выключатель звуковой индикации  | 12. Кнопка  |
| 4. Подсветка автофокуса            | 13. Селектор                                                                                   |
| 5. Крышка батареи                  | 14. Зажим                                                                                      |
| 6. Полосья                         | 15. Диск                                                                                       |
| 7. ЖК панели                       | 16. Гнездо синхронизации                                                                       |
| 8. Выключатель подсветки           | 17. Отражающая панель                                                                          |
| 9. Кнопка MENU                     | 18. Рассеивающая панель                                                                        |

## СЕЛЕКТОР (13)

В данной инструкции нажатия кнопок селектора (13) изображены знаками  /  /  / .



- Для перемещения вверх/вниз :  .  
Для перемещения влево/вправо :  .

## СОВМЕСТИМЫЕ КАМЕРЫ

Вспышка совместима с камерами:


Цифровые зеркальные камеры Nikon с системой творческого света (CLS)

- Пожалуйста, используйте автофокусные объективы, совместимые с применяемой камерой.

## УСТАНОВКА БАТАРЕЕК

1. Выключите вспышку и откройте крышку батарейного отсека рис.3-(1).
2. Вставьте батарейки, соблюдай полярность "+" и "-". рис.3-(2).
3. Закройте батарейный отсек. P.3-(3)
4. Включите вспышку. Если уровня заряда батареек достаточно для вспышки, то замигает зеленый сигнал подтверждения. При полном заряде батареек загорится красный сигнал.


### Внимание!!

При низком уровне заряда на ЖК-дисплее появится индикатор . При полном разряде батареек появится индикатор и вспышка не работает. Пожалуйста, замените батарейки.



FLAT BATTERY

### СООБЩЕНИЕ ОБ ОШИБКЕ

Индикатор  на ЖК-дисплее сигнализирует о сбое в работе вспышки. Выключите и включите вспышку снова или проверьте состояние батареек. Если это не помогло, то обратитесь в сервисный центр.

### АВТОМАТИЧЕСКОЕ ВЫКЛЮЧЕНИЕ ПИТАНИЯ

Для сохранения емкости батарей вспышка автоматически выключается, когда она не используется в течение примерно 80

секунд. Для включения вспышки нажмите кнопку "TEST" (тест) или нажмите наполовину кнопку спуска камеры.

Автовыключение не работает в режимах , [WL RX], [R&FL NORMAL] и [R&FL RX].

## УСТАНОВКА ВСПЫШКИ НА КАМЕРУ

1. Выключите вспышку.
2. Убедитесь, что зажим в положении [UNLOCK ►]. P.3-(4)
3. Аккуратно вставьте вспышку в «горячий» башмак камеры до упора. Прокрутите зажим в направлении [◀LOCK] до щелчка. P.3-(5)

Чтобы снять вспышку прокрутите зажим в направлении [UNLOCK ►] до упора. Не прекращая давить на зажим снимите вспышку с камеры.


### Внимание!!

Если вспышка свободно снимается с камеры при полном закручивании зажима в направлении [◀LOCK], то, возможно, «горячий» башмак камеры и ответный башмак вспышки сломаны.

## НАСТРОЙКА ГОЛОВЫ ВСПЫШКИ

При обычной фотосъемке направляйте голову вспышки вперед. P.3-(6)

### Внимание!!



Голова вспышки направлена неправильно, если вспышка включена, значок  горит в зоне статуса или мигает индикация расстояния.

## ОГРАНИЧЕНИЯ ДЛЯ НЕПРЕРЫВНОЙ СЪЕМКИ

Для того чтобы предотвратить перегрев электрических цепей вспышки, пожалуйста, не используйте вспышку, по крайней мере, 10 минут после использования ее для съемки быстрой последовательности кадров показанных в таблице ниже.

Режим	Число кадров сделанных с вспышкой
TTL, M(1/1, 1/2)	20 последовательных кадров с вспышкой
M(1/4, 1/8)	25 последовательных кадров с вспышкой
M(1/16~1/32)	40 последовательных кадров с вспышкой
MULTI	10 циклов


### Внимание!!

Если появляется значок , то мощность вспышки будет ограничена с целью предупреждения перегрева. Старайтесь не использовать вспышку, пока значок  не исчезнет.

## БАЗОВЫЕ НАСТРОЙКИ

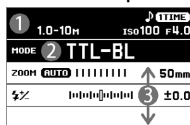
Здесь описаны базовые настройки. Большинство настроек вспышки EF-630 осуществляются нижеописанным образом.

### Внимание!!

Если выключатель питания вспышки находится в позиции , то изменить настройки нельзя. Убедитесь, что выключатель находится в положении [ON].

Переключайтесь между главным экраном и меню настроек нажатием кнопки **MENU**. (главный экран всегда отображается при включении вспышки).

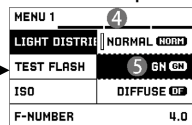
### Главный экран



Отображаются режимы работы вспышки и параметры каждого режима

- 1 Строка статуса
- 2 Режим вспышки
- 3 Параметры режима вспышки

### Меню настроек





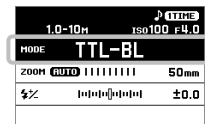
Установка дополнительных функций основных параметров вспышки.

- 4 Зона названия режима
- 5 Подменю



## БАЗОВЫЕ ОПЕРАЦИИ НА ГЛАВНОМ ЭКРАНЕ

### ВЫБОР РЕЖИМА

Выберите режим кнопками  и измените его кнопками  или диском.



### ВВОД ПАРАМЕТРОВ РЕЖИМА

Выберите параметры кнопками  и измените их значения  или диском.



## БАЗОВЫЕ ОПЕРАЦИИ В МЕНЮ НАСТРОЙКИ

При каждом повороте диска управления, будет происходить переключение вкладок меню. (Когда выбран символ в зоне вкладок, можно менять настройки с помощью кнопок <>.)

### Находясь в меню настроек:

Используйте для выбора пункта меню. Нажмите **OK** или , чтобы открыть диалоговый режим. (в некоторых случаях открывается новое окно.)

### Находясь в подменю:

Нажимайте для выбора опций. Нажмите **OK** или для подтверждения. (Нажмите для выхода из подменю без записи изменений.)

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	ON
LCD LIGHT	AUTO
DISPLAY SETTING	...
M / FEET	M

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	ON >
LCD LIGHT	AUTO
DISPLAY SETTING	...
M / FEET	M

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	OFF
LCD LIGHT	ON
DISPLAY SETTING	ONLY
M / FEET	M

## РЕЖИМ i-TTL AUTO

В этом режиме камера оценивает отраженный свет предварительных вспышек и устанавливает оптимальную мощность вспышки.

### Сбалансированная заполняющая вспышка i-TTL (Режим : [TTL-BL])

В этом режиме мощность вспышки устанавливается с учетом баланса освещенности объекта съемки и заднего фона.

- Режим i-TTL-BL недоступен, если на камере установлен точечный замер экспозиции.

## Режим стандартный i-TTL (Режим : [TTL])

Расчет мощности вспышки производится только с учетом освещенности объекта съемки, задний фон не учитывается.

1. Установите режим [TTL-BL] или [TTL].
2. Убедитесь, что объект съемки находится в пределах дистанции, указанной в статусной строке.
3. Убедитесь, что вспышка готова к съемке (горит красная лампочка).

1.0-10M		ISO 100 F4.0
MODE	TTL-BL	
ZOOM	AUTO	50mm
ƒ/Σ		±0.0

Если после спуска затвора в течение 5 секунд мигает **MG**, то это означает, что мощность вспышки избыточна или недостаточна. Измените условия съемки и повторите кадр.

## ПАРАМЕТРЫ ВЫДЕРЖКИ И ДИАФРАГМЫ

В таблице ниже приведены соотношения выдержки и диафрагмы при разных режимах работы вспышки.

	Выдержка	Диафрагмы
<b>P</b>	Устанавливается автоматически (1/60сек*1 - скорость синхронизации)	Устанавливается автоматически
<b>A</b>	Устанавливается пользователем.	Устанавливается пользователем.
<b>S</b>	Пользователь устанавливает выдержку, не превышающее значение,	Устанавливается автоматически
<b>M</b>	вычисленное вспышкой*2.	Устанавливается пользователем.

\*1 На некоторых камерах длительность выдержки можно устанавливать без ограничения. Кроме этого, в режиме камеры [Slow sync] пределов длительности выдержки нет.

\*2 Ограничения по значению короткой выдержки отсутствуют, если на камере установлен режим FP.

### Внимание!!

Кадр может быть недо или переэкспонирован, если в камере

высвечивается предупреждение об экспозиции. То требуется изменить условия съемки

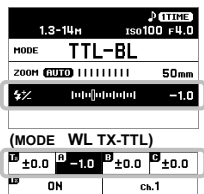
## ПОПРАВКА ЭКСПОЗИЦИИ

Можно изменять только мощность вспышки без воздействия на экспозицию заднего фона..

Режим вспышки: [TTL], [TTL-BL], [GN-M] и [WL TX-TTL].

Установите значение экспокоррекции в соответствующей зоне. (Значение поправки можно ввести в пределах  $\pm 3$  с шагом 1/3.)

- Компенсацию экспозиции также можно устанавливать в камере. Если компенсация введена как на вспышке, так и в камере, то значения компенсации суммируется.

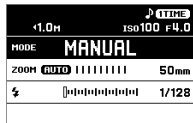


## РУЧНОЙ РЕЖИМ

Можно пошагово менять мощность вспышки.

1. Установите ручной режим [MANUAL].
2. Установите значение мощности в зоне параметров режима. (Доступен диапазон от 1/128 до 1/1 с шагом 1/3EV)
3. Проверьте заряд батарей и сигнал готовности перед съемкой.

В статусной строке дисплея вспышки появится расчетное значение расстояние до объекта съемки при данных условиях экспозиции. Даже при одинаковой мощности вспышки эта дистанция может варьироваться при изменении чувствительности



ISO или значения диафрагмы.

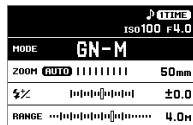
Подходящее значение диафрагмы можно рассчитать по формуле: Ведущее число вспышки (GN) / Дистанция съемки (m) = Диафрагма (F)

Ведущее число данной вспышки указано в табл.1 в конце инструкции.

## ПРИОРИТЕТОМ РАССТОЯНИЯ РУЧНОЙ РЕЖИМ

В режиме ручной съемки мощность вспышки устанавливается в зависимости от выбранной дистанции.

1. Установите ручной режим [GN-M].
2. Установите значение дистанции (если желаемая дистанция превышает лимит, то настройте на камере значения выдержки, ISO и т.д.).
3. Проверьте заряд батарей и сигнал готовности перед съемкой.

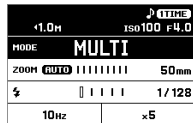


## РЕЖИМ ВСПЫШКИ MULTY (МНОГОКРАТНЫЙ)

В режиме стробоскопической вспышки производится серия быстрых вспышек в соответствии с установленной мощностью вспышки, количеством вспышек и частотой срабатывания.

Установите ручной режим ("M").

1. Установите режим [MULTI].
2. Установите мощность, частоту в Гц (например: 10 Гц = 10 вспышек в секунду), и количество вспышек "x".
3. Установите выдержку меньшую, чем "количество вспышек" / "частота вспышек".



4. Проверьте заряд батареей и сигнал готовности перед съемкой

Число вспышек в серии зависит от комбинации мощности и частоты (см. табл. 2 в конце инструкции).

## БЕСПРОВОДНОЕ УПРАВЛЕНИЕ

Можно расширить творческие возможности, располагая вспышку на некоторой дистанции от камеры. Вспышкой EF-630 можно дистанционно управлять с помощью встроенной вспышки камеры или отдельной отдельным передатчик (TX).

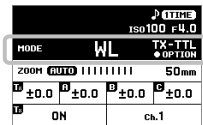
- Одна вспышка устанавливается на камеру (Передатчик (TX)), а другая располагается на некотором расстоянии от камеры (Приёмник (RX)).
- Размещайте вспышку на расстоянии 0,5м - 5м от объекта, а фотокамеру на расстоянии 1м - 5м от объекта съёмки.
- При установке приёмник вспышки в нужной позиции, вы можете использовать подставку, идущую в комплекте со вспышкой. Подставка имеет штативное гнездо.
- В беспроводном режиме вспышка может управляться встроенной вспышкой камеры (только если камера имеет командный режим работы вспышки).
- В беспроводном режиме вспышку EF-630 можно применять совместно со вспышками EF-610 DG SUPER NA-iTTL. В этом случае EF-610 DG SUPER используется как приёмник вспышка. При использовании EF-610 DG SUPER обратитесь к ее инструкции. (идентификация приёмник EF-610 DG SUPER отличается. См. таблицу ниже).

Идентификатор EF-630 приёмник	A	B	C
Идентификатор EF-610 DG SUPER приёмник	1	2	3

## ПОДГОТОВКА К БЕСПРОВОДНОМУ УПРАВЛЕНИЮ (ПЕРЕДАТЧИК)

### ВЫБОР РЕЖИМА

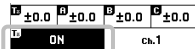
Выберите и установите нужный режим [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], или [WL TX-MULTI].



### НАСТРОЙКА ВСПЫШКИ-ПЕРЕДАТЧИКА

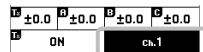
Он устанавливает, установлен ли «Передатчик» только для функции управления или для функции управления и излучения света в виде вспышки.

ON	Управление + вспышка
OFF	Только управление



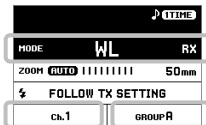
### УСТАНОВКА КАНАЛА

Для избежания сбоев в работе вспышек при работе в присутствии других фотографов можно назначить канал управления (от 1 до 4).



## ПОДГОТОВКА К БЕСПРОВОДНОМУ УПРАВЛЕНИЮ (ПРИЁМНИК)

1. Установите режим [WL RX].
2. Назначьте такой же канал управления как и на передатчика вспышке.
3. Выберите нужную группу вспышек (A, B или C).





## БЕСПРОВОДНОЙ АВТО i-TTL

В режиме авто i-TTL камера автоматически устанавливает наиболее подходящие для съемки параметры экспозиции.

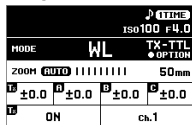
### НАСТРОЙКИ ПЕРЕДАТЧИКА

1. Переведите вспышку в режим [WL TX-TTL].

2. При необходимости назначьте канал управления и настройку передатчик вспышки.

3. При необходимости установите значение коррекции экспозиции для каждой группы вспышек (мастер или приёмник).

• Можно переводить группы ведомых вспышек в ручной режим или выключать их.

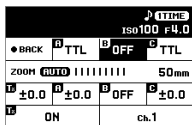


① При нажатии кнопки **OK** в меню режима вспышки на дисплее циклически демонстрируются группы ведомых вспышек.

② Выберите группу и установите [M] (ручной режим) или [OFF] (выключение).

③ Выберите [BACK] и нажмите кнопку **OK** чтобы вернуться в предыдущее меню.

④ Установите мощность группы вспышек в ручном режиме.



### НАСТРОЙКА ПРИЁМНИКА

4. Выполните настройку следую параграфу «ПОДГОТОВКА К БЕСПРОВОДНОМУ УПРАВЛЕНИЮ (ПРИЁМНИК)»

5. Установите ведомую вспышку, убедитесь, что она заряжена и сделайте кадр (готовность приёмниквспышки подтверждается миганием лампы подсветки автофокуса).

• В случае недоэкспонирования кадра соответствующая группа выдает предупреждающий сигнал (см. «ЗВУКОВАЯ СИГНАЛИЗАЦИЯ» (стр.182)).

## БЕСПРОВОДНОЕ УПРАВЛЕНИЕ В РУЧНОМ РЕЖИМЕ

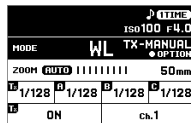
В ручном режиме также возможно беспроводное управление вспышками. Определите экспозицию с использованием коммерчески доступного флэш-метр.

### НАСТРОЙКИ ПЕРЕДАТЧИКА

1. Переведите вспышку в режим [WL TX-MANUAL].

2. При необходимости назначьте канал управления и настройку передатчик вспышки.

3. Установите мощность каждой группы вспышек (включая мастер вспышку, если она включена). (Доступен диапазон от 1/128 до 1/1 с шагом 1/3EV)



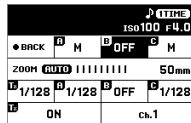
• Можно переводить группы ведомых вспышек в режим i-TTL или выключать их.

① При нажатии кнопки **OK** в меню режима вспышки на дисплее циклически демонстрируются группы ведомых вспышек.

② Выберите группу и установите [TTL] или [OFF] (выключение).

③ Выберите [BACK] и нажмите кнопку **OK** чтобы вернуться в предыдущее меню.

④ При необходимости установите значение коррекции экспозиции группы вспышек в режиме i-TTL.



## НАСТРОЙКА ПРИЁМНИКА

4. Переведите вспышку в режим [WL RX].
5. Выполните настройку следую параграфу «ПОДГОТОВКА К БЕСПРОВОДНОМУ УПРАВЛЕНИЮ (ПРИЁМНИК)»
6. Установите ведомую вспышку, убедитесь, что она заряжена и сделайте кадр (готовность приёмник вспышки подтверждается миганием лампы подсветки автофокуса).

## БЕСПРОВОДНОЙ РЕЖИМ УПРАВЛЕНИЯ НЕСКОЛЬКИМИ ВСПЫШКАМИ

Обеспечивается одновременное срабатывание одной или нескольких вспышек.

Установите ручной режим ("M").

### НАСТРОЙКИ ПЕРЕДАТЧИКА

1. Переведите вспышку в режим [WL TX-MULTI].
  2. При необходимости назначьте канал управления и настройку приёмник вспышки.
  3. Установите мощность, частоту в Гц (например: 10 Гц = 10 вспышек в секунду), и количество вспышек "x".
- Любую группу ведомых вспышек можно отключить. Установите [OFF] в меню на дисплее.

### НАСТРОЙКА ПРИЁМНИКА

4. Выполните настройку следую параграфу «ПОДГОТОВКА К БЕСПРОВОДНОМУ УПРАВЛЕНИЮ (ПРИЁМНИК)»
5. Установите выдержку меньшую, чем "количество вспышек" / "частота вспышек".
6. Установите ведомую вспышку, убедитесь, что она заряжена и сделайте кадр (готовность приёмник вспышки подтверждается

миганием лампы подсветки автофокуса).

## ФУНКЦИЯ «ПРИЁМ И ВСПЫШКА»

EF-630 имеет функцию срабатывания от другой вспышки. Это удобно использовать, разместив вспышку на расстоянии от камеры. Однако, мощность вспышки в этом режиме автоматически не регулируется.

## НОРМАЛЬНЫЙ РЕЖИМ ФУНКЦИЯ «ПРИЁМ И ВСПЫШКА»

Передачик, установленная на камеру, используется для запуска приёмник, находящейся на расстоянии от камеры.

Переведите передачика в ручной режим и установите мощность 1/16.

- Накамерная вспышка может использоваться как триггер. Установите накамерную вспышку в ручной режим и введите мощность близкую к 1/16.

Переведите камеру в ручной режим замера экспозиции, установите выдержку 1/30 или меньше, установите значения диафрагмы и ISO.

1. Переведите приёмник вспышку EF-630 в режим [R&FL NORMAL].
2. Установите значения диафрагмы и ISO, совпадающие с камерой.
3. Настройте мощность вспышки таким образом, чтобы дистанция до объекта съёмки была примерно равной дистанции, указанной на дисплее вспышки.
4. Убедитесь, что вспышка заряжена и сделайте кадр.

TIME			
ISO 100 F 4.0			
MODE	WL		TX-MULTI
ZOOM	AUTO	50mm	
1/128	A ON	B ON	C ON
D ON	10Hz	x5	сб.1

<1.0m		TIME	
MODE	R&FL		NORMAL
ZOOM	AUTO	24mm	
f	1/128		
ISO 100	F 4.0		

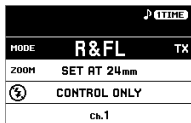
## ФУНКЦИЯ НАЗНАЧЕНИЯ «ПРИЁМА И ВСПЫШКИ»

Если Вы используете две или более вспышки EF-630, Вы можете с помощью настройки каналов заставить срабатывать вспышки вместе. В этом режиме одна вспышка используется как приёмник-контроллер, а другие срабатывают как вспышки-приёмники.

Переведите камеру в ручной режим замера экспозиции, установите выдержку 1/30 или меньше, установите значения диафрагмы и ISO.

### НАЗНАЧЕНИЕ ВСПЫШКИ-ПЕРЕДАТЧИКА

1. Переведите управляющую вспышку в режим [R&FL TX].
2. При необходимости установите номер канала. (выберите на дисплее от Ch.1 до Ch.3).

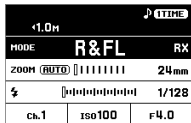


1 TIME		
MODE	R & FL	TX
ZOOM	SET AT 24mm	
	CONTROL ONLY	
ch.1		

### НАЗНАЧЕНИЕ ВСПЫШКИ-ПРИЁМНИКА

3. Переведите приемную вспышку в режим [R&FL RX].
4. Выберите соответствующий канал управления.
5. Введите диафрагму и ISO, равные параметрам передатчика.
6. Настройте мощность вспышки таким образом, чтобы дистанция до объекта съемки была примерно равной дистанции, указанной на дисплее вспышки.
7. Убедитесь, что вспышка заряжена и сделайте кадр.

- В режиме приёмник вспышки EF-630 может использоваться в комбинации с такой же моделью или с EF-610 DG SUPER для других совместимых камер. Обратитесь к инструкции для настройки EF-610 DG SUPER SA-STTL.



<1.0m		
1 TIME		
MODE	R & FL	RX
ZOOM	(AUTO) [     ]	24mm
	[     ]	1/128
ch.1	ISO100	F4.0

## ДОПОЛНИТЕЛЬНЫЕ ФУНКЦИИ

В этом разделе описываются дополнительные функции, которые могут быть задействованы через меню настроек.

### РЕЖИМ ОСВЕЩЕНИЯ (MENU 1)

Вспышка EF-630 имеет три режима освещения.

Выберите [MENU 1] → [LIGHT DISTRIBUTION]

<b>NORMAL</b> — (по умолчанию)	<b>Нормальное распределение освещения</b> Применимо для стандартных условий съемки
<b>GN</b> GN	<b>Приоритет ведущего числа</b> Угол освещения уменьшается, но достигается большее ведущее число.
<b>DIFFUSE</b> DF	<b>Плоское освещение</b> Обеспечивается равномерная освещенность

### ТЕСТОВАЯ ВСПЫШКА (MENU 1)

Вспышка EF-630 имеет два тестовых режима. Один из них может быть назначен кнопке TEST button.

Выберите [MENU 1] → [TEST FLASH].

<b>1 TIME</b> 1 TIME (по умолчанию)	<b>Тестовая вспышка</b> Одноразовое срабатывание вспышки.
<b>MODELING</b> MODEL	<b>Моделирующая вспышка</b> Режим вспышки: [TTL], [TTL-BL], [MANUAL] [GN-M] и [MULTI]. При нажатии кнопки TEST вспышка непрерывно срабатывает на протяжении 1.5 секунд, позволяя оценить объект съемки и тени.

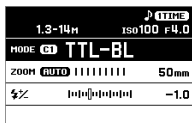
## Внимание !!

Не все вспышки имеют режим [MODELING].

- В камерах, имеющих функцию моделирующей вспышки, режим становится доступным при нажатии кнопки предварительного просмотра. (функция моделирующей вспышки также доступна в режимах [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL] или [WL TX-MULTI])

## ЗАДАНИЕ ПОЛЬЗОВАТЕЛЬСКИХ ФУНКЦИЙ (MENU 2)

Можно сохранить и быстро вызывать две серии пользовательских настроек.



### ЗАДАНИЕ И ВЫЗОВ ПОЛЬЗОВАТЕЛЬСКИХ НАСТРОЕК

1. Установите нужный режим вспышки и его параметры.
2. Из [MENU 2] → [CUSTOM MODE SETTING], выберите [C1] или [C2] и нажмите кнопку **OK**.
3. Выберите **OK** и подтвердите кнопкой **OK**.  
Настройки записаны как пользовательские (на дисплее отображается значок **C1** или **C2**).

### УДАЛЕНИЕ СОХРАНЕННОЙ НАСТРОЙКИ

1. Из [MENU 2] → [CUSTOM MODE DELETE] выберите [C1] или [C2] и нажмите кнопку **OK**.
2. Выберите **OK** и подтвердите кнопкой **OK**.

## ПОДСВЕТКА АВТОФОКУСА (MENU 3)

Подсветка автофокуса срабатывает автоматически как только вы наведете фокус на объект съемки. Эффективная дистанция

подсветки от 0.7 до 10 метров.

Выберите [MENU 3] → [AF ASSIST LIGHT]

<b>OFF</b>	Лампа подсветки автофокуса не горит
<b>ON</b> (по умолчанию)	Подсветка автофокуса срабатывает при недостатке освещения
<b>ONLY</b>	Вспышка не работает, включена только подсветка автофокуса (на дисплее высвечивается [AF ASSIST LIGHT ONLY])

## ПОДСВЕТКА ДИСПЛЕЯ (MENU 3)

Подсветка дисплея включается при включении вспышки. Продолжительность подсветки можно настроить.

Выберите [MENU 3] → [LCD LIGHT]

<b>AUTO</b> (по умолчанию)	Подсветка выключается через 8 секунд бездействия вспышки. При нажатии любой кнопки подсветка включается снова.
<b>8 SEC</b>	Подсветка выключается через 8 секунд после включения.
<b>ON</b>	Подсветка непрерывно работает.

- В любой момент подсветка дисплея может быть включена или выключена кнопкой

## НАСТРОЙКА ЯРКОСТИ И КОНТРАСТА ДИСПЛЕЯ (MENU 3)

Выберите [MENU 3] → [DISPLAY SETTING]

<b>BRIGHTNESS</b>	<b>ЯРКОСТЬ</b> Регулируется кнопками <b>&lt;&gt;</b> .
<b>CONTRAST</b>	<b>КОНТРАСТ</b> Регулируется кнопками <b>&lt;&gt;</b> .

По окончании регулировки выберите [OK] и нажмите кнопку **OK**.  
Для отмены выберите [CANCEL] и нажмите кнопку **OK**.

## ИЗМЕНЕНИЕ ФОРМАТА ИНДИКАЦИИ ДИСТАНЦИИ (MENU 3)

[MENU 3] → [M / FEET]

<b>M</b> (по умолчанию)	В метрах
<b>FEET</b>	В футах

## ИНФОРМАЦИЯ О ВСПЫШКЕ (MENU 4)

Можно проверить следующую информацию.

[MENU 4] → [INFORMATION]

<b>MODEL</b>	Модель
<b>SERIAL No.</b>	Серийный номер
<b>VERSION</b>	Версия ПО

## СБРОС НАСТРОЕК (MENU 4)

Можно вернуться к заводским настройкам..

Выберите [MENU 4] → [RESET SETTINGS]

Выберите [OK] и нажмите кнопку **OK**.

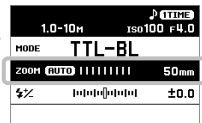
- При сбросе настроек пользовательские настройки удаляются.

## ПРОЧИЕ ФУНКЦИИ

### НАСТРОЙКА ГОЛОВКИ

Если при настройке головки вспышки установлено **AUTO**, то угол освещения выбирается оптимальным для данного фокусного расстояния объектива.

- Головка вспышки принимает во внимание размер сенсора камеры, поэтому отображаемое вспышкой фокусное расстояние может отличаться от реального фокусного расстояния объектива.



- В зависимости от режима вспышки можно зафиксировать настройку головки не принимая в учет фокусное расстояние объектива.

Головку можно настроить вручную. Нажимайте кнопки **<>** в зоне параметров режима вспышки.

AUTO ⇔ 24 ⇔ 28 ⇔ 35 ⇔ 50 ⇔ 70 ⇔ 85 ⇔ 105 ⇔ 135 ⇔ 200mm

- В зависимости от настройки головки вспышки будет изменяться ведущее число.

## РАССЕИВАЮЩАЯ ПАНЕЛЬ

Вспышка оснащена встроенной рассеивающей панелью, позволяющей увеличивать угол рассеивания до угла поля зрения объектива 17мм. Выдвиньте из корпуса рассеивающую и отражающую панели и поверните рассеивающую панель вниз. (Будьте осторожны при выдвигании панелей.) Затем сдвиньте отражающую панель обратно внутрь корпуса. P.3-(7)

- При использовании широкоугольной панели на дисплее появится значок **WP**.

## НАПРАВЛЕННОСТЬ ВСПЫШКИ

Если направить головку вспышки на стену или потолок, объект будет освещаться светом вспышки, отраженным от поверхности. Таким образом, можно смягчить тени за объектом, обеспечивая более естественный вид снимка. Угол вращения головки в вертикальном положении можно изменять от 90° вверх до 7° вниз, а также вращать влево/вправо на 180°. P.3-(8)

- При съемке в отраженном свете на дисплее появится значок **BOUNCE**.
- Кадр получается цветным при отражении света от поверхности. Для отражения выбирайте белую поверхность. В зависимости от отражающей поверхности, могут быть изменены расстояние до объекта, эффективный диапазон расстояний для TTL AUTO и другие факторы.

## ЭКСПОЗИЦИИ ДЛЯ КРУПНОГО ПЛАНА

Установив головку вниз на 7° можно использовать вспышку для макрофотографии.

- При этом положении головки значение дистанции мигает на дисплее вспышки.

## CATCH LIGHT PANEL

Вспышка оснащена встроенной отражающей панелью, позволяющей создавать маленький блик в глазах модели при съемке портрета с «заполняющей» вспышкой. Выдвиньте из корпуса рассеивающую и отражающую панели и сдвиньте рассеивающую панель обратно. (Будьте осторожны при выдвигании панелей.) P.3-(9)

- Для создания эффективного блика в глазах модели, поверните голову вспышки вверх на 90° и снимайте с близких дистанций. P.3-(10)

## ГНЕЗДО СИНХРОНИЗАЦИИ

Через гнездо синхронизации можно соединить вспышку с камерой.

При съемке с синхрокабелем переведите вспышку в ручной режим **[MANUAL]**.



Через **[MENU 1] → [ISO] [F-NUMBER]** установите ISO и диафрагму в соответствии со значениями камеры. Настройте мощность вспышки таким образом, чтобы дистанция до объекта съемки была примерно равной дистанции, указанной на дисплее вспышки.


### Внимание!!

Режим i-TTL-BL / i-TTL не работает при использовании синхрокабеля.

Вспышка EF-630 совместима с синхрокабелями, имеющими положительную полярность (+) центрального контакта и отрицательную полярность (-) оболочки разъема.


## ЗАЩИТА ОТ СЛУЧАЙНОГО СРАБАТЫВАНИЯ

Если выключатель питания установить в положение , то действия всех кнопок, кроме TEST и , блокируются с целью защиты от случайного срабатывания и изменения настроек.

- Значок  показывается на дисплее в статусной строке.

## ЗВУКОВАЯ СИГНАЛИЗАЦИЯ

Некоторые действия вспышки подтверждаются звуковым сигналом, позволяя не отвлекаться на ЖК-дисплей.

Включите звуковую сигнализацию кнопкой BEEP, расположенной на лицевой части вспышки. (На дисплее появится значок ).

Один короткий сигнал	Подтверждение окончания заряда вспышки
Два длинных сигнала	Недо- или переэкспонирование вспышкой
Один длинный сигнал (2 сек.)	Предупреждение об ошибке.

## РЕЖИМЫ УСТАНОВЛИВАЕМЫЕ В КАМЕРЕ

---

### СЪЕМКА С БЛОКИРОВКОЙ ЭКСПОЗИЦИИ (FV LOCK)

---

В этом режиме параметры экспозиции можно выбрать по определенной зоне кадра.

Режим вспышки: [TTL], [TTL-BL] и [WL TX-TTL].


- Обратитесь к инструкции камеры для настройки режима

### СИНХРОНИЗАЦИЯ ПО ВТОРОЙ ШТОРКЕ

---

В этом режиме вспышка срабатывает в момент закрытия шторок затвора, что позволяет зафиксировать на снимке светлый свет за объектом, делая изображение более выразительным.

Режим вспышки: [TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [WL TX-TTL] и [WL TX-MANUAL].


- Символ  появляется на дисплее при включении режима синхронизации по задней шторке.

### ВСПЫШКА FP (ВЫСОКОСКОРОСТНАЯ СИНХРОНИЗАЦИЯ)

---

В режиме синхронизации вспышки при короткой выдержке вспышка продолжает светить во время движения шторок. Таким образом, вспышку можно использовать с любыми выдержками затвора.

Режим вспышки: [TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [WL TX-TTL] и [WL TX-MANUAL].

- Символ  появляется на дисплее при включении режима вспышка FP.

В режиме [TTL] убедитесь, чтобы дистанция до объекта съемки была примерно равной дистанции, указанной на дисплее вспышки.

В режиме [MANUAL] установите диафрагму, чтобы дистанция до объекта съемки была примерно равной дистанции, указанной на дисплее вспышки.


Ведущее число меняется в зависимости от значения выдержки. (Пожалуйста, смотрите Таблицу 3 на последней странице.)

### УМЕНЬШЕНИЕ КРАСНОГО ГЛАЗА

---

При проведении съемки с вспышкой иногда глаза объекта отражают свет вспышки и это проявляется как «красные глаза» на фотографии. Если Вы используете функцию «Уменьшения красного глаза», перед тем как затвор срабатывает вспышка будет мигать приблизительно 1 секунду и это уменьшает «красный глаз».

Режим вспышки: [TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [MULTI], [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], [WL TX-MULTI] и [R&FL TX].

- Символ  появляется на дисплее при включении режима уменьшения красного глаза.





## ХАРАКТЕРИСТИКИ

---



ТИП: Электронная вспышка с автозумом и TTL управлением  
ВЕДУЩЕЕ ЧИСЛО: ISO 100/м, положение головки 200мм)  
ИСТОЧНИК ПИТАНИЯ: Четыре щелочные батареи типа AA;  
четыре никель-металл-гидридных аккумулятора типа AA  
ВРЕМЯ ВОССТАНОВЛЕНИЯ: около 3,0 сек (щелочные батареи);  
около 1,8 сек (никель-металл-гидридные аккумуляторы)  
ЧИСЛО ВСПЫШЕК: около 120 вспышек (щелочные батареи);  
около 185 вспышек (никель-металл-гидридные аккумуляторы)  
ДЛИТЕЛЬНОСТЬ ВСПЫШКИ: около 1/700 сек (для полной мощности)  
УГОЛ ОХВАТА ВСПЫШКОЙ: 24мм - 200мм с управлением мотором (17мм для встроенной широкоугольной панели)  
ВЕС: 490 г ГАБАРИТЫ: 79.4 мм x 148.4 мм x 121.5 мм.

Muito obrigado por ter adquirido o Flash Electrónico Sigma EF-630 (Para Nikon). De forma a complementar o seu gosto pela fotografia, este flash possui uma variedade de funções. Para tirar o máximo de partido destas funções e obter o máximo desempenho do seu flash, leia por favor este livro de instruções, juntamente com o manual de instruções da sua câmara, antes de utilizar o flash. Mantenha sempre este livro à mão para uma futura consulta.





## PRECAUÇÕES DE SEGURANÇA

De forma a evitar danos ou feridas, por favor leia cuidadosamente este manual de instruções antes de utilizar o flash. Preste especial atenção aos dois símbolos de perigo seguintes.	
 <b>Aviso !!</b>	Utilizar este produto desrespeitando este símbolo de aviso poderá causar graves feridas ou perigosas consequências.
 <b>Cuidado !!</b>	Utilizar este produto desrespeitando este símbolo de cuidado poderá causar feridas ou danos.
	Este símbolo denota um aviso ou ponto onde é requerido cuidado.
	Este símbolo contém informação de acordo com as acções que devem ser evitadas.






### **Aviso !!**

-  Este flash contém circuitos de alta tensão. De forma a evitar choques eléctricos ou queimaduras, não tente desmontar o flash. Se a cobertura exterior estiver quebrada ou rachada, não toque no mecanismo interior.
-  Não dispare o flash perto dos olhos. A luz intensa pode danificar a visão. Mantenha pelo menos 1m de distância


entre a visão e a unidade de flash, quando captar uma fotografia utilizando o flash.


-  Não toque no terminal de sincronização da sua câmara quando o flash estiver acoplado à sapata. Os circuitos de alta tensão poderão causar um choque eléctrico.
-  Nunca utilize a sua câmara num ambiente onde existam materiais inflamáveis, gases, líquidos ou químicos, etc. Caso contrário poderá ocorrer um incêndio ou uma explosão.
-  Não cubra a cabeça do flash com as mãos ou dispare o flash muito perto da sua pele, isto pode causar queimaduras.
-  Não dispare o flash na direcção dos carros, isto pode causar um acidente.


### **Cuidado !!**

-  Utilizar somente este flash com camaras Nikon DSLR. Utilização com outra marca de camaras pode resultar em mau funcionamento da camara e danos nos seus circuitos electrónicos.
-  Esta unidade de flash não é à prova de água. Ao utilizar o flash e a câmara debaixo de chuva ou neve, ou perto de água, mantenha-o sempre seco. Muitas vezes é impraticável reparar componentes electrónicos internos danificados pela água.
-  Nunca exponha o flash e a câmara ao impacto, poeira, altas temperaturas e humidade. Estes factores poderão causar incêndios ou avarias no seu equipamento.
-  Se o flash for sujeito a mudanças repentinas de temperatura, como por exemplo movido de um exterior frio para um interior quente, poderá ser formada condensação no interior. Neste caso coloque o seu equipamento num plástico selado antes de o sujeitar à mundaça de temperatura, e não utilize a unidade de flash enquanto não atingir a temperatura ambiente.
-  Não coloque o seu flash numa gaveta, armário ou local que contenha naftalina, cânfora ou outros insecticidas. Estes químicos causam efeitos negativos na unidade de flash.



 Não utilize diluente, benzeno ou outros agentes de limpeza para remover sujidade ou dedadas. Limpe com um pano macio húmido.

 Para um armazenamento prolongado, escolha um local fresco e seco, preferencialmente com boa ventilação. É recomendado que o flash seja carregado e disparado várias vezes por mês, de forma a manter um funcionamento apropriado.

 Não dispare o flash se a cabeça estiver coberta com panos ou roupas, caso contrário pode provocar um incêndio.

## ACERCA DA BATERIA


Esta unidade de flash utiliza quatro baterias recarregáveis Ni-MH, do tipo "AA", ou baterias alcalinas de célula seca.

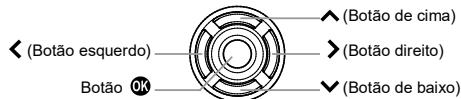
- De forma a assegurar um contacto eléctrico apropriado, limpe os terminais da bateria, antes de instalar as baterias.
- De forma a evitar a explosão, derrame ou sobreaquecimento das baterias, utilize quatro novas baterias AA do mesmo tipo e marca. Não misture tipos de baterias diferentes, nem baterias novas e usadas.
- Não desmonte nem provoque curto-de-circuito nas baterias, nem as exponha ao fogo e à água; elas poderão explodir. Não recarregue baterias sem serem Ni-MH.
- Quando o flash não estiver em utilização por um longo período de tempo, remova as baterias do flash para evitar possíveis danos causados por derrames.
- Como com qualquer flash, é recomendado que leve consigo baterias suplentes para longas viagens, ou para sessões fotográficas exteriores, com o tempo frio.
- Não utilize baterias de lítio AA/R6. Estas poderão causar avarias no equipamento.
- Siga por favor todos os parâmetros, regras e regulamentos da sua comunidade, respectivamente ao descarte das baterias.



## DESCRIÇÃO DOS COMPONENTES (P.2)

- |                                |                                    |
|--------------------------------|------------------------------------|
| 1. Cabeça de Flash             | 10. Interruptor de energia         |
| 2. Receptor de sinal remoto    | 11. Luz pronta / Botão TEST        |
| 3. Interruptor BEEP            | 12. Botão <b>OK</b>                |
| 4. Luz assistente de AF        | 13. Selector                       |
| 5. Tampa da bateria            | 14. Alavanca de bloqueio de sapata |
| 6. Sapata                      | 15. Botão de girar                 |
| 7. Painel LCD                  | 16. Terminal de sincronização      |
| 8. Interruptor de luz de fundo | 17. Painel de captação de luz      |
| 9. Botão <b>MENU</b>           | 18. Painel amplo                   |

## SELECTOR (13)

Neste manual de instruções, cada posição do selector é mostrada como .



Os botões são utilizados da seguinte forma: Operar para cima e baixo: . Operar para a esquerda e direita: .

## CÂMARAS COMPATÍVEIS

Este flash é compatível com as seguintes câmaras.


Camaras digitais DSLR compatíveis com o Creative Lighting System Nikon (CLS)

- Utilize por favor um objetiva AF compatível com a camara utilizada.

## COLOCAR AS BATERIAS

1. Desligue o flash colocando o interruptor em **[OFF]** e abra o compartimento das baterias deslizando a respectiva tampa. P.3-(1)
2. Siga a indicação no compartimento das baterias e insira as baterias com os terminais "+" e "-" na posição correcta. P.3-(2)
3. Feche o compartimento das baterias. P.3-(3)
4. Ligue o flash colocando o interruptor em **[ON]**. Quando o flash estiver carregado no nível em que é possível disparar o flash, a luz de flash pronto fica intermitente no verde. Quando o flash estiver totalmente carregado, a luz fica vermelha.

### Cuidado!!

Quando a capacidade da bateria fica fraca, aparece o símbolo  no painel LCD. Quando a capacidade chega a zero, o display indica o símbolo à direita, e o flash deixa de funcionar. Por favor substitua as baterias.



### AVISO DE ERRO

Quando aparece o símbolo **[ER]** no painel LCD, o flash poderá ter falhas. Reinicie o flash ou verifique a bateria. Se a indicação persistir, contacte o nosso departamento de vendas.

### ENCERRAMENTO AUTOMÁTICO

De forma a conservar bateria, a unidade de flash desliga-se automaticamente se o flash não for utilizado durante aproximadamente 80 segundos. Para voltar a ligar o flash, pressione o botão TEST ou o botão de obturador da câmara até meio. No entanto, o Sistema de desligar automático, não funciona nos modos: **[WL RX]**, **[R&FL NORMAL]** e **[R&FL RX]**.

## FIXAÇÃO À CÂMARA

1. Desligue o flash colocando interruptor em **[OFF]**.
2. Confirme que a alavanca de bloqueio da sapata está na posição **[UNLOCK ►]**. P.3-(4)
3. Insira o flash na sapata da câmara até encaixar. Coloque a alavanca de bloqueio na posição **[◀LOCK]** até a sapata ficar bloqueada e soar o som de click. P.3-(5)

Ao remover o flash, coloque a alavanca de bloqueio de sapata na posição **[UNLOCK►]** até parar, premindo sempre a alavanca de bloqueio de sapata. Após este procedimento, retire o flash.

### Cuidado!!

Se o flash for retirado sem a alavanca de bloqueio de sapata na posição **[UNLOCK►]**, a sapata da câmara e o suporte para sapata do flash poderão ficar danificados.

## AJUSTAMENTO DA CABEÇA DE FLASH

Ao captar regularmente, coloque a cabeça do flash a apontar para a frente. P.3-(6)

### Cuidado!!



Após ter ligado o flash, se o símbolo **[BOUNCE]** aparecer na área de estado, ou se a indicação de distância na área de estado estiver intermitente, a cabeça de flash não está correctamente apontada para a frente.

## LIMITES DA CAPTAÇÃO CONTÍNUA

De forma a evitar o sobreaquecimento dos circuitos, não utilize o flash após 10 minutos de disparo contínuo, para as exposições abaixo indicadas.

Modo	Nº de exposições de flash
TTL, M(1/1, 1/2)	20 disparos contínuos
M(1/4, 1/8)	25 disparos contínuos
M(1/16~1/32)	40 disparos contínuos
MULTI	10 ciclos

### Cuidado!!

Caso apareça o icone  no display, será limitada a quantidade de luz de forma a evitar o sobreaquecimento dos circuitos. Evite utilizar o flash enquanto não desaparecer o icone .

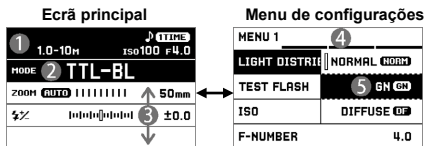
## PASSOS DE CONFIGURAÇÃO BÁSICOS

Esta secção descreve o básico das configurações. Com o flash EF-630, muitas configurações podem ser efectuadas facilmente através dos seguintes passos.

### Cuidado!!

Quando o interruptor estiver na posição [🔒] (bloqueado), as configurações não podem ser alteradas. Certifique-se de o colocar em [ON] de forma a alterar as configurações.

Altere entre o ecrã principal e o menu de configurações através do botão **MENU**. (Quando o flash é ligado, é mostrado o ecrã principal.)



Muda o Modo de Flash e define os detalhes de cada modo.



Adiciona as funções opcionais de disparo e define as condições básicas do flash.

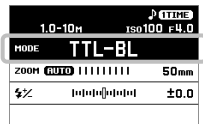
- 1 Área de estado
- 2 Área do modo de flash
- 3 Área do modo de detalhes

- 4 Área de tab
- 5 Sub menu



## OPERAÇÕES BÁSICAS DO ECRÃ PRINCIPAL

### SELECIONAR O MODO DE FLASH

Selecione a área do modo de flash através dos botões  e mude o modo através dos botões  ou através do botão de girar.



### DEFINIR OS DETALHES DO MODO DE FLASH



Selecione a área do modo de detalhes através dos botões  e mude os valores utilizando os botões  ou o botão de girar.






## OPERAÇÃO BÁSICA NO MENU DE CONFIGURAÇÕES

Para mover para o tab seguinte, utilize o botão de girar. (Quando o cursor estiver na área de tab também pode ser movido prima os botões <>.)

### Enquanto estiver no menu de configurações:

Utilize os botões  para seleccionar os itens do menu. Prima o botão **OK** ou  para abrir sub-menus ou diálogos. (Em alguns itens, poderá abrir um ecrã especial ou uma mensagem de diálogo.)

### Enquanto estiver nos sub-menus de configuração:

Utilize os botões  para seleccionar as opções de configuração. Prima os botões **OK** ou  para aplicar as novas configurações. (Prima o botão  para fechar os sub-menus sem aplicar as novas alterações.)

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	ON
LCD LIGHT	AUTO
DISPLAY SETTING	...
M / FEET	M

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	ON >
LCD LIGHT	AUTO
DISPLAY SETTING	...
M / FEET	M

MENU 3	
AF ASSIST LIGHT	OFF
LCD LIGHT	ON
DISPLAY SETTING	ONLY
M / FEET	M

## i-TTL AUTO FLASH

A câmara mede a luz refletida dos pre-flashes, ajustando a potência ideal do flash. Selecione um dos seguintes dois modos.

### i-TTL flash-enchimento equilibrado (Modo Flash: [TTL-BL])

Controla a potência do flash para equilibrar a exposição entre o objeto e o fundo.

- Quando o método de medição de luz da câmara for de luz pontual, não é possível seleccionar o modo i-TTL-BL

### i-TTL Standard. (Modo Flash: [TTL])

Controla a potência do flash suficiente para a exposição do objeto, sem tomar em conta o fundo.

1. Selecione o modo de flash [TTL-BL] ou [TTL].
2. Confirme que o assunto a fotografar se encontra no alcance de captação, verificando a indicação de distância na área de estado.
3. Verifique o estado do flash através da luz "pronto" e inicie a captação.

TIME	
1.0-10M	ISO100 F4.0
MODE	TTL-BL
200M AUTO	50mm
%	±0.0

Se o sinal **NG** aparecer durante cinco segundos depois do disparo, a potência do flash pode estar demasiado alta ou baixa. Altere a condição e capte novamente.

### VELOCIDADE DE OBTURADOR E ABERTURA

As relações entre as velocidades de obturador e as aberturas em diferentes modos de exposição de câmara são as seguintes.

	Velocidade de obturador	Abertura
<b>P</b>	Definida automaticamente.	Definida automaticamente.
<b>A</b>	(1/60 seg*1 - Veloc. Sincro Flash*2)	Definida livremente.
<b>S</b>	Permite que possa definir livremente a velocidade numa gama igual ou menor à velocidade de sincronização do flash*2.	Definida automaticamente.
<b>M</b>		Definida livremente.

- \*1 Em alguns modelos, podem ser usadas velocidades de disparo mais lentas, sem restrições. Além disso, quando o modo de flash da câmara estiver regulado a (Slow sync), não haverá qualquer restrição ao limite máximo (mais lento) da velocidade de disparo.
- \*2 Quando for escolhido o modo flash FP na câmara, não haverá restrição no limite mínimo (mais rápido) da velocidade de disparo.

## Cuidado!!

Disparos com aviso de exposição na câmara, podem originar sobre ou sub exposições. Nesse caso, altere as condições antes de captar.

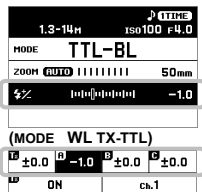
## COMPENSAÇÃO DA EXPOSIÇÃO DO FLASH

É possível compensar apenas a quantidade de luz do flash sem afectar a exposição do fundo.

Pode ser utilizado com os modos de flash [TTL], [TTL-BL], [GN-M], e [WL TX-TTL].

Coloque o valor de compensação na área de detalhe Mode. (A compensação possui 1/3 etapas, e podem ser definidas até ±3 etapas.)

- A função de compensação de exposição do flash, também está disponível na câmara. Com a compensação de exposição regulada em ambas a câmara e o flash, os disparos serão feitos com valor combinado de compensação de exposição.



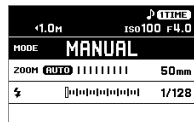
## FLASH MANUAL

É possível o ajuste discricionário da quantidade de flash.

1. Mude o modo de flash para [MANUAL].
2. Defina a quantidade de flash na área do modo de detalhes. (Gama de definição disponível: 1/128 a 1/1, Pitch disponível para definição: 1/3EV.)

3. Verifique o estado do flash através da luz "pronto" e comece a captar.

Na secção de distância na área de estado, a distância na qual pode ser obtida a exposição apropriada é calculada e mostrada. Mesmo



com a mesma quantidade de flash, a distância na qual se obtém a exposição apropriada varia se forem alterados a sensibilidade ISO da câmara ou o valor da abertura.

Uma exposição apropriada ao utilizar o flash manual poderá ser calculada através da seguinte fórmula.

Número Guia (GN) / Distância de captação (m) = Valor de abertura (F)

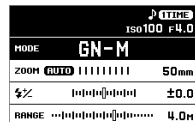
Para o GN (Número Guia) deste flash, consulte a [Tabela 1] anexa no fim deste manual.

## PRIORIDADE À DISTÂNCIA EM FLASH MANUAL

Com o flash em manual, a potencia do flash será automaticamente ajustada á distancia selecionada.

1. Mude o modo de flash para [GN-M].
2. Na área de detalhes do Modo, ajuste a distancia ao objeto. (Se a distancia exceder o alcance possível do flash, ajuste os valores na camara, como abertura, ISO, etc.)

3. Verifique o estado do flash através da luz "pronto" e comece a captar.

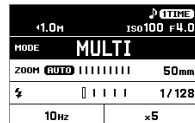


## MULTI FLASH

Mostrar o movimento do assunto num frame, como se a imagem fosse uma reprodução fotográfica, é possível através da emissão de luz contínua com o flash, enquanto o obturador estiver aberto.

Utilize o modo de exposição manual ("M") da câmara.

1. Mude o modo de flash para [MULTI].
2. Na área do modo de detalhes, defina a quantidade de flash, intervalo de flash em Hz (ex.:10Hz = Emite luz com a



frequência de 10 vezes por segundo), e o número de flashes em "X".  
3. Defina uma velocidade de obturador mais lenta do que o valor do "número de flashes" / "frequência de flash".

4. Verifique o estado do flash através da luz "pronto" e comece a captar.

O número de flashes que podem ser disparados continuamente varia dependendo da combinação da quantidade de flash e da frequência de flash. Consulte a [Tabela 2] no fim deste manual.

## FLASH SEM FIOS

Quando o flash é utilizado numa localização distante da câmara, as possibilidades criativas são expandidas. O EF-630 pode ser controlado remotamente através do flash incorporado da câmara ou através de uma unidade de flash Transmissor(TX) separada.

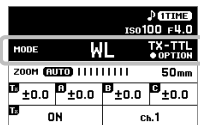
- O flash acoplado à câmara é chamado [unidade Transmissor(TX)], e o flash utilizado à distância é chamado [unidade Receptor(RX)].
- Por favor posicione a unidade de flash entre 0.5m~ 5m (1.6~ 16 pés) do assunto, e posicione o corpo da câmara entre 1m~ 5m (1.6~ 16 pés) do assunto.
- Ao definir a unidade Receptora na posição desejada, poderá utilizar o mini-stand. Este mini-stand possui uma rosca para tripé.
- O flash wireless (sem fio) pode ser usado com o flash integrado da camara. (Somente camaras com Modo Commander). Consulte o manual de instruções da camara .
- O EF-630 pode seu também usado em conjunto com o EF-610 DG SUPER NA-iTTL. Nestes casos use o EF-610 DG SUPER como unidade Receptora. Quando ajustar o EF-610 DG SUPER, consulte o manual desse modelo. (o endereço de ID Receptor do EF-610 DG SUPER é diferente. Consulte a tabela em baixo)

EF-630 ID do Receptor	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>
EF-610 DG SUPER ID do Receptor	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>

## PREPARAÇÃO DO FLASH WIRELESS (UNIDADE TRANSMISSOR)

### SELECIONAR MODE DE FLASH

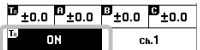
Ajuste a modo de disparo wireless entre [WL TX-TTL]; [WL TX-MANUAL]; e [WL TX-MULTI].



### AJUSTE DO FLASH TRANSMISSOR

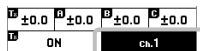
O flash como "Transmissor" pode ser ativado com Função de control, ou como função de control e emissão da luz de flash.

<b>ON</b>	Função de control + flash
<b>OFF</b>	Só função de control



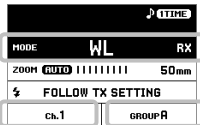
### AJUSTE DE CANAL

Para evitar intervenções por parte de outro utilizador de flash em wireless, nas imediações, é possível alterar o canal. (existem 4 canais possíveis de escolha, numerados de 1 a 4 )



## PREPARAÇÃO DE FLASH WIRELESS (UNIDADE RECEPTOR)

1. Coloque o flash no modo [WL RX].
2. No mode de detalhe de area, coloque um canal que seja o mesmo da unidade Transmissor.
3. Na área de detalhes do Modo, escolha o grupo de flash (A, B ou C) que vai ajustar.



## WIRELESS i-TTL FLASH AUTO

No wireless i-TTL flash auto, a camera controla automaticamente a exposição.

### DEFINIÇÃO DE UNIDADE TRANSMISSOR

1. Mude o modo de flash para [WL TX-TTL].
2. Quando necessário, ajuste no Modo de detalhe "Ajuste de Canal" e "Ajuste de Unidade Flash Transmissor".
3. Quando necessário, na área de detalhes do Modo, ajuste o valor de compensação de exposição para cada grupo transmissor e receptor.

⏪ [TIME]			
ISO 100 F4.0			
MODE		WL	TX-TTL
		● OPTION	
ZOOM AUTO                     50mm			
T	A	B	C
±0.0	±0.0	±0.0	±0.0
T		ch.1	
ON			

- É possível alterar para flash manual ou anular cada flash cada grupo receptor.

- ① Quando primir o botão **OK** enquanto escolhe o modo de flash, o ecrã faz scrolling para mostrar o modo de flash da unidade receptora.
- ② Selecione o grupo que quer alterar, selecionando [M] (flash Manual) ou [OFF] (anular o flash).
- ③ Selecione [BACK] e prima o botão **OK** para voltar ao ecrã anterior.
- ④ Na área de detalhes do Modo, selecione a potencia do grupo que foi previamente ajustado para flash Manual.

⏪ [TIME]			
ISO 100 F4.0			
● BACK	A	B	C
	TTL	OFF	TTL
ZOOM AUTO                     50mm			
T	A	B	C
±0.0	±0.0	OFF	±0.0
T		ch.1	
ON			

### DEFINIÇÃO DA UNIDADE RECEPTOR

4. Faça o ajuste seguindo "PREPARAÇÃO DE FLASH WIRELESS (UNIDADE RECEPTOR)".
5. Coloque a unidade receptora, confirme que está carregado, e depois comece a fotografar (o receptor dá indicação de carga completa, ao piscar a luz de AF assist).
- Imediatamente após o disparo, se algum grupo estiver a fazer sub exposição, o grupo emite um sinal sonoro de aviso (ver **SONS BEEP**, na página 197). Em tais casos mude as condições de

exposição e volte a fazer o disparo.

## FLASH SEM FIOS MANUAL

Assim como a fotografia com o flash manual, está igualmente disponível a captação sem fios onde a saída de flash pode ser configurada manualmente. Faça a medição de exposição, usando um qualquer flash meter disponível no mercado.

### DEFINIÇÃO DE UNIDADE TRANSMISSOR

1. Mude o modo de flash para [WL TX-MANUAL].
2. Quando necessário, ajuste no Modo de detalhe "Ajuste de Canal" e "Ajuste de Unidade Flash Transmissor".
3. Na área de detalhes do Modo, ajuste a potencia de cada grupo (incluindo a unidade Transmissor quando esta estiver ligada. (Gama de definição disponível: 1/128 a 1/1, Pitch disponível para definição: 1/3EV.)

⏪ [TIME]			
ISO 100 F4.0			
MODE		WL	TX-MANUAL
		● OPTION	
ZOOM AUTO                     50mm			
T	A	B	C
1/128	1/128	1/128	1/128
T		ch.1	
ON			

- É possível alterar o grupo receptor para modo i-TTL auto flash, ou desligar o flash.

- ① Quando primir o botão **OK** enquanto escolhe o modo de flash, o ecrã faz scrolling para mostrar o de flash da unidade receptora.
- ② Selecione um grupo para mudar e ajustar para [TTL] (i-TTL auto flash) ou [OFF] (flash anulado)
- ③ Selecione [BACK] e prima o botão **OK** para voltar ao ecrã anterior.
- ④ Quando necessário, na área de detalhes do Modo, ajuste o valor de compensação de exposição do flash do grupo que estiver ajustado para i-TTL auto flash.

⏪ [TIME]			
ISO 100 F4.0			
● BACK	A	B	C
	M	OFF	M
ZOOM AUTO                     50mm			
T	A	B	C
1/128	1/128	OFF	1/128
T		ch.1	
ON			

## DEFINIÇÃO DA UNIDADE RECEPTOR

4. Mude o modo de flash para [WL RX].
5. Faça o ajuste seguindo "PREPARAÇÃO DE FLASH WIRELESS (UNIDADE RECEPTOR)".
6. Coloque a unidade receptora, confirme que está carregado, e depois comece a fotografar (o receptora dá indicação de carga completa, ao piscar a luz de AF assist).

## WIRELESS MULTI FLASH

Wireless multi-flash está disponível para um ou para múltiplos flashes. Utilize o modo de exposição manual ("M") da câmara.

### DEFINIÇÃO DE UNIDADE TRANSMISSOR

1. Mude o modo de flash para [WL TX-MULTI].
  2. Quando necessário, ajuste no Modo de detalhe "Ajuste de Canal" e "Ajuste de Unidade Flash".
  3. Na área do modo de detalhes, defina a quantidade de flash, intervalo de flash em Hz (ex.: 10Hz = Emite luz com a frequência de 10 vezes por segundo), e o número de flashes em "x".
- Qualquer grupo receptor pode ser desligado. Selecione um grupo para anular o flash no na área de detalhes do Modo.

♪ (TIME)			
ISO100 F4.0			
MODE		WL TX-MULTI	
ZOOM	(AUTO)	50mm	
1/128	ON	ON	ON
ON	10Hz	x5	Ch.1

### DEFINIÇÃO DA UNIDADE RECEPTOR

4. Faça o ajuste seguindo "PREPARAÇÃO DE FLASH WIRELESS (UNIDADE RECEPTOR)".
5. Defina uma velocidade de obturador mais lenta do que o valor do "número de flashes" / "frequência de flash".
6. Coloque a unidade receptora, confirme que está carregado, e depois comece a fotografar (o receptor dá indicação de carga completa, ao piscar a luz de AF assist).

## RECEBER E FUNÇÃO FLASH

O EF-630 inclui uma função que o permite disparar reagindo ao flash de outra unidade. Isto permite uma captação fácil e conveniente com o flash posicionado a uma distância da câmara. Contudo, a saída de luz não é automaticamente ajustada neste modo.

## RECEBIMENTO NORMAL E FUNÇÃO FLASH

A unidade Transmissor acoplada à câmara pode ser utilizada para disparar um flash sincronizado com o EF-630, mesmo posicionado a uma distância da câmara.

Defina o flash Transmissor para o modo manual e defina a saída de flash para aproximadamente 1/16.

- O flash integrado na câmara pode ser usado com flash ou como disparador remote. Ajuste o flash da câmara para manual e a potência a 1/16.

Defina a exposição da câmara para M, a velocidade de obturador para 1/30 segundos ou menos, e a abertura e ISO para valores discricionários.

1.0M		♪ (TIME)	
MODE		R&FL NORMAL	
ZOOM	(AUTO)	24mm	
f			1/128
ISO100	F4.0		

1. Mude o modo de flash do EF-630 Receptor para [R&FL NORMAL].
2. Na área do modo de detalhes, defina os valores de abertura e de ISO de acordo com as definições da câmara.
3. Ajuste a quantidade de flash na área do modo de detalhes, para que a distância entre o flash Receptor e o assunto seja aproximadamente igual à distância indicada na área de estado.
4. Verifique a carga e comece a captar.



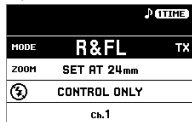
## RECEPTOR DEDICADO & FUNÇÃO FLASH

Se estiver a utilizar duas ou mais unidades de flash EF-630, poderá designar quais as unidades de flash que irão disparar em conjunto, utilizando as definições de canais. Neste modo, uma unidade de flash será usada como o Controlador do Receptor e as outras para disparar como os receptores.

Mude o modo de exposição da câmara para M, a velocidade de obturador para 1/30 segundos ou menos, e a abertura e o ISO para valores discricionários.

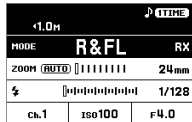
### DEFINIR O CONTROLO (TRANSMISSOR) FLASH

1. Mude o modo de flash para [R&FL TX].
2. Ajuste o canal quando necessário. (Na área de detalhe do Modo, seleccione entre **Ch1** e **Ch3**)



### DEFINIR O DISPARO (RECEPTOR) FLASH

3. Mude o modo de flash para [R&FL RX].
  4. Na área do modo de detalhes, defina o canal de acordo com o flash controlador.
  5. Na área do modo de detalhes, defina os valores de abertura e de ISO de acordo com o flash controlador.
  6. Ajuste a quantidade de flash na área do modo de detalhes para que a distância entre o flash Receptor e o assunto seja aproximadamente a mesma que a distância indicada na área de estado.
  7. Verifique a carga e comece a captar.
- No modo Receptor, este flash pode ser utilizado em combinação com o EF-630 e/ou EF-610 DG SUPER, para outros acessórios



da câmara. (Para detalhes na configuração do EF-610 DG SUPER, por favor siga o respectivo manual de instruções.)

## FUNÇÕES OPCIONAIS

Esta secção descreve as funções opcionais que podem ser definidas e adicionadas a partir do menu de configurações.

### MODO DE DISTRIBUIÇÃO DE LUZ (MENU 1)

O EF-630 possui três modos de distribuição de luz que podem ser seleccionados de acordo com o objectivo de utilização.

#### [MENU 1] → [LIGHT DISTRIBUTION]

<b>NORMAL</b> - (Pré-definido)	<b>Distribuição de luz normal</b> Características básicas de distribuição de luz para a captação geral.
<b>GN</b> <b>GN</b>	<b>Distribuição de luz com prioridade ao Número Guia</b> O ângulo de incidência do flash é reduzido, mas fica disponível um Número Guia maior.
<b>DIFFUSE</b> <b>DF</b>	<b>Distribuição de luz plana</b> Evita uma redução da luz circundante, oferecendo uma distribuição de luz mais uniforme.

### FLASH DE TESTE (MENU 1)

O EF-630 possui dois modos de teste de flash. Um dos modos de teste pode ser alocado ao botão TEST.

#### [MENU 1] → [TEST FLASH]

<b>1 TIME</b> <b>1TIME</b> (Pré-definido)	<b>Flash de teste</b> Executa um único teste de flash.
<b>MODELING</b> <b>MODEL</b>	<b>Flash de modelação</b> Pode ser utilizado com os modos de flash [TTL], [TTL-BL], [MANUAL] [GN-M] e [MULTI]. Quando o botão TEST é mantido pressionado, é efectuado um flash contínuo de aproximadamente 1 segundo e meio de forma que as sombras do assunto possam ser verificadas.

### Cuidado!!

A função (MODELING), não pode ser seleccionada em qualquer modo, quando a luz de modelação não está disponível.

- Em camaras que tenha a função de luz de modelação de flash, a mesma ativa-se primindo o botão de preview da camara. ( com o botão de preview da camara, a luz de modelação também está disponível nos modos [WL TX-TTL], [WL TX-MANUAL], ou [WL TX-MULTI].

## MODO PERSONALIZADO (MENU 2)

É possível armazenar e memorizar definições personalizadas. (Podem ser armazenadas duas séries de funções personalizadas.)

### ARMAZENAR E MEMORIZAR FUNÇÕES PERSONALIZADAS

- Defina o modo de flash, área do modo de detalhes, e conteúdos do menu de configurações, conforme desejado.
- A partir do [MENU 2] → [CUSTOM MODE SETTING], seleccione

1 TIME	
1.3-14M	ISO100 F4.0
MODE C1	TTL-BL
ZOOM AUTO	50mm
±%	-1.0

[C1] ou [C2] e prima o botão **OK**.

- Selecione [OK] e confirme com o botão **OK**.

Os conteúdos registados são adicionados ao modo de flash, como no modo personalizado. (O modo personalizado é indicado com as marcas **C1** ou **C2** na área do modo de flash.)

### APAGAR O MODO PERSONALIZADO REGISTADO

- A partir de [MENU 2] → [CUSTOM MODE DELETE], seleccione [C1] ou [C2] e prima o botão **OK**.
- Selecione [OK] e confirme com o botão **OK**.

## LUZ ASSISTENTE DE AF (MENU 3)

A luz assistente de AF acende automaticamente ao focar o assunto numa área escura. O alcance efectivo da luz assistente de AF é entre 0.7 a 9 metros (2.3-29.5 pés).

[MENU 3] → [AF ASSIST LIGHT]


OFF	A luz de apoio AF não funciona
ON (Pré-definido)	A luz de apoio AF é usada para iluminar zonas escuras.
ONLY	O flash não funciona, e sómente a luz de apoio AF funciona (quando está indicado na área de detalhe do modo [AF ASSIST LIGHT ONLY].

## LUZ DO PAINEL LCD (MENU 3)

Quando a energia é ligada, o painel LCD é iluminado. As definições ON/OFF da luz podem ser alteradas.

[MENU 3] → [LCD LIGHT]

<b>AUTO</b> (Pré-definido)	Após 8 segundos sem utilização, a luz é desligada. Quando um botão é utilizado com a luz apagada, a luz acende automaticamente.
<b>8 SEC</b>	Independentemente de um botão de ser premido ou não, a luz será apagada após 8 segundos a partir do momento em que é acesa.
<b>ON</b>	A luz fica acesa continuamente.


- Independentemente da definição, a luz pode ser acesa ou apagada através do botão .


### AJUSTAMENTOS NO PAINEL LCD (MENU 3)

O brilho e contraste do painel LCD podem ser ajustados.

[MENU 3] → [DISPLAY SETTING]

<b>BRIGHTNESS</b>	<b>BRILHO</b> Ajuste o brilho até ao nível desejado através dos botões <>.
<b>CONTRAST</b>	<b>CONTRASTE</b> Ajuste o contraste até ao nível desejado através dos botões <>.

Quando terminar o ajustamento, seleccione [OK] e confirme com o botão .

Quando cancelar o ajustamento, seleccione [CANCEL] e confirme com o botão .

### MUDANÇA DA UNIDADE DE MEDIDA INDICADA (MENU 3)

A unidade de medida na área de estado pode ser alterada.

[MENU 3] → [M / FEET]

<b>M</b> (Pré-definido)	Indicação em metros
<b>FEET</b>	Indicação em pés

### INFORMAÇÃO DA UNIDADE DE FLASH (MENU 4)

A informação seguinte pode ser verificada.


[MENU 4] → [INFORMATION]

<b>MODEL</b>	Nome do modelo
<b>SERIAL No.</b>	Número de série
<b>VERSION</b>	Versão de firmware

### INICIALIZAÇÃO DE DEFINIÇÕES (MENU 4)

É possível restaurar a unidade de flash para as definições de fábrica.

[MENU 4] → [RESET SETTINGS]

Para inicializar a definição, seleccione [OK] e confirme com o botão .

- Quando as definições forem restauradas, os modos personalizados memorizados são eliminados.

### OUTRAS FUNÇÕES ÚTEIS

#### CONFIGURAÇÃO DA CABEÇA DE FLASH

Quando a configuração da cabeça de flash é utilizada com o **AUTO** (Auto), a cabeça de flash é automaticamente definida para o ângulo de flash óptimo para a distância focal da objectiva.

- A cabeça de flash toma em conta o tamanho do sensor de imagem da câmara, portanto a distância focal mostrada no flash pode diferir da distância focal da objectiva.
- Dependendo do modo de flash, a definição da cabeça de flash pode ser fixa independentemente da distância focal da objectiva.



A definição da cabeça de flash pode ser alterada manualmente. Prima os botões ◀ ▶ na área do modo de detalhes.

AUTO ⇔ 24 ⇔ 28 ⇔ 35 ⇔ 50 ⇔ 70 ⇔ 85 ⇔ 105 ⇔ 135 ⇔ 200mm

- Dependendo da definição da cabeça de flash, o Número Guia do flash muda.

## PAINEL LARGO

Este flash está equipado com um painel largo incorporado, que oferece um largo ângulo de cobertura de 17mm. Deslize o painel largo e o painel de captação de luz, e vire-o para baixo para cobrir a cabeça de flash. (Tome o cuidado de virar os painéis suavemente.) Depois coloque o painel de captação de luz de volta ao lugar. P.3-(7)

- A secção de indicação da cabeça de flash, dentro da área do modo de detalhes, poderá mostrar o símbolo **WP** quando o painel estiver em utilização.

## BALANÇO DO FLASH

Ao disparar o flash na direcção de um tecto ou de uma parede, é possível dispersar a luz e captar fotografias com luz suave e sombras reduzidas.

A cabeça de flash pode ser definida para o lado superior a 90°, para o lado inferior a 7°, e para os lados esquerdo e direito a 180°. P.3-(8)

- Durante o balanço, o símbolo **BOUNCE** é indicado na área de estado.
- Escolha uma superfície branca para o balanço do flash, caso contrário a cor da imagem poderá ficar incorrecta. Dependendo da superfície de reflexo, da distância ao assunto e de outros factores, a distância efectiva de alcance TTL AUTO poderá mudar.

## EXPOSIÇÕES POR APROXIMAÇÃO

Ao inclinar para baixo a cabeça de flash a 7°, a secção inferior do enquadramento pode ser suficientemente brilhante para exposições por aproximação.

- Quando é balançada para o lado inferior a 7°, a indicação de distância na área de estado fica intermitente.

## PAINEL DE CAPTAÇÃO DE LUZ

Este flash está equipado com um painel de captação de luz incorporado, que é capaz de criar a luz captada nos olhos do assunto, quando o modo de balanço de flash está activado. Deslize o painel largo e o painel de captação de luz, depois coloque o painel largo no seu lugar. (Tome o cuidado de virar os painéis suavemente.) P.3-(9)

- Para criar efectivamente uma luz captada, incline a cabeça de flash para cima, em 90 graus, e capte fotografias a partir de uma distância curta. P.3-(10)

## TERMINAL DE SINCRONIZAÇÃO

O EF-630 possui um terminal de sincronização que pode ser conectado à câmara a partir de um cabo de sincronização disponível no mercado.

Quando captar com um cabo de sincronização, utilize o flash no modo **[MANUAL]**.



Através de [MENU 1] → [ISO] [F-NUMBER], defina os valores de ISO e de abertura (F) de acordo com os da câmara. Ajuste a potência do flash na área do modo de detalhes, até a distância mostrada na área de estado ser aproximadamente a mesma distância entre o flash e o assunto.


### Cuidado!!

O auto flash i-TTL-BL / i-TTL não funciona se o terminal de sincronização estiver a ser utilizado.

O terminal de sincronização do EF-630 é compatível com tomadas com polaridade positiva (+) no pino central, e polaridade negativa (-) no revestimento. Se a tomada tiver polaridade inversa, utilize um cabo de conversão disponível no mercado.


## PREVENÇÃO DE OPERAÇÃO ACIDENTAL

Quando o interruptor estiver na posição  (bloqueado), as funções sem ser o botão TEST e o botão  ficam desactivadas, evitando mudanças acidentais às definições do flash.

- Enquanto o flash estiver bloqueado, o símbolo  é mostrado na área de estado.

## SONS BEEP

Certas condições do flash são indicadas através de um som, facilitando o seu reconhecimento sem olhar para o painel LCD.

Ligue os sons BEEP na parte frontal do corpo. (Quando estes estiverem ligados, o símbolo  é mostrado na área de estado.)

Um beep curto	Indica que a carga está completa
Dois beeps longos	Valor de exposição de flash desajustado (demasiado alto ou baixo)
Um beep longo (2 segundos)	Aviso de erro

## FUNÇÕES A AJUSTAR NA CAMARA

### DISPARO EM MODO FV LOCK

Este método permite expor uma determinada área do objecto com uma exposição de flash correcta.


Pode ser utilizado com os modos de flash [TTL], [TTL-BL] e [WL TX-TTL].

- Consulte o manual de instruções da câmara para os diferentes métodos de funcionamento.

### SINCRONIZAÇÃO DE CORTINA TRASEIRA

O flash dispara antes do obturador fechar. A luz por trás do objecto em movimento e o caminho da luz podem ser captados; portanto, as fotos podem exprimir o movimento natural do assunto.


Pode ser utilizado com os modos de flash [TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [WL TX-TTL], e [WL TX-MANUAL].

- Quando for ajustado na câmara o modo de sincronização a cortina traseira, aparece o símbolo  Na área de status.

### FLASH FP (Sincronização High Speed)

O flash FP continua a disparar enquanto estiver em execução a cortina de obturador. Poderá utilizar uma velocidade de obturador maior do que a velocidade sincronizada.

Pode ser utilizado com os modos de flash [TTL], [TTL-BL], [MANUAL], [GN-M], [WL TX-TTL], e [WL TX-MANUAL].

- Quando for ajustado na câmara o modo flash FP, aparece o símbolo  Na área de status.

No modo [TTL], confirme que o assunto se encontra dentro do

alcance de captação verificando a distância indicada na área de estado, antes de começar a captar.


No modo **[MANUAL]**, ajuste a abertura, etc. antes de começar a captar, para que a distância ao assunto e a distância indicada na área de estado sejam iguais.

O Número Guia irá mudar dependendo da velocidade de obturador. (Por favor, consulte a [Tabela 3] na última página.)

## REDUÇÃO DE OLHOS VERMELHOS

Ao captar uma imagem com o flash, por vezes os olhos da pessoa reflectem a luz do flash e são exibidos "olhos vermelhos" na fotografia. Se utilizar a função de redução de "olhos vermelhos", o flash piscará durante aproximadamente 1 segundo antes do obturador ser acionado, para a redução do efeito dos "olhos vermelhos".

Pode ser utilizada com os modos de flash **[TTL]**, **[TTL-BL]**, **[MANUAL]**, **[GN-M]**, **[MULTI]**, **[WL TX-TTL]**, **[WL TX-MANUAL]**, **[WL TX-MULTI]**, e **[R&FL TX]**.

- Quando for ajustado na câmara o modo redução de olhos vermelhos, aparece o símbolo  Na área de status.

## ESPECIFICAÇÕES

TIPO: Flash electrónico TTL auto zoom Clip-on serial-controlled

NÚMERO GUIA: 63 (ISO100/m, posição da cabeça de 200mm)

FONTES DE ALIMENTAÇÃO: Quatro baterias tipo AA alcalinas ou quatro baterias tipo AA Ni-MH Níquel-Metal Híbrido

TEMPO DE RECICLAGEM: aproximadamente 3.0seg. (com baterias alcalinas): aproximadamente 1.8seg. (com baterias Ni-MH)

NÚMERO DE FLASHES: aproximadamente 120 flashes (com baterias alcalinas): aproximadamente 185 flashes (com baterias Ni-MH)

DURAÇÃO DO FLASH: aproximadamente 1/700 seg. (disparo com a potência total)

ÂNGULO DE ILUMINAÇÃO DO FLASH: 24~200mm, controlado por motor (17mm com o painel largo incorporado)

PESO:490g DIMENSÕES:(L)79.4mmx(A)148.4mmx(C)121.5mm



A marca CE garante a conformidade com as normas estabelecidas pela Comunidade Europeia.

SIGMA (Deutschland) GmbH

Carl Zeiss Str. 10/2, D 63322 Rödermark, F.R.GERMANY

Sales: 06074 / 865 16 0 Service: 06074 / 865 16 65

Support: 06074 / 865 16 88 E-Mail: info@sigma-foto.de



### Eliminação doméstica dos equipamentos eléctricos e electrónicos

Eliminação de equipamento eléctrico e electrónico usado (aplicável na União Europeia e noutros países da Europa com sistemas de recolha de lixo separados)

O símbolo acima indica que o produto não deve ser tratado como lixo doméstico. Em vez disso, deve ser separado para reciclagem de equipamento eléctrico e electrónico. Se adquirir novos produtos, esta câmara deve ser entregue ao distribuidor ou a um sistema especializado de recolha de lixo. Assegurando a correcta eliminação destes equipamentos, ajudará a prevenir consequências negativas para o ambiente e para a saúde humana causadas por uma inapropriada manipulação dos componentes deste produto. Se a eliminação for feita de forma ilegal, poderá dar lugar a eventuais penalizações. Para informação mais detalhada acerca da reciclagem deste produto, contacte os serviços camarários ou a loja onde adquiriu o mesmo.

[1] ガイドナンバー/GN/NG (① NORMAL, ISO100・m)

	17mm	24mm	28mm	35mm	50mm	70mm	85mm	105mm	135mm	200mm
1/1	21	29.5	30	34	42	49	54	59	60	63
1/2	15	21	21	24	30	35	38	42	42	45
1/4	11	15	15	17	21	25	27	30	30	32
1/8	7	10	11	12	15	17	19	21	21	22
1/16	5	7	8	9	11	12	14	15	15	16
1/32	4	5	5	6	7	9	10	10	11	11
1/64	3	4	4	4	5	6	7	7	8	8
1/128	2	3	3	3	4	4	5	5	5	6

(② GN, ISO100・m)

	17mm	24mm	28mm	35mm	50mm	70mm	85mm	105mm	135mm	200mm
1/1	-	31	33	38	46	56	59	62	63	-
1/2	-	22	23	27	33	40	42	44	45	-
1/4	-	16	17	19	23	28	30	31	32	-
1/8	-	11	12	13	16	20	21	22	22	-
1/16	-	8	8	10	12	14	15	16	16	-
1/32	-	5	6	7	8	10	10	11	11	-
1/64	-	4	4	5	6	7	7	8	8	-
1/128	-	3	3	3	4	5	5	5	6	-

(③ DIFFUSE, ISO100・m)

	17mm	24mm	28mm	35mm	50mm	70mm	85mm	105mm	135mm	200mm
1/1	-	-	29.5	31	36	44	49	55	56	60
1/2	-	-	21	22	25	31	35	39	40	42
1/4	-	-	15	16	18	22	25	28	28	30
1/8	-	-	10	11	13	16	17	19	20	21
1/16	-	-	7	8	9	11	12	14	14	15
1/32	-	-	5	5	6	8	9	10	10	11
1/64	-	-	4	4	5	6	6	7	7	8
1/128	-	-	3	3	3	4	4	5	5	5

[2] マルチ発光/MULTI FLASH

1/128	1~7 Hz	1~90	1/16	1 Hz	1~30
	8~9 Hz	1~80		2 Hz	1~20
	10 Hz	1~70		3 Hz	1~10
	20~100 Hz	1~40		4~100 Hz	1~6
1/64	1~3 Hz	1~90	1/8	1 Hz	1~14
	4~5 Hz	1~80		2 Hz	1~7
	6~7 Hz	1~70		3 Hz	1~6
	8~9 Hz	1~50		4~7 Hz	1~5
	10 Hz	1~44		8~9 Hz	1~4
	20~50 Hz	1~24		10~100 Hz	1~3
1/32	60~100 Hz	1~20	1/8	1 Hz	1~14
	1~3 Hz	1~60		2 Hz	1~7
	4~5 Hz	1~50		3 Hz	1~6
	6 Hz	1~30		4~7 Hz	1~5
	7~9 Hz	1~20		8~9 Hz	1~4
1/16	10 Hz	1~14	1/8	1 Hz	1~14
	20~100 Hz	1~12		2 Hz	1~7
				3 Hz	1~6

[3] ガイドナンバー/GN/NG (① FP/NORMAL, ISO100・m)

	17mm	24mm	28mm	35mm	50mm	70mm	85mm	105mm	135mm	200mm
1/200	8.8	12.4	12.6	14.3	17.7	20.6	22.7	24.8	25.2	26.5
1/250	7.9	11.1	11.2	12.7	15.7	18.4	20.2	22.1	22.5	23.6
1/500	5.6	7.8	7.9	9.0	11.1	13.0	14.3	15.6	15.9	16.7
1/1000	3.9	5.5	5.6	6.4	7.9	9.2	10.1	11.1	11.2	11.8
1/2000	2.8	3.9	4.0	4.5	5.6	6.5	7.2	7.8	7.9	8.3
1/4000	2.0	2.8	2.8	3.2	3.9	4.6	5.1	5.5	5.6	5.9
1/8000	1.4	2.0	2.0	2.3	2.8	3.2	3.6	3.9	4.0	4.2

(② FP/GN, ISO100・m)

	17mm	24mm	28mm	35mm	50mm	70mm	85mm	105mm	135mm	200mm
1/200	-	13.0	13.9	16.0	19.3	23.5	24.8	26.1	26.5	-
1/250	-	11.6	12.4	14.2	17.2	21.0	22.1	23.2	23.6	-
1/500	-	8.2	8.7	10.1	12.2	14.8	15.6	16.4	16.7	-
1/1000	-	5.8	6.2	7.1	8.6	10.5	11.1	11.6	11.8	-
1/2000	-	4.1	4.4	5.0	6.1	7.4	7.8	8.2	8.3	-
1/4000	-	2.9	3.1	3.6	4.3	5.2	5.5	5.8	5.9	-
1/8000	-	2.1	2.2	2.5	3.0	3.7	3.9	4.1	4.2	-

(③ FP/DIFFUSE, ISO100・m)

	17mm	24mm	28mm	35mm	50mm	70mm	85mm	105mm	135mm	200mm
1/200	-	-	12.4	13.0	15.1	18.5	20.6	23.1	23.5	25.2
1/250	-	-	11.1	11.6	13.5	16.5	18.4	20.6	21.0	22.5
1/500	-	-	7.8	8.2	9.5	11.7	13.0	14.6	14.8	15.9
1/1000	-	-	5.5	5.8	6.7	8.2	9.2	10.3	10.5	11.2
1/2000	-	-	3.9	4.1	4.8	5.8	6.5	7.3	7.4	7.9
1/4000	-	-	2.8	2.9	3.4	4.1	4.6	5.2	5.2	5.6
1/8000	-	-	2.0	2.1	2.4	2.9	3.2	3.6	3.7	4.0





**SIGMA CORPORATION**

2-4-16 Kurigi, Asao-ku, Kawasaki-shi, Kanagawa 215-8530 Japan

Phone : (81)-44-989-7437 Fax : (81)-44-989-7448

**[sigma-global.com/en/](http://sigma-global.com/en/)**